



2000年1月1日発行（通巻364号=毎月1日発行）昭和54年3月20日第3種郵便物認可

MFJ **ライディング** 臨時増刊

MFJ
MOTORCYCLE FEDERATION OF JAPAN

国内競技規則

2000年度版

2000
MOTORCYCLE SPORTS RULES
MFJ



この国内競技規則書は、日本小型自動車振興会からオートレースの公益資金の補助を受けて製作されたものです。

マウススリット

M O U S E S L I T T

ニュータイプの特徴である力強く迫りを感じさせるマウススリットの入ったチンバー部分。このフォームは、アライの開発テーマである「安全性へのあくなき追求」より導かれた新形状として、アライヘルメットの定評のある剛性をさらに強化している。

ICダクト2

I C D A C T 2

より強力なクールダウンのための複合ベンチレーションシステムとして知られるICダクトをさらに進化させ、より強力なエアイン機構を実現。またDDLダクト2同様に、グローブをつけたままでも開閉ができる操作性の高さは変わらない。



ハイパーリブ

H Y P E R R I B

サイドアウトから後方へと流れるハイパーリブ構造は、ヘルメット後部下方の剛性を強化した。これは、大きな衝撃を受ける可能性が高いという現実のデータをもとに、現役のライダーでもあるアライスタッフが支持する新構造である。

妥協のない剛さに、

ラパイドM.

DDLダクト2

D D L D A C T 2

F1用ヘルメットに装着されているスホイラーと同様の整流効果を発揮させるため開発されたDDLダクトをさらに進化。空気抵抗やリフト感による疲労をより軽減させる。

新色アルミナシルバー
金属調で新登場!



Arai
アライヘルメットは
挑戦します。

※価格に消費税は含まれていません。
※写真の商品は、印刷のため実物とは若干異なっている場合があります。店頭にてご確認ください。
●アライ製品については、品質管理課までお問い合わせください。
直達TEL (048) 645-3661
株式会社 アライヘルメット
〒330-0841 埼玉県大宮市東町2-12 TEL(048)641-3825-7

RAPIDE M

●機種名:ラパイド・M ●帽体:cLc(コンプレックス・ラミネート・コンストラクション) ●規格:スネルJIS ●内装:ハイフィッティング内装(頬パッド調節可能-特許出願中) ●シールド:スーパーアドシス標準装備(特許出願中) ●色:白、アルミナシルバー、黒、チタングレー、キャンディレッド ●サイズ:(53-54)(55-56)(57-58)(59-60)(61-62)



¥36,000

エアロエッジ

AERO EDGE

口元への巻き込み風を防ぐための最新形状。アストロ系に採用されているエアロフラップと同程度の効果を発揮し、FFS機能を搭載可能にした。またこれにより、ラハイドのフォルムは、より戦闘的で精悍なものとなった。

L.R.S.

LEVER RELEASE SYSTEM

スーパーアドシスの働きを補助するリリースレバーを新たに採用。操作がはじめての方でも、より確実にスムーズな取り外しが可能になった。



F.F.S.

FREE FLOW SYSTEM

高速時にヘルメットを不安定にさせる要因ともなる不快な巻き込み風を防ぐと同時に、吐いた息をマウスシャッターからの微量なエアに導かせて、ヘルメット下部の排気ホートより排出し、吐いた息によるシールドの曇りや息こもりを解消させる画期的システム。

数々の先進機能がプラス。

新登場。

スネル規格をはるかに超える安全性と1400g台の軽さを持つラハイド。

〈ラハイドM〉は、この傑作ヘルメットの剛さをそのままに、快適のための数々のニューメカニズムを装備させた。





時間がある。
道がある。

●型式:CK41A ●エンジン型式:K415・水冷・4サイクル・単気筒 ●排気量:385cm³ ●ボア×ストローク:83.0×71.2mm ●最高出力:24kW(32ps)/8,000rpm
 ●最大トルク:32N・m(3.3kg・m)/6,000rpm ●変速機形式:Vベルト無段変速 ●燃料タンク容量:13.0 ●乾燥重量:174kg ●ボディカラー:パールストームブルーグレー/
 ソニックシルバーメタリック/ライトクリエニッシュゴールドメタリック/サターンブラックメタリック ●メーカー希望小売価格:¥599,000(北海道・沖縄及び一部地域を除く)
 ※エンジン出力表示は、「ps/rpm」から「kW/rpm」へ、トルク表示は、「kg・m/rpm」から「N・m/rpm」へ切り替わりました。〈 〉内は、旧単位での参考値です。

バイクにフレンドシップ
見られるためのライトオン

全国のバイク・ファンとクラブ/サークルのネットワーク(モトサビ)

NMCA
日本二輪車協会
NIPPON MOTORCYCLE ASSOCIATION

OTOPIENS

TEL 03-3440-9619
FAX 03-3440-9617
http://www.nmca.com/~nmca
バイク・ファン・サービス
03-3440-0135

4.9

スズキ
**ウェルカム
クレジット**
SUZUKI CREDIT



存在感。 THE400

大きなキャパシティが生む力強いエンジンパワー、革新に満ちた車体のしなやかな安定感、洗練されたクオリティー。そこから生まれる、確かなステイタスと、心ときめく走り。それは、やがて大きな歓びと、揺るぎない充実感に変わってゆくだろう。芳醇な人生に送るプレステージ・スポーツ・スクーター、スカイウェイブ400。

ここに、かつてない上質なパフォーマンスに満ちたスクーターが誕生した。



メーターパネル



シート




マフラー

走るといふ贅沢。

SKY WAVE 400

●価格には、保険料・税金（消費税を含む）・登録などに伴う諸費用は含まれておりません。●消費税は別途計算の上、申し受けます。●価格は参考価格です。詳しくは販売店にお問い合わせ下さい。
●カタログご希望の方は、機種名・雑誌名と住所、氏名、年齢、職業を明記し、切手180円分（送料）を同封のうえ、下記までお申込みください。
〒432-8811浜松市高塚町300 スズキ（株）二輪カタログ発送センター スカイウェイブ400係まで。

インターネットでスズキの二輪情報をご覧いただけます <http://www.jsb.co.jp/suzuki/>

 **SUZUKI**

Let the good times roll.

人と乗り物と、そして「遊び」のいい関係



ARKはカワサキの正規取扱店です。
安心と信頼のお店
ARKでお求めください。



実利率
5.2%
YOU YOU CREDIT
'99年12月31日まで
Kawasaki
くわしくはこのステッカーのあるARKまで。

バイクにフレンドシップ
見られるためのライトオン

今こそ、(16歳から
取得出来ます。)
普通二輪免許!
ご相談はお近くのARKへ。

- 大型二輪免許への移行がスムーズ
→技能教習(最短)12時限、学科試験免除。
- 普通(四輪)免許への移行もスムーズ
→学科試験免除。

自在の走りを生む
洗練のフットワーク。



圧倒的なチカラを秘めたパワーユニット。
1100であることを忘れさせるコンパクトなボディ。
この絶妙なバランスが群を抜くパフォーマンスを発揮する。
これがビッグスポーツ。ZRX1100/ZRX1100-II。

ZRX 1100/1100-II

New Color

ZRX1100[ZRX1100-II] ●水冷4ストローク並列4気筒/DOHC4バルブ・1,052cm³ ●最高出力:74kW(100PS)/8,500rpm
●最大トルク:96N・m(9.8kg・m)/6,000rpm ●乾燥重量:222kg [221kg]

●カラー:ライムグリーン、キャンディライトニングブルー [キャンディアトランティックブルー] ●¥940,000 [¥920,000]

※ []内はZRX1100-IIです。※価格はメーカー希望小売価格(北海道・沖縄を除く)です。詳しくはARKにおたずねください。

※価格には保険料、税金(消費税など)、登録などに伴う諸費用は含まれません。※走行写真は、プロライダーによる走行を撮影したものです。一般公道では制限速度を守り、無理な走行をしないようにしましょう。

ZRX1100
キャンディ
ライトニングブルー



ZRX1100
ライムグリーン



ZRX1100-II
キャンディ
アトランティックブルー



KAZEに入りませんか? **KAZE**

Kawasaki Amusing Zone for Everybody — KAZE
は思う存分モーターズスポーツやアウトドアライフをお楽しみ
いただけるメンバーズクラブです。ぜひ、あなたもご入会ください。

ご入会のお申し込みはARK、または
KAZEフリーダイヤルまで、お気軽に ☎0120-100819

Kawasakiに関するお問い合わせはお気軽に——お客様相談室

東京: ☎03(5343)2188 明石: ☎078(925)2003

カタログご希望の方は機種名と住所、氏名、生年月日、職業をご記入になり、
送料160円分の切手を同封して、下記までお申し込みください。
〒673-8666 明石市川崎町1-1 株式会社カワサキモーターズジャパン(カタログ)係まで。

Kawasaki
株式会社 カワサキモーターズ ジャパン

インターネットでKawasaki情報がご覧いただけます。
<http://www.khi.co.jp/mcycycle>

HONDA

人と、地球に「夢・発見・ドラマ」を。

ニューバランス ポテン

目指したのは、さらなる戦闘力と扱いやすさの高次元での融合。

CR125Rはシャシーをはじめパワーユニットをも一新。また、CR250Rは新設計アルミフレームを投入。実戦で鍛え抜かれたテクノロジーを全身に「New CR125R/250R」登場。



CR125R

- お問い合わせ、ご相談はお近くのブロス店または下記の本田技研工業(株)お客様相談センターまで。
全国共通フリーダイヤル ☎ 0120-086819 (受付時間: 9時~12時 13時~17時)
- インターネット 二輪ホームページ <http://www.honda.co.jp/motor/>

バイクが好きだから、セーフティライド。

- カタログご希望の方は、カタログ請求券と切手160円(送料)を同封し、機種名と住所・氏名・年令・職業を明記の上、〒150-8799 東京都渋谷区郵便局局留 本田技研工業(株)カタログ係まで。



BIKE NATURALIST
写真・資料・出版物には必ず小さく動物がいます。
発行場所、発行方法には
十分気をつけてお読みください。

カタログ請求券
CR
RR

シヤル



CR125R NEW FEATURES

CHASSIS

[ALUMINUM TWIN-TUBE FRAME]

●比類なき軽量・高剛性に、最適なしなやかさも獲得。

[SUSPENSION]

●フロントに気液分離カートリッジダンパーを採用。

[BRAKE SYSTEM]

●小型化&80g軽量化したフロントキャリパー。



*写真は撮影のため、ハーネスの変更と一部の部品の取り外しをしています。

POWER UNIT

[2-STROKE 125cc]

●吸排気系の変更により全域のパワー&トルク特性向上。

[COOLING SYSTEM]

●コア面積20.9%、放熱量18.6%アップのラジエーター。

- 3バリエーションのポジションが選択可能な新形状ハンドルマウント。
- 大幅なスリム化(フューエルタンク上部-15mm、シート後部-10mm)を実現したボディ。

OTHER FEATURES



NEW CR250R

エンジン特性のフラッシュアップや新フレームの採用など、パワー特性も限界性もワークス仕込みの完成度。

CR250R主要諸元 ●型式ME03 ●水冷2ストローク・ピストンリッドバルブ単気筒・249.3cm³
●最高出力42.8kW[58.2PS]/8,000rpm ●最大トルク51.0N・m[5.20kg・m]/8,000rpm
●乾燥重量97.0kg ■車体色:エクスプロージョンレッド ■¥599,000



NEW CR125R

エンジン、フロントサスペンション、フレームを一統、クラスNo.1の走破性と操縦性を目標したフルモデルチェンジ。

CR125R主要諸元 ●型式JE01 ●水冷2ストローク・クランクスリーブバルブ単気筒・124.8cm³
●最高出力30.2kW[41.0PS]/11,500rpm ●最大トルク27.1N・m[2.76kg・m]/11,000rpm
●乾燥重量87.5kg ■車体色:エクスプロージョンレッド ■¥509,000



NEW COLOR CR80R

実践的な仕様がますますまで徹底されている、未来のチャンピオンのためのキックスレーサー。

CR80R主要諸元 ●型式HE04 ●水冷2ストローク・ピストンリッドバルブ単気筒・79.4cm³
●最高出力18.9kW[25.7PS]/12,500rpm ●最大トルク14.7N・m[1.50kg・m]/11,000rpm
●乾燥重量65.0kg ■車体色:エクスプロージョンレッド ■¥298,000



NEW COLOR CR80R2

フロント:19インチ、リア:16インチ、ワンランク上の走りに応えるラージホイールモデル。

CR80R2主要諸元 ●型式HE04 ●水冷2ストローク・ピストンリッドバルブ単気筒・79.4cm³
●最高出力18.9kW[25.7PS]/12,500rpm ●最大トルク14.7N・m[1.50kg・m]/11,000rpm
●乾燥重量67.0kg ■車体色:エクスプロージョンレッド ■¥314,000



※レース仕様のため、一般交通の用に供する場所では一切走行できません。※走行場所には十分注意しなさい。公共の道路以外の場所でも、私道や林道、河原、海辺など、人や車が自由に出入りできる場所は道路とみなされ、道路交通法および道路運送車両法の違反になります。※登録してナンバープレートを取得することはできません。※CRシリーズはレース場のコンディションによって、サスペンション、キャブレターのセッティングが必要で、燃料は適合ガソリン(ガソリンはハイオクタンガソリン、オイルはホンダ純正ウルトラGP2)を使用してください。※ピットやパドックではヘルメットを守り、無用な空かしやウォームアップ走行はやめなさい。

※価格は、すべてメーカー希望小売価格(北海道、沖縄および一部地域を除く)です。※価格には消費税は含まれておりません。※価格は参考価格ですので、詳しくは販売店にお尋ねください。※本仕様は予告なく変更する場合があります。※車体色は印刷のため、実物と多少異なる場合があります。※写真は、すべて輸出仕様です。

バイクにフレンドシップ
見られるためのライトオン

NMCA
日本二輪車協会
スポーツバイクライフの提案と
環境保全を推進



全国のバイク・ファンと
クラブ/サークルのネットワーク「モトサビ」

- スポーツバイク・ライフの楽しさを広げよう!
- バイクの利用環境改善を提案しよう!
- バイクを使ったボランティア活動を進めよう!

TEL 03-3440-8619 ホームページ <http://www.twins.com/nmca> 音声ファクスNo. 03-3440-6135

HRC商品のご予約・お問合せは下記取扱販売店及び ホンダ二輪ディストリビューター（代理店）へどうぞ。

HRCサービスショップ（99年12月現在）

- 機クルーズ R/R**
〒981-1505 宮城県角田市角田町152
TEL.0224-62-0671
- 機ホンダスポーツ ウィーバー**
〒982-0014 宮城県仙台市太白区大野田字下古川37-14
TEL.022-246-2619
- 機TOWNS 原町ホンダ R/R**
〒981-8003 宮城県仙台市太白区南光台南2-24-3
TEL.022-251-2700
- 機ホンダウィング 荘内 R/R**
〒989-0125 山形県酒田市大広野字中道3-1
TEL.0234-92-3838
- 機ワールドツクバ R/R**
〒300-3551 茨城県結城郡八千代町大字山手村898-3
TEL.0296-49-3138
- 機アイ.ファクトリー R/R**
〒329-0202 栃木県小山市千駄塚290-6
TEL.0285-45-3373
- 機ホンダショップ 和光 R/R R/R**
〒351-0101 埼玉県和光市白子2-23-11
TEL.048-461-7789
- 機エンデュランス R/R**
〒350-0822 埼玉県川越市山田1726
TEL.0492-22-7770
- 機インテック R/R R/R**
〒304-0804 東京都北区大塚7-10内1-1
TEL.048-648-0244
- モトライトポイント ユーギア R/R**
〒271-0092 千葉県船橋市松戸1051-4
TEL.0473-61-1051
- オートショップ スガハラ南 R/R**
〒114-0002 東京都台東区王子3-20-2
TEL.03-3914-7500
- HONDA SPORTS MOTO BUM R/R**
〒110-0061 東京都台東区東上野4-13-23
TEL.03-3831-4265
- 機桜井ホンダ R/R**
〒168-0073 東京都杉並区下高井戸2-6-3
TEL.03-3325-0088
- 機城北ホンダオート R/R**
〒161-0031 東京都葛飾区西高台3-26-6
TEL.03-3952-4004
- 機ハルク・プロ R/R**
〒208-0003 東京都武蔵野市中央1-36-1
TEL.0425-66-3851
- 機スーパーウィング まるやま R/R R/R**
〒255-0001 神奈川県中郡大磯町3-2-39
TEL.0463-34-0651
- 機ライダーズサロン 横浜 R/R**
〒293-0803 神奈川県横浜市中区日ノ本2-14-5
TEL.0468-48-8999
- ラ・モト・KOHSAKA R/R**
〒497-0005 愛知県海部郡津島町津島1-6
TEL.05679-5-9991
- ホンダワールド街 R/R**
〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町6786
TEL.0593-78-1455
- MITANI MOTOR SPORTS SUZUKA R/R**
〒513-0824 三重県鈴鹿市道徳町2147-71
TEL.0593-70-2689
- モトショップ ヨシハダ R/R**
〒110-0924 東京都目黒区日野市町2342-2
TEL.0593-26-7770
- スーパーネッシー コタニ R/R**
〒621-0826 京都府岡崎市篠塚2-6
TEL.07712-4-6308
- 機TOM'S R/R**
〒603-8163 京都府北区山崎町大野町3-5
TEL.075-411-1700
- 機アルビス タイチ R/R R/R**
〒574-0013 大阪府大東市甲塚3-1-25
TEL.0720-74-3268
- 機サイクルワールド R/R R/R**
〒651-2132 兵庫県神戸市西区森本4-13
TEL.078-928-3232
- ミネモーターサイクル R/R**
〒654-0121 兵庫県神戸市須磨区妙法寺地子田1038-8
TEL.078-743-5400
- 機梅木商会 R/R**
〒610-0837 岡山県岡山市中央町12-9
TEL.0862-32-0011
- 機ホンダショップ ライフ R/R**
〒803-0971 福岡県北九州市小倉南区守宝町3-1-11
TEL.093-962-0900

北海道

- 機オートランド 札幌 R/R R/R**
〒004-0003 札幌市東区中央三条1-1-43 TEL.011-862-3323
- 機ホンダウィング 函館 R/R R/R**
〒040-0015 函館市東川町2 TEL.0138-56-0510
- バイクカワ**
〒053-0005 宮城県仙台市野田4-14-12 TEL.0144-32-6310
- 機ノカガワ**
〒064-0806 札幌市中央区南一条西7-8 TEL.011-511-6417
- 機ホンダ札幌販売 R/R R/R**
〒064-0826 札幌市中央区北一条西26-70 TEL.011-641-5067
- 機ホンダダンギン北 R/R**
〒065-0026 札幌市東区北一条西21-4-1 TEL.011-784-5111
- 機オートフレンド北海道 R/R R/R**
〒066-0038 札幌市東区南一条1-2 TEL.0123-22-3996
- 別荘ホンダ 南松村商会 R/R**
〒069-0813 江別市野幌町40-9 TEL.011-383-7394

群馬

- 機モトショップ シロタ R/R**
〒370-0001 高崎市南中町456-4 TEL.0273-61-0222
- 機モトエー R/R**
〒370-1207 高崎市南高崎1695-4 TEL.0273-46-8440
- 久保モーターサイクル R/R**
〒378-0115 山田町大字山田大字東原491-1 TEL.0277-73-3427
- 機プロショップ ツツミ R/R R/R**
〒370-3607 群馬県高崎市小倉4-4 TEL.0279-54-5031
- オートショップ 金岡 R/R**
〒379-2111 群馬県沼田町阿保53267 TEL.0277-76-2308

山梨

- 機オートショップ 上野田 R/R**
〒164-0002 中野区上野田2-53-10 TEL.03-3386-1628
- 機オートショップ 湯島 R/R**
〒179-0074 群馬県春日町16-12-7 TEL.03-3998-8969
- チームファン - WINGオムラ R/R R/R**
〒179-0081 群馬県北町1-41-22 TEL.03-3932-8384
- ブルーポイントオートショップ R/R**
〒176-0002 群馬県前橋1-34-15 TEL.03-3931-7881
- 機モトライブ R/R**
〒177-0035 群馬県高田町1-21-18 TEL.03-3995-7038
- モトショップユニコ R/R**
〒180-0023 武蔵野市神楽町2-27-5 TEL.0422-32-5900
- 機サイクルスポーツ R/R**
〒180-0013 武蔵野市西久保1-3-4 TEL.0422-55-6248
- プロスホンダウィングポパイ R/R**
〒187-0032 小平市小川町12-73-1 TEL.042-341-7665
- ライドイングハウス R/R**
〒190-0021 川崎市羽沢町2-27-9 TEL.0425-28-0455
- テクニカルショップ ファントム R/R**
〒205-0013 羽村市富士見平1-6-12 TEL.0425-54-2206
- ホンダ販売海陽 R/R**
〒198-0031 青森県南阿久戸1-12-18 TEL.0428-24-9032

長野

- 機バイクボックス R/R**
〒381-0045 長野市藤原1-3-34 TEL.026-249-7707
- 機ホンダショップ カノノ上松店 R/R**
〒380-0803 長野市三輪8-56-10 TEL.0262-35-4044
- ホンダショップアサマ R/R**
〒384-0000 小諸市甲斐町1510-31 TEL.0267-23-9222
- バイクショップ サイトウ R/R**
〒386-0002 上田市大庄吉107-10 TEL.0268-25-3110
- 機モトショップハム R/R R/R**
〒390-0877 松本市沢村13-12 TEL.0263-32-5231
- 機モトショップスタジオTAKA R/R**
〒392-0015 諏訪市南5691-7 TEL.0266-58-2320
- 機原南ホム R/R**
〒395-0817 飯田市東東9-4-5 TEL.0265-22-2096
- モトショップ ヒラサワ R/R**
〒399-4301 上伊那郡宮田町3312 TEL.0265-65-2709

静岡県

- 機エイチ・エス R/R**
〒410-0873 沼津市大浜町721-8 TEL.0559-24-0636
- 機ワールドカワタ R/R**
〒411-0332 沼津市長久町東一丁目181-4 TEL.0559-67-2480
- モトハウス・スギヤマ R/R R/R**
〒419-0123 田方郡南田町南448-4 TEL.0559-79-1426
- 機デモーター吉田販売 R/R**
〒420-0868 静岡市清水区南9-6 TEL.054-255-5538
- モトショップ スギウラ R/R**
〒420-0934 静岡市清水区長久山13-30 TEL.054-247-4543
- 機小原商会 R/R**
〒424-0873 清水市東坂2-29-14 TEL.0543-45-0148
- モトクラブ タカミ R/R**
〒426-0061 藤枝市田22-19-30 TEL.0545-36-2470
- メダリアショップ R/R**
〒432-8067 浜松市東区16101-9 TEL.053-448-2727
- ホンダウィング エアフォード R/R**
〒434-0042 浜北市小川1006 TEL.053-588-0080
- speed unlimited R/R**
〒435-0051 浜松市東区2728 TEL.053-464-5048
- プロジェクトサイエンス R/R**
〒433-8112 浜松市初志町269-1 TEL.053-430-0695
- 機オートランドいわた R/R**
〒437-0863 静岡市清水区1618-6 TEL.0538-35-7746
- 機南島ホンダ R/R**
〒418-0022 富士宮市城北458-2 TEL.0544-26-3872

宮城

- 機ドライブスポット 北 R/R R/R**
〒983-0045 宮城県宮城県2-13-32 TEL.022-256-3020

埼玉

- 機サイクルロードイーター 指原店 R/R**
〒331-0077 大宮市北1498-3 TEL.048-622-3055
- 機金城アイペーシング R/R**
〒341-0044 三郷市戸ヶ崎2161 TEL.0489-56-2780
- オートランドTOM R/R**
〒345-0043 志保郡杉戸町下野2591-1 TEL.0480-35-8919
- ホンダモトマ R/R**
〒350-0133 比企郡川島町418-3 TEL.0492-97-5959
- モトショップ ノースアイランド R/R**
〒350-0226 坂戸市東町11-2 TEL.0492-84-5180

神奈川

- ホンダショップ 成田 R/R**
〒211-0012 川崎市中原区中丸子779-6 TEL.044-411-4171
- 機モトガレージ・トモ R/R**
〒210-0834 川崎市川崎区大町2-12 TEL.044-233-2467
- 機山上海業 R/R**
〒211-0069 川崎市中原区杉崎町2-113 TEL.044-722-5292
- 機モトブレイク R/R**
〒213-0022 横浜市中区高島町5-75-2 TEL.044-771-1100
- 石川モーターサイクル R/R**
〒216-0001 川崎市高津区羽根136-5 TEL.044-754-0177
- 機ビッグ・フォー R/R**
〒222-0003 横浜市北区大倉根1-25-14 TEL.045-54-4455
- 機モトワールド R/R**
〒222-0035 横浜清水区大町1283 TEL.045-472-6741
- 機Jプロモーション青田プラザセリア R/R**
〒224-0031 横浜市港北区青田一丁目491 TEL.045-942-8770

新潟

- 機長岡テクノレシニングクラブ R/R**
〒940-0006 長岡市南町1-2-14 石田付 TEL.0258-32-3455
- TDスポーツ R/R**
〒943-0173 上越市富岡609 TEL.0255-24-1702
- ホンダウィング高橋 R/R**
〒945-0037 長岡市東区出陣113-3 TEL.02579-2-0778
- モーターショップ ヤマザキ R/R**
〒946-0051 新潟市東区神倉今泉1568 TEL.02579-9-3115
- モトスポーツ 倉沢 R/R**
〒949-6424 新潟県新潟市万葉区南田90 TEL.0257-93-3164
- 大和ホンダ R/R**
〒949-7231 新潟県大和町東沢279-8 TEL.0257-79-3021
- アカミチバイクセンター R/R R/R**
〒950-0872 新潟市市井川3-2-5 TEL.0252-75-5092
- MOTO BOX R/R**
〒950-0803 新潟市中野町150-2 TEL.025-273-5179

愛知

- 機南南ホンダ 矢田モーター R/R**
〒447-0863 静岡市清水区12-28 TEL.0566-41-1189
- B&B 新栄会 R/R**
〒448-0001 刈谷市平谷町5-6 TEL.0566-36-0405
- 機プロト R/R**
〒448-0001 刈谷市平谷町5-6 TEL.0566-36-0405
- ホンダバイクショップ オクムラ R/R**
〒452-0942 豊田市長井町南大清水町字天123 TEL.052-400-0880
- 機モロ商会 R/R**
〒453-0856 名古屋市東区北庄2-399 TEL.052-413-0022
- 機ホンダウィング モトライブ R/R**
〒454-0927 名古屋市守山区川口1-31-33 TEL.052-362-1807
- 機バイクショップウカワ R/R**
〒454-0932 名古屋市守山区中島町2-102 TEL.052-353-6664
- 機アトランテ R/R**
〒455-0073 名古屋市東区西邊5-28-1 TEL.052-381-8515
- スポーツラフ イトウ R/R**
〒463-0045 名古屋市東区東山町12-28 TEL.052-795-2262
- 機J.レーシングプロジェクト R/R**
〒466-0058 名古屋市東区東山町3901 TEL.052-902-0117

秋田

- エキスパート R/R**
〒013-0000 横手市石町35-1 TEL.0182-32-9911

福島

- 機ホウワテック R/R R/R**
〒931-0111 利根市下新倉1936-2 TEL.048-465-2389
- 機ゴール R/R**
〒932-0003 新城市北野1-2-6 TEL.048-475-1737
- メカハウス R/R**
〒930-1142 川崎市川崎区大町728-1 TEL.0492-43-9632
- アズテック所沢 R/R**
〒939-1118 南会津市山手台1-13-12 TEL.0429-24-5211
- ストラダ R/R**
〒962-0002 上野市東町1-7 TEL.0487-75-8726
- AZTECホップ R/R**
〒965-0082 福島市東田1872-1 TEL.0485-96-5421

千葉

- 岩内モーターズ R/R**
〒270-0173 我孫子市南山845 TEL.0471-84-7950
- 機南ホンダウィング ドリームハウス R/R**
〒271-0065 船橋市南花34-43-21 船橋ビル付 TEL.0470-68-3332
- 機川モーターズ16号店 R/R**
〒276-0024 八千代市豊田25-1 TEL.0474-84-2217
- 機レーシングサブイ フクシマ R/R**
〒284-0008 印旛郡栄町豊田311-4-1 TEL.0434-23-1190
- バイクショップフリーアングル R/R**
〒284-0001 千葉市若葉区金網町1031 TEL.043-237-3837

石川

- グリーンサイクル R/R**
〒920-0944 金沢市三ツ口新町11-16 TEL.0762-22-6957
- ホンダイン・金沢 R/R**
〒921-8002 金沢市玉線2-246 TEL.0762-91-6717

富山

- レッドシスター R/R**
〒938-0038 富山県新川町4-1 TEL.0765-52-4886

栃木

- 宇都宮ホワイトハウス R/R R/R**
〒321-0992 宇都宮市南条町野町7-3 TEL.0286-22-0921
- 機ヴァンサンク R/R**
〒321-3233 宇都宮市南条町1314-9 TEL.0286-67-7833
- 機モトハウス アスカ R/R**
〒322-0002 鹿沼市千歳1024-18 TEL.0289-62-3838
- 機バイクショップ竹沢 R/R**
〒322-0026 鹿沼市沼沢923-31 TEL.0289-76-1030
- 機小林商店 R/R**
〒326-0811 足利市井草町2392 TEL.0284-41-3825
- 大車輪業 R/R**
〒327-30317 安曇野市大田原2884 TEL.0283-62-3266

東京

- デルタオート モーティ P/R**
〒115-0052 北区赤塚3-15-11 TEL.03-3908-8453
- 機南島製作所 R/R**
〒120-0025 足立区千住南11-3 TEL.03-3882-7321
- S.P. R/R**
〒132-0014 江戸川区東葛2-57 TEL.03-3678-8798
- 機北川モーターズ R/R R/R**
〒133-0052 江戸川区東小岩6-34-10 TEL.03-3657-3106
- 機エイシー R/R R/R**
〒152-0002 目黒区目黒2-4-3 TEL.03-3710-1379
- レーシングサービス・カワイ R/R**
〒157-0068 目黒区目黒3-1-12 TEL.03-3749-4040

岐阜

- 機ノースウィングJIC南店 R/R**
〒500-8369 岐阜市南中野町13-16 TEL.0582-72-8963
- 機ノースウィングJIC R/R**
〒502-0803 岐阜市土土居1-6-1 TEL.0582-94-4421
- 機エイシー R/R**
〒504-0073 岐阜市東町11-6 TEL.0583-21-3523
- 機山田山田 F3 R/R**
〒259-1332 美濃郡美濃町2-4 TEL.0463-67-5005

岐阜

- 機ノースウィングJIC南店 R/R**
〒500-8369 岐阜市南中野町13-16 TEL.0582-72-8963
- 機ノースウィングJIC R/R**
〒502-0803 岐阜市土土居1-6-1 TEL.0582-94-4421
- 機エイシー R/R**
〒504-0073 岐阜市東町11-6 TEL.0583-21-3523
- 機山田山田 F3 R/R**
〒259-1332 美濃郡美濃町2-4 TEL.0463-67-5005

三重

- 機ササキボートクラブ R/R**
〒510-0204 鈴鹿市南郷3-9-35 TEL.0593-86-5600
- 機ザ・バイク・イサカ R/R R/R**
〒510-0201 鈴鹿市南郷3-9-35 TEL.0593-83-3470

- 各店の主な取扱い車のカテゴリーをロードレースはR/R、トライアルはT/R記号で店名の右側に表示してあります。
- ここに掲載してある店名は99年12月現在のものです。
- HRC市販レーサー及びパーツはレース専用ですので一般公道での使用はできません。



株式会社 **ホンダレーシング**

〒351-0024 埼玉県朝霞市泉水3-15-1
営業ブロック直通
TEL.048-461-8781 FAX.048-469-0306

南YNMインターナショナル R/R
〒513-0825 鈴鹿市住吉町7265-17 TEL.0593-70-0090
南森脇エンジニアリング 玉垣工場 R/R
〒513-0316 鈴鹿市南玉垣6477-1 TEL.0593-82-4501
ポデクラフト2&4 R/R
〒513-0836 鈴鹿市国造町7678-23 TEL.0593-78-1362
南バトルファクトリー R/R
〒513-0824 鈴鹿市池田町2147-47 TEL.0593-70-0851
レーシングガレージ ニワ R/R T/R
〒513-0825 鈴鹿市住吉町宇石57722 TEL.0593-79-3343
南オートリンク R/R T/R
〒515-0039 松本市道生町564 TEL.0598-51-5322

京都
バイク工房岩城 R/R
〒600-8802 京都市下区中堂寺観音町18-11 TEL.075-822-0840
オートショップサカガチ R/R
〒603-8111 京都市中京区山本町21-14 TEL.075-492-4890
快ピバオート ナカムラ T/R
〒606-0015 京都市左京区京前橋本町1231 TEL.075-722-5670
快車夢 R/R
〒601-1251 京都市左京区八瀬花園1386-1 TEL.075-744-3131
モトマック R/R
〒611-0002 宇治市本橋東中26 TEL.0774-33-5454
快カスモーターサイクル R/R T/R
〒612-8474 京都市東山区下高野町西岡96 TEL.075-622-0225
快久保村モーターズ R/R
〒615-0807 京都市東山区西京東丸太町2-1 TEL.075-314-15611
ホンダウィング カヤマ R/R
〒620-0061 福知山市河内町190-2 TEL.0773-23-7331
快龍岡トライアルランド T/R
〒611-0255 京都市東山区西宮西谷大塚14 TEL.07712-6-3377
石原自動車商会 R/R
〒624-0945 舞鶴市青島寺982-3 TEL.0773-76-7379

大阪
モトスポーツ グラッド T/R
〒537-0012 東成区大今草3-15-25 TEL.06-6971-6381
快長屋モーターズ R/R
〒558-0002 大阪市住吉区長屋西2-11-14 TEL.06-6693-6278
TECHNICAL SHOP GOLD WING R/R
〒585-0035 南河内郡岸町東宮53-1 TEL.0721-63-8041
レーシングワールド R/R
〒566-0073 摂津市馬場町2-8-5 TEL.0726-53-0298

快ニューホンダバルス R/R
〒569-0013 高槻市野田2-4-6 TEL.0726-73-2522
オーヴラレーシングサービス R/R
〒569-0841 高槻市西園北1-11 TEL.0726-78-6770
御殿山二輪サービス R/R
〒573-1188 枚方市島北38-6 TEL.0720-40-1617
信ばわあくらふ R/R T/R
〒574-0025 大東市御船37-17-37 TEL.0720-72-2141
ライダーズ・スクエア・ゲイズ R/R T/R
〒577-0801 東大阪市小坂2-14-13 TEL.06-6783-7250
快キタコ R/R
〒577-0045 東大阪市西成東3-1-38 TEL.06-6783-5311
オートマック R/R
〒577-0016 東大阪市西成3-1-38 TEL.06-6783-5311
快スーパーモンキー R/R
〒579-0633 東大阪市西玉元町2-8-27 TEL.0729-64-3177
快モータースポーツ ミスターヒロ R/R
〒580-0012 松本市立部2-415 TEL.0723-36-1550
ベストスポーツ R/R
〒581-0837 八尾市緑ヶ丘5-8-11 TEL.0729-96-0822
モトブレジャー R/R
〒582-0008 柏原市古北3-7-6 TEL.0729-71-8818
快ルニー R/R
〒596-8251 堺市平井町26-2 TEL.0722-77-1950
快日本ビート工業 R/R
〒591-8014 堺市八丁下3-33 TEL.0722-57-7600
南月ホールレーシング R/R
〒597-0102 貝塚市本橋2406-1 TEL.0724-47-1034

兵庫
快ホンダブリザズすらん台 R/R
〒651-1131 神戸市東区北五雲5-13-1 TEL.078-592-5388
ホンダオート・ファミリー-SANDA店 R/R
〒669-1535 三田市南町5-23-23 TEL.0795-62-3534
スポーツコーナーマツモト R/R T/R
〒663-8013 西宮市門田町2-10 TEL.0798-63-0106
快ビーライン R/R
〒669-0823 尼崎市大船町1-1-15 TEL.06-6401-1011
イシモーターサイクル R/R
〒662-0696 西宮市上・原6番町2-45 TEL.0798-52-2094
快ユエエーエー R/R
〒663-8114 西宮市甲子園3-1-4 TEL.0798-46-1000
オートバイ屋 T/R
〒664-0001 伊丹市菅野長野56-1 TEL.0727-83-6097

BITO R&D R/R
〒668-0822 豊岡市美野野之内149-1 TEL.0796-27-0429
バイクショップ エホム R/R
〒651-2412 神戸市東区船場6-9-8 TEL.078-967-3164
スーパープライベートR2 R/R
〒675-0000 加古川市加古川南町2-1-16 TEL.0794-21-0036
モトビト フジワラ R/R
〒675-0161 加古川市御影町深瀬1-114 TEL.078-949-0119
パワーサービス イマズ R/R
〒675-0024 加古川市上野町5517 TEL.0794-24-2440
南大橋ホンダ R/R
〒678-0233 赤穂市加屋町中4-19 TEL.07914-2-2541

奈良
シマ エンタープライズ T/R
〒630-9452 奈良市北之庄西町14-6 TEL.0742-50-1077
岡山
木村商会 R/R
〒701-1351 岡山市門前350-3 TEL.08628-7-2351
快龍海モーター R/R
〒704-8181 岡山市蓬萊757 TEL.08694-2-3617
快バックス R/R
〒708-0013 津山市二宮662 TEL.0868-28-3191
南ホンダウィング カドヤ T/R
〒708-0872 津山市平城2-7 TEL.0868-28-4600
X-LANDオガサワラ R/R
〒708-0824 津山市河原44-4 TEL.0868-23-1010

鳥取
HIRO SPORTS T/R
〒689-0325 鳥取県鳥取市今市18-5 TEL.0857-84-2158
広島
ホンダオート山田 R/R
〒720-0077 福山市南本庄4-2-8 TEL.0849-22-0689
快バイクステーション尾道 R/R
〒729-0141 尾道市高瀬町5129 TEL.0848-47-0819
南ホンダスポーツ ステージワン R/R
〒730-0814 広島市中区湯田町10-2 TEL.082-242-8191
南ホンダウィング ワタリ R/R
〒731-0136 広島市安芸区長尾町132-5 TEL.082-237-4511
南サガミ輪業 R/R
〒731-0137 広島市安芸区山本1-16-17 TEL.082-874-7350

快ホンダクリオ広島 R/R
〒733-0053 広島市西区南廣町6-15-3 TEL.082-295-1051
快バイクワールドエルフ R/R
〒736-0044 安芸郡基田町南河川1-16 TEL.082-823-3247
単車屋 T/R
〒737-0001 呉市阿賀北6-3-7 TEL.0823-72-7088
バイクハウス てらそ R/R
〒728-0006 三次市島敷町945-1 TEL.08246-2-1715

山口
ホンダウィングR-2 T/R
〒741-0082 岩国市川西4-1-100 TEL.0827-43-5355
ケイケイ輪業 R/R
〒759-0206 宇布市大字東郷2690-4 TEL.0836-41-8149
徳島
南門ホンダ二輪 T/R
〒772-0003 徳島市徳島南浜字田59-1 TEL.0886-86-3588

愛媛
松本M/Cショップ R/R
〒790-0966 松山市上花町3-1-12 TEL.0899-33-2507
福岡
快オートサロン松永 R/R
〒813-0004 福岡市東区松永1-23-14 TEL.092-661-1638
ホンダショップ タジマ R/R
〒815-0073 福岡市南区大池1-9-6 TEL.092-511-3931
グランドオート ヨシムラ R/R
〒816-0844 春日市上白土150-1 TEL.092-591-2155
ホンダショップなかの屋 R/R
〒839-0841 久留米市柳井橋町1-12-8 TEL.0942-45-6650

大分
ホンダショップ大分 R/R T/R
〒870-0827 大分市下野字幸字1544-1 TEL.0975-69-5559
甲斐商会南 R/R
〒870-0025 大分市御橋町1-13-15 TEL.097-532-0656
オートスポーツJUN R/R
〒876-0835 佐伯市御門町3-1-3 TEL.0972-23-7703

宮崎
南モトショップウィリー R/R T/R
〒680-0043 宮崎市大字上北方24-1 TEL.0985-27-7785

ホンダ二輪ディストリビューター 一覧

99年12月現在

| | |
|---|---|
| 快ホンダ二輪東日本・本社 〒120-0046 東京都足立区小台1-18-3 TEL.03-3879-5111 | 京都 ホンダ カブ 販売 快 〒602-0093 京都府京都市上京区大宮寺之内4-27目中之町495-1 TEL.075-431-2101 |
| 加 瀬 ホンダ 販売 快 〒289-2504 千葉県旭市2-1725 TEL.0479-63-1511 | 和 歌 山 ホンダ 販売 快 〒567-0054 和歌山県和歌山市塩屋4-3-36 TEL.0734-45-5000 |
| 茨 城 ホンダ 販売 快 〒308-0841 茨城県下野市二木成24 TEL.0296-24-5305 | 淡 路 ホンダ 販売 快 〒656-0014 兵庫県本市桑間534-1 TEL.0799-23-1701 |
| 河 原 井 ホンダ 販売 快 〒372-0801 群馬県伊勢崎市宮子町3034 TEL.0270-21-0211 | 播 州 ホンダ 販売 快 〒677-0043 兵庫県西脇市下戸田字669-7 TEL.0795-22-3376 |
| 山 梨 ホンダ 販売 快 〒400-0043 山梨県甲府市国母6-3-13 TEL.0552-26-3636 | ホ ン ダ 上 田 販売 快 〒672-8040 兵庫県姫路市兵庫区野田町126 TEL.0792-84-1818 |
| 快 サ ス ナ カ 〒394-0034 長野県岡谷市湖町1-11-15 TEL.0266-22-7161 | 快 山 科 ホンダ 〒668-0045 兵庫県豊岡市城南町20-19 TEL.07962-4-4008 |
| 快 ホンダ 東 海 〒430-0803 静岡県浜松市緑橋町1490-1 TEL.053-454-0111 | 泉 屋 商 事 快 〒780-0834 高知県高知市境町9-19 TEL.0888-23-0111 |
| 北日本ホンダ販売快・本社 〒062-0051 北海道札幌市豊平区月寒東1条17-5-20 TEL.011-854-8571 | 西 京 ホンダ 販売 快 〒816-0097 福岡県福岡市博多区半道橋2-7-70 TEL.092-473-6811 |
| 快 ホンダ モーター 金ヶ崎 商会 〒047-0021 北海道小樽市入船1-6-19 TEL.0134-24-1375 | 快 飯 塚 ホンダ 〒820-0067 福岡県飯塚市大字川津21-1 TEL.0948-24-1101 |
| 快 ホンダ 道 北 〒079-8412 北海道旭川市永山2条12-1-21 TEL.0166-47-1591 | 村 上 ホンダ 販売 快 〒851-0134 長崎県長崎市田中町581-3 TEL.0958-37-8421 |
| 快 ホンダ モーター 北 〒080-2462 北海道帯広市西22条北1-2-13 TEL.0155-37-5211 | (株) 阿 部 輪 業 商 会 〒882-0055 宮崎県延岡市山下町3-12-12 TEL.0962-33-4681 |
| 快 米 沢 ホンダ 商会 〒992-0011 山形県米沢市田中町総合卸売センター内 TEL.0238-37-5055 | 快 部 ホンダ 奄 美 〒894-0036 鹿児島県名瀬市長浜町4-1松元ビルF TEL.0997-53-3314 |
| 快ホンダ二輪中部 〒480-1115 愛知県豊田郡久手町高瀬池301 TEL.0561-63-1511 | 快 桑 原 モーターズ 〒745-0845 山口県徳山市河東町9-10 TEL.0834-31-5000 |
| 快ホンダ二輪西日本・本社 〒567-0036 大阪府茨木市上穂橋1-3-56 TEL.0726-21-3355 | 快 沖 縄 ホンダ 販売 快 〒901-2103 沖縄県浦添市字仲間1506 TEL.098-877-2558 |
| 三 重 スーパーカブ 販売 快 〒515-0813 三重県松阪市大塚町381-1 TEL.0598-51-5111 | |

HRC情報

VTR1000SP-1
ロードレース用ベースマシン 2000年2月発売予定
販売価格 110万円
仕様: HRC装着パーツ 1.排気系(EXパイプ&カーボンサイレンサー)
2.専用エンジンコントロールユニット
3.専用ワイヤハーネス

HRC市販レーサー
2001年モデルは2000年7月発表予定。
発表時期が来たら、上記販売店・ディストリビューターにお問い合わせ下さい。

NSR Mini・NS50R 予約開始
予約期間:平成12年3月~4月末 販売価格:NSR Mini 265,000円
発売時期:平成12年8月 :NS50R 198,000円

HRC販売商品ご案内
車種: NSR500V・RS250R・RS125R・NSR150・NSR Mini・NS50R・
VTR1000SP-1 (レースベースマシン)・RTL250R
KIT: RVF/RC45・VTR1000SP-1・CBR600F・NSR250・
CBR400RR・Dream50・XR400R/600R
詳細はHRCホームページでどうぞ アドレス: <http://www.honda.co.jp/HRC>

頂点への予感。



**YZR250の技術をフィードバック。
All New エンジンで5馬力UP!**

2000 MODEL **TZ250** メーカー希望小売価格 ¥1,850,000

YZR250の技術を随所に反映させた新設計ハイパワーエンジンを搭載。砂型クランクケースを採用し、ボア×ストロークもYZR250と同様の54mm×54.5mm。回転全域に渡ってパワーを向上させ、コーナー立ち上がりのトラクション性、加速性能がアップ。また、ダクトレイアウトを変更することによって優れた吸入効率を実現する軽量フレーム。サスペンションの仕様変更、細部の熟成等によって「最速の市販レーサー」と呼ぶに相応しいスペックを手に入れた。



総合的な熟成でポテンシャル向上!

2000 MODEL **TZ125** メーカー希望小売価格 ¥998,000

シリンダーの主掃気ポート、補助掃気ポートの形状変更。エキゾーストパイプのストレート化。リアフレームの軽量化。フロントタイヤサイズの変更。その他、数多くのパーツに仕様変更を加え、従来モデルの優れた特性を生かし、細部の熟成を図ることでポテンシャルを一層高めた。

GPロードレースで活躍するファクトリーマシンYZR250。その技術をダイレクトに反映させ、高次元な戦闘力を具現化させたNEW「YZR250」。新設計エンジン・軽量フレーム採用などでその性能はまさしく「最速の市販ロードレーサー」。「TZ125」も従来の優れた特性を継承しつつ、細部の熟成を図りポテンシャルを二層向上。

バイクにフレンドシップ
見られるためのライトオン

ヤマハは、いま、大人の週末バイクライフを応援しています。
週末はバイク人

カタログ請求はこちら
このカタログは、ご購入の意思を、性別・氏名・年齢・職業を明記し、郵送料として郵便切手100円分を同封の上、下記へお申し込みください。
〒430-8501 静岡県静岡市駿河区東2500 ヤマハ発動機(株) 広報室宛てメールマガジン係宛
さらに詳しい情報が満載のホームページ
<http://www.yamaha-motor.co.jp/mc/register/1100/>
ヤマハモーターサイクルに関するお問い合わせは下記へ
お客様相談室 ☎0120-090-819



Get the Top **YAMAHA** the World.

※走行写真はYZR250です。

●価格には同梱パーツも含まれます。写真は参考のためにカラーリングしてあります。 ※改良のため、製品の仕様は予告なく変更する場合があります。
●価格は全てメーカー希望小売価格（北海道・沖縄および一部地域を除く） ●価格は参考価格です。 ●消費税は別途計算のうえ申し受けます。
●詳しくは販売店にお問い合わせください。

●TZ250/TZ125は、運輸省の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。●TZ250/TZ125は、道路を走行しますと、道路交通法及び道路運送車両法の違反となります。●私道、社寺の場合、公園、海辺、堤防上、農道、林道など、いわゆる道路の形態を整えていないところでも人や車が自由に入出入りできる場所は、道路とみなされます。走行場所には十分注意してください。

インターネットホームページ <http://www.yamaha-motor.co.jp/>



YAMAHA

ヤマハ発動機販売株式会社

〒430-7721 静岡県浜松市東区111-2 浜松アクトタワー2F

国内、そして海外で、多くの栄冠と感動を生み出したYZ。
これからも新たな伝説が築かれることだろう。
2000スペックYZ。

1999 AMA SUPERCROSS SERIES

2年連続！6度目の快挙

250cc Class - SERIES CHAMPION

Jeremy McGrath

シーズン初参戦でチャンピオン獲得！

125cc Class - EAST REGION CHAMPION

Ernesto Fonseca

世界がその誕生を待っていた。



2000
Spec-YZ

YZ250 メーカー希望小売価格
¥589,000

2000
Spec-YZ

YZ125 メーカー希望小売価格
¥479,000

ファーストステップオフロードスクール

新たなオフロードワールドを楽しむためのスクールです。

まずは体験することから始めましょう。林道ツーリング、エンデュロそしてモトクロスへ、国際A級インストラクターが親切に講習。レンタル車両も準備していますので、未経験者でも安心。

モトクロステクニカルトレーニング

モトクロスレースで勝つためのノウハウを伝授！

ワンランク上の走りを、光安 鉄美、川崎 智之、田淵 武 等がメイン講師でアドバイス。スクール参加者のクラス、レベルに合わせて実施します。A級テクニックをマスターするチャンスです。

※詳しくは別途ご案内致します。

バイクにフレンドシップ
見られるためのライトオン



BIKE NATURALIST
河原・高杉・山形に本社があります。
走行場前、走行方法には
十分気を付けて走りましょう。

カタログをもらう方

ご希望の機種名・ご希望の雑誌名・住所・氏名・年齢・職業
を明記し、郵送料として郵便切手160円分を同封の上、
下記へお申し込みください。

〒430-8501静岡県掛川市青島2500
ヤマハ発動機(株)広報営業係グループカタログ係宛

さらに詳しい情報が満載のホームページ

<http://www.yamaha-motor.co.jp/mc/dragstar1100/>

ヤマハモーターサイクルに関するお問い合わせは下記へ。

お客様相談室 ☎0120-090-819

ご声援ありがとうございました。

Thanks for your cheering



1999
Andrea Bartolini
with Yamaha YZ400F

We've got the **No.1**

500cc Motocross World Championship '99

YAMAHA 4 Stroke Power

Congratulation

Andrea BARTOLINI



NEW
YZ426

メーカー希望小売価格

¥654,000

(MFJ MXレース音量レギュレーション対応サイレンサー、サイドカバー右を同梱)



アンドレア・バルトリーニ1999年
500ccモトクロス世界選手権総合優勝!!
同時にYAMAHAがメーカーチャンピオンを獲得しました。



NEW
WR400

メーカー希望小売価格

¥654,000

※価格には同梱パーツも含まれます。写真は参考のためにカラーリングしてあります。 ※改良のため、製品の仕様は予告なく変更する場合があります。
●価格は全てメーカー希望小売価格（北海道・沖縄および一部地域を除く） ●価格は参考価格です。 ●消費税は別途計算のうえ申し受けます。
●詳しくは販売店にお問い合わせください。

●YZ250/YZ125/YZ426F/WR400Fは、運輸省の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。 ●YZ250/YZ125/YZ426F/WR400Fは、道路を走行しますと、道路交通法及び道路運送車両法の違反となります。 ●私道、社寺の場合、公園、海辺、堤防上、農道、林道など、いわゆる道路の形態を整えていないところでも人や車が自由に入出入りできる場所は、道路とみなされます。走行場所には十分注意してください。

インターネットホームページ <http://www.yamaha-motor.co.jp/>



YAMAHA

ヤマハ発動機販売株式会社

〒430-7721 静岡県浜松市浜名区1112 浜松アクトウ-21F

WAKO'S

月進日

WAKO'Sは選手達とともに進化し続けています。



'99全日本ロードレース

'99鈴鹿4時間耐久レース

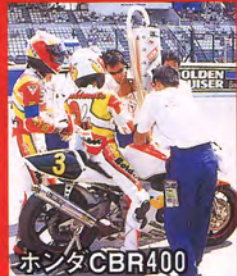


SP400・1位・2位・3位



SP250・1位・2位・3位

ヤマハYZR250



ホンダCBR400

'99もてぎ7時間耐久レース



ヤマハYZF-R1



ホンダRVF750 & CBR600



ホンダCBR1100XX

その他イベントレース、多彩な車種で使用



ヤマハYZF-R6



ヤマハSZR660



ヤマハXJR1300



ホンダCB1100F

歩

'99地方選手権チャンピオン



筑波IN-NK岸選手



TI SP250 寺本選手



鈴鹿ST250 内藤選手



鈴鹿NK4 向山選手

'99全日本モトクロス



'99全日本モトクロス
国際A級125ランキング8位
YOU SPORT川島雄一郎選手



'99全日本モトクロス
国際A級250ランキング5位
モトハウスレーシング元木龍幸選手

4-STROKE ENGINE OIL

2-STROKE ENGINE OIL

BRAKE FLUID



WR-S
液体潤滑を徹底的に追求し、ベースオイルにこだわりの熱安定性に強く、過酷な条件下こそその真価を発揮するレーシング&チューンドマシン専用オイル。
10W-30・20W-50
100%化学合成油
2L/7,000円



4CR
2輪、4輪を問わずストリートからサーキット仕様まで適用する、高性能ガソリンエンジンオイル。特に高速走行(サーキット走行、レース等)で真価を発揮する。
5W-40・15W-50
100%化学合成油
1L/2,800円



4CT
2輪、4輪を問わずストリートからサーキット仕様まで適用する、高性能ガソリンエンジンオイル。特にストリート(連続走行、ツーリング等)で真価を発揮する。
10W-40・15W-50
半化学合成油
1L/1,900円



RV-R
混合専用。高價にチューニングされたエンジン、レーシングエンジン用オイル。高い潤滑性能を持ちながらスラッジ発生を抑え、無鉛ハイオク仕様のロードレースで真価を発揮する。
化学合成油+変性植物油
1L/3,800円



2CRV-R
混合専用。高價にチューニングされたエンジン、レーシングエンジン用オイル。高い潤滑性能を持ちながらカーボン発生を抑え、特にモトクロス等で真価を発揮する。
化学合成油+変性植物油
500ml/2,200円



2CR
混合専用。ミニバイクからモトクロス、カート(ストッククラス)等、あらゆる車両に適用するレーシングオイル。特にST250・ミニバイク・小排気量のSPで真価を発揮する。
100%化学合成油
500ml/1,800円



SP-R
制動力の高性能とは何かを徹底追求し、手戻り優先・効率的な構造を再構築したブレーキフルード。連続のハードブレーキング時でもグッドタッチを維持する。(公道使用可)
スーパーレーシングブレーキフルード
500ml/2,800円

株式会社 和光ケミカル
神奈川県小田原市前川16-2 TEL.0465-48-2211(代)

【営業所】東北 福島 新潟 群馬 栃木 茨城 埼玉 埼玉北 埼玉南
千葉 千葉南 東京 東京西 横浜 湘南 西湘 山梨 長野
静岡 浜松 岡崎 名古屋 岐阜 三重 大阪 大阪南 京都
【グループ】ワコーズ札幌 ワコーズ神戸 九州ワコーズ

◆MFJ組織について

FIM (国際モーターサイクリズム連盟)

世界81カ国 (1999年現在) が加盟し、モーターサイクリススポーツ全ての競技運営を統括している団体。

IOC (国際オリンピック連盟) からオリンピック競技団体として暫定認可され、将来モーターサイクリススポーツが正式にオリンピック競技種目になるよう、積極的に活動を行っている。

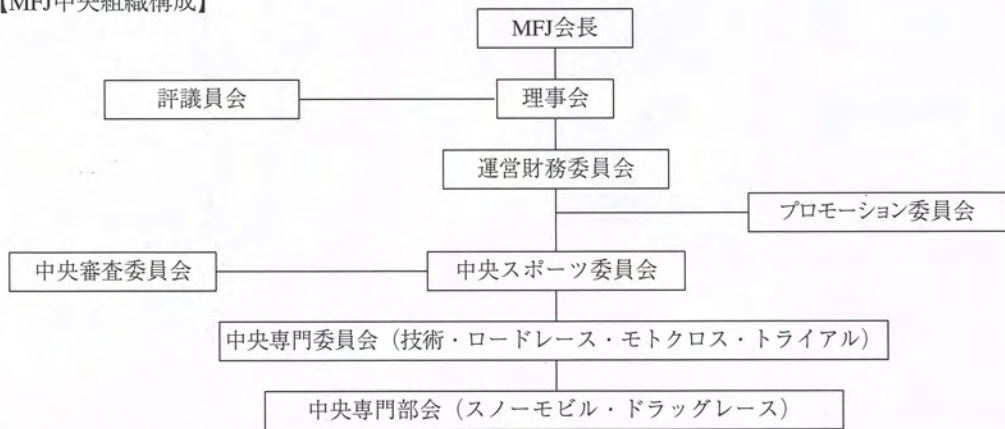
UAM (アジアモーターサイクルユニオン)

FIMが世界を6地域 (ヨーロッパ・北アメリカ・ラテンアメリカ・オセアニア・アフリカ・アジア) に分けて管理する為設けた地域別協会のアジア地域の協会で、アジア圏内のFIM加盟国16カ国で設立され、積極的に相互の交流を図り、アジア圏内におけるモーターサイクリススポーツの普及・発展をテーマに活動を行っている。

MFJ (財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会)

日本国内のモーターサイクリススポーツを統括する機関として1961年10月に創立されたFIMに連なる唯一の日本代表機関。'90年12月に文部省所管の財団法人となり、モーターサイクリススポーツの普及・発展を主な目的として多岐にわたる活動を行っている。

【MFJ中央組織構成】
















【MFJ地方組織】

| | | |
|-----------|----------|---|
| MFJ 本部 | MFJ北海道支部 | 〒011-0925 北海道札幌市北区新川5条20丁目1-20 新川地区工業団地内 電話 011-768-3988/FAX 011-768-4113 |
| | MFJ東北支部 | 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町3-3-10 宮城県交通会館内 電話 022-284-9484/FAX 022-239-8470 |
| | MFJ関東支部 | 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目43-5 アルス新大塚202号 電話 03-3971-0022/FAX 03-3971-9898 |
| | MFJ中部支部 | 〒466-0812 愛知県名古屋市昭和区八事富士見1603 電話 052-833-9676/FAX 052-835-0546 |
| | MFJ近畿支部 | 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 電話 06-6534-6422/FAX 06-6534-4847 |
| | MFJ中国支部 | 〒733-0036 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 電話 082-295-6994/FAX 082-295-2893 |
| | MFJ四国支部 | 〒791-8036 愛媛県松山市高岡町43 MCA四国内 電話 089-946-6527/FAX 089-946-6528 |
| | MFJ九州支部 | 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-11-9 メゾンド水巻1F-B MCA九州 電話 092-473-2616/FAX 092-415-4559 |

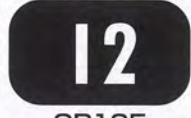



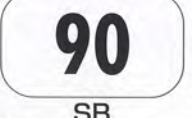
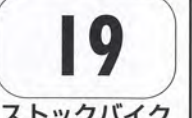

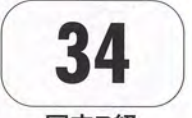




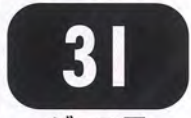
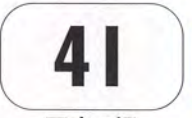








SIGNAL FLAGS

公式シグナル(シグナル旗およびシグナル)

| 旗の種類 | 旗の意味 | |
|---|--|---------------------------------|
| | ロードレース | モトクロス |
|  国旗 | レーススタート (通常シグナルで示す) | レーススタート (スターティングマシンで行う場合ある) |
|  黄旗 | 静止 危険予告・追い越し禁止 | 危険予告・減速 |
| | 振動 コース上(ランオフエリア含む)に危険がある。減速・停止準備・追い越し禁止 | 危険予告・徐行・停止準備・安全確認・追い越し禁止 |
|  白旗 | 静止 この先に介入車両がある。(追い越し禁止) | |
| | 振動 ひとつ先のポストまでの間に介入車両がある。(追い越し禁止) | |
|  ホストライプ付黄旗 | コース表面が滑りやすい状態 | |
|  緑旗 | コースはクリアである。予選などの一周目に提示される。黄旗が出されたあと次のポストで提示される。(追い越し禁止の解除) | |
|  赤旗 | レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さと注意を持ってそれぞれのピットに戻る。サーキットを閉鎖する場合にも用いる。 | 全ライダー停止 |
|  レットクロス旗 | ベスカー介入によるレースの非競技化(注意・減速・追い越し禁止) | |
|  黒旗十文字に白文字のサインボード 1 | 速やかにピットインしオフィシャルの指示に従う。(オイル漏れ等の場合は速やかに安全な場所に停止する) | サインボードで示された番号の競技車両は速やかにピットインする。 |
|  黒旗十文字に白文字の付されたサインボード PI | サインボードで示された番号の競技車両は、速やかにピットインし且停止のペナルティを受ける。 | |
|  オレンジボール/黒字地にオレンジの円(直径40cm)の旗 3 | 提示されたゼッケンナンバーのライダーに対して彼のマシンが、彼もしくは他のライダーに危険をおよぼすような問題に見舞われており、早急にコース上から退去しなければならない事を知らせるものである。 | |
|  青旗 | 静止 追い越しシグナル。1台またはそれ以上のスピードの速いマシンが追い越そうとしている。 | |
| | 振動 追い越される直前 | 警告、ラップされようとしている。 |
|  チェッカー旗 | レース終了 | レース終了 |
|  青旗+チェッカー | ・トップライダーはゴール ・トップライダーの直前を走るライダーはゴールではない。 | |

レースナンバープレート

(ナンバープレート色見本)

| ロードレース | | タテ235×ヨコ285mm | | |
|--|--|---|---------------|--|
|  |  |  | | |
| GP125 | GP250 | SP | | |
|  |  |  | | |
| SB耐久 | SB | ストックバイク | | |
| 注：タテ×ヨコの数字はナンバープレートの寸法。 数字の書体は、FIMの指定に基づくMFJの正規のものである。 | | | | |
| モトクロス | | タテ235×ヨコ285mm | | |
|  |  |  | | |
| ジュニア | 国内B級 | 国内A級 | | |
|  |  |  | | |
| 国際A級 (125cc) | 国際A級 (250cc) | 国際B級 | | |
| トライアル | | タテ150以上×ヨコ175mm以上 | | |
|  |  |  | | |
| ジュニア | 国内B級 | 国内A級 | | |
|  |  |  | | |
| 国際B級 | 国際A級 | 国際A級スーパークラス | | |
| ヘルメットのMFJ公認マーク | | | | |
| ロードレース・モトクロス特選 | | ロードレース用・モトクロス用 | トライアル用・ツーリング用 | |
|  |  |  | | |
| ※MFJ公認ヘルメットでMFJ公認マークが貼付されていないヘルメットは、特別検査料(1,000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。 | | | | |
| レーシングスーツのMFJ公認マーク | | | | |
|  | | | | |
| ※使用するレーシングスーツには、MFJ公認マークが付いていなければならない。 | | | | |



MICHELIN



このタイヤで勝てないとは言わせない。

FRONT

REAR



NEW

Pilot RACE

誰よりも深くコーナーにつっこみ、誰よりも早くアクセルを開ける。

WGP500においてM・ドゥーハンの5連覇を支えたテクノロジーがここに凝縮。

もう勝てないとは言わせない。パイロットレース 新登場。

RADIAL DELTA



特許「ラジアルデルタ」構造
0°ベルトと2枚の45°クロスプライで形成される
独自の△(デルタ)型構造。
世界の頂点に立つグリップとトラクション性能を受け継いだ。

<http://www.michelin.co.jp/>

MFJ

国内競技規則書

2000年度版

CONTENTS

| | |
|----------------------------|-----|
| MFJ組織 | 18 |
| 信号旗／レースナンバープレート・ライセンス識別カラー | 19 |
| MFJ国内競技規則 | 21 |
| ROADRACE | |
| 細則 1 ロードレース競技細則 | 46 |
| 細則 2 2000年全日本選手権大会特別規則 | 63 |
| 細則 3 2000年エリア選手権大会特別規則 | 71 |
| MOTOCROSS | |
| 細則 4 モトクロス競技細則 | 90 |
| 細則 5 2000年全日本選手権大会特別規則 | 98 |
| TRIAL | |
| 細則 6 トライアル競技細則 | 110 |
| 細則 7 2000年全日本選手権大会特別規則 | 120 |
| DRAGRACE | |
| 細則 8 ドラッグレース競技細則 | 127 |
| 細則 9 2000年全日本選手権大会特別規則 | 135 |
| TECHNICAL RULES | |
| MFJ技術規則 | 144 |
| 基本仕様〈ロードレース〉 | 149 |
| 基本仕様〈モトクロス〉 | 158 |
| 基本仕様〈トライアル〉 | 164 |
| 全日本・エリア選手権ロードレース技術仕様 | 169 |
| FIM技術仕様〈モトクロス・トライアル〉 | 184 |
| SPクラスの仕様 | 186 |
| 耐久レースの追加仕様 | 192 |
| 国内GPクラスの仕様 | 194 |
| 国内モトクロスの仕様 | 198 |
| 国内トライアルの仕様 | 205 |
| ロードレースジュニアクラスの仕様 | 207 |
| ドラッグレースの仕様 | 211 |
| ミニバイクの仕様 | 219 |
| ストックバイククラスの仕様 | 222 |
| SUPPLEMENT | |
| 細則 10 MFJライセンス昇格・降格に関する規則 | 231 |
| 細則 11 MFJ公認クラブ等の名称に関する規程 | 238 |
| 共済会制度 | 240 |
| MFJ公認車両・部品・用品 | 246 |
| 全国公認サーキット | 257 |
| 歴代チャンピオンリスト | 260 |
| ピットクルーに関する指導要項 | 264 |

2000年1月1日発行
ライディング臨時増刊・通巻364号

財団法人 **日本モーターサイクルスポーツ協会**

〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F ☎03(5565)0900 FAX03(5565)0907

■発行所：財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会

■編集：亜玄(株)ライディング編集部 ■印刷：河和田屋印刷(株)

国内競技規則

ロードレース

モトクロス

トライアル

ドラッグレース

技術規則

付録

2000

MFJ国内競技規則

▼第1章 総 則

- 1. モーターサイクルスポーツの国内的統括23
- 2. 公認競技会、承認競技会の格式および種目23
- 3. 大会特別規則ならびに公式通知24

▼第2章 競技ライセンス

- 4. 競技ライセンスとその種目25
- 5. 競技ライセンスの取得資格26
- 6. 競技ライセンスの有効期間28
- 7. 競技ライセンスの効力の失効等28
- 8. 競技ライセンス資格の昇格および降格28

▼第3章 競技会

- 9. 競技参加者29
- 10. 競技参加者の遵守事項29
- 11. ライダーの装備(MFJ公認ヘルメット及びレーシングスーツ)30
- 12. 出場車両31

- 13. MFJ公認車両および公認部品・用品31
- 14. 燃料およびオイル31
- 15. 競技出場申し込み31
- 16. 出場料および共済会掛金(保険料)32
- 17. ライターおよび車両の変更32
- 18. 車両検査32
- 19. 競 技32
- 20. 優勝者等の決定33
- 21. 賞 典33
- 22. レース後車両検査33
- 23. 競技結果および記録の公表33
- 24. 公式得点(ポイント)33
- 25. 競技会の延期および中止等34
- 26. 損害に対する責任35
- 27. 抗 議35
- 28. 控 訴 権36
- 29. 違反行為に対する罰則36
- 30. 大会審査委員会の権限36

本国内競技規則は、国際モーターサイクリズム連盟 (Fédération Internationale Motocyclisme : 略称FIM)の国際スポーツ憲章、FIM競技規則に基づいて作成され、日本国内のモーターサイクル・スポーツ規則の一部として発行する。本国内競技規則は、総則と細則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は細則に示される。

第1章

総則

1 モーターサイクルスポーツの国内的統括

- 1) この規則は、わが国のモーターサイクルスポーツの国内管理並びにこれの普及振興、競技の安全、公正および秩序を保持することを目的とする。
- 2) 財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下「MFJ」という）は、国際モーターサイクリズム連盟（Fédération Internationale Motocyclisme以下「FIM」という）の日本における代表機関として、国際スポーツ憲章、FIM競技規則に準拠してこの規則を制定する。
- 3) モーターサイクルスポーツに参画するすべての者は、スポーツマンとしての誇りを堅持し、本国内競技規則ならびに特別規則等を遵守する等、善良なる市民でなければならない。
- 4) この規則は、MFJの主催またはMFJの公認する競技会に適用され、各競技種目の細部については、別に定めるそれぞれの細則による。また公認競技会以外の競技会（以下「承認競技会」という）についても準用される。
- 5) 個々の競技会における判定および競技規約全般の解釈は、本規則に基づいて当該大会審査委員会が行い、これを最終的なものとする。

また競技会において疑義が生じた場合、本規則に規定されていない事項はFIM国際スポーツ憲章、FIM競技規則およびその趣旨により判定する。

2 公認競技会、承認競技会の格式および種目

1) 公認競技会の格式

(1) 国内格式競技会

国内格式競技会は、MFJライセンス所持者のみが参加することができ、この競技会運営にはMFJ国内競技規則が適用される。

(2) 国際格式競技会

国際格式競技会は、各国モーターサイクル協会（以下「FMN」という）が発行するFIM国際ライセンスを所持するFMNライダーが参加することができ、この競技会にはFIM競技規則が適用される。

2) 格式の内訳およびその優先順位は、下記のとおりとする。

| 公 認 競 技 会 | | | |
|-----------|------------------------|------|-----------|
| 優先順位 | 国 際 格 式 | 優先順位 | 国 内 格 式 |
| 1 | 世界選手権競技会（FIMカップ含む） | 6 | 全日本選手権競技会 |
| 2 | 国際選手権競技会 （アジア選手権含む） | 7 | 特別競技会 |
| 3 | 日本（MFJ）グランプリ | 8 | エリア選手権競技会 |
| 4 | 全日本選手権（インターナショナル） | 9 | 地方選手権競技会 |
| 5 | 国際競技会 | 10 | 県選手権競技会 |
| | | 11 | その他公認競技会 |
| | | 12 | 承認競技会 |

3) 公認競技会の種目

公認競技会の種目は次のとおりとする。

- (1) ロードレース (5) ドラッグレース
- (2) モトクロス (6) エンデューロ
- (3) トライアル (7) その他MFJ中央スポーツ委員会で認める競技
- (4) スノーモビル

4) 承認競技会の種目は、競技会の格式が銘柄競技会およびそれ以外の競技会で次のとおりとする。

- (1) ロードレース (5) エンデューロ
- (2) モトクロス (6) ミニバイクレース
- (3) トライアル (7) その他MFJ中央スポーツ委員会で認める競技
- (4) スノーモビル

3 大会特別規則ならびに公式通知

1) 競技会は、本規則および各種目別細則に基づいて行われるほか、競技会の運営、競技の細部および指示は、大会ごとの特別規則、公示または公式通知によって行われる。

2) 大会特別規則および公式通知は、競技会主催者（以下「主催者」という）が制定または発行する。

(1) 大会特別規則には次の各項が示される。

- ① 競技会の名称・格式
- ② 競技会の組織
- ③ 主催者の名称、所在地および連絡先
- ④ 開催日時・場所
- ⑤ 競技の種目および内容
- ⑥ 参加資格
- ⑦ 出場申し込み受け場所
- ⑧ 出場申し込み期間
- ⑨ 出場料と共済会掛金
- ⑩ 出走者の定員
- ⑪ 賞およびその詳細
- ⑫ その他

3) 大会特別規則に規定し得なかった競技会運営の細部にわたる規則および大会特別規則発表後に生じた問題を処理するため、主催者は参加者に対し、公式通知をもって指示することができる。

ただし、その内容は大会特別規則およびMFJ国内競技規則に反するものであってはならない。

第2章

ライセンス

4 競技ライセンスとその種目

- 1) ライセンスには、競技ライセンス、Lライセンスおよびピットクルーライセンスとがあり、競技ライセンスは公認競技会に、Lライセンスは承認競技会に参加するために必要な証書である。
- 2) 競技ライセンスの種目と競技会の参加区分は、次のとおりとする。

●競技ライセンス別の種目

| ロードレース | | モトクロス/トライアル | | スノーモビル | |
|--------|---------|-------------|------|---------|------|
| クラス | 国際 | クラス | 国際A級 | クラス | A級 |
| | 国内 | | 国際B級 | | B級 |
| | フレッシュマン | | 国内A級 | | ジュニア |
| | ジュニア | | 国内B級 | | |
| | ジュニア | | | | |
| | PC | | | | |
| | | | | ドラッグレース | |
| | | | | クラス | A級 |
| | | | | | B級 |

●競技ライセンス別の参加できる競技会

| 参加できる種目 | 取得しているライセンス | 競技ライセンス | | | | | | |
|---------|-------------------------------|-------------|------------|------------|-------------|--------------|-------------|--------|
| | | ロードレースライセンス | モトクロスライセンス | トライアルライセンス | スノーモビルライセンス | ドラッグレースライセンス | エンデューロライセンス | Lライセンス |
| 公認競技会 | ロードレース | ○ | — | — | — | — | — | — |
| | モトクロス | — | ○ | — | — | — | — | — |
| | トライアル | — | — | ○ | — | — | — | — |
| | スノーモビル | — | — | — | ○ | — | — | — |
| | ドラッグレース | — | — | — | — | ○ | — | — |
| | エンデューロ | — | — | — | — | — | ○ | — |
| 承認競技会 | ロードレース | ○ | — | — | — | — | — | — |
| | モトクロス | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | トライアル | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | エンデューロ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | ミニバイク | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | スノーモビル | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | その他MFJS スポーツ委員会の 認める競技会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※運転免許を受けているピットクルーライセンス（ライセンスにAと表記されているもの）所持者に限り、ライダーとして承認競技会に参加できる（Lライセンスと同じ）

2000年ロードレースライセンス区分

| ライセンス区分 | 参加可能格式 |
|------------------------|---|
| 国際ライセンス (インターナショナル) | 世界選手権 (参加資格は別途定める) 国際選手権 (参加資格は別途定める) 国内で行われるインターナショナル競技会 全日本選手権 (参加資格は別途定める) エリア選手権 その他承認・公認競技会 |
| 国内ライセンス (ナショナル) | エリア選手権/地方選手権 地方大会/その他承認・公認競技会 |
| フレッシュマン | 地方選手権/地方大会 |
| ジュニア | その他承認・公認競技会 |

3) FIMライセンス (MFJを経由して取得)

国内・国外における世界選手権競技会、国際競技会に参加することのできるライセンスの区分は、次のとおりである。

| 種目 | 競技会 | 必要なライセンス | | 申請資格 |
|--------|---------------------------|--|------------------------------------|--|
| | | シリーズ参加の場合 | 1大会のみ参加 (国外でも使用可) | |
| ロードレース | 世界選手権GP (グランプリ) | 世界選手権GP用年間ライセンス | 世界選手権GP用1大会ライセンス | ロードレース国際ライセンス所持者 最低年齢 ・125cc=15歳 ・250cc=16歳 ・スーパーバイク、500ccその他=18歳 |
| | スーパーバイク世界選手権 | SB世界選手権用年間ライセンス | SB世界選手権用1大会ライセンス | |
| | 世界耐久選手権 | 世界耐久選手権用年間ライセンス | 世界耐久選手権用1大会ライセンス | |
| | その他の国際競技会 | FIMインターナショナルライセンス年間用 | FIMインターナショナルライセンス1大会用 | |
| | アジア選手権 | アジア選手権用年間エントラントライセンス アジア選手権用年間ライダーライセンス | 1大会のみエントラントライセンス 1大会のみライダーライセンス | |
| モトクロス | 世界選手権GP (グランプリ) 及びスーパークロス | 世界選手権GP及びスーパークロス用年間ライセンス | 世界選手権GP及びスーパークロス用1大会ライセンス | モトクロス国際A級ライセンス所持者最低年齢 1 世界選手権用 ①125cc=15歳 ②250cc=16歳 ③その他=18歳 2 その他の競技会用 125cc、250cc=14歳 |
| | その他の国際競技会 | FIMインターナショナルライセンス年間用 | FIMインターナショナルライセンス1大会用 | |
| | アジア選手権 | ライダー用年間ライセンス | 1大会のみライダーライセンス | |
| トライアル | 世界選手権 | 世界選手権用年間ライセンス | 世界選手権用1大会ライセンス | トライアル国際A級ライセンス所持者 運転免許証を受けていること |
| | その他の国際競技会 | FIMインターナショナル年間用 | FIMインターナショナルライセンス1大会用 | |
| | アジア選手権 | ライダー用年間ライセンス | 1大会のみライダーライセンス | |
| エンデューロ | ISDE等 | ISDE用ライセンス | | MFJモトクロスライセンス所持者でスポーツ委員会にて実績を認められた者 |
| | アジア選手権 | ライダー用年間ライセンス | 1大会のみライダーライセンス | |
| ラリーレイド | ラリーレイド | ラリーライセンス | | |

海外での競技会への参加に関しては、事前にMFJに報告し、許可を得なければならない。(相手国協会に対しMFJより出場許可を文書で発行する)

5 競技ライセンスの取得資格

競技ライセンス取得申請を行う者は、次の要件を満たしていなければならない。

- 1) 日本にスポーツ国籍を有すること。
- 2) 日本にスポーツ国籍を有しない者は、日本国内に3ヶ月以上継続的に居住した期間を公的に証明できる書類を提出でき、かつ本人が所属する国のFMNの承諾書を受けていること。ただし、本人が所属する国のFMNからライセンスの発給を受けており、かつFMNからの移籍許可を得、MFJ中央スポーツ委員会が認めた場合は、3ヶ月の居住証明は不要とする。

MFJから他国協会（FMN）にスポーツ国籍を移籍した者は、当該年度内はMFJライセンスの再取得はできない。

3) 過去6ヶ月以内に重大な刑法上の犯罪により処罰された者でないこと。

4) 種目による条件

(1) モトクロス、トライアル、スノーモビル、エンデューロ、Lライセンス

- ① 運転免許（小型特殊免許を除く・以下同じ）を受けていること。
- ② 運転免許を受けていない者はMFJの公認する競技ライセンス講習会の修了証（発行後6ヶ月以内のものに限る・以下同じ）を受けていること。
- ③ 運転免許を受けることのできる身体的要件を備えていること。

(2) ロードレース

① 国内ライセンス

下記いずれかの要件を満たしていること。

- ① MFJの公認するロードレース国内ライセンス講習会の修了証を受けていること。
有効期間：受講日より6ヶ月
- ② MFJ国内公認以上のサーキットにおける3時間以上の走行証明書を受けていること（走行券や走行カードは不可）。
準国内公認サーキットにおける走行の場合は上記に加えて当該サーキットと所属MFJ地方支部の推薦を必要とする。
有効期間：発行日より1年間
- ③ フレッシュマンライセンスにて、公認・承認ロードレース大会に2回以上出走の実績があること。
準国内公認サーキットにおけるレースの場合は上記に加えて当該サーキットと所属MFJ地方支部の推薦を必要とする。
有効期間：前々年度（'98年1月1日以降）の大会より。
- ④ フレッシュマンライセンスにて、MFJ国内公認サーキット以上の施設で開催された公認・承認ロードレース大会にて下記の成績を得たもの。
準国内公認サーキットにおけるレースの場合は下記に加えて当該サーキットと所属MFJ地方支部の推薦を必要とする。
・予選出走台数が20台以上のレースで10位以内に入賞。
・予選出走台数が10台以上のレースで6位以内に入賞。
有効期間：前々年度（'98年1月1日以降）の大会より。

② フレッシュマンライセンス

下記いずれかの要件を満たしていること。

- ① MFJ国内公認以上の格式のサーキットにてサーキットライセンス講習会の修了証を受けていること。
 - ② MFJ準国内公認サーキットにてサーキットライセンス講習会の修了証を受けたものは上記に加えて当該サーキットと所属MFJ地方支部の推薦を必要とする。
 - ③ MFJの公認するフレッシュマンライセンス講習会を受講し修了証を得たもの。
 - ④ 満16歳以上で運転免許証を有しないものはMFJの公認するロードレースジュニアライセンス講習会を受講し修了証を受けていること。
- ③ ジュニアライセンス
- 満12歳以上16歳未満の者はMFJの公認するロードレースジュニアライセンス講習会を受講し修了証を受けていること。

(3) ドラッグレース

運転免許を受けており、下記要件を満たしていること。

MFJの公認するドラッグレース講習会を受講し修了証を受けていること。

(4) ピットクルー

16歳以上であること。

※本規則でいう「スポーツ国籍」とは競技参加者が最後にライセンスを交付されたFIM加盟の各国モーターサイクル協会「FMN」の国籍とする。

※ライセンス取得後の昇格については別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による。(231頁参照)

6 競技ライセンスの有効期間

1. MFJの発行するライセンスの有効期間は、交付された日から当該ライセンスに表示された年の12月31日までとする。
2. MFJライセンスは未更新期間がある場合、ライセンス区分が降格したり、再度走行証明を取得する等の条件が付される場合がある。詳細については別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による。(231頁参照)

7 競技ライセンスの効力の失効等

- 1) 次の者のライセンスの効力は失効し、または停止される。
 - (1) 日本のスポーツ国籍を失った者。
 - (2) 運転免許の効力を失った者、または停止されている者。
 - (3) 氏名・年令等を偽り、不正にライセンスを受けた者。
 - (4) 前条の有効期限を経過し、継続申請をしなかった者。
 - (5) MFJ中央審査委員会の裁定により、停止処分を受けた者(中央審査委員会の定める期間)。

8 競技ライセンス資格の昇格および降格

- 1) 競技ライセンスの昇格および降格については、別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による(231頁参照)。

第3章

競技会

9 競技参加者

1) MFJの公認または承認する競技会に参加することのできる者は、次のとおりとする。

(1) ライダー

- ① 当該競技に必要なMFJ競技ライセンスを受け、参加申請した者（効力の停止中の者を除く）で当該競技に必要な身体的条件を備えていること。
- ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行なっている者。
- ③ 満20歳未満の者は、親権者の承諾書を提出した者。
- ④ 負傷しているライダーは、主催者の指定する医師の競技参加の承諾を得ているもの。

(2) ピットクルー

- ① 当該競技に必要なMFJピットクルーライセンスを受けて参加申請をした者。
- ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行なっている者。

(3) エントラント

ここで規定するエントラントとは下記の者で競技参加申請を行なった団体または個人を言う。

- ① MFJ公認クラブ(別に定める「MFJ公認クラブ等の名称に関する規程」(238頁参照))
- ② MFJライセンス取得者
- ③ MFJメーカーライセンスを所有している車両メーカー
- ④ MFJ賛助会員ライセンスを所有しているコンストラクター、部品関連メーカー

※ エントラント資格を有し、エントリー用紙により参加申請をすることによりMFJ国内競技規則に定められている抗議者の資格が得られる。

※ ロードレース全日本選手権に関しては、別途エントラントライセンス制度がある。

2) 主催者および競技役員は、競技会当日随時ライセンスの提示を求めることにより、ライダーおよびピットクルーの資格要件を確かめることができ、もし本規則に違反している者に対しては、所定の罰則が適用される。

10 競技参加者の遵守事項

1) 競技参加者は、次の事項を守らなければならない。

- (1) 競技会中は、MFJ国内競技規則に従って行動し、すべての行動に対して責任を持たなければならない。
- (2) 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定および競技役員の指示に従い、かつレース場以外では交通規則を守らなければならない。
- (3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、下品でいやしい言葉や言動は厳に慎まなければならない。

ならない。

- (4) 競技に関する業務についているときおよびライダーは、アルコール類あるいは薬品（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。
 - (5) 競技会中は、有効なライセンスを必ず携帯していなければならない。
 - (6) 競技会に参加することが認められた者が出場しない場合（競技現場での不参加を含む）は、正当な理由をもって、その旨主催者に通告しなければならない。この通知を怠るか、または欠場の理由が正当でない場合、主催者は速やかにMFJ中央スポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
 - (7) ライダーまたはエントラントが集団で競技または予選を欠場した場合、または、そのような働きかけをした場合、主催者は速やかにMFJ中央審査委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
- 2) 特にライダーは、上記のほか次の事項を守らなければならない。
- (1) 必要以上にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離し、または外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。
 - (2) 他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
 - (3) 競技中（公式練習も含む）は、他人の迷惑、または危険を伴うような行為をしてはならない。
 - (4) 車両は、それ自体が持つ動力およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
 - (5) 他の者の援助を一切受けてはならない。
 - (6) 競技中の車両には、いかなる者も同乗させてはならない。
 - (7) ライダーは、コース（ラン・オフ・エリアを含む）にある間は、MFJが公認したヘルメットを装着しなければならない。
 - (8) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し医師団長もしくは指定医師による診断を受けさせ、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。

11 ライダーの装備(MFJ公認ヘルメット及びレーシングスーツ)

1) ライダーの装備は、次のとおりとする。

(1) ヘルメット

- ① 競技に使用するヘルメットはMFJが公認したものでなければならない。
- ② MFJ公認ヘルメットには、規定の認証マークが貼付されていなければならない。
- ③ MFJが公認するヘルメットの規格については、各競技種目別細則により定める。
なお、国際競技会においてはFIMで認められた各FMN規格のマークが前項のマークとみなされる。
- ④ 競技会の車両検査の際、ヘルメット検査が行われ、MFJが公認したものであっても、損傷しているなど著しくその機能を失っていると認められるものは、ライダーの安全上その使用を禁止する。
- ⑤ MFJ公認ヘルメットで、その認証マークの貼付されていないヘルメットについては、その場で特別検査を受け合格すれば使用することができる。
この場合は、別に定める特別検査料（各競技種目別細則による）を支払わなければならない。

(2) 服装

- ① ロードレースのレーシングスーツについては、MFJ公認のものでなければならない。
- ② ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、運転を妨げるものであつ

てはならない。

③ その他細部については、各競技種目別細則により定める。

- (3) 装備の公認とは国内競技規則に合致することを認めるものであり、その安全性及び耐久性を保証するものではない。

12 出場車両

- 1) 競技に出場する車両のクラス区分等は、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 2) 車両は細則に示す「出場車両」と「基本仕様」に合致し、かつ大会特別規則の条件を満たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。
- 3) 大会審査委員会により危険であると判断された車両は、理由のいかんを問わず競技に使用することはできない。
- 4) 本規則に基づき改造・変更を行う場合、その対象の選定・保守・管理は自己の責任において行うものとする。

13 MFJ公認車両および公認部品・用品

- 1) MFJ公認車両および公認部品・用品については、「MFJ車両・部品公認ならびに承認に関する規則」の定めるところによる。
 なお、公認された車両および部品・用品については、MFJの発行する月刊「ライディング」誌、その他により公示される。
- 2) 公認は、MFJ技術委員会において審査し、承認された日を基準にして一定の告知期間の後に正式に発効する。告知期間は、MFJ技術規則第6章公認制度(146頁)を参照のこと。
- 3) 車両は、当該競技会公式車検日時点で公認が発効されている車両でなければ出場申し込みをすることができない。
- 4) 公認とは国内競技規則に合致することを認めるものであり、その安全性及び耐久性を保証するものではない。

14 燃料およびオイル

- 1) 競技に使用する燃料・オイル等については別に定めるMFJ技術規則による。
- 2) その他燃料については、次のとおりとする。
 - (1) ガソリンおよびオイルは、オクタン価や燃焼効率を高めるような添加剤、あるいは起爆剤を加えてはならない。
 - (2) ガソリンにオイルを混合する必要がある場合、安全を確認して作業しなければならない。
 - (3) ガソリンおよびオイルを入れる容器とその取扱いは、消防法に適合する金属製の容器を使用すること。
- 3) 世界選手権に関してはFIM規則が適用される。

15 競技出場の申し込み

- 1) 競技会への出場の申し込みは、次のとおりとする。
 - (1) 主催者が準備した用紙の記載事項のすべてを記入し、この競技規則を厳守することを誓約しなければならない(エントリー時で当該ライセンスを取得していること)。
 - ① 車両の登録はエントリー用紙に下記事項を記入すること。参加受理書発送後記入事項に変更がある場合は、選手受付時に車両変更手続きを行わなければならない。
 - Ⓐ 銘柄 Ⓑ 車名 Ⓒ 年式 Ⓓ フレーム打刻型式頭番号 Ⓔ エンジン打刻型式頭番号

- (2) 主催者は、エントラント、ライダーおよびピットクルーのいずれに対しても、その理由を明らかにすることなく申し込みを拒否、または無効とする権限を有する。
 - (3) 申し込み期間、申し込み場所、その他の詳細については、当該競技主催者の定める大会特別規則に示される。
- 2) 競技出走者数または出場申し込み者数の定員は、大会特別規則に示される。
- なお、出場申し込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスの競技会を中止することがある。

16 出場料およびMFJ共済会掛金

- 1) エントラントまたはライダーは、出場申し込みのとき、大会特別規則に明示する出場料を支払わなければならない。
- 2) ライダーは、出場申し込みのときMFJ共済会掛金(保険料)を主催者に支払わなければならない。主催者は、そのMFJ共済会掛金をMFJ共済会に納める。(別に定めるMFJ共済会規則による)
- 3) いったん主催者に受理された出場料およびMFJ共済会掛金は、競技会の延期および中止等(34頁)に合致する以外は払い戻しされない。

17 ライダーおよび車両の変更

- 1) エントリーされたライダーの変更は認められない。
- 2) 登録された車両の変更は、原則として認められない。変更する必要がある場合は、所定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。車両変更手数料は5,000円とする。
 - (1) 公式予選終了後、安全上の理由により、フレームボディおよびエンジンなどを交換する必要がある場合は、競技監督に申告し、元の部品を提示して、許可を受けなければならない。
 - (2) 公式車検終了後ライダー間でマシンを交換することは禁止される。
 - (3) 紛争に際して製造メーカー側の車両欠陥についての立証の責任は、参加者側にあるものとする。

18 車両検査

- 1) 競技車両は、本規則および各競技種目別細則の定めるところにより、車両検査を受けなければならない。車両検査の時刻、および場所は公式通知により示される。
- 2) 車両は、競技直前に車両検査を受けたままの状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない(スタート前チェック)。チェックの時刻およびチェックの場所は、公式通知により示される。
- 3) ライダーが車両仕様申告を行う場合は、車両検査時に大会事務局より配布された車両仕様書をもって申請しなければならない。

19 競 技

- 1) 出場者数が多い場合は、予選またはタイムトライアルによって決勝競技出場者を決定することがある。その詳細については、各競技種目別細則および大会特別規則の定めるところによる。
- 2) スタートの方法は各種目細則および大会特別規則の定めるところによる。

- 3) 競技中競技役員が合図旗（シグナル旗）を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。
- 4) 合図旗（シグナル旗）とその意味については、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 5) 停止
 - (1) 競技中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車両をコース脇によせ、他のライダーの走行の邪魔にならないように十分注意しなければならない。
 - (2) 競技中、車両をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし、競技役員の指示による場合はこの限りではない。
 - (3) 事故または車両故障などの理由によってリタイヤ（中途退場）する場合は、その地点からもっとも近い競技役員（コース審判）に報告し、用意してある用紙によってリタイヤ届けを提出しなければならない。
 - (4) ライダーは、リタイヤ届けを提出した競技役員に車両をあずけて退場しなければならない。
 - (5) ライダーは、停止車両をその競技が終了するまで、競技役員の管理下におかななければならない。

ただし、その競技に支障のない地点まで、車両を移動させることを競技役員（コース審判）から指示された場合には、これに従わなければならない。
- 6) ゴールライン通過の際、ライダーは、マシンと離れた状態にあってはならない。
- 7) 競技の終了

競技の終了は、チェッカー旗によりトップ走者がゴールしたのち、細則および大会特別規則に示す時間を経過した時点である。

20 優勝者等の決定

優勝者、順位および完走者の定義については、各競技種目別の細則の定めるところによる。

21 賞典

賞典の対象者は、原則として6位までとし、その詳細は大会特別規則に示される。
賞は主催者（大会事務局）から付与されるが、その時間等詳細は大会特別規則または、公式通知により示される。

22 レース後の車両検査

- 1) 競技終了後、原則として1位から6位までの車両は、レース終了後、ただちに車両保管区域に暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) その他、種目別細則ならびに大会特別規則による。

23 競技結果および記録の公表

- 1) 競技終了後、暫定結果の公表を行う。
- 2) 競技の正式結果は、暫定結果発表後遅くとも3時間以内に公表される。
- 3) 参加者は、公表された競技の正式結果に対して抗議することはできない。

24 公式得点（ポイント）

- 1) 公認競技会における成績により、MFJから公式に与えられる得点（ポイント）は、下記のとおりとし、これの詳細は、別に定める「MFJライセンス昇格・降格に関する規則」（231頁）による。

- ① 全日本選手権・エリア選手権および地方選手権競技会（全日本ロードレース選手権は別途「全日本選手権大会特別規則」に定める）

| 出走台数 | 25以上 | 22-24 | 20-21 | 18-19 | 16-17 | 14-15 | 12-13 | 10-11 | 8-9 | 6-7 | 5 | 0-4 |
|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|----|-----|
| 順位 | | | | | | | | | | | | |
| 1位 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 不成立 |
| 2位 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | |
| 3位 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | | |
| 4位 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | | | |
| 5位 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | | | | |
| 6位 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | | | | | |
| 7位 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | | | | | | |
| 8位 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | | | | | | | |
| 9位 | 7 | 7 | 7 | 7 | | | | | | | | |
| 10位 | 6 | 6 | 6 | | | | | | | | | |
| 11位 | 5 | 5 | | | | | | | | | | |
| 12位 | 4 | 4 | | | | | | | | | | |
| 13位 | 3 | | | | | | | | | | | |
| 14位 | 2 | | | | | | | | | | | |
| 15位 | 1 | | | | | | | | | | | |

② 県大会その他

| 順位 | 出走台数 | | | | | |
|-----|-------|-------|-----|-----|----|-----|
| | 12台以上 | 10~11 | 8~9 | 6~7 | 5 | 0~4 |
| 1位 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 不成立 |
| 2位 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | |
| 3位 | 8 | 8 | 8 | 8 | | |
| 4位 | 7 | 7 | 7 | 7 | | |
| 5位 | 6 | 6 | 6 | | | |
| 6位 | 5 | 5 | 5 | | | |
| 7位 | 4 | 4 | | | | |
| 8位 | 3 | 3 | | | | |
| 9位 | 2 | | | | | |
| 10位 | 1 | | | | | |

※出走台数はそのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数とする。ただし、公式予選がある場合は、予選に参加した台数を総台数とする。

25 競技会の延期および中止等

- 1) 競技は、天候・異変その他安全確保に支障をきたすおそれがある等、特別の理由がある場合にかぎり、その一部を打ち切りまたは中止することができる。
- 2) 前項の判断決定は、大会審査委員会が行う。
- 3) すべての関係者は、大会審査委員会の決定した競技の一部打ち切りまたは中止に従わなければならない。
- 4) 原則として中止されたレースの再レースは行なわれない。
- 5) レースの短縮及び打ち切り
 - (1) 決勝レース出走前の短縮
 - ① 出走前にレース周回数・時間を短縮する場合は、原則として本来のレースの2/3以上とする。(但し、モトクロスの場合+2周は考慮しない)
 - ② 2/3以上に短縮し参加者に発表した後にさらに状況が悪化した場合さらにその2/3以上まで短縮することができる。
 - ③ 上記を上回る短縮の場合は選手の得点(ポイント)は半分とする。
 - ④ 上記の短縮の決定は大会審査委員会が行い、参加者にこのことが速やかに通知されなければならない。
 - (2) 決勝レース出走後の短縮・打ち切り
 - ① トップ走者(トライアルの場合は、選手の95%以上)が定められた周回数/時間/セクション数の2/3を完走しないうちにレースを打ち切った場合。(但し、モトクロスの場合+2周は考慮しない)
 - a) ロードレース：走行が2周以下=中止・ノーポイント
走行が3周以上=再スタートが不可能な場合は半分の得点(ポイント)
 - b) トライアル：選手の95%以上が終了したセクション数が、全セクションの25%未満

のクラス=中止・ノーポイント

選手の95%以上が終了したセッション数が、全セッションの25%以上のクラス=半分のポイント

㉔ モトクロス他：中止・ノーポイント

- 6) トップ走者（トライアルの場合は、選手の95%以上）が決められた周回数（または時間）の2/3以上を完走して競技を打ち切った場合は、大会審査委員会は、その競技の判定結果にその理由を付して発表するものとする。
- 7) 競技の中止と出場料等の返却は、下記表の通りとする。参加者はその他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

| 事 例 | 出 場 料 | 共済会掛金 |
|--------------------|-------------|------------------------------|
| 予選が1回も行われず中止 | 選手受付した全員に返却 | 共済会の適用となる練習走行が行なわれていなければ返却する |
| 予選は行われ、決勝グリッド発表後中止 | 決勝進出者のみ返却 | 返却しない |
| 決勝スタートが行われたのち中止 | 返却しない | 返却しない |

- 8) 大会審査委員会が本項に関して下した裁定に対しては、抗議することはできない。
※上記の2/3またはパーセント表示で端数が出る場合、小数点以下は切り捨てる。

26 損害に対する責任

- 1) 競技中、車両およびその付属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。（ただし、車両が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間中に生じたものを除く。）
車検長または大会審査委員会は、車両を保管している期間中に、これらの車両がなんらかの理由によって破損した場合には、1台当たり10万円を最高限度額として、その所有者に補償する。
- 2) 競技会開催期間中、またはその前後に生じた傷害は、参加者自ら責任を負うものとする。
- 3) 競技役員は、その職務に最善をつくすが、仮に競技役員の行為によって起きたエントラント、ライダー、ピットクルーおよび車両等の損害に対しても、競技役員はいっさいの責任を負わない。

27 抗議

- 1) 抗議は、暫定結果発表後30分以内に当該ライダー及びエントラント代表者だけが行うことができる。抗議しようとする時の手続きならびにその措置は、次のとおりとする。
- (1) 大会事務局に準備されている抗議書に記載し、1項目ごとに抗議保証金を添えて大会事務局に提出すること。
- (2) 正式の手続きにより提出された抗議書のみが受けられ、大会審査委員会において審議裁定される。
- (3) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査した上で裁定を下すものとする。
- (4) 大会審査委員会の裁定の内容は、当該者へ到達時に説明される。レース運営上、説明を始める前に時間を定めて行なわれる（通常5分程度）。
- (5) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いっさい抗議することはできない。
- (6) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返還される。
抗議保証金は、1項目につき10,000円、ガソリンに関する抗議保証金は100,000円とする。

28 控訴権

- 1) すべての当該競技参加者（ライダーまたはエントラント代表者）は、競技会審査委員会が宣告した罰則または裁定に対し、本協会に控訴する権利を有するものとする。
- 2) 裁定機関
 - ・大会審査委員会決定に関する控訴に関しては中央審査委員会にて裁定される。
 - ・中央審査委員会決定を最終とする。
 - ・中央審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、充分に実情を調査した上で裁定を下すものとする。
- 3) 控訴の期限
 - ・大会審査委員会に抗議を提出し、その裁定を不服として、本協会に控訴する場合は、その裁定の告知より1時間以内に、本協会あてに控訴する意思を示す文書に控訴料を添えて、当該競技会審査委員会を通じ提出しなければならない。
 - ・上記控訴の理由を示す文書に関しては、前項規定の控訴意思表示および控訴料の納付を行ったことを条件に、当該告知日より2日以内に、直接本協会に提出することが出来る。
- 4) 控訴保証金

控訴保証金は5万円とする。

裁定機関は事情に応じて保証金の返還または没収について、または経費処理について指示する。
- 5) 控訴が受理されるために必要な手続き
 - ・期日までに控訴文書と控訴保証金がMFJ事務局まで提出されなければならない。
 - ・文書には訴え出る決定の詳細・理由が的確に述べられていなければならない。

29 違反行為に対する罰則

- 1) 大会中(競技中も含む)における本規則または大会特別規則に違反する行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会ならびに競技監督の権限で下記の罰則を科することができる。

| 軽重 順位 | 罰 則 | 内 容 | 決定機関 |
|----------|------------------------|---|---------|
| 1 | 訓 戒 | 文書による注意……始末書を提出 | 大会審査委員会 |
| 2 | 罰 金 | 現金100,000円以下 | 大会審査委員会 |
| 3 | タイム/ポイント/ 周回数に対する罰則 | 当該ライダーの実際の成績に影響を及ぼすタイム/ポイント/周回数の加算・減算のペナルティ | 大会審査委員会 |
| 4 | 失 格 | 大会、イベント、レースまたは結果から失格となる | 大会審査委員会 |
| 5 | 資格停止 | 一定期間競技会に参加する資格を停止する | 中央審査委員会 |
| 6 | 資格剥奪 | 競技会に参加する資格を剥奪する | 中央審査委員会 |

※罰金はMFJにて管理され、安全対策等に使用される。

※罰則の詳細はリザルト表に記述される場合がある。

違反の事実認定は、競技監督の判断を優先するが、罰則の量刑ならびに適用は、大会審査委員会の決定によるものとする。

- 2) ライセンスについての罰則は、大会審査委員会の報告に基づき、中央審査委員会によって、さらに事後の出場停止、資格停止まで及ぶかどうか審査裁定され、30日以内に通告される。

30 大会審査委員会の権限

大会審査委員会は、本規則ならびにその細則に基づき、当該競技会において最終的な権限を行使することができる。

附 則

1. 本規則は、2000年1月1日から施行する。

BRIDGESTONE

サーキット・グリップ。

RACE TYPE
BATTLAX
BT-96

能書きを語ってもはじまらない。
レースでは結果がすべてだ。
数々のSPレースでの実績が、
このグリップの威力を物語る。
サーキット・スベックBT-96。



BRIDGESTONE

2000 SUGO



2000スーパーバイク世界選手権・全日本ロードレース選手権開催クラス

| シリーズ名 | WSB | 全日本選手権シリーズ | | | エリア選手権シリーズ | | | SUGO選手権シリーズ | SSFシリーズ |
|-----------------|-------|------------|-------|-------|------------|-------|-------|----------------|---------|
| MFJライセンス区分 | 国際 | 国際 | | | 国際・国内 | | | | |
| レース名・開催日 | クラス | S B | GP125 | GP250 | S B | GP125 | GP250 | SB/XF SS600 | SP600 |
| スーパーバイク世界選手権レース | 4月30日 | ○ | | | | | | | |
| 全日本ロードレース選手権第6戦 | 8月20日 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 全日本ロードレース選手権第9戦 | 10月1日 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ |



2000SUGOロードレース選手権シリーズ開催クラス

| シリーズ名 | SUGO CUP | SUGO選手権シリーズ | | | | | | エリア選手権シリーズ | | | | | |
|------------|------------------|------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| MFJライセンス区分 | 原付・L以上 (原付除く) | 国内(昇格対象) | | | | | | 国際・国内(昇格対象) | | | | | |
| 開催日 | クラス | SP12/ NP12/ モノミニ | ST250 | SP250 | ST400 | SP400 | SP600 | GP125 | GP250 | SS600 | GP125 | GP250 | SB/XF |
| 第1戦 | 3月26日 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第2戦 | 5月7日 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第3戦 | 6月11日 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第4戦 | 7月16日 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第5戦 | 9月10日 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 第6戦 | 10月15日 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |



2000SUGO耐久レース開催クラス

| MFJライセンス区分 | 原付・L以上 | 国際・国内 |
|------------------|--------|-----------|
| レース名・開催日 | クラス | SP12/NP12 |
| MINIBIKE 6H耐久レース | 7月2日 | ○ |
| SUGOオープン6時間耐久レース | 11月5日 | |



2000SUGOサウンドフェスティバルシリーズ開催クラス

| 開催クラス | 略称 | スプリング 4月16日 | サマー 8月6日 | オータム 9月23日 | ライセンス区分 |
|--------------------------------|----------|----------------|-------------|---------------|---------|
| ST125 | ST125 | ○ | ○ | ○ | F~N |
| SP125 | SP125 | ○ | ○ | ○ | F~N |
| ノーマルシングル | NS | ○ | ○ | ○ | F~N |
| ヤマハSRカップ | SR CUP | ○ | ○ | ○ | F~N |
| リトルシングル | LS | ○ | ○ | ○ | F~N |
| スーパースターズ2 | SS2 | ○ | ○ | ○ | F~N |
| スーパースターズ1 | SS1 | ○ | ○ | ○ | F~N |
| モディファイシングル | MS | ○ | ○ | ○ | F~N |
| スーパーモノ2 | S-MONO 2 | ○ | ○ | ○ | F~N |
| 空冷スーパーツイン | ACST | ○ | ○ | ○ | F~N |
| 水冷スーパーツイン | LCST | ○ | ○ | ○ | F~N |
| フォーミュラSUGO | F-SUGO | ○ | ○ | ○ | F~I |
| スーパーモノ1 | S-MONO 1 | ○ | ○ | ○ | F~I |
| TT F-1 | F1 | ○ | ○ | ○ | F~N |
| TT F-3 | F3 | ○ | ○ | ○ | F~N |
| ノーマル250 | N250 | ○ | ○ | ○ | F~N |
| ノーマル400 | N400 | ○ | ○ | ○ | F~N |
| SUGO CUP (SP-12/NP-12/モノミニ) | SUGO CUP | ○ | ○ | ○ | 原付・Lライ~ |



※上記レースの開催日程・クラスはまだ暫定的なものです。変更または取り消しとなる可能性もあるので、ご注意ください。

情報満載SUGOホームページ公開中!!

アドレスは、<http://www.sportsland-sugo.co.jp>



〒989-1394
宮城県柴田郡村田町菅生6-1
TEL 0224 (83) 3111 (代)



ご宿泊は.....
ホテル
くめぎ山荘を
ご利用下さい。
お得な宿泊パック
もございます。

高次元内装搭載。

機能性を追及した最先端の内装と、究極のエアロフォルムが、被り心地をごさまで変えた。



包み込むような被り心地。3DフルサポートインナーII

3次元成形された天井パッドなどから成る「3DフルサポートインナーII」は、高いホールド性は勿論、通気性、吸水性を兼ね備えた新設計。脱着も容易で、洗濯もしてサイズの微調整も可能。(エアージェンシーコンセプト対応)



圧倒的な排気効率。エアロポーテックスベンチレーション

新形状「エアロポーテックス」は、アウトレットホールやV型エッジ形状のモティファイによって、負圧効果を従来より15%アップ。また高速走行時の空力特性も一段と向上しました。*当社内風洞実験値



空気の流れに逆らわない。マルチエアスクープ

カウリングに伏せた姿勢をとっても、大量のエアをヘルメット内に送り込めるよう高い位置にマウント。スクープ形状と内側4つのインテークホールにより安定したベンチレーション効果を達成。

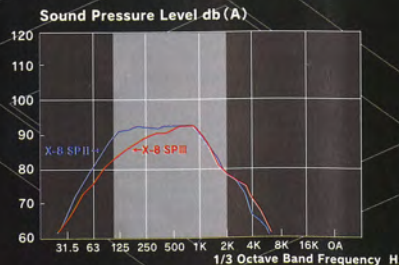


風を活かす。ハイパーデュアルライナー

SHOEI独自の2層構造ライナーをさらに進化させた走行動を効率的に活用しヘルメット内の湿気、熱気を速やかに除去。各ベンチレーションシステムとの相乗効果で高次元の吸排気効果を生み出す。

究極のエアロフォルム。圧倒的な静粛性。

SHOEIでは、ヘルメットの開発において、走行時にヘルメットを取り巻く「風の流れ」を正確に把握することが必要不可欠であると考え、かなり早い時期から風洞実験による様々なデータ収集とヘルメットデザインへのフィードバックを行ってきました。右のグラフはその一例で、風洞実験装置によって約140km/h走行時を想定、従来モデル「X-8 SP II」と、「X-8 SP III」における風切り音の発生状況をヘルメット内で測定したもので、グラフの縦軸が音量 (db)、横軸は音質 (Hz) を示しています。X-8 SP IIIでは大幅に軽減され、従来よりさらに高い静粛性が実現されました。社内に風洞設備を有し、幾度にも及ぶ実験を重ね、膨大なデータに裏打ちされるSHOEIのエアロテク/ロジー。最後にレーシングフィールドでライダーの感性によって研ぎ澄まされていきます。



風洞実験による風切り音の測定データ (当社比)
*グレーの部分は、特に耳障りとなる音域です。

新登場!!

価格: 49,000円



レッドグレーメタリック

ブラック

ホワイト

ミストシルバー

マゼンダブルー

●構造: 新素材(超高弾力・高強度繊維)とファイバーグラスH.L.構造 ●規格: スネルM95、JIS規格C種(MF)対応 ●サイズ: XS(53~54cm) レッドグレーメタリック、ブラック、ホワイトの各1、M(55~56cm)、M(57~58cm)、L(59~60cm)、XL(61~62cm) ●付属: SP III グラスガード、SP III チンカーテン ●オプション: リンパカバー(CX)シールド(標準装備)/ガラスモック(標準装備)/クリアー、スモーク、タークスモック各3,800円/CX-1スモークミラーシールド/シルバー、オレンジ、ブルー、パープル、ファイヤーレングス、グリーン/イエロー各7,800円/CF-シールド(2枚巻、チンカーテン/フィルム対応)/ソフトスモークライトスモーク各4,500円/ティアオフフィルム(CF-1対応)5枚セット 1,000円/QRベースセット 800円/スクリーンセット 200円/ブリセッドカバー 200円/X-8 SP III セクターパッド 4,000円/X-8 SP III チンクパッド 4,800円/X-8 SP III チンストラップカバー(左右共通) 800円/X-8 SP III 内装セット 8,800円/エアロポーテックスベンチレーション/白、黒、クリアー各1,200円/エアロポーテックスベンチレーション/レッドグレーメタリック、ミストシルバー、マゼンダブルー 1,500円/SP III プレスガード 1,500円/SP III チンカーテン 1,000円 ※内装はサイズをご確認の上ご購入ください。※価格はメーカー希望小売価格です。(税別)

●ヘルメットの機能を最大限に生かすために、あごひもはしっかりと締めましょう。
●安全確保のため改造しないでください。●カタログご希望の方は郵便切手120円を添えて本社までお送りください。●製品は改良のため予告なく仕様変更することがあります。
●部品、修理、その他要望ご質問等は最寄りの支店サービス課までお問い合わせください。
SHOEI本社・東京支店 〒110-0005 東京都台東区上野5-8-5CP10ビル7F ☎(03) 5688-5185 大阪支店 ☎(06) 6397-8123

インターネットでもご覧いただけます。
<http://www.shoehelmet.co.jp> 人間性能 HUMAN SPEC SHOEI



2000 TSUKUBA CIRCUIT ROADRACE CALENDAR (暫定)

| 開催日 | 大会名 | 全日本選手権 | | イーストエリア選手権 | | | 関東・筑波選手権(公認) | | | | | 筑波選手権(承認) | | | | | etc | |
|---------------------|---|--------|-------|------------|----|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|-----------|--------|--------|------|------|-----|-------|
| | | SB | GP250 | GP125 | SB | GP250 | GP125 | GP125 | SP400 | SP250 | SP125 | GP125B | SP400B | SP250B | SP80 | N-NK | | SS600 |
| 3月4日(土) | TSUKUBA TOURIST TROPHY in MARCH ~RIDERS & MOTORCYCLE ENJOY FESTIVAL~ | | | | | | | | | | | | | | | | | ▲ |
| 3月18日(土) 19日(日) | 筑波ロードレース選手権シリーズ第1戦 関東選手権第1戦 関東チャレンジカップ第1戦 | | | | ★ | ★ | ★ | ○ | ○ | ◆ | ◆ | △ | | | △ | △ | △ | |
| 4月16日(日) | 筑波ロードレース選手権シリーズ第2戦 関東選手権第2戦 | | | | | | | ● | ● | | | | | | | | △ | |
| 5月12日(金) ~14日(日) | 全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 関東チャレンジカップ選手権シリーズ第4戦 | ☆ | ☆ | ☆ | | ★ | ★ | | | | | | | | | | | |
| 6月3日(土) 4日(日) | 筑波ロードレース選手権シリーズ第3戦 | | | | | | | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 6月25日(日) | TSUKUBA TOURIST TROPHY in JUNE ~RIDERS & MOTORCYCLE ENJOY FESTIVAL~ | | | | | | | | | | | | | | | | | ▲ |
| 7月8日(土) 9日(日) | 筑波ロードレース選手権シリーズ第4戦 筑波チャレンジカップ選手権シリーズ第7戦 | | | | ★ | ★ | ★ | ○ | ○ | ◇ | ◇ | △ | | | △ | | | △ |
| 8月19日(土) 20日(日) | 筑波ロードレース選手権シリーズ第5戦 | | | | | | | ○ | ○ | ◇ | ◇ | △ | △ | △ | △ | △ | △ | |
| 9月15日(金) ~17日(日) | 全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦 筑波選手権第8戦 関東チャレンジカップ第10戦 | ☆ | ☆ | ☆ | | | ★ | | | | | | | | | | | △ |
| 10月28日(土) 29日(日) | 筑波ロードレース選手権シリーズ第7戦 関東選手権第12戦 関東チャレンジカップ第12戦 | | | | ★ | ★ | ★ | ● | ● | ◆ | ◆ | △ | | | △ | △ | △ | △ |

●・▲は関東ロードレース選手権シリーズの開催クラスです。 ◎筑波選手権のGP250・GP125・SP400・SP250クラスは、関東選手権筑波大会の同クラスで得たポイントを合算することができます。 S: スーパーライセンス
○・△は筑波ロードレース選手権シリーズの開催クラスです。 ます。但し、筑波大会以外の関東選手権で得たポイントを筑波選手権のポイントに合算することはできません。 I: 国際ライセンス
◆・◇……自動昇格(資格)対象 N: 国内ライセンス
●・○……昇格(資格)対象<特別昇格申請可> ◎SP400B・SP250Bクラスは、2000年を最後に廃止いたします。何卒ご了承下さい。 F: フレッシュマン
▲・△……昇格対象外 J: ジュニア

筑波サーキットライセンスのご案内

筑波サーキットには「ファミリーライセンス」・「スポーツライセンス」の2種類のライセンスがあります。愛車の実力を知りたい、自分のテクニックを磨きたい、レースの世界で自分の可能性を試してみたいという方はライセンスの取得をおすすめします。

ファミリーライセンス……講習会で取得できます。吸排気系ノーマルの車両(レーサー・市販車改造を除く)によるファミリー走行が楽しめます。講習会の当日午後1~2時まで、筑波サーキットにて直接受付を行って下さい。予約の必要はありません。

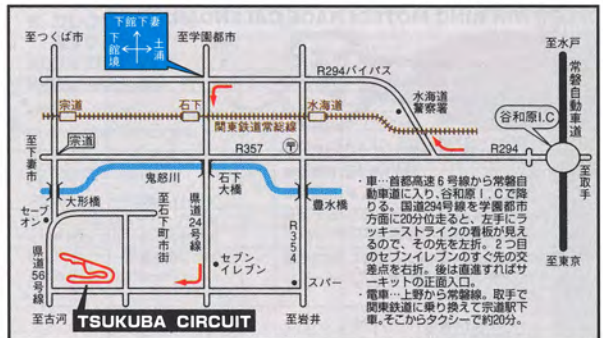
筑波サーキットライセンス講習会日程

| | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1月9日(日) | 1月30日(日) | 2月6日(日) | 2月19日(土) |
| 3月11日(土) | 3月19日(日) | 4月22日(土) | 5月21日(日) |
| 6月24日(土) | 7月16日(日) | 7月23日(日) | 8月26日(土) |
| 9月9日(日) | 10月7日(土) | 10月22日(日) | 11月12日(日) |
| 11月26日(日) | 12月9日(土) | 12月23日(日) | |

*日程・時間等は、都合により変更する場合がございます。予めお問い合わせの上ご来場下さい。

ご用意していただく物

- ①受講料: 26,000円(予約金 10,000円、MF Jフレッシュマンライセンス取得料を含む)
 - ②身分証明書(運転免許証等) ③印鑑 ④筆記用具 ⑤写真: 3×2.5cmサイズ3枚(カラー光沢のみ、白黒不可)
 - ⑥ヘルメット(フルフェイス)・グローブ・ブーツ・革ツナギ
※講習会時のみブーツ・ツナギのかわりに厚手の服・スニーカーでも可
 - ⑦吸排気系ノーマルの車両(スクーター・レーサー・改造車両は不可)
 - ⑧未成年の方は、親権者の承諾書(親権者の署名・捺印のあるもの)
- スポーツライセンス**……ファミリーライセンス取得後、申請できるライセンス。レーサー・レース用改造車両によるスポーツ走行が楽しめます。ファミリーライセンスを取得後、スポーツライセンス入会申込用紙に必要事項を記入・捺印の上、入会金28,000円と写真1枚(3×2.5cm/カラー光沢)を添えて(財)日本オートスポーツセンターまで現金書留にてご郵送下さい。



財団法人日本オートスポーツセンター (JASC)

T 104-0041 東京都中央区新富1-9-6 新富一丁目ビル6F
TEL: 03-3555-6051
FAX: 03-3555-1048
ホームページアドレス <http://www.jasc.or.jp>



筑波サーキット

T 304-0824 茨城県結城郡千代川村村岡字西原
TEL: 0296-44-3146
FAX: 0296-43-2952





★2000 TWIN RING MOTEGI BIG RACE★

2000 FIMロードレース世界選手権シリーズ第15戦



Pacific Grand Prix of MOTEGI

10月13(fri)・14(sat)・15日(sun)開催!!

シリーズチャンピオンなるか!?
日本人ライダーに期待がかかる

2000 FIMトライアル世界選手権シリーズ第7戦



日本大会

6月10(sat)・11日(sun)開催!!

日本初開催!!
華麗なる
ライディングテクニック

体験も観戦するのも、どちらもお得!!

ツインリンクもてぎクラブスポーツ TRMC-S会員募集中

とにかく走りたい人のための会員制クラブ。

- ツインリンクもてぎの全日本格式のレースが観戦無料!!
〈チャンピオンシップシリーズとNASCAR、ロードレース世界選手権を除く
駐車料金は別途頂きます〉
- ナンバー付の車両でもレーシングコースを走れる!
- 通常営業日の入場/駐車場が無料!
- ※その他特典がございます。詳しくはお問い合わせ下さい。

受付・お問い合わせ TEL.0285-64-0202 ツインリンクもてぎクラブスポーツ (TRMC-S)

T.R.M.C. FAN CLUB CARD 会員募集中

レース観戦のための特典が盛りだくさん。

- レースチケットを割引購入
 - ※その他特典がございます。詳しくはお問い合わせ下さい。
- お問い合わせ先 東京 TEL.03-5276-7855
 ミリオニアフォームーションセンター 受付時間 / AM9:00~PM5:30 (土・日・祝日も営業)

宿泊+アミューズメントでツインリンクもてぎを満喫しよう!



ロードコースツーリング



アクティブSTP



コレクションホール



ファンファンラボ



ホテルツインリンク



オートキャンプ場

2000 TWIN RING MOTEGI RACE CALENDAR

| 日程 | 大会 | コース | WGP | | | 全日本 | | エリア | | 地方選手権 | | | | オープン | レース数 | | |
|-------------|---|-------|-------|-------|-------|-----------|-----------|-----|---|-------|---|-----|-----|------|------|---|---|
| | | | GP500 | GP250 | GP125 | S S-NK | S S-NK | I-N | N | N | N | N-F | I-N | | | | |
| 3/28 | もてぎロードレース第1戦 | フルコース | | | | | | | | | | | | | 5 | | |
| 4/30 | もてぎロードレース第2戦 | 東コース | | | | | | | | | | | | | 5 | | |
| 6/4 | もてぎロードレース第3戦 | 未定 | | | | | | | | | | | | | 5 | | |
| 6/10,11 | FIMトライアル世界選手権 日本大会 | 特設会場 | | | | | | | | | | | | | 3 | | |
| 6/23,24,25 | R ² -1MFJ 全日本ロードレース選手権・第5戦 もてぎスーパーバイクレース | フルコース | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 6/24,25 | もてぎロードレース第4戦(全日本争奪) | フルコース | | | | | | | | | | | | | 3 | | |
| 7/16 | もてぎロードレース第5戦 | フルコース | | | | | | | | | | | | | 2 | | |
| 8/25,26,27 | サマー・エンデュランス・カーニバル もてぎオープン7時間耐久ロードレース | フルコース | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 9/10 | もてぎロードレース第6戦 | 東コース | | | | | | | | | | | | | 5 | | |
| 10/13,14,15 | FIM ロードレース世界選手権・第15戦 Pacific Grand Prix of MOTEGI | フルコース | | | | | | | | | | | | | 3 | | |
| 11/3,4,5 | R ² -1MFJ 全日本ロードレース選手権・第10戦 MFJグランプリ スーパーバイクレース in もてぎ | フルコース | | | | | | | | | | | | | 3 | | |
| 11/4,5 | もてぎロードレース第7戦(全日本争奪) | フルコース | | | | | | | | | | | | | 4 | | |
| 12/2,3 | もてぎロードレース第8戦 | フルコース | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | 計 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | 3 | 2 | 3 | 4 | 5 |

※○=世界選手権、●=全日本選手権、○=エリア選手権、□=特別競技会、●=地方選手権(関東選手権併催)、▲=地方選手権(もてぎ選手権)
 ※S=スーパーライセンス、I=国際ライセンス、N=国内ライセンス、ST250=承認競技
 ※上記内容は、暫定であり、変更になる場合がございます。

2000 R²-1MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦
 スーパーバイクレース in もてぎ
 6月23(fri)・24(sat)・25日(sun)開催!!

2000 R²-1MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第10戦
 MFJグランプリ スーパーバイクレース in もてぎ
 11月3(fri)・4(sat)・5日(sun)開催!!

4メーカーの激戦!!



サマー・エンデュランス・カーニバル
もてぎオープン7時間耐久ロードレース

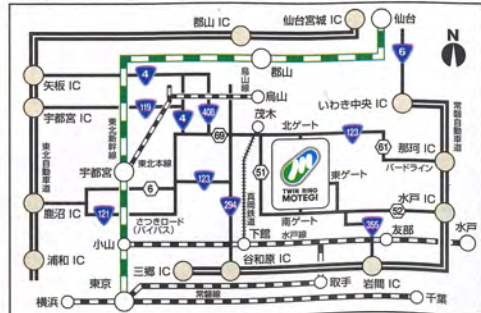


8月25(fri)・26(sat)・27(sun)開催!!

気軽に参戦!
真夏の祭典レース

●ツインリンクもてぎへのACCESS●

交通のご案内 / 東京から約2時間、気軽に行ける新プレイスポット。



- 電車、バスでご来場の場合
- JR宇都宮駅西口よりバスで約90分 ●JR水戸駅北口よりバスで約90分
- オートバイでご来場の場合
- 東北自動車道
- 鹿沼ICより約90分・宇都宮ICより約80分
- 矢板ICより約90分
- 常磐自動車道
- 水戸ICより約40分・那珂ICより約40分・岩間ICよりR355経由、約50分
- 谷和原ICよりR294経由、約90分

ツインリンクもてぎ

■通常営業時間 AM9:00~PM5:30 お問い合わせ先 TEL.0285-64-0001
 ※営業時間は変更する場合がありますので、お問い合わせください。
 休園日:2/1~2/16、6/27~7/1

●ツインリンクもてぎ
 〒321-3533 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1
 TEL0285-64-0001 FAX0285-64-0009
 ●本社
 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-20
 TEL03-3278-0777 FAX03-3278-0733

ツインリンクもてぎ ホームページ <http://www.twinring.co.jp>



HONDA official Wear & Goods HONDA COLLECTION

この他にも約300アイテムの商品をラインアップ。
詳しくは、カタログをご請求ください。



1. NV



1. BG



2. BG

2. NV



3

4

2. コレクションホール キャップ

申込番号: 9KA81
税別価格: ¥2,900

カラー: BG=ベージュ, NV=ネイビー
サイズ: フリー(56~59cm)
素材: 綿100%

ベージュとネイビーのコンビネーションが新鮮なデザインのコレクションホールロゴ刺繍入りキャップ。後部にはアジャスター付き。コレクションホールブルゾンとあわせよう。

3. コレクションホールTシャツ CB400FOUR

申込番号: 9KA7A

4. コレクションホールTシャツ CR110

申込番号: 9KA7C

税別価格: ¥2,900

カラー: WH=ホワイト
サイズ: M(フリーサイズに相当)
素材: 綿100%/MADE IN CHINA

今もなお強烈な個性で輝く名車たちを鮮やかにプリント。重感豊かな迫力あるタッチがインパクト大のTシャツコレクション。

1. コレクションホール ブルゾン

申込番号: 9KA02
税別価格: ¥14,800

カラー: NV=ネイビー, BG=ベージュ
サイズ: S・M・L・O

素材: 表地=綿100%, 裏地(背裏部)=綿、裏地(身頃・袖裏)=ポリエステル, ジャージ部=アクリル65%, ナイロン35%/MADE IN CHINA

モーターススポーツシーンはもちろん、ゴルフやタウンユースにも最適なブルゾン。綿ツイルの丈夫な表地と、タータンチェックの裏地(身頃)が、トラディショナルな仕上がり。カラーはベージュとネイビーを用意。表地と同系色のホンダコレクションホールの刺繍ロゴが、左胸にさりげなく映える一着。



5. NSR500ジッポー

申込番号: 9HM11
税別価格: ¥7,800

材質: 真ちゅう(ラスターエッチング仕上げ)/MADE IN USA



6. NSR500ピンズ

申込番号: 9GM45
税別価格: ¥1,300

材質: 丹鍍(本七宝カラー入りニッケルメッキ仕上げ)/サイズ: 18(横)×33(縦)mm



7. コレクションホール アラームクロノグラフ

申込番号: 9KT10
税別価格: ¥32,000

材質: 本体=ステンレス, ベルト=ステンレス・ムク材/機能: アラーム, ストップウォッチ(1/5秒計測), カレンダー(日付), 時分針にルミテック, タクメーター/精度: 月差±15秒以内, 10気圧防水/サイズ(本体のみ): 45.0(縦)×41.0(横)mm

アラーム機能付きクロノグラフ。下部インダイヤル内で、時刻のセットが可能。クラシカルなアイボリーの文字盤に、質感のあるメタルフェイスが、高品位なデザイン。裏蓋には、ホンダに1初優勝をもたらしたRA272をレーザマーキング。



8. コレクションホール カブウォッチ

申込番号: 9KT20
税別価格: ¥2,900

材質: 本体=プラスチック, ベルト=ウレタン/精度: 月差±30秒以内, 3気圧防水/サイズ(本体のみ): 39.0(縦)×34.0(横)mm

スケルトンケースのホワイトダイヤルに、人気のスーパーカブをイラストで。ブルーのベルトが新鮮。アクセサリー感覚で身につけられるカジュアルウォッチ。



9. コレクションホール キーホルダー

申込番号: 9HM18
税別価格: ¥700

材質: 本体=牛革, メタル=ステンレス, 金具=鉄(ニッケルメッキ)/サイズ(金具含む): 30(縦)×110(横)mm
銀色に輝くステンレスプレートに、ホンダコレクションホールのロゴを鮮やかにエッチング加工。

●各商品のご注文とカタログ請求はお電話で承ります。

0120-846-366

社団法人日本通信販売協会会員

J-DM

HONDA
COLLECTION

受付時間: 午前9時~午後9時 年末年始を除き年中無休
インターネット [http://www.honda.co.jp/HDC/]

- FAXでは24時間受け付けています。詳しくはお問い合わせ下さい。
- お支払いは代金引き替え、もしくは各種クレジットカードがご利用になれます。
- お買い上げ金額の合計が2,000円以上から承ります。
- お買い上げ金額が5,000円未満の場合、送料として700円をご負担いただきます。
- 表示価格には、それぞれ消費税5%をご負担いただきます。
- 返品、交換、は商品到着後1週間以内にご連絡下さい。なおお客様のご都合による返品の場合、返送料はお客様の負担となりますのでご了承下さい。
- 商品はお申し込み後、約2週間でお届けします。また2点以上ご注文の際、まとめてお届けできない場合には、ご連絡させていただきます。

HONDA
HDC

株式会社 ホンダダイレクトマーケティング
東京都港区南青山2-7-6 青山SGKビル1階

サイズは既製サイズNR-56(白)(黒)がベースになります。カラー変更箇所はエリ・上袖・腰シャーリング・ヒザ下です。ヒジ・腰・太もも部のNANKAIロゴは変更カラーと同色になります。



基本色(白)

基本色(黒)

NR-56
フローリングスーツ
¥120,000

A白 B黒 C白/赤
D白/青 E白/ピンク F白/黄
サイズ: M, L, LL, XL
素材 国内産高級牛革使用
●MFJ公認 ●立体裁断・立体縫製
●スライディングパッド付
●ナンカイPROパッドII使用
●股下ケブラーニット



基本色(白)による変更例

プロフェッショナル仕様はそのままに、自分流のカラーリングをオーダーできる画期的なシステム。各種プロテクターは標準装備。補修等メンテナンスにも対応。

NEW

ナンカイが
アライに特別発注!!



Arai
HELMETS



RX-7 RR3
Limited edition
¥49,800

Aパールホワイト
Bパールブラック
サイズ: XS(53.54), S(55.56)
M(57.58), L(59.60), XL(61.62)

大好評のRX-7RR3にスーパーL ディフューザーを装着。さらにスペシャルカラーで仕上げた、ナンカイだけのLimited edition。

本気レーサーの選択

MOTORCYCLE TOP FASHION LEADER
NANKAI
FOR GOOD MOTORCYCLE LIFE

特徴的なナックルプロテクターKEVフィストプロを装備し、本体は撥水加工を施した最高級牛革を使用。各所にGPライダーのノウハウを生かした自信作。



NRG-25
NR MAX レーシンググローブ
¥18,000

A白/赤/黒 B白/ガンメタ/黒 C黒 D白/青/黒
サイズ: M, L, LL, XL
素材 高級牛革(ジャシイ牛)使用
●耐久性に優れたケブラー糸による縫製
●新素材ケブラーパッド装備 ●衝撃吸収材内装 ●立体裁断・立体縫製

VERTEBRA [セキツイ]の名の通り、軟質プラスチックで背骨のようなプロテクターを装備。フクラハギからカカト部分までをガッチリガード。

SIDI



ヴェルテブラスタンダード
¥31,000

A黒/グレー B黒/赤
C黒/青
サイズ: 25.0~29.0cm
全高: 約32cm
表素材: ロリカ、軟質プラスチック
内素材: 牛革、ウレタン
●脱着: アジャスト可能なトゥスライダーを装備
●サイドにステップガード

ヴェルテブラカーボン
¥38,000

A黒/グレー B黒/赤
サイズ: 25.0~29.0cm
全高: 約32cm
表素材: カーボン、ロリカ、軟質プラスチック
内素材: 牛革、ウレタン
●外側クルブシ部とスネ部にカーボンプロテクター装着
●脱着: アジャスト可能なトゥスライダーを装備
●ニスライダーを装備
●サイドにステップガード

NEW

FOR GOOD MOTORCYCLE LIFE 〒530-0002
南海部品株式会社 大阪市北区曾根崎新地2-6-28
TEL.(06)6344-1581(代表)

NANKAI
Original

掲載商品はすべてナンカイオリジナルです。お近くの南海スピードショップチェーンでお買い求めください。

ロードレース

ROADRACE

CONTENTS

▼ 細則1 ロードレース競技細則

| | |
|-----------------------|----|
| 1. 適用の範囲 | 46 |
| 2. ロードレース | 46 |
| 3. 競技会と開催クラス | 46 |
| 4. 公式シグナル | 47 |
| 5. 参加資格 | 48 |
| 6. 出場申し込み | 48 |
| 7. 参加受理 | 49 |
| 8. ゼッケン・ナンバー | 49 |
| 9. ライダーの装備 | 49 |
| 10. 出場受け | 50 |
| 11. 出場車両の変更 | 50 |
| 12. タイヤの使用本数制限 | 50 |
| 13. 車両および装備の検査 | 50 |
| 14. プリーフィング | 51 |
| 15. 公式予選 | 51 |
| 16. 決勝レース出場台数 | 52 |
| 17. スタート方法 | 52 |
| 18. スタートにおける反則 | 55 |
| 19. "ウェット"および"ドライ"レース | 56 |
| 20. レース中の行為 | 56 |
| 21. 停車指示 | 58 |
| 22. レースの一時停止 | 58 |
| 23. 赤旗中断されたレースの再スタート | 60 |
| 24. リタイヤ(棄権) | 60 |
| 25. レース終了 | 60 |
| 26. 優勝者、順位、完走者および得点 | 61 |
| 27. レース終了後の車両保管と再検査 | 61 |
| 28. レースおよび大会の延期・中止等 | 62 |
| 29. 抗議 | 62 |
| 30. 違反に対する罰則 | 62 |
| 31. 本規則の解釈 | 62 |
| 32. 本規則の施行 | 62 |

▼ 細則2 2000年全日本選手権大会特別規則

| | |
|----------------|----|
| 1. 公示 | 63 |
| 2. 開催種目と競技会の日程 | 63 |
| 3. 参加定員 | 63 |
| 4. 追加のクラス | 63 |

| | |
|-----------------------|----|
| 5. コースと最多出場台数 | 64 |
| 6. 大会審査委員会 | 64 |
| 7. 参加資格 | 64 |
| 8. 出場料および共済会掛金(保険料) | 65 |
| 9. ビット要員 | 66 |
| 10. スポーツ走行 | 66 |
| 11. レース当日の練習走行 | 66 |
| 12. ゼッケンナンバー | 66 |
| 13. 車両の変更 | 67 |
| 14. タイヤ使用本数制限 | 67 |
| 15. ビットロードのスピード制限 | 67 |
| 16. 公式予選 | 67 |
| 17. タイムキーピングシステム | 67 |
| 18. スターティンググリッド | 68 |
| 19. レース距離 | 68 |
| 20. 賞および得点 | 68 |
| 21. 主催者の権限 | 68 |
| 22. 本規則の施行 | 68 |
| 2000年全日本ロードレース選手権開催日程 | 69 |

▼ 細則3 2000年エリア選手権大会特別規則

| | |
|---------------------|----|
| 1. 公示 | 71 |
| 2. 開催種目 | 71 |
| 3. 追加のクラス | 71 |
| 4. 選手権 | 71 |
| 5. コース | 71 |
| 6. 大会審査委員会 | 71 |
| 7. 参加定員 | 72 |
| 8. 出場料および共済会掛金(保険料) | 72 |
| 9. ビット要員 | 72 |
| 10. ゼッケンナンバー | 72 |
| 11. 車両の変更 | 72 |
| 12. タイヤの使用本数制限 | 72 |
| 13. 公式予選 | 72 |
| 14. タイムキーピングシステム | 72 |
| 15. スターティンググリッド | 73 |
| 16. 賞および得点 | 73 |
| 17. 主催者の権限 | 73 |
| 18. 本規則の施行 | 73 |

※2000年からの規則変更点は太字で示されています。

細則 1

ロードレース 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づき、すべての国内のロードレース競技会に適用される（世界選手権を除く）。

2 ロードレース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットで行われるレースであり、国内競技規則およびこの細則により運営・管理される。ロードレースは、スプリントレースと耐久レースに区別される。

耐久レースの詳細については特別規則による。

スプリントレースの定義：①レースの総走行距離250km以下、もしくは走行時間2時間以下

②個人競技

耐久レースの定義：下記いずれかに合致すること。

①レースの総走行距離が250kmを超えるもの、もしくは走行時間2時間を超えるもの。

②2人もしくは3人の交代で行われる。

コースレコードの定義：コースレコードとは、スプリントレースにおけるそのサーキットのもっとも良いタイムの記録であり、クラス毎に管理される。予選、決勝ともにその対象となる。

3 競技会と開催クラス

競技会と開催クラスは下記とする。

| 出場可能 ライセンス | 大会格式 | 昇格ポイント対象種目 | | | | 申請昇格 | | その他承認公認レース (特別昇格は可能) |
|-------------------------|--------|------------|------------|---------------------------|-------|------------------|--|---|
| | | 自動昇格 | | | | | | |
| 国際ライセンス (参加資格は別途定める) | 全日本選手権 | GP125 | GP250 | SB/S-NK | | | | |
| 国際ライセンス 国内ライセンス | エリア選手権 | ↑ GP125 | ↑ GP250 | ↑ SB/S-NK (国内ライセンス) | SP250 | SP400 | | ネイキッド その他シングル/ツインレース等 |
| 国内ライセンス | 地方選手権 | ↑ GP125 | ↑ GP250 | | SP250 | SP400 | | SP125 ネイキッド GP80 その他シングル/ツインレース等 |
| フレッシュマン ライセンス | | ↑ GP125 | | | SP250 | SP400 ストックバイク | | SP125 ネイキッド GP80 MP12 (ミニバイク) その他シングル/ツインレース等 |
| ジュニア | | | | | | | | GP80 その他 |

自動昇格＝規定の得点を得た場合は、次年度は上級クラスへ自動的に昇格となる。

申請昇格＝規定の得点を得かつ申告をした者のみ昇格する。昇格申請は2001年1月31日消印有効。

特別昇格＝規定の得点に満たない者または自動／申告昇格対象種目以外のクラスで同等の成績を得た者が申告を行い、審査の上昇格する。

4 公式シグナル

ライダーは掲示される公式シグナルを確認する義務があり、そのシグナルに従わなければならない。

1) 公式練習、予選および決勝レース中は、下記の公式シグナルが使用される。

(1) 寸法

- ・シグナル用旗 80×100cm
- ・赤旗 80×100cm

(2) コントロールラインで使用される旗

- ・シグナルライトまたは国旗……レース・スタート
- ・白黒チェッカー旗……レース終了
- ・赤旗……レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さをもってそれぞれのピットに復帰。赤旗はサーキットを閉鎖する場合にも用いられる。
- ・チェッカーフラッグと青旗を同時に掲示……ファイナルラップにフィニッシュラインの手前でトップのライダーの前に他のライダーが走行している場合。トップのライダーはチェッカーであるが、直前を走行しているライダーはもう一周しなければならない事を伝える。
- ・以下の旗は原則的にはコントロールラインで掲示されるが、必要に応じて各ポストにおいても掲示される。
- ・黒旗と白ナンバーを付した黒の合図板との併用……示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーは次のラップでピット停止。
- ・オレンジボール旗と白ナンバーを付した黒の合図版との併用……示されたナンバーの車両は本人または他のライダーに対して危険を及ぼすような問題に見舞われている（主にオイルもれ）ので、早急にコース上から退去し安全な場所に停止する。

(3) 各コーナーポストで使用される旗

- ・黄旗……この先に危険がある！
静止……スローダウンの準備。緑旗が出される地点まで追い越し禁止。
振る……危険が迫っている！スローダウンし、停止の準備。緑旗が出される地点まで追い越し禁止。
- ・赤色ストライプ付き黄旗……コース表面滑りやすい。
- ・赤旗……コントロールライン上で赤旗が出されたらすぐに提示する。
- ・白地に赤のクロス（レッドクロス）……ペースカー介入によるレースの非競技化（注意、減速、追い越し禁止）。ライダーは一列でペースカーに従うこと。
- ・緑旗……コースはクリアである。予選、サイティングラップ、ウォームアップラップの一周めに提示される。黄旗が出されたあとの次のポストで静止で提示され、追い越し禁止を解除する。
- ・白旗……ゆっくり動く車両、救急車などの介入車両がコース上にある。追い越しは禁止される。ペースカーを除くスロー走行車両の追い越しは認められる。介入車両パス後は追い越し禁止は解除される。
静止……ひとつ先のポスト区間に介入車両がある。

振る……このポスト区間に介入車両がある。

・青旗……追い越しシグナル。1台またはそれ以上の高速マシンに追い越されようとしている。

・静止……間もなく追い越される。

振る……追い越される寸前。

・黒旗と白ナンバーを付した黒のシグナル板との併用……示されたナンバーのライダーは速やかにピットインすること。再スタートはできない。

ジャンプスタートによるストップ&ゴーペナルティの場合は、区別するためにPの文字をシグナル板に示す。

オイルもれの場合はすみやかに安全な場所で停止する。

2) ライトによるシグナル

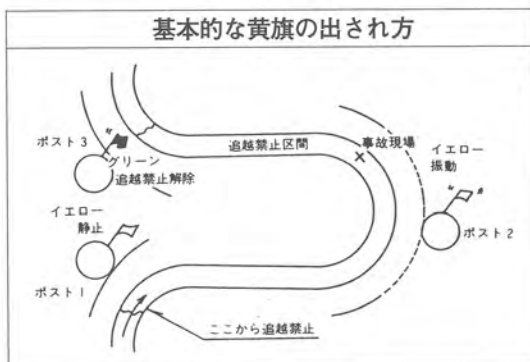
スタートの際、国旗の代わりに、ライトによるシグナルを使うことができる。

・黄色燈の点滅 黄旗と同意味。

・緑色燈 緑旗と同意味。

・赤色燈 赤旗と同意味、競技監督および監視ポストで使用。

ライトによるシグナルは、スタート時と特に夜間に行われるレースに使用されなければならない。



5 参加資格

1) エントラントおよびライダー

エントラントおよびライダーは、2000年度版 MFJ 国内競技規則・第3章 [⑨競技参加者] (29頁) に合致していなければならない。

6 出場申し込み

1) 出場申し込み場所および期間は、大会特別規則の定めるところのものとする。

2) 出場申し込み手続き

(1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入し、出場料および共済会掛金(保険料)を添えて大会事務局に提出しなければならない。

(2) 2クラス以上に出場を申し込む場合は、別々に申し込み書を提出しなければならない。

(3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締切り日当日の消印のあるものまでが有効となる。

(4) 電話による申し込みおよび締切り日以後の申し込みはいっさい受け付けない。

(締切り日以降のエントリー料金返却に際しての郵送料、送金手数料は返却金から差し引かれる)

7 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書、出場料及び共済会掛金(保険料)を大会事務局が受理した者のみに対し、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、共済会掛金(保険料)はいかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかった者も同様である。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加申請が拒否された場合のみ出場料、共済会掛金が返却される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、返却されない)

8 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに、規定の書体および色分けで記入しておかなければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。ゼッケンの修正を要求された場合、速やかに修正を行い、再度車両検査を受けなければならない。

9 ライダーの装備

ヘルメット及び装備は、レース期間を通じて車検で合格したものを使用しなければならない。また車検以前の練習においても、公認された適切なものを使用すること。

車検には複数の装備を持ち込み、確認を得ることができる。

- 1) ヘルメット
 - (1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
 - (2) MFJの公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付されている。
 - (3) 競技会の車両検査受付け時に、ヘルメット検査が行われる。検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
 - (4) MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料(1,000円)を支払い、特別に検査を受け合格しなければならない。
- 2) ライダーの服装
 - (1) レーシングスーツ
 - ① 革もしくは革と同等の素材(MFJの許可を得たもの)であり、MFJの公認したものでなければならない。
 - ② MFJが公認したレーシングスーツには、公認マークが貼付されている。
 - ③ 競技会の車両検査受付け時にレーシングスーツの検査が行われ、合格しなかった場合は、ライダー本人の安全上使用を禁止する。
 - ④ 競技会使用時には公認時のパット類が装備されていること。



MFJが公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いていなければならない

- (2) ブーツ・グローブ

革もしくは革と同等の素材（MFJの許可を得たもの）であり、フックなどが外部に突出していないものでなければならない。

- (3) 競技中のライダーは、レーシングスーツの下に肌着を着用しなければならない。ただし、レーシングスーツに裏地がついている場合は着用しなくてもよい。

10 出場受け

- 1) 出場受けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者がMFJライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

11 出場車両の変更

- 1) 車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(32頁)による。
- 2) 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

12 タイヤの使用本数制限

2000年より、「予選・決勝を通じ使用できるタイヤ本数」への制限はなくなった。

13 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。これ以後の検査は、競技監督が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 一大会において同一車両を複数のライダーが使用する事はできない。
- 5) 同一車両で複数の種目へのエントリーはできるが、競技運営進行上支障をきたさないことを条件とする。
- 6) 車両検査時持込み台数は、地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られ、エリア選手権・全日本選手権は2台までとする（スベアマシンは同一メーカーに限る）。
- 7) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不相当と判断された車両は、公式予選を含むいっさいの走行を拒否される。
- 8) テレメトリーは禁止される。ラップタイム計測装置はテレメトリーとみなされない。
- 9) 音量測定は車検時に全車測定、もしくは予選通過車両全車に対して行なう。
- 10) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行う権限を有する。
- 11) ガソリン
 - ① 地方選手権大会／エリア選手権／全日本選手権においては2サイクル・4サイクルともにMFJの定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。MFJの定める無鉛ガソリンの定義はMFJ技術規則による。
 - ② 使用するガソリンおよびオイルはMFJ技術規則（147頁参照）に合致していなければならない。
 - ③ 使用するガソリンは当該レースのサーキットで供給するものを使用しなければならない。供給されるガソリンの仕様は特別規則もしくは公式通知に記載される。

- ④ 承認競技会における使用ガソリンとその仕様並びに供給方法については各大会特別規則による。

14 ブリーフィング

主催者がブリーフィング（競技に関する要領説明）を行なう場合はライダー本人が必ず出席しなければならない。出席なき場合は罰則が課せられる場合がある。

15 公式予選

1) 公式予選

- (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
- (2) 公式予選の日程および時間は、特別規則に示される。
- (3) 公式予選は、タイムトライアル方式とレース方式がある。

通常はタイムトライアル方式で行う。レース方式で行う場合は、特別規則または公式通知等に示される。

2) 公式予選の内容

- (1) レースに出場するすべてのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
- (2) 公式予選においては、競技役員による車両の安全チェックがなされた後にスタートし、定められた時間内であれば走行を中断し、また再スタートすることができる。
- (3) 公式予選では、ラップタイムが測定されている。この測定で、ベストラップタイムが甚だしく劣る者はたとえ定員内であってもレース出場資格を与えられない場合がある。

●予選通過基準タイム

全日本選手権：トップタイムの110%以内（SBクラスは上位3名の、平均タイムの110%以内）

エリア選手権以下：トップタイムの120%以内

複数の予選がある場合、予選通過基準タイムはいずれかの予選ごとに上記に示すタイムをクリアすれば、通過基準タイムを満たしたものとする。

- (4) 公式予選において測定される各ライダーのベストラップタイムにより、大会特別規則に示されたレース出場台数を限度としてスタート位置が定められる。ベストラップタイムが同じ場合は、セカンドラップタイムによる。
- (5) 各クラスの公式予選義務周回数、特別規則に示される。なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
- (6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
- (7) 予選が複数の組にわかれて行われる場合の予選順位
 - ① 予選結果を総合タイム順によって決定する場合と予選組ごとの順位により決定する場合がある。
 - ② 天候の変化等により路面状況に大きな差異が認められると競技監督が判断した場合には各予選組ごとの順位によって決定する。この決定に対する抗議は一切受けつけない。
 - ③ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合のグリッドは各予選組のトップのタイムと比較しその順番で振り分けることとする。
 - ④ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合にグリッド数によって端数が出る場合の優先順序は下記とする。（ウエイティングも同様）

例：グリッド数30台、予選4組

- ④ 予選組上位7台で28台が選抜される。
- ⑤ 残り2台を予選組の8位(4台)のなかから決定するには…
 - ・各予選組の1位のタイムと8位のタイムを比較する。
 - ・各予選組8位のものからタイム差の少ない順に2名を選出する
- (8) 最終的な予選選出方法とスターティンググリッドは大会審査委員会の決定による。
- (9) 予選通過者で出場不可能となった者は、すみやかにその旨を届け出なければならない。
- (10) ウエイティング(繰り上げ出場)の方法
レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがいた場合、予選タイムを基準として、願い書を提出した者を繰り上げて出場させる場合がある。
 - ① 予選結果発表後主催者が規定する時間以内にウエイティングの願い書を提出する。
 - ② 主催者が規定する時間内にリタイヤがない場合は出走は不可となる。
 - ③ 審査委員会による正式グリッド発表後は、一切の繰り上げ出場は認められない。

16 決勝レース出場台数

決勝レース出場台数は、各サーキットごとに定められ、特別規則に示される。

17 スタート方法

- 1) レースのスタート位置は、各ライダーに与えられているゼッケンナンバーとは関係なく、公式予選の結果によって決定される。
- 2) スタート方法は同時スタートとし、下記の3種類がある。通常はクラッチスタートにて行われる。
 - (1) 押しがけスタート
 - (2) クラッチスタート
 - (3) ルマン式スタート(耐久)
ルマン式スタートにおいては、スタートライダーを複数のグループに分けて時間差スタートをする、スタッガードスタートを採用する場合がある。
- 3) スタート位置は、すべてのライダーが正規のスタートラインからスタートするものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは一切考慮されない。
- 4) クラッチスタートの場合のスタート手順は以下の通りとする。
 - (1) ウォームアップラップスタート約30分前
ライダーはスタート前チェックを受け、マシンとともにコース外のウエイティングエリアに待機する。
 - (2) ウォームアップラップスタート15分前
サイティングラップのためにピットレーン出口が開放される。ピット出口で5分、4分、3分、2分、1分前のカウントダウンボードが掲示される。
 - (3) ウォームアップラップスタート10分前
ピットレーン出口が閉鎖される。サイティングラップは義務づけられない。サイティングラップに参加しないライダーはウォームアップラップ開始の5分前まではオフィシャルの指示に従って自分のマシンをグリッドに押してゆくことができる。
ライダーが所定の位置に着くのを助けるために、コースサイドでオフィシャルがグリッド列を示すボードを掲げる。この段階で競技監督はレースを『ウェット』または『ドライ』のいずれかを選んで宣言する。この宣言はグリッド上にいるライダーとピットレーンにいるライダーに対してボードで示す。ボードが出されない場合は自動的に『ドライ』とみな

される。

(4) サイティングラップ開始

サイティングラップ開始後のグリッドとピットにおいては、余熱以外のタイヤウォーマーの使用は禁止される。グリッド上での給油は禁止される。

サイティングラップ中に技術的なトラブルに見舞われたライダーは、ピットに戻って調整またはマシンの交換（スペアマシン登録可能競技のみ。以後同様）を行うことができる。

この場合当該ライダーはピットレーンからウォームアップラップを開始しなくてはならない。

グリッドに着く際には十分に徐行し、所定のグリッドに着かなければならない。

この段階で、グリッド上のライダーは、マシンの調整を行ったりコースコンディションに合わせてタイヤ交換を行うことができる。グリッド上での余熱によるタイヤウォーマーの使用は許可されるが、ジェネレーター、バッテリーまたはその他の電源をグリッドに持ち込むことは禁止される。

(5) ウォームアップラップ開始5分前ボード

グリッド上で5分前のボードが掲示される。

(6) ウォームアップラップ開始3分前ボード

グリッド上で3分前のボードが掲示される。

すべての調整は『3分前』のボードが出るまでに完了しなければならない。このボードが掲示されたら、さらに調整を行うことを希望するライダーはマシンをピットレーンまで押してゆき、そこで調整またはマシンの交換を行うことができる。この場合当該ライダーはピットレーンからウォームアップラップを開始する。

この時点でライダー1名につき1名のメカニックとそのライダーのために傘を持って立つ1名、主催者の認めるTVクルー、および必要なオフィシャル以外の人間は全員グリッドから退去しなければならない。スペアホイールを除く全てのタイヤウォーマー（グリッドに着いているマシンおよびピットのスペアマシン）は取り外さなくてはならない。

(7) ウォームアップラップ開始1分前ボード

グリッド上で1分前のボードが掲示される。（エンジンスタート）

この時点でライダー1名につき1名のメカニック以外の全員がグリッドから退去する。このメカニックはライダーが押しがけするのを助けその後速やかにグリッドから退出する。（車検で許可された外部スターターの使用が認められる）

(8) ウォームアップラップ開始30秒前ボード

グリッド上で30秒前のボードが掲示される。

全ライダーはエンジンが始動している状態でグリッドの所定の位置に着かなくてはならない。これ以降メカニックの援助は禁止される。マシンをスタートできないライダーはマシンをピットレーンに移動し、そこでさらにマシンが始動するよう試みるかマシンを交換することができる。このようなライダーはピットレーンからウォームアップを開始することができる。

(9) ウォームアップラップ開始（レーススタートの約2分前）

ウォームアップラップの開始を示すためにイエローライトが点灯される。ライダーは各列ごとに役員の指示に従ってスタートし、1周走行し、その後ろにセーフティーカーが続く。集団が通過したらピットレーンで待機していたライダーはウォームアップラップに加わることが許可される。

ウォームアップ走行が開始されたら各ポストはライダーに旗の掲示位置を確認させるためにグリーンフラッグを掲示する。

グリッドに戻ってきたらライダーはモーターサイクルのエンジンを始動したまま、フロントホイールをグリッドポジションを示すラインに合わせ、所定の位置につかなければならない。グリッド最前列の前には赤旗を持ったオフィシャルが立つ。

セーフティーカーが到着した後でグリッドに戻ってきたライダーはピットに導かれ、ピットからレースをスタートする。

ウォームアップラップ途中でトラブルに見舞われたライダーは、ピットレーンに戻って修理またはマシンの交換ができる。

グリッドでエンジンをストールさせたライダーまたはその他のトラブルに見舞われたライダーは、モーターサイクルにまたがったままの状態であ腕を上げる。その方法によって意図的にレースのスタートを遅らせることは許されない。

グリッドの各列が整列したらオフィシャルは担当する列が整列したことを示すためにグリッド列ボードを降ろす。ある列のライダーがエンジンをストールさせたり、または他のトラブルに見舞われているときにはその列のボードは降ろされない。すべてのボードが降ろされて、セーフティーカーが戻ってきたら、グリッド後方に待機するオフィシャルがグリーンフラッグを振る。

その後スターターはグリッド前方で赤旗を掲示するオフィシャルにコースサイドに歩くよう指示を出す。

(10) スタート

レッドライトが点灯しその2～5秒後にグリーンライトが点灯しレースがスタートする。

ジャンプスタートをしたライダーに対しては30秒間のタイム加算もしくはストップ&ゴーのペナルティが与えられる。ペナルティは当該ライダーのピットクルーにも通達されなければならない。

グリーンライトが点灯された後で、マシンがストールした場合、オフィシャルはエンジンがかかるまでそのマシンをコースに沿って押すことを補佐する。それでも始動しない場合にはオフィシャルの指示に従ってマシンをピットレーンに押しに行かなければならない。ピットレーンでは当該ライダーのメカニックがエンジン始動させるために援助することとマシンを交換することが許可される。

ライダー達の集団がピットレーン出口を通過したらオフィシャルはピットレーンに待機するライダーをスタートさせる。

トップを走行するライダーが1周目を終えてフィニッシュラインを通過した後ではレースが中断されない限りマシンの交換は許可されない。

(11) スタートディレイド

スタート時の安全性を脅かすようなトラブルがグリッド上で発生した場合には、スタートを受け持つオフィシャルがイエローライトを点滅させ『スタートディレイド』および「エンジントップ」のボードを掲示する。この場合ライダーはエンジンを停止させなければならない。各ライダーについて1名のメカニックがエンジン始動を補佐するためにグリッドに立ち入ることが許可される。

スタート手順は『1分前』ボードの段階から再開され、ライダーは追加のウォームアップラップを1周走行し、レース周回数は1周減算される。

※サイティングラップスタートの時間、グリッド列ボードの配列（隔列の場合もある）、またはその他の手順について省略する場合がある。この場合、各特別規則ならびに公式通知に示される。

5) ルマン式スタートの場合のスタート手順は以下の通りとする。

ルマン式スタートにおいて、安全上の理由により競技監督が審査委員会に提案し、許可を

得ればスタaggerドスタート（スタートライダーを複数のグループに分けて行う時間差スタート）を採用する事ができる。

（以下のスタート手順は標準モデルであり、特別規則によって変更されることがある。）

(1) スタート準備

スタート約45分前に、ライダーはマシンと共にピットで待機してはならない。

(2) レースのスタート

—1分前：シグナルタワーカウントダウン開始

“ヘルメット” パネル+ホーン：ライダーはコースの反対側、自分のマシンの正面に立つ。

—30秒前：ボード表示

—グリーンライトまたは国旗（特別規則に明記される）：スタート

各ライダーは自分のマシンのもとへ駆け寄りエンジンを始動し、レースを開始する。

エンジンは、マシンの機械式デバイスを用いて該当ライダーひとりによって始動される。

外部からの援助は一切禁止される。

スタaggerドスタート採用時

—グリーンライトまたは国旗（特別規則に明記される）：スタート

最初のグループの各ライダーは自分のマシンのもとへ駆け寄りエンジンを始動し、レースを開始する。

約15秒後に国旗が振られて次のグループの各ライダーが同様にスタートする。ライダーは、前にスタートしたグループでエンジン始動の遅れたライダーが飛び出してくるかもしれないことに最大の注意を払わなければならない。

エンジンはマシンの機械式デバイスを用いて該当ライダーひとりによって始動される。外部からの援助は一切禁止される。

—オープニングラップはセーフティカーが最後尾を走る。

(3) スタートの補助

もしライダーがマシンを始動できなかった場合、競技監督が可能だと判断した時点でグリーンフラッグを用いてアシスタントにマシンを押すことを許可する。ライダーがスタートできなかった場合には、ただちにコースマーシャルがマシンをピットに押してゆく（出口あるいは入り口いずれか近いほうから）。マシンはマーシャルの監督のもとに、所定のピットに戻すことが出来る。マシンの修理が終わり次第、ライダーは再度スタートを切ることが出来る。

(4) ディレイドスタート

ピットの出口地点をライダーの主要集団が通過したあとで、ピットレーンで待機しているライダーに対してライトを用いてディレイドスタートが許可される。

(5) スタート手順違反へのペナルティ

上記(1)から(4)に関するいかなる違反も、該当ライダーはストップ&ゴーのペナルティが科せられる。

18 スタートにおける反則

- 1) スタートラインについて車両およびライダーは、スタート用意からスタート合図が出されスタートが終了するまでスタート合図の統制下にある。
- 2) スタート合図が行われる前に自分のスタートポジションから前進した場合（フロントホイールスピンドルが各自のスタートラインより前進した—ジャンプスタートと呼ぶ—）は、競

技監督の決定により、下記いずれかのペナルティが科せられる。

- (1) 競技結果への30秒の加算。
- (2) **ストップ&ゴーペナルティ**
 - ① 所定の場所での一旦停止（耐久レースでは停止時間を定める場合がある）
 - ② 当該ライダーに黒旗と黒のシグナル板にPの文字とゼッケンナンバーを付したペナルティボードを掲示する。
 - ③ 当該ライダーが停止指示を出したのちに停止しなかった場合、失格となる。
 - ④ 同時に複数のジャンプスタートが発生した場合、原則的に一周ごとに停止させる。停止の順番は予選タイムに基づきタイム順に停止の指示を出す。ボードは複数同時に掲示する場合もある。
 - ⑤ **ストップ&ゴーペナルティが実行される前に赤旗中断で再レースになった場合、再レース開始後停止することを要求される（レース終了までにペナルティが消化できない時は、レース結果に30秒加算の場合もある。）ただし3周未満で赤旗中断され、レース無効となった場合はペナルティは消滅する。ペナルティを抱えたまま再レースのスタートでもジャンプスタートをした場合、当該ライダーは失格となる。**
- 3) ピットクルーがスタートの規則に従わなかった場合も反則とみなされ、当該ライダーに1分間もしくは失格のペナルティが科せられる。
- 4) ペナルティは、当該ライダーのピット要員にただちに通告されるが、判定に対する抗議は一切受けられない。

19 “ウェット” および “ドライ” レース

- 1) すべてのレースはウェットかドライに分けられる。グリッド上で、ボードが掲示される。ボードが掲示されない場合にはレースは自動的にドライとなる。この分類の目的は、ライダーにレース中天候状況の変化による影響があることを示すためである。
- 2) **ドライレース**

ドライレースと分類されたレースは天候状況が路面状態に影響を及ぼし、ライダーがタイヤ交換を望む可能性がある場合と競技監督が判断した場合に中断される。
- 3) **ウェットレース**

ウェットレースと分類されたレースは、変化して行く状況、またはウェットの状況で通常開始され、天候の理由により中断されることはない。タイヤ交換を望むライダーはレース中ピットに入りタイヤ交換する。
- 4) すべての場合において、最初にレースが天候上の理由により中断された場合、再スタートは自動的に“ウェット”レースとなる。

20 レース中の行為

- 1) 走行中の遵守事項は、国内競技規則・第3章〔⑩競技参加者の遵守事項〕(29頁)のほかに次による。これに違反した場合罰則が科せられる。
 - (1) ライダーは、指示を伝えるフラッグシグナルに従わなければならない。
 - (2) もしライダーがコースアウトしたら、ライダーは、オフィシャルが指示した場所または、そのライダーが有利にならないような場所からレースに復帰することができる。※この際オフィシャルは下記の補助ができる。
 - ・マシンを起こす補助。
 - ・修理・調整が行われている間マシンを支えている。
 - ・ライダーの再スタートを補助する。

- (3) リタイヤする場合、ライダーは自分のマシンをオフィシャルに指示された安全な場所に止めなければならない。
- (4) もしライダーがレースからリタイヤを余儀なくされるようなマシントラブルにあった場合、そのライダーは遅いスピードでピットまで戻ろうと試みず、コースアウトしてオフィシャルの指示に従い、安全な場所にマシンを止めなくてはならない。
- (5) コース上にオイル等の液体をまき散らす恐れのあるようなトラブルにあった場合、そのライダーはピットまで戻ろうと試みず、コースアウトして安全な場所にマシンを止めなければならない。

又、停止後再スタートを希望する場合はオフィシャルの確認を必要とする。

上記に違反した場合、最低罰金10,000円以上の罰則が科せられる。

- (6) 修復作業のためにゆっくりと戻るライダーは、できるかぎりピット設置側を走行しなければならない。
- (7) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。
いかなる場合でも、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は罰則が科せられる。
- (9) レース中（予選中を含む）直線部分では前車を追い越すためあるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは禁止される。

2) ピットイン

※ピットとは車両の修理、調整、部品交換、燃料補給などの作業を行うことを目的に、ライダーに与えられた区域である。

- (1) ピットインする車両のライダーは、ピットロード入口手前よりピット側に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行ったのち、安全を確認してピットロードを徐行しなければならない。
ピットエリア（停車区域）を走行することは禁止される。
- (2) ピットインする車両のライダーは、自己のピットにできるだけ近いピットロードからピットエリアに入り、できるだけ自己のピットに近づけて車両を停車させなければならない。
- (3) ピットインしてピットエリアに入った車両及び当該車両のライダーやピットクルーは、ピットロード及びピットエリアにおいて他の車両の通過を妨げてはならない。
- (4) ピットインの際、自己のピット前を通り過ぎて停車した車両のライダーは、競技役員の承認を得て、当該車両のライダーおよびピットクルーによって押し戻し、自己のピットにつけることができる。

3) ピットアウト

- (1) ピットロードにおいてはピットインしてくる車両に優先権がある。
- (2) ピットロードに出てコースに復帰するライダーは、ピットロードを出て最初のコーナー出口に達するまで、コースピット側に沿って走行しなければならない。その間、後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。
- (3) ピットでエンジンを止めたライダーは、メカニックの補助を受けてマシンを再スタートすることができる。

4) ピット作業

- (1) レース中、車両の修理、調整、部品交換は、ピットに準備してある部品と工具によって行わなければならない。給油中は、必ずエンジンを停止しなければならない。
- (2) ピット区域内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、安全上ただちに清掃しなければならない。

5) ピット作業人員

- (1) 大会の格式によって登録できるピットクルーの人数が大会特別規則に示される。
- (2) レース中にピットインした車両に対しての作業は、登録した2名のメカニックと、その車両のライダーの計3名だけに限られる。(全日本選手権は細則2全日本選手権特別規則〔⑨ピット要員〕参照)(66頁)
- (3) ライダーに対するピットクルー(メカニック、ピットサインマンおよびヘルパー)の合図は、大会競技役員の使用する合図旗にまぎらわしいものであってはならない。また主催者により定められたピット区域またはピットサインエリアのみで合図を送ることができる。
- (4) ピット作業を行う者は、すべてピットクルーライセンス所持者で、大会への参加申請がなされた者でなければならない。大会当日の追加は一切認められない。ただし参加申請がなされている者の変更は認められる(変更料1,000円)。
- (5) ピットクルーは競技期間中を通じて、すべて大会競技役員の指示に従わなければならない。ピットクルーが諸規則に違反した場合の責任は、そのピットクルー担当のライダーに帰属し、罰則が科せられる。

21 停車指示

- 1) レース続行が危険とみなされるライダーまたは車両について、競技監督は、大会審査委員会の同意を得てピットインを命じるか、レースから除外することができる。
- 2) 天災、大事故等の不慮の事態が発生した場合は、競技監督は、赤旗によって全ライダーに対し、停止を指示することができる。

22 レースの一時停止

競技監督が天候上の理由、あるいはそのほかの理由からレースを中断することを決定したら、1) 赤旗を掲示する。2) ペースカーを導入する。の2つの方法のいずれかを選択することができる。

1) 赤旗を掲示する場合

- (1) 赤旗がスタートラインとすべてのマーシャル・ポストで掲示される。ライダーはただちにスローダウンし、ピットレーンに戻らなくてはならない。当該レースの結果は前の周を終えた時点でのものとされる。
したがって、結果はレースを続行していたライダー全員が、赤旗が掲示されずにフルラップを完了した時点でのものとされる。
- (2) トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が3周未満しか走行していないことを結果が示した場合、当該レースは無効とされ、まったく新たにレースが行われる。もしレースの再スタートが不可能だと判明した場合、このレースは中止になったと宣言される。
- (3) トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が3周以上、しかし本来のレース距離の2/3未満(小数点以下切り捨て)であった場合、レースの最終結果は二つのレースの周回数とタイムを合計して出される。もしレースの再スタートが不可能だと判明した場合、ポイントは半分与えられる。

30週のレースの場合の例：

トップのライダーは9周目を終えて10周目に入ったが、その他のライダー全員が9周目を終えていない時点で赤旗が掲示された場合、レース結果は8周目を終えた時点でのものとされ、セカンド・ヒートは22周となる。

トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が9周目を終えて10周目に入っていた時点で赤旗が掲示された場合、レース結果は9周目を終えた時点でのものとされ、セカンド・ヒートは21周となる。

- (4) トップのライダー、およびトップのライダーと同じ周回数を走っていた残りのライダー全員が本来のレース距離2/3 (小数点以下切り捨て) を走行した場合、当該レースは完了したとみなされ、ポイントはフルに与えられる。

2) フルコースコーション (事故発生時に競技監督の判断によって、ペースカーが介入してレースを一時非競技化し、スロー走行で先導し、その間に事故処理を行う方法。)

- (1) 競技監督がフルコースコーションを決定したら、直ちに全ポストにおいてレッドクロス旗が提示され、追い越しが禁止される。またイエローの回転灯を点灯したペースカー (またはセフティカー/以下同様) が先頭のライダーの位置に関係無くピットロードからコースインする。SCと書かれたボードがスタートラインにて提示され、ペースカーの介入を告知する。

- (2) 全ての競技車両はペースカーを先頭に一列に整列しなければならない。この時のライダーの追い越しは厳禁される。ライダー間の距離は10m (車両5台分程度) 以内までとする。介入するペースカーは原則的に1台とし、その車体にはPACE CARまたはSAFETY CARと明記されていなければならない。イエロー及びブルーの回転灯を装備していなければならない。

- (3) 競技監督からの指示に基づき、ペースカーと先頭ライダーとの間にいるライダーに対して、ペースカー後部に備えられているグリーンライトを使って前に出るよう(追い越すよう)合図する。これらのライダーは減速したまま他のライダーを追い越さず走行を続け、ペースカー後方の列に合流する。この場合以外はペースカーの追い越しは禁止される。

- (4) ペースカーは先頭のライダーがその後方につき、残りのライダーがさらにその後方に整列した状態で、事故処理が終了するまで走行を続ける。

- (5) フルコースコーションの間にピットインすることは許可される。フルコースコーション中にピットアウトする場合は、ピットレーン出口にあるグリーンライトが点灯されている間のみ許可される。この間スベアマシンとの交換は認められない。

ペースカーに先導された最後尾のマシンがピット出口を通過後、約10秒に亘りピットレーン出口のグリーンライトが点灯し、ピットアウトすることができるが、それ以外はレッドライトによりピット出口は閉鎖される。

ピットアウトできなかったライダーは、次の週のグリーンライトまで待たなければならない。

- (6) 競技監督が次のコントロールラインからのレース再開を決定したら、ペースカーはイエローの回転灯を消灯する。ペースカーはその週の終了時点でピットに入る。

- (7) ペースカーがピットロードに入り、ライダーがコントロールラインに近づいている時点で、コントロールポストではグリーンライトが点灯され、グリーンフラッグが振動表示される。同時に全ポストのレッドクロス旗は一斉に下げられる。各ライダーはコントロールラインを通過した時点でフルコースコーションが解除され、レース状態に戻る。レッドクロス旗が下げられた後もコントロールラインを通過するまでは、追い越しは厳禁される。

- (8) フルコースコーション中の走行ラップも周回数としてカウントされる。

- (9) フリープラクティス中に、ペースカーを使用したフルコースコーションの練習を行う場合がある。

※詳細は各大会の特別規則または公式通知に示す。

23 赤旗中断されたレースの再スタート

レースが再スタートされる場合、再スタートはコース・コンディションが許すかぎり早く行われなくてはならない。ライダーがピットに戻りしだい、競技監督は新たなスタート時刻を発表する。このスタート時刻は状況が許すかぎり最初の赤旗が掲示されてから30分以内に設定される。

- 1) 競技結果が2周以下の場合の再スタートには下記各項が適用される。
 - (1) 全ライダーがスタートできる。
 - (2) マシンは修理・給油ができる。
 - (3) 転倒車両を使用する際には車検長の許可を必要とする。
 - (4) 登録され車検に合格しているスペアマシンに交換できる。
 - (5) 周回数は原則的にもとのレースと同じとする。
 - (6) グリッドポジションは本来のレースと同じとする。
 - (7) 再スタートできないライダーのグリッドはそのまま空席とする。
 - (8) スタートの手順は通常にサイティングラップから始める。
- 2) 競技結果が3周以上2/3（小数点以下切り捨て）未満の場合の再スタートには下記各項が適用される。
 - (1) 前回のレースでトップの周回数の2/3（小数点以下切り捨て）を走行しているライダーだけが再スタートできる。
 - (2) 第2レースが開始される前に、第1レースの結果が公示されなくてはならない。
 - (3) 転倒車両を使用する際には車検長の許可を必要とする。
 - (4) マシンは修理・給油ができる。（耐久を除く）
 - (5) 登録され車検に合格しているスペアマシンに交換できる。
 - (6) 第2レースの周回数は、本来のレース距離を満たすために必要な周回数とする。（前回のレース結果の周回数に基づく）
 - (7) グリッドポジションは第1レースの結果に基づく。
 - (8) レースの最終結果は、二つのレースの周回数を合算し、最大数の周回のライダーが優勝者となる。周回数が同数の場合、二つのレースのタイムを合計したタイムによって順位が決定される。

24 リタイヤ（棄権）

- 1) リタイヤと停止（競技中、コース内での停止）は、国内競技規則・第3章〔⑩競技〕（32頁）による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員の判定によりリタイヤと認めることができる。
- 3) ピット以外の地域でリタイヤする場合、ライダーは車両をレース（または予選）終了まで競技役員の管理下におかななければならない。ただし、競技役員から車両移動を指示された場合は、これに従わなければならない。

25 レース終了

- 1) トップのライダーにチェッカーフラッグが掲示された後、引き続き後続ライダーにも特別規則に示す時間掲示される。この時間が経過した時をもってレース終了となる。
※原則的にコース1周の距離1kmにつき1分とする。
- 2) ファイナルラップにフィニッシュライン手前でトップのライダーのすぐ前に他のライダーがいる場合、スタート・フィニッシュマーシャルは同時にチェッカーと青旗を掲示する。これ

- はトップを走行するライダーはレースを終了するが、そのすぐ前を走っているライダーはファイナルラップを完走しチェッカーフラッグを受けなければならないということを意味する。
- 3) トップを走行するモーターサイクルが、所定の周回数を完了する前にレース終了の合図が出された場合、当該レースはその時点で終了したものとみなされる。

何らかの理由によって、レース終了の合図が遅れた場合でも、レースはそれが本来終了する時点で終了したものとみなされる。

26 優勝者、順位、完走者および得点（ポイント）

1) 優勝者

- (1) 優勝者は規定の距離（周回数）または時間を完走して最初にフィニッシュライン（コントロールライン）を通過したライダーである。
- (2) 写真判定が用いられる場合には勝者の決定はフロントホイールの先端がフィニッシュラインを最初に通過した方を有利とする。
- (3) 優勝者がフィニッシュラインを通過したら他のライダーはその時点で走行している周回を終え、フィニッシュラインを通過したら終了となる。

2) 順位の優先順位

優先順位：

1. チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定される。同周回数の場合はフィニッシュラインの通過順位による。
2. チェッカーを受けなかった完走者を周回数の多い順に決定する。同周回数の場合はフィニッシュライン通過順位による。
チェッカーは優勝者がフィニッシュラインを通過したのち特別規則に示す時間、フィニッシュラインで掲示される。

3) 完走者

優勝者の周回数の75%（少数点以下切り捨て）以上を走行したライダー。

4) 得点

得点は、国内競技規則・第3章〔24公式得点〕（33頁）によって与えられる。

27 レース終了後の車両保管と再検査

- 1) 原則として1位～6位の車両は、所定の位置より競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなければならない。
- 2) 原則として1位～6位の車両は、音量測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査を行うことがある。
- 3) 原則として1位～6位の車両は、暫定結果発表後30分間保管される。
地方選手権においては、保管時間を特別規則で定める場合がある。

4) 燃料検査

燃料検査の手順

- (1) 燃料検査は各大会の審査委員会が必要と認めた場合実施できる。
- (2) 燃料検査を行う対象クラス、ライダーは審査委員会が決定する。
- (3) 燃料テストは審査委員会が必要と認めた場合レース期間中いつでも行うことができる。
- (4) レース終了後に燃料タンク内に検査に必要な量が残っていなければならない。
- (5) 各分析ごとに、それぞれ検査に必要な量のサンプルを2サンプル採取する。
ひとつは検査用、ひとつは保管用として封印され、当事者によってサインが施され、主催者が保管する。

潤滑油を混合した場合は混入したオイルも添えて提出しなければならない。

車検にて判別できない場合はMFJ指定の機関にて分析を依頼し検査する。

サンプルはエントラントに提出義務があり、その検査の費用は自己負担とする。

- (6) 結果が不合格であった場合、当事者は本人の費用負担によってMFJ指定の別の機関にて保管用サンプルの分析を依頼することができる。

- (7) 分析の費用負担は下記の通り

- ① 大会審査委員会の決定により、特定の大会もしくはクラスに検査を行う場合。

・最初の検査の費用は主催者が負担する。

・結果が不合格で当事者が再度検査を要求する場合は当事者が負担する。

- ② 抗議が出され特定のライダーの検査をする場合は抗議者が費用を負担し、検査の結果違反が立証された場合は返却される。

- ③ 検査の結果違反が立証された場合は違反者が検査料を負担しなければならない。

- (8) 競技結果

サンプル分析の結果、違反が立証された場合MFJ中央審査委員会に報告され、罰則が科せられる。また、当日受領した賞典等は返却しなければならない。

- 5) 出場者は、車両保管解除と同時に、保管車両を速やかに引き取らねばならない。主催者は車両保管解除発表後、保管車両の責任は一切負わない。

28 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は、原則として本規則に基づいて発表した日程から変更または延期されることはない。
2) レースまたは大会が参加申し込み後に中止された場合、参加者が支払った出場料、共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

29 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔27抗議〕(35頁)による。
2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。
3) ガソリンに関する抗議の場合の保証金は100,000円とする。

30 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔29違反行為に対する罰則〕(36頁)による。

31 本規則の解釈

規則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

32 本規則の施行

本規則は、2000年1月1日より施行する。

細則 2

2000年全日本 ロードレース選手権大会 特別規則

1 公 示

全日本ロードレース選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と全日本選手権シリーズを通じて、共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきFIM・MFJ公認の国際格式競技会として開催される。

2 開催種目と競技会の日程

1) 開催種目は下記とする。

GP125

GP250

スーパーバイク (スーパーネイキッド混走)

2) レースウィークの日程

① 全日本選手権は下記日程で開催される。

月～木曜日：当該大会にエントリーしている選手は走行してはならない。これに違反した場合罰則が適用される。

金曜日：スポーツ走行 各クラス最低30分×2回

土曜日：公式予選 各クラス最低20分×2回

日曜日：午前 ウォーミングアップラン 各クラス10分

10：30～16：00以内 決勝レース

3) 競技会の日程は巻末 (69頁参照) に示す。

3 参加定員

エントリーの上限

もてぎ、SUGO、TI 48名

鈴鹿 52名 (※200kmレースのスーパーバイクのみ104台)

MINÉ 43台

筑波 (2組) 64台

4 追加のクラス

1) 全日本選手権には、エリア選手権が必ず1種目以上併催される。

2) その他の併催レースを追加する場合は、全日本/エリア対象クラスを含めて、全体で6クラスまでとする。

- 3) 上記併催種目の設定に際しては、パドック並びに全日本の予選、決勝に影響しないことを条件とする。

5 コースと最多出場台数

コースはMFJが国際公認もしくは準国際公認したコースとする。
各施設ごとの同時出走最多台数は以下の通り。

| 施設 | 決勝 | 予選 |
|---------|----|----|
| SUGO | 40 | 48 |
| 筑波 | 32 | 38 |
| もてぎ | 40 | 48 |
| 鈴鹿 | 44 | 52 |
| TI | 40 | 48 |
| CP MINÉ | 36 | 43 |

ショートカットに関する規定は、各主催者発表の特別規則に記載される。

6 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長はMFJロードレース委員会の委員、もしくは主催者が指名する1級競技役員でMFJが任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時まで会場に到着しない場合は、次席のものがこれにあたる。
- 3) 審査委員長は必要に応じてエントラントの代表者を指名し、同席させることができる。

7 参加資格

2000年R²-1参加資格は以下のとおりとする。

参加条件に関する基本的な考え方

◇GP125クラス

1999年度全日本選手権ポイント獲得者が出場可能。

◇GP250クラス

出走組を確実に一組にする。

◇SB/S-NKクラス

出走組を確実に一組にする。

全戦参加できる資格「スーパーライセンス」

*スーパーライセンスの取得資格

- ①1999年ポイント獲得者（個人資格）
- ②1999年各エリア選手権ランキング上位3名
- ③1999年エリアGPでの優勝者
- ④2000年全日本にワイルドカードで出場し、ポイント獲得した者（獲得時点での希望による）。
- ⑤世界選手権出場者などで、プロモーション委員会が認めた者。

*上記資格所持者は、年間全戦でもスポットでも出場できる。

*スーパーライセンス所持者はエリア選手権には出場できない。

*トップエントラント

- ①各クラス1999年ランキング15位まで（繰り下げはない。ただしSB/S-NKのみ20位まで繰り下げる）のライダーを輩出したチームはトップエントラントとして認められ、そのライダー数

の出場資格を得る。

- ② トップエントラントは各クラスに十1台のエクストラシート出場権を行使できる。エクストラシートは国際ライセンス以上を対象とし、年間全戦でもスポットでも出場できる。

*年間出場契約チーム（エントラント資格）*改訂～条件を変更

- ① 1999年にポイントを得たライダーを輩出したチームで、全戦参加することを条件とする。起用できるのはスーパーライセンスを所持するライダーのみ。エクストラシートの権利はない。チーム責任者および連絡先を明確にするため、あらかじめチーム登録が必要。エントラントライセンス取得が必要。

- ② R²-1第1戦の2ヶ月前（予定）までに、チーム登録をしなければならない。

*「年間出場契約チーム」は、スーパーライセンス資格のないライダーを起用できない。

スポット参戦できる資格「ワイルドカード」

*ワイルドカード選抜優先順位

2000年R²-1第1戦～第5戦

第一優先

'99年度の、同地域のエリア選手権ランキング上位6名が優先です。排気量クラスは問いませんが、第一優先のなかでの順位付けは当該クラスが優先されます。

第二優先

2000年度の、同地域のエリア選手権、当該クラスのランキング上位6名が優先です。ランキングはそのR²-1大会の、エントリー締め切り時点のエリア選手権ランキングです。

第三優先

上記1、2以外のものは主催者が任意に選択します。

2000年R²-1第6戦～第10戦

第一優先

2000年度の、同地域のエリア選手権、当該クラスのランキング上位6名が優先です。

第二優先

1999年度の、同地域のエリア選手権、当該クラスのランキング上位6名が優先です。

第三優先

上記1、2以外のものは主催者が任意に選択します。

* ワイルドカードは、各大会最低6台（最大12台/1クラスあたり）の参加枠が用意されていなくてはならない。

予告事項

- ① 2001年R²-1のトップエントラントは、2000年のチームランキングポイントにて決定する。
 ② チームランキングポイントは、そのチームが起用（ワイルドカードを除く）するライダーの中の、一番よいポイントだけを抽出し、チームポイントとして積算する。
 ③ 年間出場契約をした場合、最低1名のライダーを全戦参加させるのは、チームの責任である。

8 出場料およびMFJ共済会掛金

| | |
|----------|-----------|
| 出場料：1クラス | 14,000円 |
| MFJ共済会掛金 | 1人 3,000円 |
| 合計 | 17,000円 |

9 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して6名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 2) ピットエリアではライダー1名について3人のピットクルーが作業できる。

10 スポーツ走行

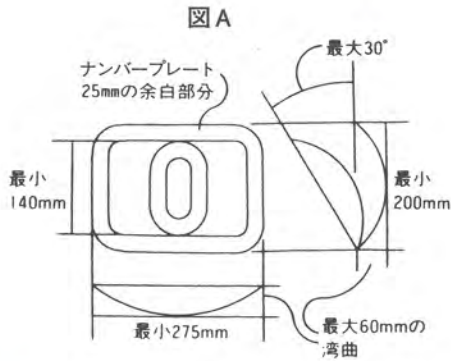
- 1) スポーツ走行は各クラス（予選組）ごとに最低下記時間が設定され、MFJライセンスにて走行できる。
無料のスポーツ走行時間：30分間
有料のスポーツ走行時間：30分間
- 2) 天候等やむを得ない理由で短縮または中止される場合がある。

11 レース当日の練習走行

- 1) レース当日の朝、各クラスごとに最低10分間の練習走行が行われる。
- 2) 天候等やむを得ない理由で短縮または中止される場合がある。

12 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者で当該年度のスーパーライセンス申請者には、当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。
- 3) ランキング順位に従って定められたゼッケンナンバーを変更する場合はMFJ中央スポーツ委員会にて許可が必要であり、別途定める料金を必要とする。
- 4) 全日本選手権ゼッケン（ナンバープレート）規定
 - ① モーターサイクルのフロントと両サイドにナンバーが装着され、観客と競技役員が明確に識別できるようにしなくてはならない。
 - ② 文字およびバックグラウンドは、図Aに記載されている寸法に適合していなくてはならない。
 - ③ 文字の色は黒か白とし、バックグラウンドの色と判別しやすいようにされなくてはならない。※S-NKのX-Formulaは白地に赤文字、NK-1は赤字に白文字とする。
 - ④ バックグラウンドは最低限、下記の面積が単色でなければならない。蛍光色は禁止される。
・幅=275mm ・高さ=200mm
 - ⑤ ナンバープレートは、垂直から30°以上傾斜してはならない。
 - ⑥ ナンバープレートは、湾曲による突出が水平方向からも垂直方向からも60mm以上あってはならない。
 - ⑦ 文字の周囲には最低25mm幅の余白が残されていなくてはならない。
 - ⑧ ナンバーの明瞭度に関して議論が持ち上がった場合、車検長の決定を最終のものとする。判別しにくいと判断された場合はすみやかに修正しなければならない。



図B (基準の書体)

Futura Heavy
0123456789

Futura Heavy Italic
0123456789

Oliver Med.
0123456789

Oliver Med. Italic
0123456789

13 車両の変更

- 1) 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でスペアマシンとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 2) 公式車検終了後選手間でのマシンの交換はできない。
- 3) 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを交換する事が出来るが、そのライダーの名前でスペアマシンとして登録され車検に合格していることを条件とする。
- 4) レースがスタートした後のスペアマシンとのマシン交換はトップの走者が1周目を終えてフィニッシュラインを通過するまでとする（赤旗中断されたレースの再スタートの場合を除く）。

14 タイヤの使用本数制限

2000年より、「予選・決勝を通じ使用できるタイヤ本数」への制限はなくなった。

15 ピットロードのスピード制限

大会期間中を通じてピットロードのスピード制限は85km/hとする。

違反した場合は罰則が科せられる。

決勝レース時（サイティングラップ開始以降）における違反への罰則は、違反1回に対してストップ&ゴー1回とする。

16 公式予選

- 1) 公式予選
 - (1) 予選
 - ① 予選は各クラス・予選組ごとに最低20分間を2回行う。但し、天候等やむを得ない理由にて短縮される場合がある。
 - ② 予選の同時出走最多台数は決勝レースグリッドの120%である。

17 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなければならない。

18 スタートイングリッド

スタートイングリッドの数、配置は各大会の特別規則に示される。

19 レース距離

- 各クラスの決勝レースの距離を下記のように定める。

| | |
|---------|------------|
| GP125 | 50km～130km |
| GP250 | 60km～130km |
| スーパーバイク | 60km～250km |
- 天候等やむを得ない理由によって上記の距離から短縮される場合がある。

20 賞および得点

- 賞の詳細については公式通知に示される。
- 得点は国内競技規則・第3章〔24公式得点〕(33頁)に従い出走台数に応じて与えられる。得点の詳細は以下に示す。
- MFJのスポーツ国籍以外の選手については賞典は与えられるが、全日本選手権の得点が与えられない。(但し下位は繰上げない)
- MFJグランプリ大会については上記の得点に3点が追加される。
- 全日本選手権のランキングは得点の総合計によって決定される。その他の詳細は全日本選手権ランキング決定基準(237頁)に示される。

R²-1全日本選手権においてのみ、以下の得点(ポイントシステム)がライダーポイント、チームポイントに採用される。

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1位 25P | 2位 20P | 3位 16P | 4位 13P | 5位 11P |
| 6位 10P | 7位 9P | 8位 8P | 9位 7P | 10位 6P |
| 11位 5P | 12位 4P | 13位 3P | 14位 2P | 15位 1P |

21 主催者の権限

- 参加申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 競技番号の指定、あるいはピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- やむを得ない理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。
- すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

22 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は主催者の発行する大会特別規則、および国内競技規則による。

本規則は2000年1月1日より適用する。

R²-1 2000年全日本ロードレース選手権シリーズ カレンダー

| 開催月日 | 大会名/開催クラス | 出場申込先 | 出場申込期間 |
|-----------------------------|---|--|---------------------------|
| 3月24日(金) ∩ 3月26日(日) | MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 ミリオンカードカップ2&4 会場:鈴鹿サーキット ☎ 0593 (78) 1111 | (株) 鈴鹿サーキットランドSMSC事務局 〒510-0295 ☎ 0593 (78) 3405 | 2月15日(火) ∩ 2月24日(木) |
| 4月14日(金) ∩ 4月16日(日) | MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 CP MINÉスーパーバイクレース 会場:セントラルパークMINÉサーキット ☎ 08375(8)0321 | セントラルパークMINÉサーキット 〒759-2152 山口県美祿市西厚保町 ☎ 08375 (8) 0321 | 3月7日(火) ∩ 3月16日(木) |
| 5月12日(金) ∩ 5月14日(日) | MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 筑波スーパーバイクレース 会場:筑波サーキット ☎ 0296 (44) 3146 | (財) 日本オートスポーツセンター 〒104-0041 東京都中央区新富1-9-6 新富1丁目ビル6F ☎ 03 (3555) 6051 | 4月4日(火) ∩ 4月13日(木) |
| 5月26日(金) ∩ 5月28日(日) | MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 鈴鹿スーパーバイク200km 会場:鈴鹿サーキット ☎ 0593 (78) 1111 | (株) 鈴鹿サーキットランドSMSC事務局 〒510-0295 ☎ 0593 (78) 3405 | 4月18日(火) ∩ 4月27日(木) |
| 6月23日(金) ∩ 6月25日(日) | MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦 もてぎスーパーバイクレース 会場:ツインリンクもてぎ ☎ 0285 (64) 0001 | ツインリンクもてぎレース事務局 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1 ☎ 0285 (64) 0200 | 5月16日(火) ∩ 5月25日(木) |
| 8月18日(金) ∩ 8月20日(日) | MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 SUGOスーパーバイクレース 会場:スポーツランドSUGO ☎ 0224 (83) 3127 | SUGOスポーツクラブRR係 〒989-1394 ☎ 0224 (83) 3127 | 7月11日(火) ∩ 7月21日(金) |
| 9月1日(金) ∩ 9月3日(日) | MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 鈴鹿スーパーバイクレース 会場:鈴鹿サーキット ☎ 0593 (78) 1111 | (株) 鈴鹿サーキットランドSMSC事務局 〒510-0295 ☎ 0593 (78) 3405 | 7月25日(火) ∩ 8月3日(木) |
| 9月15日(金) ∩ 9月17日(日) | MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦 筑波スーパーバイクレース 会場:筑波サーキット ☎ 0296 (44) 3146 | (財) 日本オートスポーツセンター 〒104-0041 東京都中央区新富1-9-6 新富1丁目ビル6F ☎ 03 (3555) 6051 | 8月8日(火) ∩ 8月17日(木) |
| 9月29日(金) ∩ 10月1日(日) | MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 SUGOスーパーバイクレース 会場:スポーツランドSUGO ☎ 0224 (83) 3127 | SUGOスポーツクラブRR係 〒989-1394 ☎ 0224 (83) 3127 | 8月22日(火) ∩ 8月31日(木) |
| 10月20日(金) ∩ 10月22日(日) | MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第10戦 TIスーパーバイクレース 会場:TIサーキット英田 ☎ 08687 (4) 3311 | TIサーキット(株)全日本RR事務局 〒701-2612 岡山県英田郡英田町滝宮1210 ☎ 08687 (4) 3311 | 9月12日(火) ∩ 9月21日(木) |
| 11月3日(金) ∩ 11月5日(日) | 第37回MFJグランプリスーパーバイクレースinもてぎ MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第11戦 会場:ツインリンクもてぎ ☎ 0285 (64) 0001 | ツインリンクもてぎレース事務局 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1 ☎ 0285 (64) 0200 | 9月26日(火) ∩ 10月5日(木) |

※全大会とも3日制:金曜日=公式練習、土曜日=公式予選、日曜日=決勝レース

※全大会ともFIM公認国際格式レース

※鈴鹿サーキットとスポーツランドSUGOへの郵便物は、郵便番号と宛名のみで届きます。

2000年全日本ロードレース選手権大会特別規則

2000年ロードレース主要競技会 カレンダー

| 開催月日 | 大会名/会場 | 開催クラス | 出場申込先 |
|-----------------------------|---|--------------------------|---|
| 4月7日(金) ∩ 4月9日(日) | FIMロードレース世界選手権第3戦 マールボログランプリ of ジャパン 会場：鈴鹿サーキット ☎ 0593 (78) 1111 | GP500 GP250 GP125 | (株) 鈴鹿サーキットランドSMSC事務局 〒510-0295 ☎ 0593 (78) 3405 |
| 4月28日(金) ∩ 4月30日(日) | FIMスーパーバイク世界選手権第4戦 SUGOスーパーバイク日本大会 会場：スポーツランドSUGO ☎ 0224 (83) 3111 | SB | SUGOスポーツクラブRR係 〒989-1394 ☎ 0224 (83) 3127 |
| 7月27日(木) ∩ 7月30日(日) | FIM世界耐久選手権シリーズ第3戦 スプライト鈴鹿8時間耐久ロードレース 会場：鈴鹿サーキット ☎ 0593 (78) 1111 | SB/S-NK | (株) 鈴鹿サーキットランドSMSC事務局 〒510-0295 ☎ 0593 (78) 3405 |
| 8月27日 (日) | 2000サマー・エンデュランス・カーニバル もてぎオープン7時間耐久 会場：ツインリンクもてぎ ☎ 0285 (64) 0001 | オープン | ツインリンクもてぎレース事務局 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町桧山 120-1 ☎ 0285 (64) 0200 |
| 10月13日(金) ∩ 10月15日(日) | FIMロードレース世界選手権シリーズ第15戦 パシフィックグランプリ 会場：ツインリンクもてぎ ☎ 0285 (64) 0001 | GP500 GP250 GP125 | ツインリンクもてぎレース事務局 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町桧山 120-1 ☎ 0285 (64) 0200 |
| 11月5日 (日) | SUGO 6時間耐久フェスタ 会場：スポーツランドSUGO ☎ 0224 (83) 3111 | オープン (125cc以上) | SUGOスポーツクラブRR係 〒989-1394 ☎ 0224 (83) 3127 |
| 11月23日 (日) | FUN&RUN 2-Wheels SUPER NAKED SUZUKA 2時間耐久ロードレース 会場：鈴鹿サーキット ☎ 0593 (78) 1111 | S-NK・ X-Formula NK | (株) 鈴鹿サーキットランドSMSC事務局 〒510-0295 ☎ 0593 (78) 3405 |

※鈴鹿サーキットランド・スポーツランドSUGOへの郵便物は、郵便番号と宛名のみで届きます。

細則 3

2000年エリア選手権大会 特別規則

1 公 示

エリア選手権ロードレースはFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則とエリア選手権レースの共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきMFJ公認の国内格式競技会として開催される。

2 開催種目

- ① 参加資格：国際・国内（スーパーライセンス資格の者は参加できない）。
- ② クラス：GP125・GP250・スーパーバイク（S-NK含む）

3 追加のクラス

エリア選手権には併催クラスが追加されてもよい。

4 選手権

2000年エリア選手権は下記4地域で開催される。

- ・ノースエリア選手権（SUGO・エビス）
- ・イーストエリア選手権（筑波・富士・もてぎ）
- ・ウエストエリア選手権（鈴鹿・TI）
- ・サウスエリア選手権（CP MINÉ・HSR九州・SPA直入・オートボリス）

※各エリア選手権の各クラスのランキング上位3名は、次年度のスーパーライセンス取得資格が与えられる（選択可）。

5 コース

コースはMFJが国内公認したコースとする。開催上限クラスはその施設の公認された上限クラスに限定される。

ショートカットに関する規定は、各主催者発行の特別規則に記載される。

6 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は主催者が任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までには会場に到着しない場合は次席のものがこれにあたる。

7 参加定員

参加定員を定める場合がある。

8 出場料およびMFJ共済会掛金

エントリー料金は主催者によって定められる。MFJ共済会掛金は3,000円

9 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して最大4名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 2) ピットエリアではライダー1名について2人のピットクルーが作業出来る。

10 ゼッケンナンバー

ライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

- 1) 国内ライセンスのプレートカラーはクラスごとに下記に定められる。

| | | | | |
|---------|--------|------|-----------|--------|
| GP125 | 黒地に白文字 | S-NK | X-Formula | 白地に赤文字 |
| GP250 | 緑地に白文字 | | NK1 | 赤地に白文字 |
| スーパーバイク | 白地に黒文字 | | | |

- 2) 国際ライセンス (S-NKは除く) のプレートは全日本特別規則⑫-4)・66頁のプレートカラーの規定とする。

11 車両の変更

- 1) 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でスペアマシンとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 2) 車検終了後の選手間でのマシンの交換は出来ない。
- 3) 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを交換することが出来るが、そのライダーの名前でスペアマシンとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 4) レース停止の場合を除き、マシン交換はレーススタート後トップのライダーが1周するまでとする。

12 タイヤの使用本数制限

2000年より、「予選・決勝を通じ使用できるタイヤ本数」への制限は無くなった。

13 公式予選

公式予選は主催者により設定される。(最低時間は設けない)

14 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなくてはならない。

15 スターティンググリッド

スターティンググリッドの数、配列は各大会の特別規則に示される。

16 賞および得点 (ポイント)

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則第3章〔㉔公式得点〕(33頁)によって与えられる。
- 3) 耐久レースの場合は2倍のポイントがそれぞれのライダーに与えられる。ただしチームが3人からなる場合、レースの総距離あるいは総走行時間の20%以上を走ったライダーに得点が与えられる。
- 4) 国内ライセンスで獲得する昇格ポイントは総合順位によって与えられる。
- 5) やむを得ず排気量クラスの混走を行う場合のポイントは、それぞれのクラスの予選出走台数から適用する。
- 6) 国内ライセンスにて出場し優勝した場合は、国際ライセンスに昇格する権利を与えられる(当該年度中であればいつでも可)。
- 7) 全日本選手権と同日併催されるエリア選手権クラスには、最低賞金が設定される(各大会特別規則告知)。

17 主催者の権限

- 1) 参加者申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4) やむを得ない理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

18 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は主催者の発行する大会特別規則および国内競技規則による。

本規則は2000年1月1日より適用される。

エリアGP

各エリア選手権から選抜者による全国大会(エリアGP)を12月2日/3日に鈴鹿サーキットにおいて開催します。

エリアGPの各クラスの優勝者には下記の特典が与えられます。

- ・各クラス優勝者には2001年度のスーパーライセンス資格が与えられる。
- ・スカラシップ賞として各クラスの優勝者には翌年の全日本選手権に全戦参加することを条件に、優勝したクラスのマシン(同メーカー)の車両が贈られます。

SB/S-NK…ベースマシン(提供可能な車両に限る)

GP125/GP250…市販レーサー

ロードレースにおける 2次災害防止について

最近転倒後に後続車にひかれる2次的な事故が多発しております。
転倒、もしくは故障で停止したときに2次事故防止に十分に気を配って行動して下さい。

転倒、又は故障停止したら

2次災害防止を基本的に

転倒したら2次災害の防止。つまり、後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させる等、事故の増大を防止するよう心がけて下さい。

まず逃げる

転倒したら、まず安全な所にできるだけ早く逃げて下さい。

特に、オイルによる転倒は、後続車も同じ所に次々と転倒してきます。

後続車への合図

ポストから黄旗が振られますが、できるかぎり後続車に知らせる努力をして下さい。タイミングを見て、電源と燃料コックをOFFにして火災やガス漏れの防止をして下さい。

障害物のかたづけ

オフィシャルと協力して散乱部品のかたづけを素早く行って下さい。オイルやガソリンがこぼれていたなら処理作業も素早く行って下さい。安全上、走ってくるレーサーに背中を向けられないよう心がけて下さい。

コース内はヘルメットを

自分が転倒した所は他のライダーも転倒しやすい場所です。いつ飛び込んで来るか分かりません。

ガードレールの外に出るまではヘルメットを被ったままで行動して下さい。コース内（グリーンも含む）にライダーがいる間は黄旗が振られ、追い越し禁止です。他のライダーを拘束しますので、できるだけ早くコース外に退場して下さい。

転倒車両を見たら

転倒したマシンは、オイル、ガソリン等をこぼす可能性があります。

走行中に転倒車を目撃したら次の周には充分注意をして通過して下さい。

再スタート

マシンが再スタートが可能かどうかの確認をして下さい。

マシンの点検はコース内の危険な場所で行わないで下さい。オフィシャルの指示に従い安全な場所に移動して下さい。

- 1) オイル、ガソリン、冷却水、ブレーキオイル等の漏れがないか確認をして下さい。オイル漏れなどがあった場合は、無理にピット帰還はしないで下さい。
- 2) 走行に危険のある部分の破損、重要保安部品の破損がないか、また破損部分が鋭利になり2次被害を与えないか確認して下さい。
- 3) カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないかを確認し、またタイヤに泥が付着したままライン上に復帰してはいけません。後方の安全を充分に確認し余裕をもってコースに復帰して下さい。

サーキット走行に関する 指導要項

平成9年5月16日制定

1. 目的

本指導要項は、財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下MFJという）が、ロードレースコース（サーキット）において走行する際の基本的な走行方法、マナーなどについて指導するための基準である。

2. 定義

1) サーキット走行は、全ての者が、その持ち得る技量及び車両の能力において、でき得る限りより速く、かつ安全に走ることを目的として走行しなければならない。（後述のロー走行除く）

2) レコードラインの定義

レコードラインとは、そのサーキットをでき得る限りより速く、かつ安全に走るための理想的走行ラインをいう。

3. サーキット走行における遵守事項

サーキット走行する際は、各サーキットごとに定められた規則を熟知し、当該施設の指導員・係員等の指示に従わなければならない。

1) 優先権

(1) サーキット走行においては、基本的にはレコードラインを走行する者に優先権がある。

(2) ロー走行中の者は、レコードラインを走行する者を妨げてはならない。

ロー走行とは、以下をいう。故障車両／初心者／ならし運転中の者／コース慣熟走行中の者。

ロー走行車は基本的にはコースピット側を走行する。

(3) ピットロードにおいては、ピットインしてくる車両に優先権がある。

(4) ピットアウトしてコースに復帰するライダーは、ピットロードを出て最初のコーナー出口に達するまでは、コースピット側に沿って走行しなければならない。その間、後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。レコードラインへの合流に際しては、十分な速度まで加速しなければならない。

2) 走行中の遵守事項

(1) シグナルおよびフラッグシグナルを確認し、その指示に従う義務がある。

(2) 通常予想できない地点での不必要な急減速をしてはならない。

(3) いかなる場合も、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。

(4) 直線部分では、前車を追い越す以外の目的で進路を著しく急激に変更することは禁止される。

(5) 他のライダーの走行を妨害するような走行をしてはならない。

(6) 必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離し、また外に突き出したりするような危険な姿勢をとってはならない。

3) 転倒・コースアウト

(1) コースアウト

- 1 もしコースアウトしたら、復帰する場合は後方を確認したのちコースに復帰することができるが、マシンの確認（破損・オイル漏れ・グラベルの砂利等）も留意しなければならない。
- 2 トラブルなどで走行を止める場合は、マシンをコース外の安全な場所に止めてから退去する。

(2) 転倒

- 1 自分が転倒した場合、2次災害の防止つまり後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させる等の事故の増大を防止するように心がけなければならない。
- 2 転倒したらまず安全な所へ避難すること、特にオイルによる転倒は、後続車も同じ場所で続々と転倒してくる可能性があるので注意すること。
- 3 安全な場所から、でき得る限り後続車へ知らせる努力をすること。安全なタイミングを見て電源と燃料コックをオフにして火災やガス漏れを防止する。また、可能な限り散乱部品を撤去すること。
- 4 ガードレールの外に出るまでは、ヘルメットを着用していなければならない。
- 5 転倒したマシンは、オイル・ガソリン等をこぼす場合が多いので、転倒車両を目撃したら次の周回は充分注意して走行すること。

(3) コースへの復帰

- 1 安全な場所にてマシンが走行可能かどうか確認する。
- 2 オイル・ガソリン・冷却水・ブレイキオイル等の漏れがないか確認する。漏れがあった場合は、無理にピットまで帰還しないこと。
- 3 走行に危険がある部分の破損、重要保安部品の破損、または破損部が鋭利になっていないかを確認する。
- 4 カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないか確認し、またタイヤに泥が付着したままライン上に復帰してはならない。
- 5 後方の安全を充分に確認して余裕を持ってコースに復帰する。

4) マシントラブル

- (1) 走行中にマシントラブルに見舞われた場合、レコードラインを走行するライダーの妨げにならないように注意してピットに戻ることができるが、後方の安全を確認し合図をしてからピット設置側を走行すること。
- (2) コース上にオイル等の液体を撒き散らす恐れのあるようなトラブルがあった場合は、スロー走行でピットに戻ろうとはせずに、すみやかにコースアウトして安全な場所にマシンを止めなければならない。
- (3) 車両は、自己の責任において安全装備等各サーキットにて要求される仕様を満たし、完全に整備されていなければならない。

5) ピットイン

- (1) ピットインする車両のライダーは、ピットロード入り口手前より後方を確認したのち、ピット側に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行ったのち、安全を確保しピットロードを徐行しなければならない。
ピットエリア（停車区域）を走行することは禁止される。
- (2) ピットインする車両は、自己のピットにできるだけ近いピットロードからピットエリアに入り、自己のピットにできるだけ寄って停車しなければならない。
- (3) ピットロードのスピード制限を設けてある場合は、当該サーキットの規則に従わなければ

ばならない。

6) その他

(1) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、品格を疑われるような言動は厳に慎まなければならない。

(2) 走行時には、アルコール類あるいは薬品（興奮剤等）を使用してはならない。

4. 損害に対する責任

1) 走行中自己の車両及びその付属品及び安全装備等が破損した場合、またサーキットの付帯設備等を破損した場合も、その責任は自己が負わなければならない。

2) 走行に際して起こった負傷等は、参加者自らが責任を負うものとする。

加入している方へ
追加契約
受付中!

RIDER'Sビック保障プラン

1 無配当新定期保険

(災害入院特約、疾病入院、手術特約付)

| 給付金の種類 | 支払事由 | 給付金額 |
|---|-------------------------|-------------------------------|
| 災害入院給付金 <small>【入院日額 × 入院日数 - 4日】 1入院120日、通算700日限度</small> | 災害で5日以上 継続入院したとき | 日額 5,000円 |
| 疾病入院給付金 <small>【入院日額 × 入院日数 - 4日】 1入院120日、通算700日限度</small> | 疾病で5日以上 継続入院したとき | 日額 5,000円 |
| 手術給付金 <small>手術に応じて 【入院日額の50・30・15倍】</small> | 災害または疾病で 所定の手術を受けたとき | 手術種類により 25・15・7.5万円 |
| 災害死亡 高度障害保険金 | 災害によって死亡 所定の高度障害のとき | 500万円 |
| 疾病死亡 高度障害保険金 | 疾病によって死亡 所定の高度障害のとき | 500万円 |

■月払保険料表【抜粋】

【集団扱い、特約保険料含む】

| 年齢 | 男性 | 女性 | 年齢 | 男性 | 女性 |
|-----|--------|--------|-----|--------|--------|
| 5才 | 1,830円 | 1,725円 | 30才 | 2,620円 | 2,370円 |
| 10才 | 2,030円 | 1,810円 | 35才 | 2,915円 | 2,595円 |
| 15才 | 2,310円 | 1,980円 | 40才 | 3,495円 | 3,000円 |
| 20才 | 2,455円 | 2,125円 | 45才 | 4,335円 | 3,555円 |
| 25才 | 2,495円 | 2,240円 | 50才 | 5,700円 | 4,285円 |

2 資料請求について

■お気軽にお電話で資料請求ください。

●9:30~16:00 (土曜/日曜/祝祭日を除く)



0120-893104
MFJ保険事務局 (直通)

045-201-2188

日本団体生命(株) 財日本モーターサイクルスポーツ協会 担当まで

■おハガキで資料請求する場合は下記要領で

■資料請求■
●〒 ●住所(フリガナ)
●氏名(フリガナ) ●性別
●電話 ●生年月日
●ライセンス番号
または証券番号
追加契約を希望
積立型と比較希望

50 104-0045
東京都中央区
築地 2-11-24
第29興和ビル 別館
財団法人
日本モーターサイクル
スポーツ協会 内
ライダーズビック保障プラン
保険事務局 係

■ご契約の際には「ご契約のしおり・約款」・パンフレットを必ずご覧下さい。
■ご職業・既契約・既往症・地域などによってはご契約が出来ない場合があります。
■このプランは【満期金】【配当金】がない掛捨て型の生命保険です。
■加入年齢は5歳~60歳。医師の診断などははない【告知扱い(書類診査)】です。
■保険料は抜粋です。ご契約時点の年齢で1才さざみて保険料は異なります。
■保障期間は【保険期間10年・自動継続型・主契約85才・特約80才】です。
■保険料は一般契約よりも割安な【集団割引・月払保険料】です。
■引受保険会社 日本団体生命保険株式会社

3 RIDER'Sビック保障プラン Q&A

Q 1.趣味としてモーターサイクル・スポーツを楽しんでいますか？

もち論、保障します。
ロードレース・モトクロス・トライアル・スノーモビル・ドラッグレース
エンデューロなどモーターサイクルスポーツ中(練習・予選・決勝を含む)
に発生したケガ・死亡を国内・海外と場所地域を問わず保障します。
また、海岸・河川敷・林道など一般公道以外で発生した事故もOKです。
さらに【一般公道上の交通事故】【スキー、ダイビング等レジャー中の事故】
【仕事上の労災事故】そして【病氣】【成人病】【ガン】までも保障します。
誠にオールマイティな保障を重点においた保険です。
つまり、モーターサイクルスポーツ中を含み、キミの生活を24時間に関
わり一般には加入出来ない割安な保険料で保障する素晴らしい保険です。

※参考 一般の傷害保険(交通傷害保険・傷害保険等)は「危険なスポーツでの傷害事故は免
責(保障対象外)」と約款(契約上の取り決め)で定めています。つまり、モーターサイ
クルスポーツは一般的傷害保険では「危険なスポーツ」とされ保障されません。ご注意ください。

Q 2.申込締切日と保障開始日とその支払方法は？

■申込書の締切日は 毎月 1日
事務局から保険会社へ提出する締切日が毎月1日。
事務局には毎月20日ごろまでご返送下さい。
■保障の開始日は 翌々月の1日~
■保険料は 第一回目から安心確実な口座自動振替

Q 3.通院や自宅で療養中の場合は保障されますか？

残念ながら、通院・整骨・療養は保障の対象外です。
また、たとえ入院であっても人間ドックなど検査を目的とする入院や出産
(異常出産は適用)も保障の対象外です。つまり治療入院が対象です。

Q 4.現在ケガで通院中ですが、このプランに加入出来ますか？

残念ですがご契約出来ません。契約する時点で【健康な方】が条件です。
ケガをしっかり治したあとにお申し込み下さい。
なお、現在リハビリ中の方、骨折されてギプス/プレート/針金等で固定中
の方、また医師の指導/指示をうけ薬を服用中の方、病氣などで定期検査
を指示されている方、また妊娠中の女性の方も同様に申し込み出来ません。
また、ご職業・既往症などによってもお申し込みが出来ない場合もありま
すのでお問い合わせください。
【備えあれば、憂いなし】ということわざがあります。保険も重要なパー
ツです。マシンとともにメンタル部分もチューニングが必要。
是非、ナニかが起こる前に、ご加入する事をおすすめします。

Q 5.モーターサイクルスポーツ中の保障を具体的に教えてください？

お支払例 ●大腿骨骨折で90日入院。接合手術あり(抜釘手術含む)の場合。
災害入院給付金 430,000円 (5,000円×(90日間-4日間))
手術給付金【給付倍率15倍】 75,000円 (5,000円×15倍)
お支払い合計 505,000円

1事故なし1入院のお支払対象期間は120日が限度です。
保険期間中の通算日数はケガ・病氣とも700日間、計1400日間を保障致します。

Q 6.加入資格、またモーターサイクルスポーツを卒業された場合は？

このプランは、財団法人、日本モーターサイクルスポーツ協会に登録され
た会員の方、またその家族に限り加入することが出来ます。保険料は一般
に契約するよりも割安な集団割引を適用した団体保険です。契約後、モ
ーターサイクルスポーツをご卒業されたとしても、MFJメンバーズサービ
スとしてそのままの保険料で継続いたしますので大丈夫。なお保険期間は10
年間。さらに自動継続制度で終期85歳(特約80歳)まで保障。継続時がた
たとえ傷病中であってもその時点の年齢別保険料で自動継続します。

Q 7.保障の額を引き上げたのですが、また積立型はありますか？

まずはこのプラン【無配当新定期保険】にご加入ください。
なお、死亡保障額を引き上げたい方はお電話でご相談ください。
また【積立型】をご希望の方、無配当新定期保険と比較したい方はお電話
または資料請求時に【積立型と比較希望】と明記して下さい。

Q 8.すでに加入しています。追加の契約が出来ますか？

朗報 すでにRIDER'Sビック保障プランをご加入されている方に朗報。追加契約
が出来ますのでご用命下さい。【積立型】や従来型【医療保険】もありま
すのでお気軽にご用命下さい。ただし【医療保険】は2口加入が出来ませ
んでご了承ください。

すでに契約されている方も追加OK



会員の皆様へ

RIDER'Sビック保障プランは【安い保険料】
【幅広い保障】でキミのレーシングライフを
24時間体制でサポートいたします。

二輪雑誌最強最速のバイヤーズガイド!

カンガマン

毎月アツと驚く情報満載!

ニューモデル
ぶっちぎりスクープ!
人気バイク&グッズ
徹底テスト!
最新カスタムマフラー情報
も満載!



毎月1日発売・定価570円(税込)

(株)内外出版社

〒110-8578 東京都台東区台東4-19-9 TEL 03-3833-2565 振替口座00180-9-3651

すべての大型免許ライダーへ

BIG MACHINE

全ページビッグバイク関連の記事で構成
ビッグバイクを買う・操る・楽しむいじるを応援します



毎月6日発売・定価880円(税込)

FUJI INTERNATIONAL SPEEDWAY

FISCOは
あなたのトライを
待っている。



【2000 FISCOプロダクションバイク選手権開催要項】

FISCO選手権は、関東選手権の4クラス (GP250・GP125・SP400・SP250) と本年から始まるNP (ノーマルプロダクション、ST・N-NK含む) とMP (モディファイプロダクション、NK-4・0-NK含む) のクラスにタイトルがかかります。

NPは排気量でNP-M (N-NK、ST含む) とNP-Oに分かれ、エンジン、フレーム、キャブレター、ガスリタンク、ラジエーター、ホイールが車両出荷時の物で、タイヤはSPタイヤの車両。

MPはオープンクラスで (NK-4・0-NK含む) 2スト125、4スト250以上の車両でクランクケース、フレーム、ガスリタンクが車両出荷時のものであること。

(但し、NK-4を除き、フレーム補強は可能とする)

2000年 FISCOロードレース開催スケジュール

| 開催日 | タイトル ライセンス クラス | 関東選手権 | | | | エリア選手権 (チャレンジカップ) | | | 承認競技FISCO選手権 | | | |
|----------|-----------------------------------|-------|-------|---------|-------|-------------------|-------|---------------|--------------|-----------|------|-----------|
| | | N | N・F | N | | I・N | | F・N (耐久はIも可能) | | | | |
| | | GP250 | GP125 | SP400 | SP250 | SB S-NK | GP250 | GP125 | ST | NP-M NK-N | NP-O | MP-O NK-4 |
| 4月1日(土) | 関東ロードレース選手権 SATURDAY in FUJI ① | ◇ | ◇ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ |
| 5月27日(土) | 関東ロードレース選手権 SATURDAY in FUJI ② | ◎ | ◎ | ◇ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ |
| 7月1日(土) | 関東ロードレース選手権 SATURDAY in FUJI ③ | ◎ | ◎ | ◇ | ◇ | ◇ | | | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ |
| | | | | 耐久500km | | | | | 耐久500km | | | |
| 8月12日(土) | 関東ロードレース選手権 SATURDAY in FUJI ④ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ |
| 9月30日(土) | 関東ロードレース選手権 SATURDAY in FUJI ⑤ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ |

◎印は自動昇格対象種目、○印は申請昇格対象種目、◇印は特別昇格可能種目

●ライセンス：I=国際/N=国内/F=フレッシュマン

体験走行のご案内

- ◇走行日 レース/イベント開催日、定休日を除く毎日12時～
- ◇料金 1回1台¥2,000 (2輪・4輪) 記念ステッカー付き
- ◇受付 当日11:00～12:00まで。
- ◇内容 ベースカー先導により、国際レーシングコース (1周4.43km) を3周まわる。

※ご自分の乗用車・オートバイで気軽にご参加ください。

スポーツ走行ライセンス講習会のご案内

- ◇講習日：土・日・祝日 (レース開催の日は予選日の前日)
- ◇受付時間：9:00～10:00 (当日コントロールタワーで受け付け)
- ◇講習時間：10:00～12:30 (講義のみ希望者は体験走行あり)
- ◇必要なもの：①受講料 20,000円 ②運転免許証 (公安委員会) ③印鑑 ④証明写真1枚 (3×3cm) ⑤筆記用具 ⑥血液型 (各自受講前までに必ず調べておく)
- ◇注意事項：16歳未満で2輪講習会をご希望の方は、MFJ・MCFJAJライセンス所持者で承認レース以上のレース経験のある方 (要 証明書提出) に限らせていただきます。但し、講習会に親権者の同伴を条件とさせていただきます。(親権者は、自分の証明できるものを提出していただきます。) 免許証をお持ちで20歳未満の方は、所定の契約書に親権者の署名捺印が必要となります。

◇お問い合わせ：FISCOライセンス事務局
電話0550-78-1233 FAX0550-78-1900



富士スピードウェイ株式会社

■本社：〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル5F)
TEL.03-3216-5611 FAX.03-3216-5619
■レース場：〒410-1308 静岡県駿東郡小山町大御神
TEL.0550-78-1234 FAX.0550-78-0205

NEW CBR600F

カウルシート

KDC

FRPパーツ

フルモデル好評販売中!



YZF-R1
カウル...¥49,000 スクリーン...¥8,800
シート...¥34,000 (ウラ板付)



ZX9R
カウル...¥49,000 スクリーン...¥8,800
シート...¥34,000 (ウラ板付)



CBR600
カウル...¥49,000 スクリーン...¥8,800
シート...¥30,000



CBR900
カウル...¥46,000 スクリーン...¥8,800
シート...¥30,000



CBR400RR
カウル...¥38,000 フェンダー...¥5,500
シート...¥25,000



ZXR400
カウル...¥38,000 フェンダー...¥6,500
シート...¥25,000 スクリーン...¥8,800



DUCA TI 916
アップカウル...¥22,000 シートカウル...¥35,000
アンダーカウル...¥44,000



GPZ900 ニンジャ
ストリート用...¥22,000 レース用...¥22,000



RS250
カウル...¥44,000 スクリーン...¥8,800
シート...¥22,000



TZ250
カウル...¥44,000 スクリーン...¥8,800
シート...¥22,000



RGV250
カウル...¥38,000 スクリーン...¥8,800
シート...¥22,000



RVF400
カウル...¥38,000 スクリーン...¥8,800
シート...¥25,000

“万全のアフターケア” KDCリペアーサービス

●割れたカウル、無くなった部品のあるカウルなど修理します。●レース前や予選日に割れた場合でも、即日修理します。●自分で修理される方には、材料のバラ売りもご用意してあります。●その他カウルのことなら何でもご相談ください。●修理代：1点¥3,000~¥5,000 樹脂¥1,000/㎡ ガラスマット¥500/㎡ クロス¥500/㎡



2000年RS125
カウル...¥28,000 スクリーン...¥8,800
シート...¥18,000



YZF-R6
カウル...¥49,000 シート...¥30,000



NSR250
カウル...¥38,000 スクリーン...¥8,800
シート...¥22,000

TZR250 カウル...¥38,000 シート...¥22,000 スクリーン...¥8,800
TZ125 カウル...¥30,000 シート...¥18,000 スクリーン...¥8,800

他機種用カウルも多数ご用意しております。
MH80, NSR50, TZM50, TZ125, RC45

KDC SERVICE

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町6726-80
電話 0593-70-0282
FAX 0593-79-4452 **業販OK**
全国通販OK!電話にて在庫をご確認の上、商品名・氏名・住所・電話番号を明記し、現金書留で代金+消費税+送料(¥1,000)を添えてお申込下さい。※3万円以上は送料サービス致します。



フロントフェンダー リヤフェンダー

| | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| TZR250 | ¥6,000 | RS125 | ¥6,000 |
| ZXR400 | ¥6,500 | TZ125 | ¥6,000 |
| RGV250 | ¥6,000 | TZ250 | ¥7,000 |

RS250 ¥9,000/NSR250 ¥5,000/RS125 ¥8,000/CBR400 ¥2,000/ZXR ¥12,000/TZ250 ¥8,000/TZ125 8,000/NSR50 ¥2,500/TZM50 ¥2,500/DUCATI ¥12,000

CP MINÉ CIRCUIT

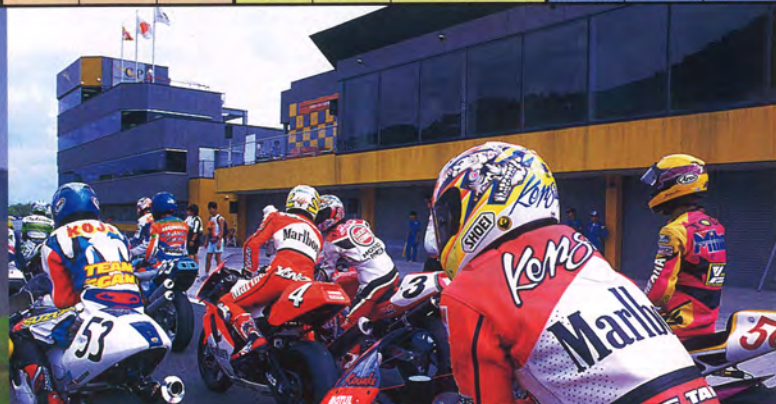


2000 CP MINÉサーキットロードレース暫定カレンダー

| 開催日 | 格式 | 承認競技 | | | 地方選手権 | | | | エリア選手権 | | |
|------------|-------------------|--------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|------------|
| | レース名 | MB2000 | MINI | KART | GP250 | GP125 | SP400 | SP250 | SB-S-NK | GP250 | GP125 |
| 3/5 | 西日本ロードレース第1戦(エリア) | ○ | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4/14-15-16 | 全日本ロードレース選手権第2戦 | | SB-S-NK | GP250 | GP125 | | | | | | GP125(エリア) |
| 4/30 | 西日本ロードレース第2戦 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 6/4 | 西日本ロードレース第3戦 | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 7/2 | 西日本ロードレース第4戦(エリア) | ○ | | | | | | | ○ | ○ | ○ |
| 9/3 | 西日本ロードレース第5戦 | | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 10/15 | MOTOBUSTER | 耐久 | | | | | | | | | |
| 11/19 | 西日本ロードレース第6戦(エリア) | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |



MINÉ CIRCUIT PROFILE
 Total length 3.33 Km, Width 10m-15m, Undulation low.
 Max. speed 180 km/h, Safety Zone 5m-8m.
 F16 (International), F15 (European), 1000cc (Asia)
 Auditorium Total 80,000 seats, Parking Total 100,000
 America (USA), Europe (UK), Asia (Japan), Oceania (Australia)
 Circuit Authority: FIA, FIM, JAF, JAF 1



スポーツ走行ライセンスのご案内

レース界でトップを目指す人、愛車で楽しみたい人、スタイルは違えどサーキットを走行するためのライセンスです。
 ライセンスの取得は、講習と実走行で半日の講習会参加でOKです。

講習会開催日: レースイベントのない土日祝日

取得費用: 39,900円(税込)

受講方法: 受講日を電話予約して下さい。

当日必要な物: 運転免許証、競技ライセンス(以上お持ちの方のみ)、

印鑑、顔写真2枚、実技走行に必要な車両、皮ツナギ、ヘルメット、グラブ、ブーツ

体験走行のご案内

CP MINÉサーキットは、どんなコースなのか自分の車、バイクで気軽に体験いただけます。
 レースイベント開催日を除く毎日12時すぎから実施中。

料金: 1台1,500円(2輪・4輪)

受付: 当日9時~12時

内容: ベースカーの先導によりレーシングコース(約3.3Km)を2周いたします。



■車、バイクでご来場の場合

中国自動車道美祿西ICより約5分(福岡ICより約70分、広島ICより約90分)

■電車でご来場の場合

JR厚狭駅下車タクシーで約20分(99年春、新幹線厚狭駅開業予定)

JR小月駅下車タクシーで約20分

セントラルパークMINÉサーキット

〒759-2152 山口県美祿市西厚保町 TEL:0837-58-0321 FAX:0837-58-0323

通常営業時間 8:30~17:30

http://www.c-mash.co.jp/cpmine/

Run!

もっと、もっと速く、そして力強く。

頂点をめざす人に



走るために生まれてきた人がいる
 勝利するために生まれてきた人がいる
 TIサーキット英田は
 モータースポーツを愛する人々に
 最高のコンディションのコースと
 最大級の声援を送り続けます

2000年 TIロードレース選手権シリーズカレンダー

1999.12.1時点 (本カレンダーは変更になる場合があります)

| 名称 | 開催日 | 開催クラス | | | | | | | | | | | | | 参加申込期間 | | | | | | | |
|------------|-----------|-------|------|-------|-----|---------|--------|-------|-----|--------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|------------------|
| | | 承認競技 | | | | | 地方選手権 | | | エリア選手権 | | | 全日本選手権 | | | | | | | | | |
| | | ミニ50 | オープン | F-NK | NK4 | ノーマル250 | NSR150 | KR150 | S80 | MH80 | SP600 | SP250 | SP400 | GP125 | GP250 | GP125 | GP250 | S/S-NK | GP125 | GP250 | S/S-NK | |
| 第1戦 | 2月27日 | | | ● | | ● | ● | | | | | | | ● | ● | | | | | | | 1/24(月)~1/31(月) |
| 第2戦 | 3月26日 | | | | | | | ● | ● | | | | | ● | ● | | | | | | | 2/21(月)~2/28(月) |
| 第3戦 | 4月29-30日 | | 耐久 | 耐久 | 耐久 | 耐久 | | | | | | | | | ● | | | | | | | 3/27(月)~4/3(月) |
| 第4戦 | 6月4日 | | 耐久 | 5/28 | | ● | ● | | | | | | | ● | ● | | | | | | | 5/1(月)~5/8(月) |
| 第5戦 | 7月9日 | | | ● | | | | | | | | | | ● | ● | | | | | | | 6/5(月)~6/12(月) |
| 第6戦 | 8月6日 | | 耐久 | | | ● | ● | | | | | | | ● | ● | | | | | | | 7/3(月)~7/10(月) |
| 第7戦 | 10月1日 | | | 10/15 | | | | | | | | | | ● | ● | | | | | | | 8/28(月)~9/4(月) |
| TIロードレース | 10月21-22日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9/13(水)~9/22(金) |
| 第8戦 | 11月12日 | | ● | | | ● | ● | | | | | | | ● | ● | | | | | | | 10/9(月)~10/16(月) |
| 第9戦 | 12月10日 | | | | | | | | | | | | | ● | ● | | | | | | | 11/8(月)~11/13(月) |
| 開催回数(耐久除く) | | 2 | 5 | 4 | 5 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 5 | 5 | 6 | 5 | 4 | 4 | 3 | 1 | 1 | 1 | | |

●.....スプリントレース ●●.....混走レース ○.....コンソレーションレース
 ※ウエストエリア選手権は上記以外に鈴鹿サーキットにて右記の通り開催予定となっております。 GP125...2/20, 5/27, 28, 9/17 GP250...2/20, 5/7, 9/2, 3 SB/S-NK...2/20, 4/7~9, 11/12

ARC入会のご案内
 ARC(アイテリングクラブ)は、モータースポーツへの参加を希望する全ての方を対象とし、楽しくTIサーキット英田でのスポーツ走行をしていただくクラブです。

入会資格
 満12歳以上で、普通自動2輪免許もしくは、MFJロードレース競技ライセンス所持者と同等の運転技術をお持ちの方。
 (未成年の場合は、親権者の承諾が必要です)

講習会スケジュール
 基本的に毎日開講しておりますのでご希望の日程をあらかじめ電話にてご予約ください。当日のスケジュールは講義、実技走行の約半日となります。

当日で用意して頂くもの
 ●入会費用 ¥39,000(税別)
 ●運転免許証 ●競技ライセンス(取得者のみ)
 ●印章 ●講習費 2枚
 ●実技走行に必要な車両・装備(ヘルメット・レーシングスーツ・グローブ・ブーツ)

SRM(サンデーライダーズミーティング)
 街乗りバイクで手軽に参加できる2輪走行会。TIロードレース選手権時に開催するのでレース観戦の後、興奮さめやらめ中、愛車でフリー走行できるとてもお得なミーティングです。

●参加車両 排気量250cc以上のナンバー付きバイク(レース仕様車不可)
 ●装備 革ツナギ、フルフェイスヘルメット、グローブ、ブーツ着用
 ●参加料金 ¥8,000(レース観戦料、保険料込み)
 ●申し込み 電話一本でOK
 ※併せてサーキットクルーズ(先導車付体験走行)も実施しています。

交通アクセスのご案内

- 山陽自動車道 和気ICより約25km
- 山陽自動車道 備前ICより約25km
- 中国自動車道 美作ICより約25km



●お問合わせ・お申込み先

INTERNATIONAL RACING COURSE TI Circuit AIDA

〒701-2612 岡山県英田郡英田町滝宮1210 TEL 08687-4-3311 FAX 08687-4-2600

世界中のモトクロス場で読まれているのはダートクールだけ



隔 月 刊
モトクロス専門誌
ダートクール
偶数月24日発売



発行/株式会社ニュース出版

〒154-0005 東京都世田谷区三宿2-4-7
Tel. 03-5430-4440 (販売)

制作/有限会社エアタイム

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-11-5-106
Tel. 03-5423-5464 (広告・編集)

- ダートクール2000 No.1 12/18発売
- ダートクール2000 No.2 2/24発売
- ダートクール2000 No.3 4/24発売
- ダートクール2000 No.4 6/24発売
- ダートクール2000 No.5 8/24発売
- ダートクール2000 No.6 10/24発売

<http://www.dirtcool.com/>

Nasu

MOTOR SPORTS LAND



For All the People
Who Love Nature and Motor Sports

Relishing nature and taking delight in motor sports...
That will bring the infinite power of passion
and open the door to a joy

2000年度 那須MSL2輪レース開催日程

| 開催日 | 那須ロードレース選手権 | | | 併催レース | | | イベント |
|-----------|-------------|------|------|---------|------|------|------|
| | S80 | GP80 | N250 | ミニスプリント | ミニ耐久 | MH耐久 | |
| 3月 5日(日) | | ● | | | ■ 4h | | |
| 4月 9日(日) | ● | ● | ● | ▲ | | | ◇ |
| 6月11日(日) | ● | ● | ● | | | | ◇ |
| 7月29日(土) | | | | | ■ 4h | | |
| 7月30日(日) | ● | ● | ● | ▲ | | | ◇ |
| 9月 3日(日) | | ● | | | ■ 4h | | |
| 10月 1日(日) | ● | | ● | ▲ | | ■ | |

*那須ロードレース選手権全てのクラスにポイントがつきます。 *スケジュールは変更される場合がありますのでご確認ください。
*7月29日(土)ミニ耐久レースは、午後より開催します。



モスラ倶楽部会員募集中!

サーキット走行をお楽しみ頂くための
モスラ倶楽部会員を募集しています。
お気軽にお問い合わせください。



NASU MOTOR SPORTS LAND

栃木県黒磯市寺子字坂の上677 〒325-0011
TEL.0287 (63) 7300 (代) FAX.0287 (63) 7301
<http://www.acekogyo.co.jp>

こんな時間を共有したい

おはようございます

こんにちは

調子どうですか

今日もよろしく!

がんばったね

ありがとうございます

笑顔が溢れ会話が弾む。そんなサーキットが大好きだから、月刊「ダートスポーツ」は色々なドラマを追い続けます。



走って飛んで、笑って泣いてオフをとことん楽しむバイクマガジン

DIRT SPORTS

おつかれさま!

また来週

毎月24日発売・定価580円 税別 全国書店またはオフロードショップ 発行/(株)造形社 〒164-0012 東京部中野区 本町6-21-15 Tel.03-3380-1061

道なき道を いこうじゃないか



ガルルにはオフロードバイクのすべてがあります
レースもツーリングも新車情報もメンテナンスも冒険も……
世の中は癒しをもとめているらしいけれど
ガルルが目指しているのはもっとパワーで、もっと汗で、もっと熱気な
アナクロかもしれないけれど、ぼくらはそういう生き方の方が好きです

NO.1 OFF-ROAD BIKE MAGAZINE

GARRR

月刊ガルルは毎月6日発売です
●A4変型判 定価540円(税込)

実業之日本社 〒104-8233 東京都中央区銀座1-3-9 TEL03-3535-4441(販売本部)

モトクロス

MOTOCROSS

CONTENTS

▼細則 4 モトクロス競技細則

| | |
|----------------------|----|
| 1. 適用の範囲 | 90 |
| 2. モトクロス | 90 |
| 3. コースの仕様 | 90 |
| 4. レース中の公式シグナル (合図) | 90 |
| 5. 出場車両 | 90 |
| 6. MFJ公認車両・公認部品 | 91 |
| 7. ライダーの装備 | 91 |
| 8. 参加資格 | 91 |
| 9. 出場申し込み | 91 |
| 10. 参加受理 | 92 |
| 11. 公式通知・タイムスケジュール | 92 |
| 12. 参加定員 | 92 |
| 13. ゼッケンナンバー | 92 |
| 14. 燃料およびオイル | 92 |
| 15. 出場受付 | 93 |
| 16. 車両検査 | 93 |
| 17. ライダーの変更 | 93 |
| 18. 車両の変更 | 93 |
| 19. 部品の変更 | 93 |
| 20. フリープラクティスおよび公式練習 | 94 |
| 21. ピットおよびサインエリア | 94 |
| 22. 公式予選 | 94 |
| 23. 決勝レース出場台数 | 94 |
| 24. スタート位置の決定方法 | 94 |
| 25. ウォーミングアップ | 94 |
| 26. レース | 94 |
| 27. レースの終了 | 95 |
| 28. 優勝者、順位、完走者および得点 | 95 |
| 29. レース後の車両検査 | 96 |
| 30. レースおよび大会の延期、中止等 | 96 |
| 31. 抗議 | 96 |
| 32. レース中の違反行為に対する罰則 | 96 |
| 33. 本規則の解釈 | 97 |
| 34. 本規則の施行 | 97 |

▼細則 5 2000年全日本選手権大会特別規則

| | |
|----------------------|-----|
| 1. 公 示 | 98 |
| 2. 競技会開催日程等 | 98 |
| 3. 運営・実行組織 | 98 |
| 4. 開催部門・クラス | 98 |
| 5. 参加資格 | 99 |
| 6. 出場申し込み | 99 |
| 7. 出場料およびMFJ共済会掛金 | 99 |
| 8. 参加受理 | 99 |
| 9. 競技内容 | 100 |
| 10. 賞および得点 | 100 |
| 11. 出場車両 | 101 |
| 12. ゼッケンナンバー | 101 |
| 13. ガソリンおよびオイル | 102 |
| 14. 車両検査 | 102 |
| 15. 車両の変更 | 102 |
| 16. フリープラクティスおよび公式練習 | 103 |
| 17. 決勝レース出場資格 | 103 |
| 18. スタート | 103 |
| 19. レース | 104 |
| 20. レース後の車両検査 | 104 |
| 21. 総合順位の決定方法 | 104 |
| 22. 抗議 | 104 |
| 23. 本規則の解釈 | 105 |
| 24. 本規則の施行 | 105 |
| 2000年全日本モトクロス選手権開催日程 | 105 |

※2000年度の規則変更点は太字で示されています。

細則 4

モトクロス 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づき国内すべてのモトクロス競技会に適用される。(世界選手権は除く)

2 モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走路方向が急変するような地形のところで行われるクロス・カンントリーレースである。国内競技規則および本細則により管理される。

3 コースの仕様

コースの長さは1周1 km以上、2 km以下とし、その幅は少なくとも追い越し可能なゆとりを持たせなければならない。また、コース等は、別に定めるモトクロス会場に関する規則に準拠し、適切なレーシングコンディションと安全性とが確保されていなくてはならない。

4 レース中の公式シグナル(合図)

ライダーは掲示される公式シグナルを確認し、そのシグナルに従わなければならない。

- 1) 公式シグナル(合図)は、約750mm×600mm寸法の旗を使用し、次のように与えるものとする。

| シグナル | 意味 |
|----------------|------------------------------------|
| 赤旗 | 全員走行停止 |
| 黒旗とゼッケンを記したボード | 当該ライダーは走行停止 |
| 黄旗(静止) | 危険予告 |
| 黄旗(振動) | 徐行、安全確認、追い越し禁止 |
| 青旗 | 警告、ラップされようとしている |
| 緑旗 | レーススタート時におけるコースクリアを示す為に使用される場合がある。 |
| 白黒チェッカー旗 | レース終了 |

※グリーンフラッグはスタート手順の際にウエイティングエリアからスターティングエリアへ移動する際にも示される。(全日本)

- 2) 競技内容が示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴールを通過した時点から、残りの周回数を示すボードが提示される。

5 出場車両

車両は、国内競技規則・第3章 [⑫出場車両] (31頁)の限度を充たし、安全上完全に整備さ

れているものでなければならない。

尚、改造されて型式（モデル）が判別できないような車両は競技会に出場することはできない。

6 MFJ公認車両・公認部品

MFJ公認車両及び公認部品は、国内競技規則・第3章 [⑬MFJ公認車両および公認部品・用品] (31頁) による。

7 ライダーの装備

1) ヘルメット

- (1) ヘルメットはジェット型かフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなくてはならない。
- (2) MFJの公認したヘルメットには、公認マークが貼付されている。
- (3) 競技会の車両検査時にヘルメットの検査が行われ、検査に合格しなかったヘルメットは、MFJの公認したヘルメットであっても当該ライダーの安全上、その使用を禁止される。
- (4) MFJ公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査を受け、公認ヘルメットと判明した時点で、公認シールが貼付される。その際、特別検査料（1,000円）を支払わなければならない。



2) ゴーグル

ガラスを用いたゴーグルの使用は一切禁止される。枠は柔軟な素材を使用したもので転倒による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなくてはならない。

3) ライダーの服装

- (1) 服装は、レース中ライダーの身体の安全を確保し、車両の操縦を防げるものでなくてはならない。
- (2) 耐火性で溶けない素材の丈夫な生地で自由な動作を妨げない長袖のジャージを着用しなくてはならない。
- (3) 突出部分のない革、または革と同等以上の性能を持つ手袋及びブーツを着用しなければならない。
- (4) ライダーは競技会中、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。
- (5) プロテクター（プレストガード等）の着用が望ましい。

8 参加資格

参加者及びライダーは、国内競技規則・第3章 [⑨競技参加者] (29頁) に合致していなければならない。

9 出場申し込み

- 1) 出場申し込み場所および期間は、大会特別規則の定めるところのものとする。
- 2) 出場申し込み手続き
 - (1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入し、出場料及び共済会掛金(保険料)を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - (2) 2クラス以上に出場を申し込む場合でも、申込書は1枚でよい。ただし、2クラス以上出場に必要な事項をすべて記入すること。もし記入漏れのあった場合、申し込みを拒否される場合がある。

- (3) 郵送の場合は現金書留を使用し、締切日当日の消印のあるものまでが有効となる。
- (4) 締切日以降の申し込み及び電話・FAX等の申し込みは一切受けつけない。

10 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書、及び所定の金額を大会事務局が受理したもののみ、参加受理書が発送される。
- 2) 大会が中止された場合、また参加者が何らかの理由によって拒否された場合、(申込者が必要な手続きを怠った場合はこれに当てはまらない) にのみ出場料、共済会掛金が返却される。
- 3) いったん受理された出場料・共済会掛金は、上記2) 及び国内競技規則・第3章 [㊥競技会の延期および中止等] (34頁) の場合を除き、いかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。

11 公式通知・タイムスケジュール

公式通知及びタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切後に通知される。

12 参加定員

定員は定めない。

13 ゼッケンナンバー

- 1) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体及び色で記入しなければならない。(19頁参照)
- 2) 年間指定ゼッケンナンバーを与えられているライダーは、ヘルメットの両側面にゼッケンナンバーを記入しなければならない。
- 3) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
ゼッケンの修正を要求された場合、速やかに修正を行い、再度車両検査を受けなければならない。
- 4) レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケン及びヘルメットナンバーシールを装着せずに走行したり、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周回数は記録されない。
- 5) 雨天の場合、競技監督の判断によりヘルメット後部に補助ゼッケンプレート(9cm×9cm程度)を取り付けなければならない。



14 燃料およびオイル

- 1) ガソリンは無鉛ガソリンに制限されている(AVガス、航空機用燃料等は使用できない)。

- ガソリン及びオイルに関する詳細は国内競技規則・第3章 [⑭燃料およびオイル] (31頁) 及びMFJ技術規則第7章、ガソリン・オイル・クーラント (147頁) による。
- 2) ガソリンの銘柄及びその詳細が主催者によって指定された場合は、当該指定ガソリンを使用しなければならない。
 - 3) ガソリンの運搬については、消防法第16条の規定に従った方法で行わなければならない。

15 出場受付

- 1) 出場受付の時間及び場所は、公式通知によって示される。
- 2) 定められた時間内に、必ずライダー本人または当該ライダーのメカニックがMFJライセンス、参加受理書および健康保険証(コピー可)を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

16 車両検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されるタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人又は当該ライダーのメカニックが車両仕様書とともに持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。また、車両に打刻されたナンバー(エンジン部・フレーム部)が研磨及び切削などにより失われている車両については、販売証明書を添付すること。販売証明書を添付されない場合は原則として競技会への参加は認められない。規定時間以外の車両検査は、競技監督が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行わない。
- 3) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判定された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 4) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことができる。

17 ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。

18 車両の変更

登録された車両の変更は原則として認められない。変更する必要がある場合は、所定の書式に従って変更申請を行い、競技監督が認めた場合に限り認められる。(国内競技規則第3章⑮競技出場の申し込み、⑰ライダーおよび車両の変更(32頁)による)

- 1) エントリー車両と、車検を受ける車両の変更
参加受理書発送後エントリー用紙記入車両に変更がある場合、選手受付時に車両変更手続きをしなければならない。
- 2) 車検終了後の車両変更
車検終了後の変更は、大会事務局にて車両変更手続きをしなければならない。
- 3) 車両変更は同部門、同クラス間の変更のみ許可される。車両変更手数料は5,000円とする。

19 部品の変更

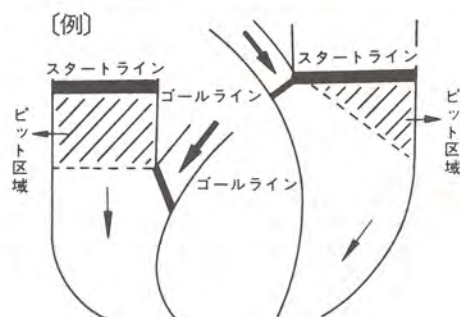
フレーム、クランクケース、サイレンサーの変更は原則として認められない。ただし、交換のためにあらかじめ検査を受けたサイレンサーは除く。フレームの変更、クランクケースの変更は、車両の変更とみなされる。

20 フリープラクティスおよび公式練習

大会によって、フリープラクティス及び公式練習が設けられる。フリープラクティスへの参加は義務づけられていないが、安全上の理由から参加することが望ましい。ライダーは、主催者が設けた公式練習に参加することが義務づけられる。

21 ピットおよびサインエリア

- 1) ピット及びサインエリアは主催者により指定される。特に指定のない場合のピットエリアは、スタートラインからゴールラインまでの、周回走行にさしつかえのないコースサイドまたはコース上である。
- 2) ピットクルーはサインエリアの区分を厳守しなければならない。
- 3) レース中に、ピット区域以外のパドックに戻った場合は失格となる。



22 公式予選

各クラスの出場申し込み台数が、決勝レース出場台数を越えた場合、決勝進出者決定のために公式予選が行われる。

公式予選の内容

- (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
- (2) 公式予選の日程は、特別規則に示される。
- (3) 公式予選は原則として大会公示に示される周回数のレースによって行われる。

23 決勝レース出場台数

決勝レース出場台数は原則として最大30台とするが、各コースごとに定められる公式通知に示される。

24 スタート位置の決定方法

スタート位置の決定方法は、大会特別規則もしくは公式通知に示される。

一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。

25 ウォーミングアップ

- 1) エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された場所及び時間帯に限られる。
- 2) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。

26 レース

- 1) スタートまでの行動

(1) ライダーは、特別規則に定められたタイムスケジュールを厳守しなければならない。

- (2) ライダーは、スタート前チェックの後車両とともに指定区域内に待機していなければならない。
- 2) スタート
- (1) スタートの方法については、原則として各部門ともスターティングマシンを使用したエンジンランニングスタートとする。ただしスターティングマシンを使用しない場合は、必ずヘルメット上部に左手をあてて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
- (2) スタート位置は、すべて正規のスタート・ラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは、一切考慮されない。
- (3) スターティングマシンが使用される場合は、車両の位置はスターティングマシンの後方の区域内とする。
- (4) スタートの合図は、スタート係の合図(国旗等)によって行われる。ただし、スターティングマシンを使用する場合は、この限りでない。
- (5) スタート時にフライングが認められた場合は、スタートライン前方(第1コーナー付近)において赤旗が提示され、再スタートとなる。その際、同一ライダーが再びフライングをした場合、当該ライダーは失格となる。
- 3) コースアウト
- ライダーは、走行中、やむを得ず定められたコースを外れ、再びコースに戻る場合には、外れた地点よりコースに進入しなければならない。
- 4) コースカット
- コースカットは禁止される。自分に有利になるように故意にカットしたライダーは当該予選またはレースから除外とされる場合がある。必要に応じて審査委員会は更なるペナルティを課すことができる。コースに復帰するには、時間的または距離的に自分の有利とならない地点から復帰しなければならない。その際は一時停止及び安全確認を怠らないこと。
- 5) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内に限定される。
- 6) レース中、サイレンサー、マフラー、チャンパーが外れた場合、または破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示される。提示されたライダーは速やかにピットエリアに入り、修理しなくてはならない。修理後競技役員の許可を得た上で、再出走が認められる。

27 レース終了

- 1) レース終了は、優勝者の完走後、チェッカー旗が振られ、マーシャルが定位置を離れるか、またはマーシャルがコースを一巡することによって示される。
- 2) トップを走行するライダーが、所定の周回数を完了する前にレース終了の合図が出された場合、当該レースはその時点で終了したものとみなされる。
- 何らかの理由によって、レース終了の合図が遅れた場合でも、チェッカーフラッグが提示された周をもって終了したものとみなされる。

28 優勝者、順位、完走者および得点(ポイント)

- 1) 優勝者
- 優勝者は、定められた周回数またはレース時間プラス2周を最短時間で完走したライダーとする。
- 2) 順位の優先順位
- 順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合

は、ゴールラインの通過順位による。

- 3) その他の順位の優先順序
周回数が多いものを優先する。同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
- 4) 完走者
 - (1) 優勝者の75% (少数点以下は切り捨てる) 以上の周回数を完了したライダーを完走者とする。
 - (2) レース途中でリタイヤしたライダーも完走周回数を完了している場合は、完走者とみなされる。
- 5) 得点
 - (1) 得点は国内競技規則・第3章 [24公式得点 (ポイント)] (33頁) によって与えられる。
 - (2) 得点は完走者に与えられる。
 - (3) オープンクラスに関しては、自動昇格得点対象外とする。

29 レース後の車両検査

- 1) レース終了後、原則的に1～6位の車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 上記車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

30 レースおよび大会の延期、中止等

国内競技規則・第3章 [25競技会の延期および中止等] (34頁) による。

31 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章 [27抗議] (35頁) による。
- 2) 抗議は、暫定結果発表後30分以内 (全日本選手権では20分以内) に当該ライダーおよびエントラント代表者だけが行うことができる。
- 3) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合は、抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に用いた費用は車検長が算定する。
- 4) 車両の分解検査に立ち合う者は、車検長及び抗議を受けた当事者のみとする。

32 レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、競技監督並びに大会審査委員会がその権限において下記の罰則を課することができる。

- 1) 失格
 - (1) 故意に走路を妨害した場合。
 - (2) レース中に他の援助を受けた場合。

外部からの援助

公式練習、公式予選及びレース/ヒートの間に外部からの援助を受けた場合。(ただし、オーガナイザーに任命されたオフィシャルが役務の一環として安全上の理由から援助する場合は例外とする。)

- (3) コースを逆走した場合。
- (4) 示された合図旗に従わなかった場合。
- (5) 1度コース外に出て、明らかに自分に有利となる所より再びコースに復帰したと判断さ

れた場合、1周減算または失格とする。

(6) フライングを2度繰り返した場合。

2) 1周減算

(1) ウォーミングアップ中止後、競技役員の許可なくエンジンを始動させた場合。

(2) 上記1)失格(5)の場合。

その他、競技規則に対する罰則は、国内競技規則・第3章 [29違反行為に対する罰則] (36頁)による。

33 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あてに質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

34 本規則の施行

本規則は、2000年1月1日から施行する。



細則 5

2000年全日本 モトクロス選手権大会 特別規則

1 公 示

全日本モトクロス選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づきMFJ国内競技規則、モトクロス競技細則及び全日本選手権シリーズを通じて共通した項目をまとめた本特別規則と、各大会の特別規則に基づき開催される。

2 競技会開催日程等

- 1) レースウィークの日程
月～木曜日：占有走行は禁止される。スポーツ走行は開催されてもよい。
金 曜 日：すべての練習走行は禁止される。
土～日曜日：競技会日
- 2) 競技会の日程は巻末に示す（105頁参照）。

3 運営・実行組織

大会運営・実行組織は、公式プログラムまたは公式通知に示される。

4 開催部門・クラス

- 1) 全日本選手権シリーズの開催部門、クラス区分は次のとおりとする。

| 部門 | 国際B級 | 国際A級 |
|-----|-------------|-------------|
| クラス | 125cc・250cc | 125cc・250cc |

- 2) 全日本選手権は原則として国際B級、国際A級の2部門にて開催されるが、事前に選抜された2クラスまでのレース、およびエキジビション（ポイント対象外）レースを併催することができる。ただし併催レースは全日本選手権のクラスに影響しない範囲に限り認められる。
- 3) 国際A級250cc・125ccのクラス指定について

国際A級部門は、125ccクラスと250ccクラスを開催し、クラスの選択は自由とする。

国際A級のクラス指定申請方法

- (1) クラス申請については以下の者だけが12月31日（消印有効）までにMFJより送付される所定の申請用紙にてクラス指定を行なうものとする。
 - ① 前年からのクラス変更者 [例] 前年 IA250 → 当該年 IA125に指定する方
前年 IA125 → 当該年 IA250に指定する方
 - ② 国際B級からの昇格者（ルーキー）
 - ③ 前年に出場していない国際A級ライセンス取得者

- (2) クラスの変更を行わない方は（前年と同じクラスに指定する方）〔⑫指定ゼッケンを決定するための優先順位〕に従い年間指定ゼッケンが与えられる。
- (3) 一度クラスを選択を行ったら、年度内のクラス変更は認められない。
- 4) 国際B級部門ダブルエントリー化について
国際B級部門は、125ccクラス/250ccクラスの両方にダブルエントリー（二車乗り）することができる。但し、年齢制限については従来どおりとする。〔⑤参加資格〕（99頁）参照。

5 参加資格

1) 参加者及びライダー

参加者及びライダーは、国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕（29頁）に合致していなければならない。

2) 年齢制限

大会に出場できる最低年齢を、下記のように定める。

125：15歳 250：16歳

※いずれも大会予選日に誕生日を迎えていること。ただし'99年全日本選手権における実績を有する者は、中央スポーツ委員会にて審査される（MFJ事務局への手続きが必要）。

6 出場申し込み

1) 競技会への出場申し込みは主催者が準備した用紙の記載事項のすべてを記入し、競技規則を厳守することを誓約しなくてはならない。（エントリー時点で当該ライセンスを取得していること。）

2) 申込期間、申込先などの詳細は105頁参照。

3) ピットクルーの登録

(1) 出場申込後に、ピットクルーの追加は一切できない。但し大会当日の出場受付時間内に、他のピットクルーライセンス所持者と変更することはできる（変更手数料が必要）

(2) ひとりのピットクルーを、複数のライダーに登録することはできない。

(3) 参加ライダー本人を自分のピットクルーとして登録することはできない。（但し作業はできる）

(4) ピットクルーパス及びピットクルーライセンスの装着義務

ピット作業を行なうクルーは、各自が用意するパスケースにピットクルーパス及びピットクルーライセンスを収納し、判別しやすいように左腰前部に装着しなければならない。

7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料およびMFJ共済会掛金は、以下の通りである。

| | 総額 | 内訳 | |
|--------------|---------|---------|----------|
| | | 出場料 | MFJ共済会掛金 |
| 1クラス | 12,000円 | 10,500円 | 1,500円 |
| 2クラス(Wエントリー) | 20,000円 | 18,500円 | 1,500円 |

8 参加受理

モトクロス競技細則〔⑩参加受理〕（92頁）による。

9 競技内容

1) 公式予選

公式予選の有無、周回数、予選組分け、その他の詳細は公式通知、またはプログラムに示される。

2) 国際A級の子選組分けについて

① 国際A級は大会当日（第2戦以降）、受付終了時点にて最新（暫定）のランキング順により予選組を振り分けられる。（スターティンググリッドもこれに準ずる）

また、ポイントを獲得していないライダーは、ポイント獲得者の後に、ゼッケン順に振り分けられる。

② 第1戦においては、抽選により予選組が振り分けされる。（スターティンググリッドもこれに準ずる）

※この方式は国際B級には適用されない。

3) ラストチャンスレース

下記規定に則り、ラストチャンスレースが開催される。

① 公式予選給出場台数が決勝出走台数を越えた場合に開催される。

② ラストチャンスレースの順位により決勝レース出場者、およびリザーブライダー（2名）の優先順位が決定される。

③ 決勝レースへ公式予選より出場できる人数、ラストチャンスより出場できる人数は、予選組数、グリッド数によって異なるため、公式通知に示される。

④ ラストチャンスレースのグリッドは公式予選における各組トップタイムの早い組順とする。但し、予選順位のつかない場合、（1周もまわらずにリタイヤした場合等）、予選出走のグリッド順を優先する。

⑤ その他、当該大会審査委員会は天候等の理由により、ラストチャンスレースの有無について決定することができる。

4) レース距離（レース時間） ※天候その他の理由により、変更する場合がある。

① 公式予選 国際A級：15分+2周、国際B級：公式通知に示す。

② ラストチャンス 国際A級：5分+2周、国際B級：公式通知に示す。

③ 決勝レース 国際A級：30分+2周、国際B級：25分+2周

決勝スタート前に、コース安全確認のためのサイティングラップ(1周)を行なう。(103頁参照)

10 賞および得点（ポイント）

1) 賞の詳細は、公式通知に示される。

2) 全日本選手権ランキングの得点

(1) 得点は国内競技規則・第3章 [24公式得点] (33頁) によって与えられる。

(2) 日本グランプリ大会については、規定の得点に3点が加算される。

(3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その得点合計によって決定される。

その詳細は、全日本選手権ランキング決定基準 (237頁) に示される。

3) 賞及び得点の制限

国内競技規則・第3章 [24公式得点] (33頁) による。

11 出場車両

- 1) 車両は、細則4 [⑤出場車両] (90頁) を遵守しなければならない。
- 2) 全日本対象クラス (国際A級・国際B級) の4ストローク車両の音量について
全日本選手権に参加する4ストローク車両の音量は下記のとおり。
 - ・FIM方式で測定し98dB/A以下のこと (測定方法は、モトクロス基本仕様162頁音量規制参照)
 - ・ピストンスピード11m/sec
 - ・エンジン回転数は156頁図C参照※全日本選手権以外の公認競技会では技術規則通り94dB/Aとする。

12 ゼッケンナンバー

- 1) 国際A級及び国際B級の一部 (30番まで) のライダーには、年間指定ゼッケンナンバーが割り当てられる。

指定ゼッケンを与えられた選手については、ジャージ背中側に指定ゼッケンの印刷が義務付けられる。

(1) 指定ゼッケンを決定するための優先順位

下記規定は、全日本選手権ランキング及び12月31日までに前年からのクラス変更申請または新規クラス選択申請 (国際B級からの昇格者及び新規申請者を含む) を行った者が対象とされ、国際A級のクラス申請に従って指定ゼッケンが与えられる。それ以外の場合については、全てI. (101頁) を適用する。

① 国際A級250ccクラス

- a. 1999年度全日本選手権250ccクラスの獲得点数の多いもの。
- b. aにて同点の場合、上位入賞回数の多いもの。
- c. 上記a～bにて定められない場合、1999年度ゼッケン順とする。
- d. 1999年度125ccクラスに出場していたもので、12月31日までに250ccクラスを選択し、1999年度全日本選手権成績の合計得点の多いもの。
- e. dにて同点の場合、上位入賞回数の多いもの。
- f. 上記d～eにて定められない場合、1999年度ゼッケン順とする。
- g. 国際B級からの昇格者で250ccクラスを選択したもので、1999年度全日本国際B級250ccクラスランキング順。
- h. 国際B級からの昇格者で250ccクラスを選択したもので、1999年度全日本国際B級125ccクラスランキング順。
- i. 国際B級からの昇格者で250ccクラスを選択したもので、地方選手権における獲得点数の多いもの。
- j. iにて同点の場合、地方選手権での上位入賞回数の多いもの。
- k. g～jで決定できない場合、クラス選択申請順。
- l. その他は、全日本選手権エントリー時に主催者によって決定される。

② 国際A級125ccクラス

- a. 1999年度全日本選手権125ccクラスの獲得点数の多いもの。
- b. aにて同点の場合、上位入賞回数の多いもの。
- c. 上記a～bにて定められない場合、1999年度ゼッケン順とする。
- d. 1999年度250ccクラスに出場していたもので、12月31日までに125ccクラスを選択し、1999年度全日本選手権成績の合計得点の多いもの。

- e. dにて同点の場合、上位入賞回数の多いもの。
 - f. 上記d～eにて定められない場合、1999年度ゼッケン順とする。
 - g. 国際B級からの昇格者で125ccクラスを選択したもので、1999年度全日本国際B級125ccクラスランキング順。
 - h. 国際B級からの昇格者で125ccクラスを選択したもので、1999年度全日本国際B級250ccクラスランキング順。
 - i. 国際B級からの昇格者で125ccクラスを選択したもので、地方選手権における獲得点数の多いもの。
 - j. iで同点の場合、地方選手権での上位入賞回数の多いもの。
 - k. g～jで決定できない場合、クラス選択申請順。
 - l. その他は、全日本選手権エントリー時に主催者によって決定される。
- (2) 国際B級(30番まで)の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。
- ① 125/250クラスを比較し、順位が高いクラスをそのライダーの代表クラスとする。
 - ② 代表クラスの順位を比較し、上位の者が優先される。
 - ③ 代表クラスが同順位の場合、そのクラスの上位入賞回数の多い者が優先される。
 - ④ ③で決定できない場合は、代表クラスの排気量の大きい方を優先する。
 - ⑤ ④まで決定できない場合は、中央スポーツ委員会にて最終決定する。
- (3) ルーキーゼッケン
- 国際B級から国際A級に昇格する上位の選手(最大12名)にはルーキーゼッケンが与えられる。また国際A級のクラス自由登録制にともない、一方のクラスに偏ることも想定されるため、ルーキーゼッケンは01～012まで与えられる場合がある。
- 2) 上記(1)、(2)、(3)に記載されている他のライダーには、大会毎に主催者によって各クラスゼッケンナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 3) その他希望ゼッケンを要望する場合は、MFJ中央スポーツ委員会にて許可が必要であり、別途有料とする。(申請期日：12月31日消印有効)

13 ガソリンおよびオイル

ガソリンは無鉛ガソリンに制限されている。(AVガス、航空機用燃料等は使用できない)
MFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラント(147頁)参照。

14 車両検査

- 1) モトクロス競技細則 [⑩車両検査] (93頁) 参照。
- 2) 車両検査持ち込み台数は、1クラスにつき国際B級部門は1台に限定し、国際A級部門については制限を設けない。ただし、車両検査を受けていない車両の使用は一切認められない。
- 3) 予選終了後に音量測定が実施される場合でも、規定値を越えていた場合失格になる。希望者は車検に申し出ることにより予選以前にも音量測定を受けることができる。
※また規定の車検時に実施される音量測定は必ず受けなければならない。

15 車両の変更

- 1) モトクロス競技細則 [⑪車両の変更] (93頁) 参照。

16 フリープラクティスおよび公式練習

- 1) 競技会前日の練習走行は禁止される。
- 2) ライダーは、主催者が設けた公式練習に参加しなければならない。

17 決勝レース出場資格

- 1) 公式予選通過者（予選通過人数は各大会による）
- 2) ラストチャンスでの上位者（人数は各大会による）
- 3) リザーブライダー

ラストチャンスにて決勝レース出場資格を得られなかったライダーのうち、上位2名は、リザーブライダーの権利を得る。

リザーブライダーは、各決勝レース前のサイティングラップに必ず参加しなければならない（⑱スタート参照）。

18 スタート

- 1) スタートの方法は原則として、各部門ともスターティングマシンを使ったエンジンランニングスタートとする。またスターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は、必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。

2) スタートの手順

- ①スターティングエリアへは、スターティンググリッドに着くために移動する以前はライダーであっても立ち入りが禁止される。

- ②レース開始予定時刻の10分前までに、リザーブライダーを含む決勝出場者全員はウエイティングエリアに待機していなければならない。

※レース開始時刻とは、サイティングラップを含むプログラム及びタイムスケジュールに告知された時刻である。

- ③競技長のサイティングラップ（コース安全確認1周）開始の合図で、ウエイティングエリアから第一ライダーがスターティンググリッドに移動した時点で、ウエイティングエリアゲートは閉鎖される。ゲート閉鎖に間に合わないライダーは、いかなる理由があろうとも決勝レースへ出場することは認められない。

- ④サイティングラップ終了後、スタートのためにウエイティングエリアに待機していた第一ライダーが、競技長の合図で（出場者全員がスターティンググリッドに着くまでグリーンフラッグが提示される）スターティンググリッドに移動した時点で、サイティングラップからウエイティングエリアに戻ってきていないライダーで、ゲート閉鎖に間に合わない決勝出場者が出た場合競技除外とされ、競技監督の判断により、リザーブライダーの決勝出場が認められる。

※サイティングラップ中におけるライダーへの援助は、オフィシャルの判断あるいはオフィシャルの認めた者だけが行うことができる。他の援助を受けたライダーは競技除外とされる。

- ⑤ライダー全員がスターティンググリッドについたことが確認された後、15秒ボードが15秒間提示される。

- ⑥15秒ボードに引き続き5秒ボードが提示される。

- ⑦5秒ボードが提示されて5～10秒以内にスタートとなる。

- 3) 予選におけるスタート位置を選択する優先順位
 - (1) 国際A級 [細則5.⑨競技内容・2) 国際A級の予選組分けについて] (100頁) 参照。
 - (2) 国際B級スタートの位置は、抽選結果の順位による。
- 4) 決勝レースのスタート位置を選択する優先順位
 - 国際B級
スタート位置を選択する優先順位は、予選順位に基づき決定される。
 - 国際A級
両ヒート (第1、第2ヒート) ともそれぞれの予選組のトップ走者の周回数の多い組。同周回の場合はタイムの早い組から、交互に上位より順番に選択できる。
- 5) ウォーミングアップ
エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された時間帯及び場所に限られる。
- 6) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は (キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後) ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。
- 7) 予選・決勝におけるスタート位置の選択
決められた優先順位に従い、グリッドを選択するために、ウェイティングエリアから移動することができる。
一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。

19 レース

- 1) レース中の遵守事項は、国内競技規則・第3章 [⑩競技参加者の遵守事項] (29頁) による。
- 2) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内とする。
- 3) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンパーが外れた場合、また破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示される。提示されたライダーは速やかにピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て、再出走が認められる。

20 レース後の車両検査

モトクロス競技細則 [⑳レース後の車両検査] (96頁) 参照。

- 1) レース終了後、入賞車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後20分間 (全日本選手権以外では30分) 保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 上記車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

21 総合順位の決定方法

レースが2ヒートに分かれて行われる場合の総合順位の決定は、以下に記すとおりとする。

- 1) 1ヒート、2ヒートの合計得点が多い者。
- 2) 上記1) で決定できない場合は、2ヒート目の成績を優先する。

22 抗議

モトクロス競技細則 [㉑抗議] (96頁) および国内競技規則第3章 [㉒抗議] (35頁) による。

- 1) 抗議は、暫定結果発表後20分以内（全日本選手権以外では30分以内）に当該ライダー及びエントラント代表者だけが行うことができる。

23 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あてに質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

24 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効とする。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則・細則4・モトクロス競技細則による。

2000年 MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ カレンダー

| 開催日 | 大会名 | 出場申込先 | 開催場所 | 出場申込期間 |
|----------------|--|---|--|---------------------------|
| 3月11日(土) ∫ | MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第1戦 沖縄大会 | (財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F ☎03(5565)0900 | 沖縄県 中城湾港マリンタウン埋立地 西原地区特設会場(西原町・与那原町) | 2月1日(火) ∫ 2月10日(木) |
| 3月12日(日) | ※IA250クラスのみ | | | |
| 4月1日(土) ∫ | MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第2戦 中国大会 | MFJ中国支部 〒733-0031 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082(295)6994 | 広島県 グリーンパーク弘楽園 | 2月22日(火) ∫ 3月2日(木) |
| 4月2日(日) | | | | |
| 4月22日(土) ∫ | MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第3戦 近畿大会 | MFJ近畿支部 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(6534)6422 | 奈良県 名阪スポーツランド | 3月14日(火) ∫ 3月23日(木) |
| 4月23日(日) | | | | |
| 5月13日(土) ∫ | MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第4戦 九州大会 | MFJ九州支部 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-11-9 メゾンド水巻1F-B ☎092(473)2616 | 熊本県 HSR九州 | 4月4日(火) ∫ 4月13日(木) |
| 5月14日(日) | | | | |
| 6月3日(土) ∫ | MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第5戦 SUGO大会 | SUGOスポーツクラブMX係 〒989-1394 ☎0224(83)3127 | 宮城県 スポーツランドSUGO モトクロスコース | 4月25日(火) ∫ 5月2日(火) |
| 6月4日(日) | | | | |
| 7月8日(土) ∫ | MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第6戦 北海道大会 | MFJ北海道支部 〒011-0925 北海道札幌市北区新川5条20丁目1-20 新川地区工業団地内 ☎011(768)3988 | 北海道 わっさむサーキット | 5月30日(火) ∫ 6月8日(木) |
| 7月9日(日) | | | | |
| 7月22日(土) ∫ | MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第7戦 東北大会 | 藤沢町モータースポーツ協会 〒029-3405 岩手県東磐井郡藤沢町藤沢字町裏105番地 藤沢町役場内 ☎0191(63)2111 | 岩手県 藤沢スポーツランド | 6月13日(火) ∫ 6月22日(木) |
| 7月23日(日) | | | | |
| 9月2日(土) ∫ | MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第8戦 近畿大会 | MFJ近畿支部 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(6534)6422 | 奈良県 名阪スポーツランド | 7月25日(火) ∫ 8月3日(木) |
| 9月3日(日) | | | | |
| 9月23日(土) ∫ | MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第9戦 SUGO大会 | SUGOスポーツクラブMX係 〒989-1394 ☎0224(83)3127 | 宮城県 スポーツランドSUGO モトクロスコース | 8月15日(火) ∫ 8月24日(木) |
| 9月24日(日) | | | | |
| 10月7日(土) ∫ | MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第10戦 中国大会 | MFJ中国支部 〒733-0031 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082(295)6994 | 広島県 グリーンパーク弘楽園 | 8月29日(火) ∫ 9月7日(木) |
| 10月8日(日) | | | | |
| 10月21日(土) ∫ | 第38回モトクロス日本グランプリ MFJ全日本モトクロス選手権 シリーズ第11戦 | MFJ関東支部 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-5 アルス新大塚202号 ☎03(3971)0022 | 埼玉県 ホンダエアポートライ ダーズパーク(HARP) | 9月12日(火) ∫ 9月21日(木) |
| 10月22日(日) | | | | |

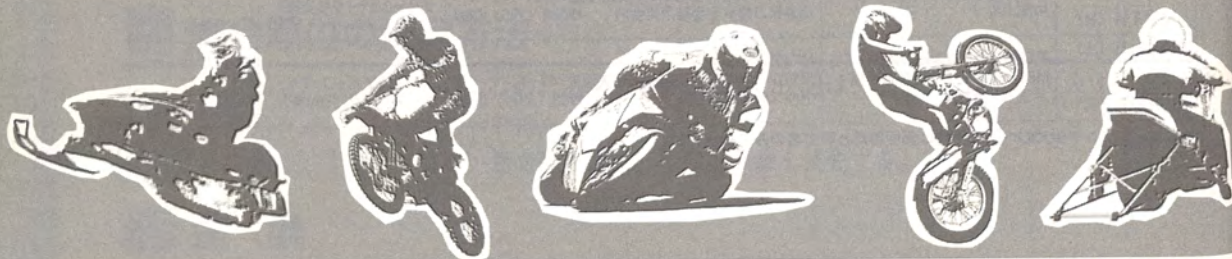
※スポーツランドSUGOへの郵便物は郵便番号と宛て名のみで届きます。

2000年全日本モトクロス選手権大会特別規則

2000年モトクロス主要競技会 カレンダー

| 開催日 | 大会名 | 出場申込先 | 開催場所 |
|---------|---------------------|---|-----------------------------------|
| 8月6日(日) | アジアモトクロス選手権 日本大会 | (財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F ☎03(5565)0900 | 埼玉県 ホンダエアポート ライダーズパーク(HARP) |
| 8月6日(日) | 第4回MFJオフロード 全国大会 | (財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F ☎03(5565)0900 | 埼玉県 ホンダエアポート ライダーズパーク(HARP) |

| 開催日 | 大会名 | 開催場所 |
|----------|----------------------|------|
| 9月10日(日) | 2000モトクロス・デ・ナ シオン | フランス |



DAINESE®

世界のレーシングシーンをリードする。



ANSWER Racing
進化するアマリガンスピリット。

新世紀へチャレンジ!

新たな時代にチャレンジする全てのライダーと共にコミネはあります。

アンサー／ダイネーゼ 日本代理店

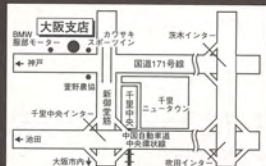
KOMINE

<http://www.komine-mca.co.jp>

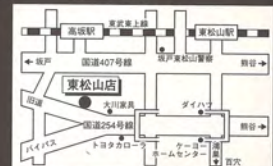
株式会社コミネオートセンター

本社・〒111-0056 東京都台東区小島2-20-11
TEL03(3862)9811(代) FAX03(3866)5134(代)

全てのライダーをサポートする コミネショップ10店舗



大阪支店 TEL.0727(24)1555
大阪府箕面市堂野2-4-8
●新御堂筋・171号交差点そば



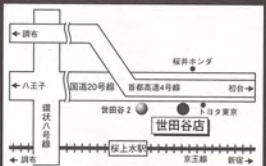
東松山店 TEL.0493(23)0335
埼玉県東松山市今泉277
●旧道254号沿い



練馬店 TEL.03(3904)3147
東京都練馬区高野台4-19-5
●環八通り・目白通り交差点そば



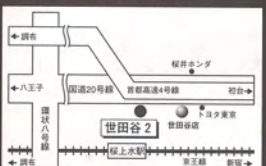
高崎店 TEL.0274(42)3215
群馬県藤岡市立石1221
●関越自動車道・17号線交差点そば



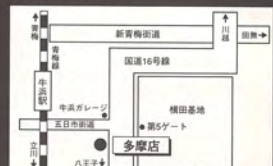
世田谷店 TEL.03(3327)7732
東京都杉並区下高井戸1-18-19
●20号線沿い、京王線桜上水駅そば



太田店 TEL.0276(32)0438
群馬県太田市新道町59-1
●前橋古河線沿い



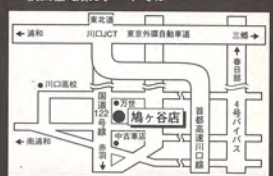
世田谷2 TEL.03(5300)2087
東京都杉並区下高井戸1-18-14
●世田谷店から駒場方面に30m



多摩店 TEL.042(551)9623
東京都福生市熊川1115-7
●横浜基地第5ゲートそば



246・駒沢店 TEL.03(5486)4258
東京都世田谷区駒沢3-16-13
●246号線沿い、新町1丁目交差点そば



鳩ヶ谷店 TEL.048(284)2961
埼玉県鳩ヶ谷市桜町1-6-11
●122号線沿い、川口高校そば

いつまでもモーターサイクル。

フレッシュで充実した情報をキメ細かく編集。あなたのバイクライフを応援します。

情報いっぱい! 伝統のバイク総合誌

モーター サイクリスト

毎月1日発売 ● 定価560円

夢を広げる、大人のバイクライフマガジン

別冊 MOTOR CYCLIST

毎月15日発売 ● 定価660円

※定価は税込み

株式会社 八重洲出版

本社 ● 〒104-8488 東京都中央区八丁堀4-5-9 エイトビル ☎03(3552)8431(代)
大阪支社 ● 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地1-3-16 京富ビル ☎06(6344)2015(代)

トライアル

TRIAL

CONTENTS

▼細則6 トライアル競技細則

| | |
|-------------------|-----|
| 1. トライアルの定義 | 110 |
| 2. 適用の範囲 | 110 |
| 3. コース | 110 |
| 4. セクション | 111 |
| 5. 持ち時間(タイムキーピング) | 111 |
| 6. 練習 | 112 |
| 7. 出場に関する手続き | 112 |
| 8. 技術規則関連 | 112 |
| 9. ペナルティ | 113 |
| 10. 定義 | 115 |
| 11. 結果の記録 | 116 |
| 12. セクションの閉鎖 | 116 |
| 13. 結果と順位 | 116 |
| 14. 大会の中断 | 116 |
| 15. 同点 | 116 |
| 16. 賞 | 116 |
| 17. 抗議 | 117 |
| 18. 本規則の解釈 | 117 |
| 19. 本規則の施行 | 117 |
| 附 則 | 118 |

▼細則7 2000年全日本トライアル選手権大会特別規則

| | |
|----------------------|-----|
| 1. 適用の範囲 | 120 |
| 2. セクション | 120 |
| 3. 開催クラス | 120 |
| 4. 参加資格 | 120 |
| 5. 出場料および共済会掛金(保険料) | 120 |
| 6. セッケンナンバー | 121 |
| 7. メカニック | 121 |
| 8. 車両検査 | 122 |
| 9. スタート | 122 |
| 10. 結果の記録(採点カード) | 122 |
| 11. 持ち時間(タイムキーピング) | 122 |
| 12. ペナルティ | 122 |
| 13. 賞および得点 | 123 |
| 14. 本規則の施行 | 123 |
| 附則 トライアルデナシオン選考基準 | 123 |
| 2000年全日本トライアル選手権開催日程 | 124 |

ト
ラ
イ
ア
ル

細則 6

トライアル 競技細則

1 トライアルの定義

トライアルとは、ライダーの技術および正確性が結果の基盤をなす、モーターサイクル競技である。

コースのなかにセクションが配置される。セクションとは走行するライダーの技術が観察され、減点が科される区間である。加えてコースを走行するにあたり、コースの一部またはコース全体に時間制限が与えられる。

コースはクロスカントリーの地形（小道、田舎道、林道など）で構成されても良いし、インドアに設定されても良い。

2 適用の範囲

国内のトライアル競技会は以下に記すトライアル競技細則、国内競技規則（22～36頁）、および各大会の主催者より配布される大会特別規則（公式通知）によって開催される。

3 コース

競技は大別して、同時にスタートして各セクションを自由にめぐり方式と、コースを定めて順次セクションをめぐり方式がある。大会特別規則（公式通知）で特に定めない限り、コースを定めて順にセクションをめぐり方式が採用される。

コースとはスタート地点から最終ゴール地点まで、定められた順路全体を指す。

コースを定める場合、移動は原則として一方通行となる。例外的に交互通行となる場合、通路を分けしたり、オフィシャルを配置するなど、安全上の対策がされる。

完走者¹となるためには、そのライダーの車両が、その車両自身の推進力かライダー自身の努力によって、コース全体を走りきらなくてはならない（主催者が特に認めた補助や、認められたショートカットコース²の使用は例外的に認められる）。

これに違反した場合、失格となる。

1) 距離

コース全長は、特別規則（公式通知）に記載される。

2) コース指示（コースマーク）

コースはコースマーク（案内矢印）、看板、コーステープによって表示される。

表示されたコースを正確に通らなくてはならない。コースから離れてしまったライダーは、離れてしまった地点からコースに復帰しなくてはならない。

3) コース内での補助

1. 完走者：競技を完了した者。順位が認定されるための資格。

2. ショートカットコース：コースをセクション順にまわらずにパドックに戻るための、主催者により設定された通路、近道。

コース上では誰からでも品物を受け取ることができる（セクション内を除く）。ただし車両の補修、部品の交換などの作業はライダー本人がしなくてはならない（全日本選手権ではルールが異なる）。

4) ライダーパドック

主催者の定めるライダーパドック（選手用駐車場）内であれば、車両の補修、部品の交換などであっても、誰からでも補助を受けることができる。

5) コース移動に関する義務

コースの移動は原則として時速20km以下とし、観客の移動を最優先しなくてはならない。

4 セクション

大会のセクション数は、特別規則書（公式通知）に記載される。

すべてのセクションには、セクション番号が明確に表示されている。ライダーはその番号の順序に従って、第1セクションから順にトライしなくてはならない。

すべてのセクションには、“セクション入り口”を「IN」と、“セクション出口”を「OUT」と明確に表示される。

“セクション入り口”と“セクション出口”の間のセクション区間内は、右側がセクションテープ（色の区別はない）または赤色セクションマーカー。左側はセクションテープ（色の区別はない）または青色セクションマーカーによって示される。これらのセクションを示すために使われるテープ、杭、マーカー等すべてを「セクション表示物」と呼ぶ。

セクションの幅は、セクションマーカーによって制限される場合1.2m以上、セクションテープによって制限される場合2.0m以上の幅があることを原則とする。

セクション内にいた時間とは、車両のフロントホイールの中心（ホイールスピンドル）が“セクション入り口”の表示を通り過ぎてから、“セクション出口”の表示を通り過ぎるまでの時間をいう。“セクション入り口”“セクション出口”の表示をリヤホイールがフロントホイールより先に通過した場合“失敗”となる。

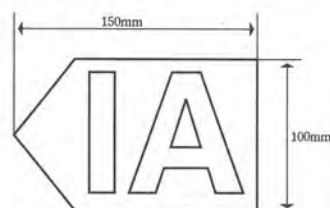
1) 各クラス用ゲート

ひとつのセクションを複数クラスが混走する場合、クラス別専用ゲートを設ける。この場合、各クラスとも自クラスのゲートを通過しなければならない。

他クラス用ゲートは通過しても、通過しなくても良い。しかし、他クラス用のものであっても、セクション表示物の現状を変化させると“失敗”となる。

クラスは以下のように示す。

ゲートマーカー



クラスは以下のように示す。

| | |
|-------------|--------------|
| 国際A級スーパークラス | IAS（赤地に黄色文字） |
| 国際A級クラス | IA（赤地に白文字） |
| 国際B級クラス | IB（緑地に白文字） |
| 国内A級クラス | NA（黄色地に黒文字） |
| 国内B級・ジュニア | NB（白地に黒文字） |

※クラスを表示した側をイン側、裏側をアウト側と解釈する。

5 持ち時間（タイムキーピング）

1) 持ち時間

ライダーの持ち時間は特別規則に記載される。すべてのライダーに、完走するための持ち

3. “失敗”：セクションの走行技術に関して、もっとも重い減点（5点）。定義は後に述べる。

4. ゲート：セクションを部分的に制限する関門のこと。左右一対のゲートマーカーで表示され、原則的に左右1.2m以上の間隔で制限される。

5. 現状の変化：テープ、マーカー、杭などに車両、ライダーが干渉して壊す、たるませる、移動させる、押し倒す、引きちぎる等の行為。

トライアル競技細則

時間が同様に与えられる。

スタート時間に遅れたペナルティは1分まで毎に1点。20分以上の遅れは失格となる。

ゴール時間に遅れた場合、失格となる。(全日本選手権ではルールが異なる)

2) スタート時間管理

スタート時間コントロールは、スタート地点で行われる。

3) ゴール時間管理

特別規則(公式通知)に特別に記載されなかった場合、最終タイムコントロールは最終セクションを出てすぐに、明確に、そして良く見えるように設置される。しかし最終ゴール地点でゴールチェック(車両チェック)を受けるまで、ライダーは競技の管理下にある。

4) セクション持ち時間

セクション個々に持ち時間が設定される場合、持ち時間はどのライダーにも、どのセクションにも同様に与えられ、時間管理の方法とともに特別規則に記載される。持ち時間以内にセクション完走が果たせなかったライダーは、そのセクションに関して“失敗”となる。

6 練習

設定されたコース中での練習と、セクションでの練習は、大会日以前であっても禁止される。これに違反した場合は失格となる。

大会会場での練習が認められる期間と場所は、特別規則(公式通知)に記載される。

大会期間中に練習することが認められている場所を、ウォーミングアップエリアと呼ぶ。

7 出場に関する手続き

1) 大会へのエントリー

出場申し込み方法の詳細は特別規則に記載される。申し込み用紙に必要事項をすべて記入し、定められた出場料、および共済会掛け金を添えて申し込むこと。

締め切り日以降のエントリーは認められない。電話による申し込みなど、定められた以外の方法は認められない。

受理された車両は、同メーカー同型式の場合を除いて変更できない。しかし競技監督に書類で申し込み、許可が得られた場合は例外とされる。(手数料5000円)

2) エントリー費用

エントリー費用は特別規則に記載される。

3) ライダー、メカニックのゼッケンナンバー

ライダーおよびメカニックは、主催者から指定されたナンバーを車両検査までに、規定の書体、規定の色分けで記入してはならない。

4) メカニックの登録

メカニックの登録は、全日本選手権にのみ認められている。

5) 出場者受付

大会当日にライダーとメカニックの出場資格の確認を行なう。

確認するもの：MFJライセンス、参加受理書

出場者受付の時間は、特別規則(公式通知)に記載される。

8 技術規則関連

1) モーターサイクルの装備

車両：車両は国際A級、国際B級はトライアル基本仕様(164頁)に合致した車両。国

国内A級以下はトリアル基本仕様と国内トリアルの仕様（205頁）に合致したMFJ公認車両でなくてはならない。改造されて型式が判別できない車両は、出場が認められない。

タイヤ：国内A級以下では、MFJ公認タイヤのみ使用することが出来る。

ガソリン：トリアル技術規則に適合するガソリンだけが認められる。

これらの規則に完全に適合しない場合、失格となる。

メカニックの使用車両は、MFJ公認車両でなくてはならない。

2) ライダーとメカニックの装備

MFJ公認ヘルメットの着用が義務づけられる。MFJ公認ヘルメットには、公認マークが貼付されている。

服装は、下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。手袋、および足首以上を保護する突出部分のないブーツなど革靴、またはゴム長靴が義務づけられる。

3) 音量規制

競技前に、車両の音量が車両規則に沿って計測される。不合格の車両は、基準に達するまで調整したり、部品を交換することができる。テストに合格したサイレンサーだけがマーキング⁶を受ける。

音量の規制値は、FIM方式（50cm離れて5000回転）で測定し、94dB/Aを超えないこと。

4) 車両検査

大会当日出場資格の確認後、ライダーとヘルパーの車両検査を行なう。検査を受ける車両は、ライダー、メカニック各1名に対し1台までに制限されている。

5) 部品のマーキング

部品がマーキングされる場合、その詳細が特別規則（公式通知）に掲載される。マーキングされた部品は、競技期間中交換が禁止される。

サイレンサーがマーキングされた後ダメージを受け、大幅に音量が増した場合、サイレンサーを交換するか走行を停止しなくてはならない。サイレンサーを交換した場合、オフィシャルに申し出なくてはならない。サイレンサーを交換した車両は、最終ラップのマシンチェック後、主催者によって車両が保管され音量検査がされる（規制値を超えていた場合、失格となる）。

6) ライダーの責任

マーキングが行われた場合、ライダーはパーツが適正にマーキングされたことを、自分の責任で確認してから競技を開始しなくてはならない。

7) 部品のチェック

主催者は、競技中にどの車両でも、いつでも部品をチェックすることができる。マーキングされた部品からマークが消えていた場合、その部品を交換したとみなされる。

9 ペナルティ

1) タイムペナルティと持ち時間関連

スタート遅れ1分まで毎 1点

スタート遅れ20分を超えた場合 失格

最終タイムコントロール遅れ 失格（全日本選手権ではルールが異なる）

2) 減点

セクションにおいて

-足つき（足つきまたは停止）1回 1点

-足つき（足つきまたは停止）2回 2点

6. マーキング：車検を受けた部品であることを証明するため、ペンキなど落ちにくい塗料で部分的に塗装する。

- 一 足つき（足つきまたは停止）3回以上 3点
- 足つき停止の定義は111頁 参照
- 一 停止中の足つき 1回 2点
- 一 停止中の足つき 2回 3点
- 一 後ろへの動き、 5点
- 一 前進動作なしに前後ホイールのいずれか、または両方を意図的に横へ移動させた 5点

セクション持ち時間が設定されない場合、不必要に長い間停止を続けることは禁止される。すみやかにトライを続けることをオフィシャルに指示され、これに従わない場合失敗とみなされる。

- 一 失敗 5点
- 一 セクション内で、外部からの援助を受けた 5点
- 一 セクションにトライしないことを、ライダー本人がセクションオフィシャルに申告した。 5点
- 一 ライダーがセクションを著しく変化させた 5点
- 一 セクション見落とし（次のセクションにトライしてしまった場合、見落とししたセクションに対して） 10点

ひとつのセクションで、いくつかの減点が累積する場合、もっとも重い減点だけが適用される。しかし、以下の減点は加算される。

- 一 失敗後、オフィシャルの指示に従わずセクション持ち時間経過後も、セクションから出ない。

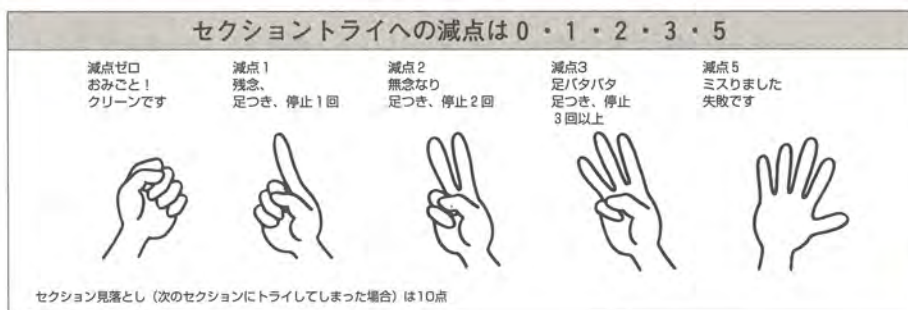
5点（加算）

- 一 セクションを1番から順にトライしなかった。

20点（加算）

セクション審判が、手またはプラカードで示す減点は暫定的なものであり、パンチカードなど記録紙に記したものが、そのセクションにおける最終的な結果である。暫定的な表示から結果が変更されたり、競技監督から追加減点が通告される場合がある。

図A



以下の3)罰金、4)失格は審査委員会の承認に基づき、競技監督からライダーへ通告される。

3) 罰金

ライダーかメカニックによるオフィシャルへの暴力的な言動、行動

1万円以上5万円以下の罰金

4) 失格

ライダーは以下の行為により失格となる。

7. 地形：地面、木、枝、壁、石、岩、杭など総称して「地形」と呼ぶ。
 8. フットレスト：ステップの別称。
 9. エンジンケース：ここではクランクケースを指す。
 10. エンジンカバー：ここではアンダーガードを指す。

- ライダーかメカニックによるオフィシャルへの暴力的な言動、行動（重大な場合）。
- ヘルメットを着用しないでの走行
- コース指示の見落とし（コース間違い）。
- 競技中の車両、またはライダーの変更。
- 認められないタイヤの使用。
- 認められないガソリンの使用。
- 禁止された薬物の使用。
- ゼッケンナンバーの変更。
- コースを見失った地点以外からのコース復帰。
- 競技期間中のセクションでの練習。

10 定義

以下の定義は、これと異なる解釈が特別規則（公式通知）に明確に記載されない限り適用される。どちらともとれる判定では、ライダーに有利な判定をする。

1) 足つき

ライダーの体のどこかの部分、または以下に記す例外以外のマシンのどこかの部分が地面に接したり、地形に寄りかかるたびに「足つき」とみなされる。

足つきの解釈において、足をついた場所がセクション内であってもセクション外であっても、車両がセクション内にあれば、同じ足つきとみなされる。

地面に触れてペナルティの対象とならないのは：タイヤ、フットレスト⁸、エンジンケース⁹、エンジンカバー¹⁰。

2) 停止

車両が前進するのを止めるたびに、そのつど停止したとみなされる。

3) 失敗

-足を着いた状態、または着かない状態であっても、後方へ移動してしまったら失敗とみなされる。

-前進動作なしに前後ホイールのいずれか、または両方を意図的に横へ移動させてしまったら失敗とみなされる。

-停止中に足を着いた際、両手をハンドルバーに置いていなかった場合、失敗とみなされる。

-ライダーが車両から落ちてしまって、車両の片方のサイド、または後方に両足を着いてしまった。

-車両がセクションの境界を越えてしまったときで、越えたそのホイール（タイヤ含む）が接地した状態。

-ゲートマーカー、およびセクションマーカーが示す方向以外へ車両が進んでしまった。

-ライダーがどこかに寄りかかっている状態で、エンジンが停止した場合。

-タイヤを除く車両の一部が地面に接しているときに、エンジンが停止した場合。

-車両のハンドルバーが地面に接してしまった。

-セクション表示物の現状を変化させる。

-セクション内で車両、またはライダーが外部からの援助を受ける。

-セクション内でライダー自身の車両がつけたわだちちに再び触れたり、踏みつけたり、また

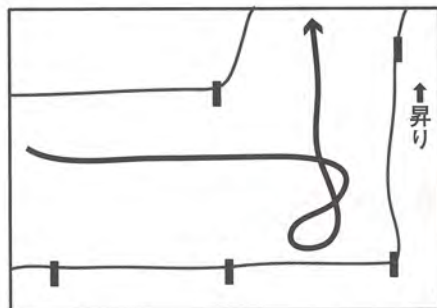
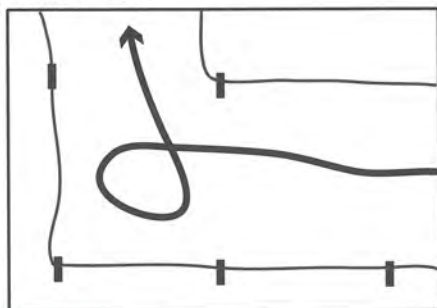
11. バックマーカー：オフィシャルの役職名。セクション閉鎖を指示する。

は飛び越えた。

— “セクション入り口” “セクション出口” の表示を、リヤホイールがフロントホイールよりも先に通過する。

— フロントスピンドルが “セクション入り口” の境界から中に入っている。

図B
減点5の例



11 結果の記録

パンチカードが使用される場合、溶けにくい素材でできたカードが配布される。

ライダーは自分のスコアカードに各セクションでマークを受け、求められたときにはリザルトオフィシャルにスコアカードを手渡す責任がある。

12 セクションの閉鎖

競技時間が残されていても、最終ライダー通過後バックマーカーがセクションを閉鎖する場合がある。

同時スタート方式の場合、タイムスケジュールで定められた時刻にセクションが閉鎖される。

13 結果と順位

大会の優勝者は、[⑨ペナルティ] (113頁) による減点数がもっとも少ないライダーである。

14 大会の中断

大会が終了前に中断されてしまった場合、審査委員会はその大会を無効・取り消しとするか、その結果と賞が正当とするか、状況によって判断する。

15 同点

同点が生じた場合、0点が多いたライダーを勝者とする。依然として同点だった場合1点が多いたライダー、2点が多いたライダー、3点が多いたライダーという順序で判断する。

それでも同点だった場合、少ないタイムペナルティ (または、計っていたら少ない所要時間) で完走したライダーを勝者とする。

16 賞

得点は国内競技規則第3章 [②④公式得点] (33頁) による。

17 抗議

抗議は国内競技規則第3章 [27抗議] (35頁) による。

セクション審判が下したジャッジには抗議できない。

車両の分解検査に要した費用は、抗議不成立の場合提出者、抗議成立の場合対象者が負担する。
費用の算定は車検長が行なう。

18 本規則の解釈

本競技細則および競技に関する疑義は、事務局あて質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定を最終的なものとして示される。

19 本規則の施行

本規則は、2000年1月1日より施行する。



附則 判例集

以下は現在までの適用例をまとめたものです。規則に準じて適用されます。

マナーに関することがら

競技中の事故や、競技の参加を取りやめる（リタイヤする）場合は、すみやかに大会本部へ連絡しなくてはならない。

ライダーはセクションに入る準備ができしだい、手を挙げてセクションオフィシャルに合図しなければならぬ。

ライダーの装備に関して

- ① MFJ公認ヘルメットであってもMFJの公認マークの貼付されていない場合、特別検査によって公認ヘルメットであることが確認され、かつ安全性が確認されればその競技で使用する事ができる。（検査料1000円が必要）

競技の進行に関して

- ② ライダーは、スタートの合図を受けて始めてエンジンを始動することができる。
- ③ ライダーはセクション内で一切の援助を受けてはならないが、“失敗”後は例外である。

ライダーへの援助

- ④ 許可された場所（パドック）以外で、外部から整備の援助（部品の交換を含む）を受けた場合、失格となる。（全日本選手権の、登録されたメカニックを除く）

セクション関連

- ⑤ ゲート通過後に再びゲートを逆に通過した場合、ゲート不通過とみなされる。
- ⑥ 複数クラスが混走するためクラス別ゲートが使用される場合で最下位クラス用ゲートが設けられていない場合、同クラスはセクション内のどこを通過しても良い。

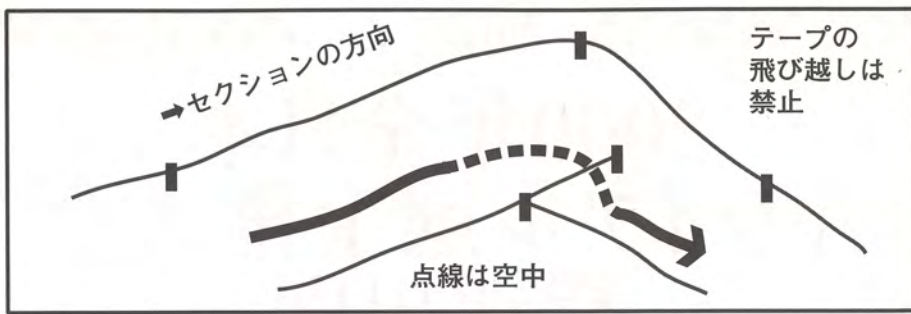
ペナルティ関連

- ⑦ 以下の場合、車両が前進していれば1回の足つきとみなす。
 - 一体の部分で手、足についてはその付け根から先を同一とみなす。したがって足つきと同時にひざを接地しても、1回の足つきである。
 - 足つき状態でつま先とかかとを交互についた。
 - 足つき状態のまま、引きずられてしまった。
 - 片足を軸にして、車両を回転させた。
 - 手を立ち木、壁についた。
 - 身体または車両が地形にもたれかかり、バランスを修正した。
- ⑧ 以下の場合、“失敗”とみなす。
 - 上り坂等での足つきの状態で、フロントタイヤが浮いてタイヤがバックした。
 - テープを飛び越えた（119頁図参照）。

結果の記録

- ⑨ パンチを間違えてしまった場合、正解を示す点数だけを除いて、残る点数を全部パンチする方法が推奨される。

図



10 以下の場合、“減点”または“失敗”とみなされない。

- ライダーの身体や車両の部分が地形に接触したが、明らかなバランス修正はしなかった。
- セクション表示物への単純な接触で、現状は変化しなかった。
- テープの上からフローティングターンなどによりフロントタイヤ、リヤタイヤのどちらか片方がテープ外に出て、地形に接触しないでテープ内に着地した。
- ゲートマーカー、セクションマーカー付近でのフローティングターン等によるマーカー迂回で、テープ内にあるタイヤの接地面はマーカーの内側を通った。
- V字型の地形でフットレスト（ステップ）がかみ込んで停止した場合、フットレスト（ステップ）に足が乗っていれば“足つき減点”にならない（停止の減点は科される）。そのフットレスト（ステップ）上のつま先、足の裏部分が接地していても、意識的なバランス修正が無い場合、足つき減点の対象とならない。

ト
ラ
イ
ア
ル



細則 7

2000年全日本 トライアル選手権大会 特別規則

1 適用の範囲

トライアル全日本選手権は以下に記す全日本選手権特別規則、トライアル競技細則（110～117頁）、国内競技規則（22～36頁）、および各大会の主催者から配布される大会特別規則（公式通知）によって開催される。

2 セクション

大会前日に査察が行なわれ、査察団によって最終的にセクションが認定される。査察団は審査委員長を団長とし、競技監督、セクション設定責任者、選手会代表で構成される。

3 開催クラス

国際A級部門、国際A級スーパークラス部門、および国際B級部門とする。

4 参加資格

国際A級スーパークラス：

前年度全日本選手権国際A級スーパークラスランキング上位10名。および前年度国際A級ランキング上位3名の中の希望者（MFJ事務局への手続きが必要）。

当該年に有効なライセンス所持者。

国際A級、および国際B級：

それぞれ当該年に有効なライセンス所持者。

メカニック：

当該年に有効な国内B級以上のライセンス所持者。

5 出場料およびMFJ共済会掛金

| | 総額 | 内訳 | |
|-------------------|---------|---------|----------|
| | | 出場料 | MFJ共済会掛金 |
| 国際A級部門（スーパークラス含む） | 12,000円 | 11,700円 | 300円 |
| 国際B級部門 | 12,000円 | 11,700円 | 300円 |
| メカニック | 6,000円 | 5,700円 | 300円 |

参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、出場料を大会事務局が受理した時点で参加受理書、公式通知等が発送される。

- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合にのみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される。(申込者が必要な手続きを怠った場合は、これに当てはまらない)

6 ゼッケンナンバー

全日本選手権の年間指定ゼッケンは以下の基準による。

国際A級スーパークラス

- (1) 前年度国際A級スーパークラス上位から指定する。(ランキング10位まで)
- (2) 前年度国際A級上位から指定する。(上位3名から、希望者)

国際A級

- (1) 前年度国際A級で、スーパークラスを希望しなかった者を指定する。(上位3名から)
- (2) 前年度国際A級スーパークラスからの降格者を指定する。
- (3) 前年度国際A級上位から指定する。(ポイント獲得者)

国際B級

- (4) 国際A級への昇格者を除く、前年度のランキング上位から指定する。(ポイント獲得者)
- (5) 上記以外は大会ごとに指定する。

ナンバープレートの色は以下のとおり。

国際A級スーパークラス：赤地黄色文字

国際A級（スーパークラス除く）：赤地白文字

国際B級：緑地白文字

国際A級のメカニック（スーパークラス含む）：白地赤文字

国際B級のメカニック：白地緑文字

ゼッケン番号は、メカニックを登録するライダーと同じ。

7 メカニック

1) メカニックの登録

ライダー1名に対し、1名のメカニックが認められる（登録できる）。

メカニックは、ライダーの出場申込みの際同時に登録する必要がある。この場合ライダーは、登録したメカニックの行動すべてに責任を負うことを認めたものとみなされる。(メカニックの受けた罰則は、登録したライダーがその罰則を受ける。)

登録したメカニックは、有資格者であれば変更が認められる。この場合大会当日の出場者受付に変更手数料（1000円）を添えて申し込まなければならない。

ライダー単独でエントリーした場合、大会当日のメカニック登録はできない。

大会により、メカニックの登録を認めない場合がある。

2) メカニックの義務

メカニックミーティングが開催される場合、これに出席しなくてはならない。

移動コースは、特に指示の無い場合ライダーと同一とする。逆走はできない。

メカニックは、登録したライダーと同時にスタートしなくてはならない。

3) メカニックの行なって良い行為（下記以外は認められない）

パドック以外での車両整備（部品の交換を含む）は、選手本人およびその選手に登録されたメカニックのみが行なうことができる。

メカニックは原則としてセクション内に立ち入ることはできない。ただしトライ失敗の際

の補助（安全上の目的）として、その選手に登録されたメカニックがセクションオフィシャルの許可を受けた場合に限り、そのセクション内への立ち入りが認められる。

8 車両検査

競技前の車検に合格した車両にはステッカーが貼付され、以下の部分にマーキングを行なう。マーキングを受けた部品以外は、車検後でも交換することができる。

| パーツ名 | ペイント部分 |
|---------|---------------------|
| フレーム | フレーム前方(ステアリングヘッド)右側 |
| クランクケース | 右側 |
| サイレンサー | サイレンサー本体 |

9 スタート

第1戦のスタート順序はゼッケン下位からとする。

第2戦以降は、ポイント獲得者以外のゼッケン下位の者から先にスタートし、次いで前戦までのランキング下位の者からスタートする。

10 結果の記録（採点カード）

- 1) ライダーはスタート時に採点カードを受け取り、各ラップごとに交換すること。
- 2) セクションでのパンチの点数は、その場でライダーが確認すること。
- 3) セクションをトライしてもパンチを受けないで次のセクションへ入った場合、前セクションは“セクション見落とし”とみなされる。(減点10)
- 4) 採点カードの破損等によって、採点を確認できない場合、当該セクションはエスケープとみなされる。
- 5) 採点カードは選手自身がパンチを受け、管理しなくてはならない。
- 6) 採点カードを紛失した場合、失格とされる。
- 7) 採点カードはコンピューター処理されるので、折り曲げたりしてはならない。
- 8) 採点カードの交換場所は、大会特別規則（公式通知）に示される。

11 持ち時間（タイムキーピング）

- 1) ゴールに遅れたライダーは、1分まで毎に1点の減点が科せられ、20分以上の遅れは失格とする。
- 2) ゴールタイムチェックを受けたライダーは、定められたコースに従い10分以内にカード交換場所に戻り、採点カードを係員に提出すること。この時点でゴール完了となる。ゴール完了前に指定されたコース外に出たり、パドックに入ったりしてはならない。

12 ペナルティ

トライアル競技細則に定める減点に加え、下記減点を科す。

- 1) セクションでの持ち時間

各セクションごとに2分の持ち時間が与えられ、2分以内にセクションアウトできなかった場合は、“失敗”となる。

減点

- ライダーまたはメカニックがセクションを著しく変化させた。 5点
- オフィシャルの許可を受けずに、メカニックがセクションに入った。 5点

ひとつのセクションで、いくつかの減点が累積する場合、もっとも重い減点だけが適用される。しかし、以下の減点は加算される。

—メカニックが、セクション審判の判定に反論した。 5点（加算）

罰金

メカニックが以下の条項に従わなかった。

モーターサイクル乗車中は、ブーツ、長ズボン、ヘルメットを装備しなくてはならない。

罰則 1回目：罰金1万円、2回目：罰金2万円、3回目：罰金5万円

13 賞および得点（ポイント）

- 1) 各大会ごとに国際A級、国際B級の各クラス（スーパークラスは除く）へベストクリーン賞が与えられる（クリーン数が同数の場合は、成績が上位のものとする）。
- 2) 国際A級、国際A級スーパークラス、国際B級部門全日本選手権ランキングの得点
 - (1) 得点はMFJ国内競技規則第3章 [24公式得点] (33頁) によって与えられる。
 - (2) 日本グランプリトライアル大会については、規定の得点にさらに3点が加算される。
 - (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。
 - (4) 国際A級スーパークラスは、出走台数に関わらず上位10位までにポイントが与えられる。
 - (5) 詳細は全日本選手権ランキング決定基準 (237頁) に示される。

14 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則、トライアル競技細則による。

付則

トライアルデナシオン（国別対抗世界選手権）出場資格

標記競技会の、日本代表選手選考基準は以下のとおりとする。

- (1) 選手選考は原則として、全日本選手権の成績上位者、および世界選手権の成績上位者を、それぞれ対象とする。
- (2) 選考期間は、前年8月1日～当年7月末日までとする。
- (3) 上記選考基準を元に、トライアル委員会の指定する“選考委員会”にて最終的に決定する。

2000年全日本トライアル選手権大会特別規則

2000年 MFJ全日本トライアル選手権シリーズ開催日程

| 開催月日 | 大会名 | 出場申込先 | 会場 | 出場申込期間 |
|----------------|--------------------------------------|---|-----------------------------|----------|
| 3月4日(土) } | MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第1戦 九州大会 | MFJ九州支部 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-11-9 メゾンド水巻1F-B ☎092 (473) 2616 | 熊本県 矢谷渓谷 | 1月25日(火) |
| 3月5日(日) | | | | 2月3日(木) |
| 5月6日(土) } | MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第2戦 関東・新潟大会 | ケブラン内 全日本TR係 〒951-8154 新潟県新潟市堀割町1-7 ☎025 (232) 1811 | 新潟県 大日ケ原 トライアル場 | 3月28日(火) |
| 5月7日(日) | | | | 4月6日(木) |
| 7月15日(土) } | MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第3戦 関東大会 | MFJ関東支部 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-5 アルス新大塚202 ☎03 (3971) 0022 | 茨城県 白井トライアル パーク | 6月6日(火) |
| 7月16日(日) | | | | 6月15日(木) |
| 8月5日(土) } | MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第4戦 北海道大会 | MFJ北海道支部 〒011-0925 北海道札幌市北区新川5条20丁目1 番20号新川地区工業団地内 ☎011 (768) 3988 | 北海道わっさむ サーキット | 6月27日(火) |
| 8月6日(日) | | | | 7月6日(木) |
| 8月19日(土) } | MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第5戦 中国大会 | MFJ中国支部 〒733-0036 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082 (295) 6994 | 広島県 吉舎町灰塚ダムト ライアル特設会場 | 7月11日(火) |
| 8月20日(日) | | | | 7月20日(木) |
| 9月23日(土) } | MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第6戦 近畿大会 | MFJ近畿支部 〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06 (6534) 6422 | 兵庫県 猪名川サーキット | 8月15日(火) |
| 9月24日(日) | | | | 8月24日(木) |
| 10月7日(土) } | MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第7戦 中部大会 | MFJ中部支部 〒466-0812 愛知県名古屋市中区八事富士見 1603 ☎052 (833) 9676 | 岐阜県 坂内バイクランド | 8月29日(火) |
| 10月8日(日) | | | | 9月7日(木) |
| 10月21日(土) } | MFJ全日本トライアル選手権 シリーズ第8戦 東北大会 | SUGOスポーツクラブTR係 〒989-1394 ☎0224 (83) 3127 | 宮城県 スポーツランド SUGO | 9月12日(火) |
| 10月22日(日) | | | | 9月21日(木) |

※スポーツランドSUGOへの郵便物は郵便番号と宛て名のみで届きます。

2000年トライアル主要競技会カレンダー

| 開催月日 | 大会名 | 出場申込先 | 会場 |
|---------------|----------------------------|---|------------------|
| 6月10日(土) } | トライアル世界選手権シリーズ 第7戦 日本大会 | ツインリンクもてぎレース事務局 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町大字松山120-1 ☎0285 (64) 0200 | 栃木県 ツインリンクもてぎ |
| 6月11日(日) | | | |
| 11月12日(日) | MFJトライアル グランドチャンピオン大会 | MFJトライアル中部トライアル委員会 〒4700-151 愛知県愛知郡東郷町諸輪字東脇56-99 鈴木 唯一様方 ☎05613 (8) 0736 | 岐阜県 坂内バイクランド |

| 開催月日 | 大会名 | 開催場所 |
|----------|-------------------|----------|
| 9月10日(日) | 2000年トライアル・デ・ナシオン | スペイン(セバ) |

様式16
(個人用)



友達を誘ってレースをしよう！ MFJライセンス会員入会申込書

※継続申請の方もこの用紙をご使用いただけます。
※このページをコピー又は切り離し申請用紙としてご使用いただけます。必ずボールペンでご記入ください。



| | | | | | |
|----------------------------|----|---------------------------------|----------|--------------------------------------|-------------|
| 太枠内を記入してください。 | | 年 度 | 種 目 | クラブコード | |
| MFJライセンス会員No. | | フリガナ (必ず記入) | | 現住所 〒□□□-□□□□ | |
| 氏名 | | 1.男 2.女 | | 都 道 府 県 | 市 区 郡 |
| ※氏名の変更は運転免許証等のコピーを添付して下さい。 | | 生年月日 昭和・平成 年 月 日 | | 様方 (アパート・マンション名・部屋番号も必ず記入のこと) | |
| 住所変更 | | 自宅 TEL No. () | | | |
| 再発行(紛失) | | 連絡先 TEL No. (昼間連絡のとれる場所) () | | | |
| 新規 | 継続 | ライセンス追加 | クラブ員追加*1 | 住所コード | |

ライセンスNo. ○で囲む

| | | | | | |
|--|------------|---------------------------------|---------|--|-----------------------------|
| いずれの種目にも運転免許が必要です。受けていない人は、講習会修了証を添付して下さい。 | 種目/ライセンス区分 | ①ロードレース | フレッシュマン | サーキット名 () | 走行証明印 MFJ公認サーキットにて押印 |
| | | ①ジュニア ②フレッシュマン ③国内 ⑥国際 | | サーキットライセンスNo. () | |
| ①原付 ②自二 ③普通 ④講習会修了証 | 運転免許証No. | 国内 | | 公認サーキットで右欄に3時間以上走行の証明印を押してもらって下さい。又は国内ライセンス講習会修了証を添付して下さい。 | ※走行券、カード不可 ※有効期限 1年 |

| | | | | | | | |
|--------------------|---|---|---------------------|------------|---------|--------------------|------------------|
| 種目/ライセンス区分 | ②モトクロス | ③トライアル | ⑤スノーモビル | ①ドラッグレース | ②エンデューロ | ⑥ピットクルー | Lライセンス |
| | PC ※ ①ジュニア ③国内B級 ④国内A級 ⑤国際B級 ⑥国際A級 | ①ジュニア ③国内B級 ④国内A級 ⑤国際B級 ⑥国際A級 | ①ジュニア ③B級 ④A級 | ⑧B級 ⑨A級 | ⑧エンデューロ | ①ピットクルー (16歳以上) | Lライセンス (9歳以上) |
| ※PCライセンス取得の場合下記も記入 | | | | | | | |
| 親権者氏名 | | 生年月日 | | 19 年 月 日 | | | |

写真
近影写真貼付
(無背景、無帽)

①サイズ 3×2.4cm
②枚数 控+種目数
③裏に氏名を記入

※PCの場合写真サイズ 3×3cm

| | | | | | | | | | |
|-------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 入金ルート | | | | | | | | | |
|-------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

| | | | | | |
|-----|------------------------------|------------|-------------|--------|-------------|
| 取扱所 | ①MFJスポーツ協力店 ②県協会 ③MFJ公認サーキット | 受付日/受領印 | M F J | 県協会 | M F J |
| | | MFJスポーツ協力店 | 月 日 受付 | 月 日 受付 | 月 日 受付 |
| | (MFJ指定のゴム印を押して下さい) | 受領金額 | 円 | 円 | 円 |

ライセンス申込書送付先

〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館7F TEL 03-5565-0900

発行

日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)

競技役員・講師ライセンス取得の場合、別途申請書を請求して下さい。

(2000-規)

ドラッグレース

DRAGRACE

CONTENTS

▼ 細則 8 ドラッグレース競技細則

| | |
|------------------------|------------|
| 1. 適用の範囲 | 127 |
| 2. ドラッグレース | 127 |
| 3. レース出場車両 | 127 |
| 4. 参加資格 | 127 |
| 5. 出場申し込み | 127 |
| 6. 参加受理 | 128 |
| 7. ゼッケン・ナンバー | 128 |
| 8. ライダーの装備 | 128 |
| 9. 出場受付 | 128 |
| 10. 出場車両の変更 | 129 |
| 11. 車両および装備の検査 | 129 |
| 12. スタート方法とスターティングシステム | 129 |
| 13. スタート手順 | 130 |
| 14. 競 技 | 131 |
| 15. 順位の決定 | 132 |
| 16. 計測システムと計時結果 | 133 |
| 17. 禁止行為 | 133 |
| 18. リタイヤ(棄権)と停止 | 133 |
| 19. 賞 典 | 133 |
| 20. レース終了後の車両保管と再車検 | 133 |
| 21. レースの成立 | 134 |
| 22. レースおよび大会の延期・中止等 | 134 |
| 23. 抗 議 | 134 |
| 24. 違反に対する罰則 | 134 |
| 25. 本規則の解釈 | 134 |
| 26. 本規則の施行 | 134 |

▼ 細則 9 2000年全日本ドラッグレース選手権大会特別規則

| | |
|------------------------|------------|
| 1. 公 示 | 135 |
| 2. 開催種目と競技会の日程 | 135 |
| 3. 追加のクラス | 135 |
| 4. コース | 135 |
| 5. 大会審査委員会 | 135 |
| 6. 参加定員 | 135 |
| 7. 出場料および共済会掛金(保険料) | 135 |
| 8. ビット要員 | 136 |
| 9. ゼッケンナンバー | 136 |
| 10. 公式予選 | 136 |
| 11. 決勝レース | 136 |
| 12. コース選択 | 136 |
| 13. 賞および得点 | 136 |
| 14. 主催者の権限 | 137 |
| 15. 本規則の施行 | 137 |
| 2000年全日本ドラッグレース選手権開催日程 | 138 |

※2000年度の規則変更点は太字で示されています。

細則 8

ドラッグレース 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技に基づき、すべての国内のドラッグレース競技会に適用される。

2 ドラッグレース

- 1) ドラッグレースとは完全にクローズドされたコースで行われ、2台の車両が先着を競う競技である。
- 2) 区間タイム (Elapsed Time : 以降E.T.という) を測定するコースの長さは下記3種類が設定される。
 - ① SS1/4マイル (402.33m)
 - ② 1,000フィート (304.8m)
 - ③ SS1/8マイル (201.165m)

3 レース出場車両

- 1) 一大会において同一車両を複数の種目のレースに使用することはできない。
- 2) 一大会において同一車両を複数のライダーが使用することはできない。

4 参加資格

- 1) エントラント及びライダー
エントラント及びライダーは、2000年度版MFJ国内競技規則第3章〔⑨競技参加者〕(29頁)に合致していなければならない。

5 出場申し込み

- 1) 出場申込場所は、大会特別規則の定めるところとする。
- 2) 出場申込手続き
 - (1) 各クラスとも所定の申込書に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金(保険料)を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - (2) 2クラス以上に出場を申し込む場合は、別々に、申し込み書を提出しなければならない。
 - (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締め切り当日の消印のあるものが有効となる。
 - (4) 電話による申込及び締め切り日以降の申込は一切受けない。

6 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合のみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される（申込者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない）。

7 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに規定の書体および色分けで記入しておかなければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査以降においても、判断しにくいと判断された場合には修正が要求される場合がある。
- 4) 最初決められたゼッケン・ナンバーは、年度末まで変更できない。

8 ライダーの装備

- 1) ヘルメット
 - (1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
 - (2) MFJの公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付される。
 - (3) 競技会の車両検査受付時に、ヘルメットの検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
 - (4) MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料（1,000円）を支払い、特別に検査を受けなければならない。
- 2) ライダーの服装
 - (1) レーシングスーツ
 - ① 皮もしくは、同等の素材であること。MFJ公認スーツが望ましい。スーツはワンピースデザインもしくはウエストでつながるジッパータイプ。



MFJが公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いている。

- (2) ブーツ・グローブ
 - ブーツはくるぶしが完全に覆われるもので、皮製、サイドボタンタイプ。
 - グローブは、手を覆うサイドボタンタイプ。
- 3) 競技中のライダーは、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

9 出場受付

- 1) 出場受けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者がMFJライセンス、参加受理書を提出して出

場資格の確認を受けなければならない。

3) MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

10 出場車両の変更

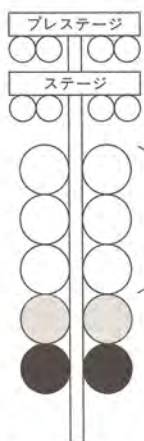
- 1) 車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(32頁)による。
- 2) 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

11 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査の車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を済ませなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 車両検査持ち込み台数は、地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られる。
- 5) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不相当と判断された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 6) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行うことがある。

12 スタート方法とスターティングシステム

- 1) スタート方法はスタンディングスタートとし、下記の2種類とする。クラス毎のスタート方法は大会特別規則に示す。
 - (1) プロスタート
スリーアンバーライト(プレスタートライト)(3個同時)が点灯してグリーン(スタート)ライトが点灯までの間隔0.4秒。
 - (2) ストックスタート
スリーアンバーライト(プレスタートライト)(上よりカウントダウン)が点灯してグリーン(スタート)ライトが点灯までの間隔0.5秒。
- 2) スターティングシステム(クリスマス・ツリー)



クリスマス・ツリー

Pre-Stage light : スタートするために、まずプレステージライトを点灯させる。

Stage light : デュアルスタートの場合、対戦相手がプレステージライトを点灯させる前にステージライトを点灯させてはならない。

Three Amber Light : ステージライト点灯後1~5秒後に点灯。

(Pre-Startlight)

①Pro-Start : 3段同時点灯。

②Stock-Start : 上段より順次点灯。点灯間隔0.5秒。

Green-Start light : スリーアンバーライト(プレスタートライト)点灯後

①Pro-Start : 0.4秒、②Stock-Start : 0.5秒で点灯。

Red light : Foul Start : グリーンライトが点灯する前にスタート/ガードビームを横切った場合に点灯。

3) スタートライン (ビーム)

スタートエリアには下図のようなライン/ビームがある。



(1) ブルーライン (FIMイベントのみ設置)

スターターの合図でステージングする際、フロントホイールがブルーラインを超えたら何者も車両に触れてはならない。

(2) プレステージビーム

このビームを横切るとプレステージライトが点灯する。

(3) ステージ/スタートビーム

このビームを横切るとステージライトが点灯する。

スタートの計時を開始するための光電管。

(4) ガードビーム (任意に設置)

車両の低い位置に着いている部品がステージビームを遮断したままの状態ではフライングスタートが切られることを防止する。

ステージビームが遮断されたままガードビームが作動した場合、ファールとなる。

13 スタート手順

1) バーンアウト

(1) クラスにより場所を制限する。

(2) バーンアウトの際にセンターラインを超えてしまっても失格にはならない。

(3) バーンアウト後ピットクルーが安全確認のために車両進行方向修正を行なう以外に車両に触れることは禁止される。

(4) ドライホップは1回まで許可される。

2) コース選択

(1) タイムトライアルでは、コースイン順に競技役員の指示に従って行われる。

(2) ラダー競技では、前のヒート (公式予選含む) のタイムの良い方に選択権がある。

3) ステージング

(1) コースインした時点でスタート準備が完了していること。

(2) セルフスタートし、セルフステージしなければならない。*

※セルフとは車両のエンジン動力で行うことを言う。

(3) ステージビームと車両の位置を確認するために機械や電子装置等補助具を使用してはならず、ライダーの肉眼のみで行うこと。

(4) ステージビームに進む前にプレステージライトを点灯させなければならない。デュアルスタートの場合は両者がプレステージライトを点灯するまでステージビームに進んではならない。

(5) スタートするためには、プレステージライトを点灯させなければならない。ステージ完了前にステージライトを消灯した場合は、失格となる。ただし決勝ヒートにおいて両者がステージライトを消灯させてしまった場合は再スタートするものとする。

(6) ステージのために与えられる時間のリミットはスターターに委ねられる。このリミット

を越えた場合およびスターターの指示通りステージしない場合失格となる。

(7) ステージ完了後ステージし直すことは禁止される。

※ステージングの際、プレステージ・ステージライト点灯後、さらに深くステージングする為に進んでプレステージライトを消灯する、いわゆるディープステージは、ファールを誘発するため望ましくない。

4) スタート

(1) クリスマスツリーのグリーンライトが点灯した時をスタート合図とする。

(2) 決勝レースにおいてステージ完了後、スリーアンバーライトが作動（点灯）する前にステージライトを消灯した場合は、当該ヒート無効とする。

(3) リアクションタイム（以下RTと呼ぶ）によって反則とみなされる場合を以下に示す。

① ファールスタート

a. プロスタートの場合：RTが0秒以上～0.4秒未満

b. ストックスタートの場合：RTが0秒以上～0.5秒未満

② ジャンプスタート

RTが0秒未満

14 競 技

競技方法は次の2種類とする。

1) タイムトライアル競技

2～3回のタイムトライアルを行いE.T.（区間タイム）を競う。

2) トーナメント競技

(1) 公式予選

① 決勝のラダーポジションを決定するために、最低1回のタイムトライアルによる公式予選を行なう。

② 各ライダーは、最低1回公式予選に出走しなければならない。

③ 予選の優先順位

a. 有効なスタートと、有効なゴールを行なったライダーのE.T.順。

b. aが同タイムの場合はトップスピードの速い順。

c. bが同スピードの場合はRTが規程数値に近い順。

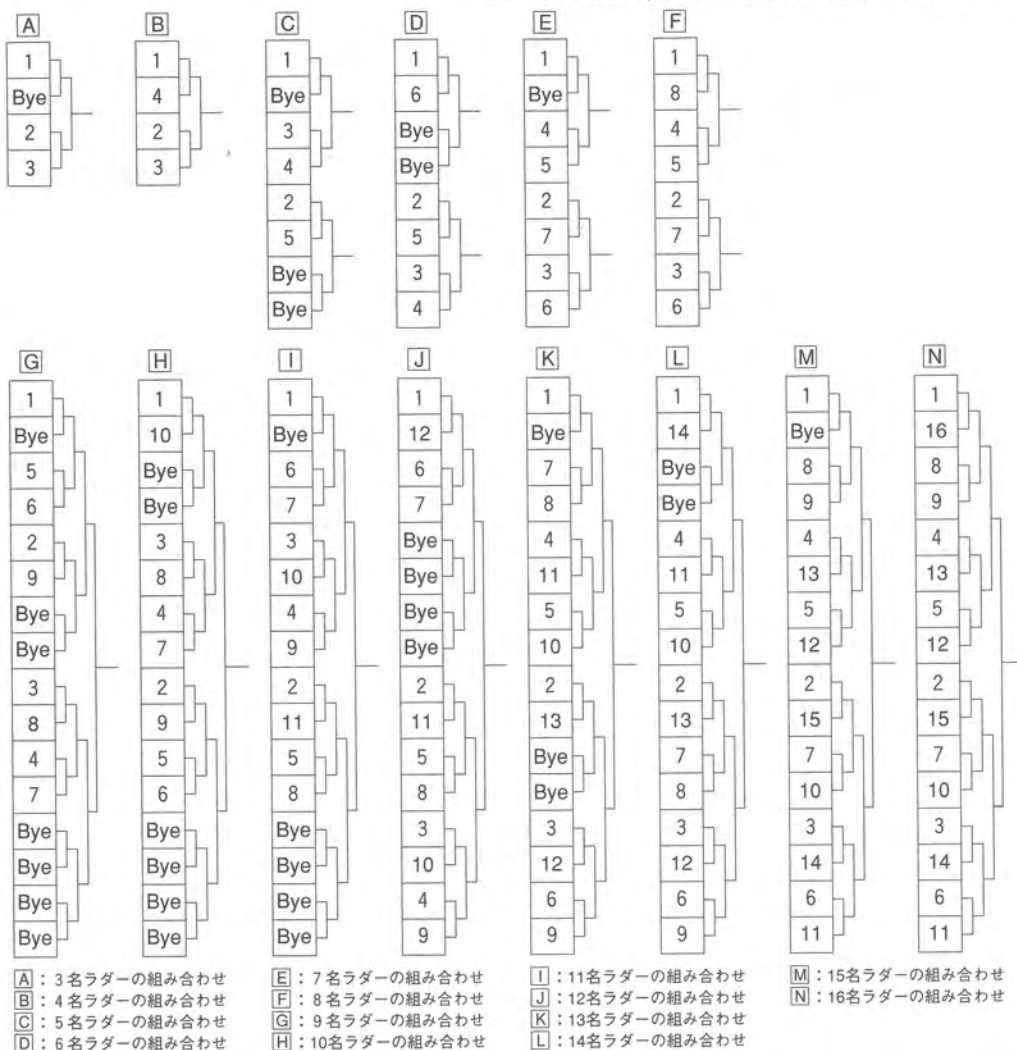
d. ファールスタートを行ったライダーは、RTが規程数値に近い順。

e. 有効なスタートを行ったが1分未満にゴールに到着しなかったライダーには、59.999秒のタイムが与えられる。複数の場合のラダーポジションは大会審査委員会の決定に委ねられる。

f. 上記以外の予選に関する順位付けは、審査委員会の決定に委ねられる。

(2) 決勝

決勝出走台数による決勝出走組み合わせ（ラダーポジション）は、タイムトライアルの順位によって以下の表の通りとする。



15 順位の決定

| タイムトライアル、公式予選 | トーナメント、決勝レース |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> E.T.のベストタイムの早い者が上位。 1. が同タイムの場合、トップスピードの速い者が上位。 2. が同速度の場合、リアクションタイムの早い者が上位。 ファールスタートの場合、RTが規定数値に近い者が上位。 E.Tは無効。 | <ol style="list-style-type: none"> 勝者の決定 <ol style="list-style-type: none"> 2台同時にスタートし、先にゴールラインを超えた者が勝者。 (1) で同着の場合、E.T.の早い者が勝者。 (2) が同タイムの場合、トップスピードの速い者が勝者。 (3) が同速度の場合、前ヒートのE.T.の速い者が勝者。 (4) が同タイムの場合は大会審査委員会の決定による。 順位の決定 <ol style="list-style-type: none"> 最終ヒートの勝者が優勝となる。 最終ヒートの敗者が2位となる。 3位以下の順位は当該ライダーの完了したヒートごとのE.T.順に決定する。 |

16 計測システムと計時結果

1) タイム計測

- (1) E.T.を光電管計測装置を使用し、1/1000秒単位まで計測を行う。
- (2) 光電管計測装置が故障、事故等によって使用できない場合はストップウォッチを使用し手動計測で1/10秒単位まで計測する。

2) タイム発表は原則としてE.T.のみとする。

3) タイム計測ができない場合およびレース中の反則行為の取り扱い。

| | |
|-------------|---|
| (1) 当該ヒート無効 | ① ステージング完了前にステージライトを消灯した場合。 ② ステージング後スタートシステム作動前にステージライトを消灯した場合。 ③ 相手側がプレステージまたはステージングしてから著しくプレステージまたはステージングが遅い場合。 ④ ファールスタート ⑤ センターライン等コースを区分けするラインを越えた場合。 ⑥ コースの設備、計測装置に接触した場合。 ※ラインを越えるとは、タイヤの一部でもライン塗装上を越えることを言う。ただしデュアルスタートで相手との接触を避けるためにラインを越えた場合は反則とは見なされない。 |
| (2) 計測不能 | ① グリーンランプ点灯後5秒以内にスタートしない場合。 ② ジャンプスタート |
| (3) 59.999秒 | タイムトライアル・予選においてスタート後ゴールラインを超えられない場合。 |

4) 速度計測

ゴールラインの手前に設置された光電管によりゴールラインの通過速度（トップスピード）を測定する。

17 禁止行為

次の行為を行った場合失格となる。

- 1) バーンアウトで車両を後退させることができない場合：旋回してスタートラインへ戻ることは禁止される。
- 2) スタート前に2回エンジンが止まった場合：エンジンの再始動は1回のみ許される。
- 3) 競技役員の許可なしにコースを逆走した場合。
- 4) パドック内、リターンロードでの最低速度遵守違反。

18 リタイヤ(棄権)と停止

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章 [19競技] (32頁) による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員の判定によりリタイヤと認めることができる。

19 賞典

- 1) 賞典は大会特別規則または公式通知にて示される。
- 2) 賞典は参加台数により制限される場合がある。この制限は、大会特別規則または公式通知にて示される。
- 3) 全日本選手権、地方選手権ポイントは、細則9 [13賞および得点] (136頁) による。

20 レース終了後の車両保管と再車検

- 1) 上位入賞車両は、所定の位置により競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなくてはならない場合がある。

- 2) エンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再車検を行うことがある。
- 3) 出場者は、必要に応じて車両保管を行うことがある。

21 レースの成立

1) 成立の条件

各クラスの参加者が全員1回の走行が終了していればその時点で競技は成立したものとす。走行とは、タイムスケジュールに基づき競技役員の指示によってコースインを完了した以降をいう。この判定に対する抗議は受け付けない。

2) レース中断/中止時の順位決定

| タイムトライアル、予選 | トーナメント、決勝レース |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 完了したヒートのE.T.のベストタイムが速い者が上位。 | 1. 公式予選のみ完了の場合、タイムトライアルに準ずる。 |
| 2. 1.が同タイムの場合、トップスピードの速い者が上位。 | 2. 完了したヒートの勝者のE.T.の速い者が上位。 |
| 3. R.T.の速い者 | 3. 完了したヒートの敗者のE.T.の速い者が上位。 |
| 4. 3.が同じ場合、大会審査委員会の決定による。 | |

22 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が参加申込後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ共済金掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

23 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔㉔抗議〕(35頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

24 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔㉕違反行為に対する罰則〕(36頁)による。

25 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は事務局宛に質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

26 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。本規則は、2000年1月1日から施行する。

細則 9

2000年全日本 ドラッグレース選手権大会 特別規則

1 公 示

全日本ドラッグレース選手権は、FIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と各大会の特別規則に基づきMFJ公認の国内格式として開催される。

2 開催種目と競技会の日程

- 1) 開催種目は下記とする。
ドラッグレースライセンスA級 プロストックバイク (PB)
- 2) ドラッグレースA級所持者であっても全日本選手権に出場するためには、一定の制限が設けられる場合がある。

3 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが追加されてもよい。但し下記の条件が満たされなければならない。パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選・決勝レースを設定できること。

4 コース

コースはMFJが国内公認したコースとする。

5 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は、MFJが任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までには会場に到着しない場合は次席の者がこれにあたる。

6 参加定員

制限が設けられる場合がある。

7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：40,000円 (MFJ共済会掛金1,500円含む)

8 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して3名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要である。エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。

9 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

10 公式予選

- 1) 公式予選は、タイムトライアル方式により最低1回行う。

11 決勝レース

- 1) 16台によるトーナメント（勝ち抜き方式）によって行われる。また参加台数によって32台のトーナメントを行う場合がある。

12 コース選択

- 1) コース選択は、経過タイムにより決定する。予選のE.T.（直線の区間タイム）の速い方が第1ヒートのレーン選択ができる。続くヒートでは、前回のヒートの速い方がレーン選択ができる。同タイムの場合は、トップスピードの速い者が優先される。

13 賞および得点（ポイント）

- 1) 賞の詳細については大会特別規則または公式通知にて示される。
- 2) 得点はトーナメント競技では、下記のポイント表の通りとする。

・トーナメントライダー

| 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 | 11位 | 12位 | 13位 | 14位 | 15位 | 16位 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 250 | 220 | 200 | 180 | 160 | 140 | 120 | 100 | 80 | 70 | 60 | 50 | 40 | 30 | 20 | 10 |

- a) 予選に参加し予選を通過して決勝トーナメントに残ったライダーには、その順位によって下記のポイントが与えられる。この場合の参加とは、予選において有効なタイムを記録した場合を指す。

| | | |
|----|---------|------------|
| 予選 | 1位………50 | 4位………20 |
| | 2位………40 | 5位～8位………15 |
| | 3位………30 | 9～16位………5 |
- b) 競技が当初よりタイムトライアルで行われた場合、a) 項は削除し、下記のタイムトライアル競技の〈ポイント表〉に従いポイントが与えられる。
- c) トーナメント競技において、不可抗力及びトーナメント競技参加者の全者が失格となり、トーナメント競技の続行が不可能となり、タイムトライアルとしてその後の競技を続行した場合は、タイムトライアル競技の〈ポイント表〉に従いポイントが与えられる。この場合 a) 項のポイントは無効となる。
- d) トーナメント競技において不可抗力により競技の途中で続行が不可能になった場合は、その時点で決定された順位により、下記のタイムトライアル競技の〈ポイント表〉に従いポイントが与えられる。この場合、a) 項のポイントは有効となる。

e) 出走台数が2台に満たない場合はポイントは与えられない。

タイムトライアル競技では、得点は、下記の〈ポイント表〉の通りとする。

| 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 | 11位 | 12位 | 13位 | 14位 | 15位 | 16位 |
|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 150 | 130 | 110 | 100 | 90 | 80 | 70 | 60 | 50 | 40 | 30 | 25 | 20 | 15 | 10 | 5 |

※ドラッグレースの全日本選手権・地方選手権は上記の得点をシリーズランキングポイントとする。

(B級からA級への昇格はMFJ国内競技規則第3章 [24公式得点] (33頁) による)

14 主催者の権限

- 1) 参加申込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピットの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4) やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録又は変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダーピット要員およびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

15 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。



2000年全日本ドラッグレース選手権大会特別規則

2000年 MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ カレンダー

| 開催日 | 大会名 | 出場申込先 | 開催場所 | 出場申込期間 |
|-----------|---|--|------------------------------|----------------------------|
| 4月16日(日) | MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ第1戦 日本ドラッグレースウェイ大会 | ビッグエンドレーシングクラブ (BERC) 〒243-0805 神奈川県厚木市中依知329-1 ☎ 0462-45-7707 | 宮城県・仙台ハイランド 日本ドラッグレースウェイ | 2月28日(月) \$ 3月8日(水) |
| 5月7日(日) | MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ第2戦 鈴鹿大会 | ビッグエンドレーシングクラブ (BERC) 〒243-0805 神奈川県厚木市中依知329-1 ☎ 0462-45-7707 | 三重県・鈴鹿サーキットランド 鈴鹿サーキット | 3月13日(月) \$ 3月22日(水) |
| 5月21日(日) | MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ第3戦 ツインリンクもてぎ大会 | ビッグエンドレーシングクラブ (BERC) 〒243-0805 神奈川県厚木市中依知329-1 ☎ 0462-45-7707 | 栃木県・ツインリンクもてぎ スーパースピードウェイ | 4月3日(月) \$ 4月12日(水) |
| 8月27日(日) | MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ第4戦 日本ドラッグレースウェイ大会 | ビッグエンドレーシングクラブ (BERC) 〒243-0805 神奈川県厚木市中依知329-1 ☎ 0462-45-7707 | 宮城県・仙台ハイランド 日本ドラッグレースウェイ | 7月10日(月) \$ 7月19日(水) |
| 9月24日(日) | MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ第5戦 ツインリンクもてぎ大会 | ビッグエンドレーシングクラブ (BERC) 〒243-0805 神奈川県厚木市中依知329-1 ☎ 0462-45-7707 | 栃木県・ツインリンクもてぎ スーパースピードウェイ | 8月7日(月) \$ 8月16日(水) |
| 10月15日(日) | MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ第6戦 鈴鹿大会 | ビッグエンドレーシングクラブ (BERC) 〒243-0805 神奈川県厚木市中依知329-1 ☎ 0462-45-7707 | 三重県・鈴鹿サーキットランド 鈴鹿サーキット | 8月28日(月) \$ 9月6日(水) |

用語の解説

- ・ラダー (Ladder)
トーナメント競技の組み合わせ表のこと。
- ・E. T. (Elapsed Time)
スタートからフィニッシュまでの区間タイムのこと。
- ・R. T. (Reaction Time)
リアクションタイムのこと。グリーンスタートライトが点灯してから車両が動き出すまでの反応時間。
- ・バーンアウト (Burn Out)
タイヤのグリップ向上を目的として、スタートエリアに着く前に指示されたエリアで水を撒き、後輪を空転させて暖める行為。
- ・ドライホップ (Dry Hop)
バーンアウト後にタイヤに付着したタイヤカスを飛ばしたり、水を乾燥させるために行う短い前進。
- ・ステー징 (Staging)
スタートエリアに入り、プレステーライトを点灯させるために移動を始めてから、ステーライトを点灯させるまでの一連の行動。



| | | | |
|---|---|----------|---|
| 開催日程(二輪・四輪) | スケジュール | 持参するもの | 申込用紙、運転免許証、印鑑、筆記用具、写真2枚(2.5cm×3cm)、承諾書・印鑑証明(未成年のみ)、入会金・年会費・受講料・保険証 |
| 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 | 開催日よりタイムスケジュールが異なりますので、ご予約の際ご確認ください。 *日程の追加及び中止の場合があります。 | 走行に必要なもの | 二輪 実技車両(125cc以上のスポーツバイク・レーサー可) 皮ツナギ、ヘルメット、グローブ、ブーツ 四輪 実技車両(JAF国内競技車両にもとづく車両、又ノーマル車両、シートベルトは3点式以上のもの) ヘルメット、グローブ、レーシングシューズ、レーシングウェア(運転に適した服装) |
| サーキット 事務所に お問い合わせ 下さい。 | 定員 | 申込方法 | ●必ず電話予約してください。 ●開催日の1ヶ月前より受付開始いたします。 ●予約先…エビススポーツクラブ事務所 ☎0243-24-2972 |
| | 二輪 100名 四輪 60名 *尚、定員になり次第メーカからさせていただきます。 | | |

ESCライセンス料金とスポーツ走行料金 (ロード二輪・四輪は、西東コース共通会員とする。)

| | ロード二輪 | ロード四輪 | ロードミニバイク | 西コース | スーパーカート東 | モトクロス | カート | ミニバイク | ジムカーナ |
|---------|----------------------|---------------------------|------------|---------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|---------|
| 入会金 | 8,000円 | 8,000円 | 5,000円 | 5,000円 | 3,000円 | 3,000円 | | | 3,000円 |
| 年会費 | 12,000円 | 20,000円 | 10,000円 | 15,000円 | 8,000円 | 8,000円 | | | 8,500円 |
| 講習料 | 5,000円 | 5,000円 | | | | | | | |
| 合計 | 25,000円 | 33,000円 | 15,000円 | 20,000円 | 11,000円 | 11,000円 | | | 11,500円 |
| *更新料 | 12,000円 | 20,000円 | 10,000円 | 15,000円 | 8,000円 | 8,000円 | | | 8,500円 |
| 走行料 | 会員 30分 2,000円 非会員 | 30分 平日2,500円 土日祝3,000円 | 30分 1,500円 | 2,500円 | 1日 1,000円 半日 2,500円 | 1日 3,000円 半日 4,500円 | 半日 2,500円 半日 4,500円 | 半日 3,000円 半日 5,500円 | |
| 保険料(1口) | 500円 | 500円 | 500円 | 500円 | 500円 | 500円 | 500円 | 500円 | |

*更新料は更新時期によって料金が異なります。

エビスサーキット

福島県二本松市沢松倉1 TEL0243-24-2972

緑の中のモーターランド

HSR九州
HONDA SAFETY & RACING PLAZA九州

HSR九州コースライセンス取得のご案内

HSR九州では、サーキットコース、ドリームコースを安全にかつ楽しく利用して頂くためのライセンスを発行致します。
HSR九州において、個人でスポーツ走行やファミリー走行を行う方は、必ずコースライセンス講習会を受講して下さい。

受講料

| ライセンス区分 | 対象 | 受講月 有効期限 | 1月～9月 | 10月～12月 |
|----------------------|----------------|-------------|----------|------------|
| | | | 12月末日迄有効 | 翌年12月末日迄有効 |
| サーキットコーススポーツ走行ライセンス | レーサー、SP、GPで走る方 | | 25,000円 | 27,000円 |
| サーキットコースファミリー走行ライセンス | ミニバイク、市販車で走る方 | | 12,000円 | 14,000円 |
| MFJ国内ライセンス1日パック | 1日で国内ライセンスが取得可 | | 41,000円 | 43,000円 |

*MFJ国内ライセンスパックは、MFJライセンス発行料を含めて更にお安くなりました。

| ライセンス区分 | 対象 | 受講月 | 1月～12月 |
|--------------|---------------|-----|-------------------|
| ドリームコースライセンス | ミニバイク、カートで走る方 | | 3,100円*取得日より3年間有効 |

*申し込み方法、日程、詳しい内容については、電話にてお問い合わせ下さい。

2000年HSR九州イベントカレンダー（暫定）

ロードレースイベント

| 開催日 | レース名 |
|-------|--------------------------|
| 2月13日 | MFJ公認サウスエリアロードレース選手権① |
| 3月5日 | ライディングスポーツカップドリームフェスタ春大会 |
| 6月4日 | ライディングスポーツカップドリームフェスタ夏大会 |
| 7月16日 | 九州オープン耐久レース |
| 9月3日 | ライディングスポーツカップドリームフェスタ秋大会 |
| 9月17日 | MFJ公認サウスエリアロードレース選手権⑥ |
| 12月3日 | ライディングスポーツカップドリームフェスタ冬大会 |

ミニバイクレース

| 開催日 | レース名 |
|--------|----------------------|
| 1月23日 | HSRミニバイク6時間耐久フェスタ① |
| 3月26日 | HSRミニバイク6時間耐久フェスタ② |
| 4月23日 | ライディングスポーツ杯ミニバイクレース① |
| 5月3日 | 4mini CLUB |
| 5月21日 | ホンダミニスポーツワールド |
| 6月25日 | HSRミニバイク6時間耐久フェスタ③ |
| 7月23日 | ライディングスポーツ杯ミニバイクレース② |
| 10月1日 | HSRミニバイク6時間耐久フェスタ④ |
| 10月29日 | ライディングスポーツ杯ミニバイクレース③ |
| 12月17日 | HSRミニバイク6時間耐久フェスタ⑤ |
| 12月24日 | 4mini CLUB |

ドリームコースイベント

| 開催日 | レース名 |
|--------|-----------------------|
| 2月27日 | 原付何でもレース① |
| 3月19日 | ドリームカップミニバイク耐久レース① |
| 4月9日 | ドリームカップミニバイク耐久レース② |
| 5月7日 | モトちゃんぶ杯ミニバイクレース九州選手権④ |
| 5月28日 | 原付何でもレース② |
| 6月25日 | ドリームカップミニバイク耐久レース③ |
| 8月20日 | 原付何でもレース③ |
| 9月10日 | ドリームカップミニバイク耐久レース④ |
| 10月8日 | モトちゃんぶ杯ミニバイクレース九州選手権⑦ |
| 10月10日 | 原付何でもレース④ |
| 11月26日 | ドリームカップミニバイク耐久レース⑤ |

*上記日程は予告なく変更する場合がありますので予めご了承下さい。

*上記イベントの他に、四輪走行会やジムカーナ大会、四輪車、二輪車のスクール、コース貸切イベント等行っております。

お問い合わせ先

ホンダセーフティ&ライディング・プラザ九州

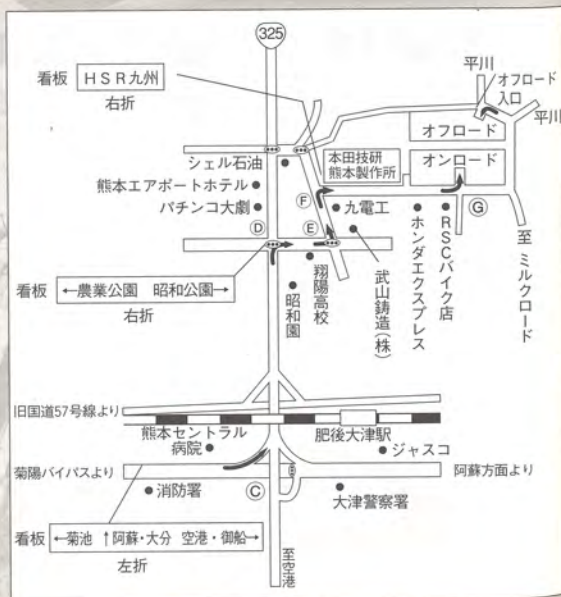
〒869-1231 熊本県菊池郡大津町平川1500番地
電話：096-293-1370 FAX：096-293-1371
ホームページアドレス：http://www.stb.co.jp/hsr
e-mail：hsr@mb.infoweb.ne.jp

モトクロスレースイベント

| 開催日 | レース名 |
|--------|---------------------|
| 1月30日 | HSR九州新春モトクロス大会 |
| 2月27日 | HSR九州エンジョイモトクロス大会① |
| 4月2日 | HSR九州春のモトクロス大会 |
| 4月9日 | MFJ公認九州モトクロス佐賀大会 |
| 5月13日 | MFJ公認全日本モトクロス九州大会予選 |
| 5月14日 | MFJ公認全日本モトクロス九州大会決勝 |
| 6月18日 | HSR九州エンジョイモトクロス大会② |
| 7月23日 | HSR九州夏のモトクロス大会 |
| 7月30日 | MFJ公認九州モトクロス熊本大会 |
| 8月20日 | HSR九州エンジョイモトクロス大会③ |
| 9月24日 | MFJ公認九州モトクロス熊本大会 |
| 10月29日 | HSR九州エンジョイモトクロス大会④ |
| 11月12日 | HSR九州エンジョイモトクロス大会⑤ |
| 11月26日 | HSR九州冬のモトクロス大会 |

エンデューロレースイベント

| 開催日 | レース名 |
|--------|---------------------|
| 2月6日 | ガルルカップエンデューロ IN 九州① |
| 3月19日 | ガルルカップエンデューロ IN 九州② |
| 5月5日 | ガルルカップエンデューロ IN 九州③ |
| 9月10日 | ガルルカップエンデューロ IN 九州④ |
| 11月5日 | ガルルカップエンデューロ IN 九州⑤ |
| 12月10日 | ガルルカップエンデューロ IN 九州⑥ |



技術規則

TECHNICAL RULES

CONTENTS

- MFJ技術規則……………144
- 基本仕様〈ロードレース〉……………149
- 基本仕様〈モトクロス〉……………158
- 基本仕様〈トライアル〉……………164
- 全日本・エリア選手権ロードレースの仕様……………169
- FIM技術仕様〈モトクロス・トライアル〉……………184
- SPクラスの仕様……………186
- 耐久レースの追加仕様……………192
- 国内ロードレースGPクラスの仕様……………194
- 国内モトクロスの仕様……………198
- 国内トライアルの仕様……………205
- ロードレースジュニアクラスの仕様……………207
- ドラッグレースの仕様……………211
- ミニバイクの仕様……………219
- ストックバイクの仕様……………222

3 小分類ナンバー

国内の各種目別の規則においては、各「条」に出てくる対象部分には共通の小分類ナンバーが与えられ、許可または制限されていない場合はその項目番は削除されています。

| 小分類ナンバー | 項目 | 小分類ナンバー | 項目 |
|---------|---------------------------------|---------|-------------------------------|
| 1 | エンジンの型式 | 31 | 発電機、スパークプラグ、バッテリー |
| 2 | シリンダーの数 | 32 | ワイヤーハーネス |
| 3 | ピストンストローク | 33 | 予備 |
| 4 | ケース、シリンダー、シリンダーヘッド、ギヤボックスの材質と形状 | 34 | コントロールワイヤー関係 |
| 5 | クラッチの型式 | 35 | 灯火器 |
| 6 | エンジン、ミッションの内部の動く部品の材質 | 36 | メーター関係 |
| 7 | 4ストロークの圧縮比、バルブの径とリフト量 | 37 | 予備 |
| 8 | 2ストロークのポートタイミング、ポートサイズ、圧縮比 | 38 | 保安部品関係 |
| 9 | ケースに対するシリンダー・シリンダーヘッドの位置 | 39 | 予備 |
| 10 | 吸排気バルブ、ポート、キャブの数 | 40 | ドライブチェーン |
| 11 | クランクケースカバー廻りの材質、形状 | 41 | ファイナルスプロケット |
| 12 | シリンダー、シリンダーヘッド関係 | 42 | リヤホイール |
| 13 | クランクシャフト、ピストン、リング関係 | 43 | リヤブレーキ、キャリパー、ディスク、マスターシリンダー |
| 14 | カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブ | 44 | フロントホイール |
| 15 | 予備 | 45 | フロントブレーキ、キャリパー、ディスク、マスターシリンダー |
| 16 | キャブレター | 46 | ブレーキペダル |
| 17 | フェイタルタンク、フェイタルコック、フェイタルライン | 47 | 予備 |
| 18 | エキゾーストパイプ、チャンバー、マフラー | 48 | タイヤ |
| 19 | ラジエーター、水ポンプ、キャッチタンク（冷却系） | 49 | 予備 |
| 20 | 予備 | 50 | フレームボディ、ステップ関係含む、カウルステア類 |
| 21 | 予備 | 51 | フロントフォーク |
| 22 | クラッチ関係（プライマリーを含む） | 52 | リヤクッション、リヤフォーク、サスリンケージ |
| 23 | ミッションギヤ関係（ドライブスプロケット含む） | 53 | ハンドル、トップ・ボトムブリッジ、ステアリングダンパー |
| 24 | シフト関係、チェンジペダル | 54 | ストリームライニング（カウリング）とステア |
| 25 | スタート装置 | 55 | シートカウル、フェンダー |
| 26 | 分離給油オイルポンプ関係 | 56 | ワイヤーロック（安全） |
| 27 | ブリーザーシステム、エアクリーナーボックス | 57 | オイルクーラント |
| 28 | 予備 | 58 | ガソリン |
| 29 | 材質 | 59 | 調整、仕上げ |
| 30 | イグニッションコイル、点火ユニット | 60 | 軽量化 |
| | | 61 | ウイリーバー |

MFJ 技術規則

モーターサイクルとは、ホイールが4つまでで、エンジンによって推進され、ひとり、あるいはそれ以上の人間（そのうちのひとは車両のドライバーとなる）の輸送のためにデザインされたすべての車両を意味している。ホイールは、瞬間的またはある種の例外的な場合を除いて、通常路面に設置していなければならない。

第1章 目的

- 1 安全の確保
- 2 平等性を最大限に維持する。
- 3 車両のコスト上昇を極力抑える。

第2章 クラス

1. ロードレース

| GPフォーミュラ | |
|----------|------------------|
| 50cc | 50cc以下 |
| 80cc | 50ccを越え 80cc以下 |
| 125cc | 100ccを越え 125cc以下 |
| 250cc | 175ccを越え 250cc以下 |
| 500cc | 250ccを越え 500cc以下 |

| スポーツプロダクションフォーミュラ | | | |
|-------------------|------------------|-----|-----|
| | | 2st | 4st |
| 50cc | 50cc以下 | ○ | ○ |
| 80cc | 50ccを越え 80cc以下 | ○ | ○ |
| 125cc | 100ccを越え 125cc以下 | ○ | ○ |
| 250cc | 175ccを越え 250cc以下 | ○ | ○ |
| 400cc | 250ccを越え 400cc以下 | — | ○ |

※スーパーバイクは全日本・エリア選手権技術仕様参照

2. モトクロス

| | 2ストローク | 4ストローク |
|-------|------------------|---------|
| 80cc | 50ccを越え 80cc以下 | |
| 125cc | 100ccを越え 125cc以下 | 250cc以下 |
| 250cc | 175ccを越え 250cc以下 | 550cc以下 |

3. トライアル 排気量区分は定めない
4. エンデューロ 別に定める
5. スノーモビル 別に定める
6. ドラッグレース 別に定める

(参考) ライセンス区分と規則の適用範囲

| | ライセンス区分 | | | | | |
|--------|--------------|----|----------|----|---|---------|
| | (全日本・エリア選手権) | | (地方選手権) | | | |
| ロードレース | | | | | | J |
| モトクロス | IA | IB | NA | NB | J | J |
| トライアル | IA | IB | NA | NB | | |
| | FIM規則をもとに定める | | MFJ規則による | | | MFJ-J規則 |

第3章 排気量

総排気量はシリンダー容積を測定するのに用いられる幾何学公式に依って計算される。すなわち直径はボアによって表され、高さはピストンがその最上部から最下部まで移動するのに占めるスペースで表される。

公式

$$\text{排気量} = \frac{D^2 \times 3.1416 \times C}{4} \times \text{気筒数}$$

D=ボア C=ストローク 単位=cm 小数点以下4ケタで切り捨て

測定の際にはボアに1/10mmまでの許容誤差が認められる。この許容誤差を考慮しても排気量が当該クラスのリミットを越える場合、エンジンが冷えた状態で再測定が1/100mmのリミットまで行われる。

シリンダーのボアが真円でない場合断面積を測定し、計算することとする。

全てのカテゴリーにおいて、スーパーチャージは禁止される。

第4章 テレメトリー

走行中のモーターサイクルから、またはモーターサイクルへの無線等による情報の伝達は行っていない。

車両には公式計測装置が義務付けられる場合がある。

自動ラップタイミング装置はテレメトリーとみなされない。

自動ラップタイミング装置は、公式計測装置の作業および装置に干渉するものであってはならない。

第5章 重量

参加車両は以下に定める最小限重量値を半乾燥重量で満たしていること。バラストによる調整は認められない。ただし重量規制が変更され、新たな規則が実施される初年度に限り、5.0kgを限度として完全に固定されたバラストの使用を認める。

レース終了後は1%の誤差が認められる。

1.1) ロードレース

| GPフォーミュラ | | スポーツプロダクション | | スーパーバイク | |
|----------|-------------|-------------|-------|---------|--------------|
| 50cc | 70kg | 50 | 70kg | 2気筒 | 1000cc 162kg |
| 80cc | 70kg | 80 | 70kg | 3気筒 | 900cc 162kg |
| 125cc | 70kg | 125 | 95kg | 4気筒 | 750cc 162kg |
| 250cc | 100kg | 250 | 115kg | | |
| 500cc | 4気筒 131kg | 250F | 130kg | | |
| | 3気筒 116kg | 400 | 145kg | | |
| | 2気筒以下 101kg | 750 | 165kg | | |

重量測定の際、燃料タンクを外した場合には、下記が規定重量より差し引かれる。

GPフォーミュラ：2kg (スーパーバイク：4kg)

※いずれも排気量による違いはない

ただし、世界選手権を除く国内競技会において、上記の方法で規定重量を下まわった場合、燃料を抜いたタンクを装着し、通常の規定重量にて再度計測を受けることができる。

2) モトクロス

| クラス | 2ストローク | 4ストローク |
|----------------------|--------|--------|
| 80cc | 61kg | — |
| 125cc(4ストローク250cc以下) | 88kg | 88kg |
| 250cc(4ストローク550cc以下) | 98kg | 98kg |

- 3) トライアル 特に定めない
 4) エンデューロ 特に定めない
 5) スノーモビル 特に定めない
 6) ドラッグレース PBは249.47kg (ライダーが乗車した状態)、他は特に定めない

第6章 公認制度

公認制度の目的

公認車両制度は種目別に出場できる車両を指定し、また車両を種目別規定の範囲内で改造を実施する際に、平等性と低コストと安全性を最低限確保することを目的とする。

従って平等性を確保するために最低数を設定する。制度設定の主旨に合わない判断された場合は、公認されない場合もあり得る。

- 参加車両は市販レーサーまたは一般生産型車両で、MFJの公認を受けた車両に限定される。
- 完成車公認

公認申請を行うには、下記の条件を満たしていること。

1) 台数

最低台数が出荷されていること。

| | 国産車 | | 輸入車 | | |
|--------|------|---------------------|--------------|-----|-----|
| | レーサー | 市販車 | レーサー | 市販車 | |
| ロードレース | 25台 | 250cc以下 250cc越える | 500台 250台 | 10台 | 25台 |
| モトクロス | 100台 | 250cc以下 250cc越える | 500台 250台 | 10台 | 25台 |
| トライアル | 5台 | 250cc以下 250cc越える | 500台 250台 | 5台 | 25台 |
| スノーモビル | 5台 | — | | 5台 | 25台 |

2) 種目別付帯条件

スポーツプロダクション (SP) については各々の種目別公認条件を満たしていること。

第11章 08条……SP

(スポーツプロダクションのコンプリート車両の公認申請を行うには、ベース車両が市販車として公認を受けており、ベース車両からの改造の範囲はSPの仕様以内であること。)

3. 部品公認

1) 公認範囲

| 部品名 | ロードレース | | | モトクロス | | トライアル |
|------------|--------|----|----|------------|--------|-------|
| | SP | SS | GP | 80,125,250 | 4ストローク | |
| シリンダー | | ◎ | ○ | ○ | ○ | |
| シリンダーヘッド | | ◎ | ○ | ○ | ○ | |
| カムシャフト | | ◎ | | | ○ | |
| ミッションギヤー | ○ | | | ○ | ○ | |
| キャブレター | ○ | | ○ | ○ | ○ | |
| クラッチ | ○ | | | | ○ | |
| フロントフォーク | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| リヤクッション | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| リヤフォーク | | ◎ | ○ | ○ | ○ | |
| タイヤ | ○ | | | | ○ | ○ |
| エアクリナーボックス | ○ | | | | | |
| バルブ | | | | | ○ | |

- 注) 1. ◎印は公認時に組み込まれていた部品の追加に限定される。またリヤフォーク以外は材料の削除による改造に限る。
 2. SP用タイヤは一般公道用として製作されたもの、またはレーシングレインタイヤに限る。

2) 数量

最低数量が出荷されていること。

| カテゴリー | 数量 |
|--------------|-------|
| ロードレース GP | 25個以上 |
| ロードレース SP・SS | 50個以上 |
| モトクロス | 50個以上 |
| トライアル | 50個以上 |

3) 制限

公認申請に際しては各々の部品の仕様は各々のカテゴリー、クラスの種目別仕様に合致していること。

4. 公認申請資格

- 1) 車両及び部品の公認申請を行うことのできる資格者は、MFJの特別会員であるモーターサイクル製造会社または賛助会員であり、かつ当該製品の製造会社、または輸入総代理店でなければならない。申請会社代表者は毎年、車両及び部品の公認申請に関する担当責任者を登録し、その者のみが公認申請を行うことができる。
- 2) 公認申請書は必要書類を添付し、定例技術委員会の開催される月の20日までに事務局に送付されていなければならない。

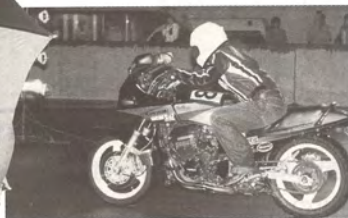
5. 公認発効と有効期限

- 1) 公認審査は技術委員会が行う。
- 2) 定例技術委員会は原則として毎月第4火曜日に開催される。
- 3) 審査に合格した車両で、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きで公認発効する。
発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付きで公認発効する。
- 4) 審査に合格した部品で、すでに発売されている部品の場合は会議日から1ヶ月後の同日付きで公認発効する。
発売日が会議日以降の場合は、発売日の1ヶ月後の同日付きで公認発効する。
- 5) 競技専用車両（市販レーサー）の場合は上記車両の公認発効までの期間を、各々会議日の翌日、発売日が会議日以降の場合は、発売日の翌日付きで公認発効する。
- 6) 有効期限は発効年を含み5年間とし、5年目の12月末日で失効する。
- 7) 失効した車両または部品は、再申請することができる。

第7章 ガソリン・オイル・クーラント

- (1) 競技に使用できるガソリン（ドラッグレース・スノーモビルは特別規則による）
競技に使用できるガソリンは下記の項目のすべてに合致してはならない。
 - ① 競技用ガソリンとは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいはMFJ公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるガソリンとする。（ロードレースに関しては大会時にサーキットにて購入できるガソリンに限る）
 - ② 競技用ガソリンは下記のMFJの定める仕様以内（無鉛ガソリン）に制限される。
（AVガス、航空機用ガソリン等は使用できない）
 - ① 鉛の含有量は0.013 g/l以下であること。
 - ② リサーチオクタン価が⁹100.0 (RON)、モーターオクタン価が⁸89.0 (MON) 以下であること。
 - ③ 密度は15℃において0.725 g/ml～0.780 g/mlであること。
 - ③ 大会特別規則（全日本選手権特別規則等）によって、ガソリンの銘柄、および供給方法を指定した場合、それに従わなくてはならない。
- (2) 競技用ガソリンには販売時に混入されている以外のいかなるものも添加されてはならない。ただし一般に販売されているスタンダードの潤滑油および1.5%以下のアルコール（燃料精製中に混入されているものに限る）については認められる。
- (3) 水冷エンジンの冷却水は、水あるいは水とアルコールの混合物に限られる。

モータースポーツフィールド TOKACHI



DRAG

十勝インターナショナルスピードウェイ・サーキットライセンス

| | | | |
|--------------------|------------------------|-----------|---------------------------|
| RAIDING Club (2輪用) | 発給料 16,000円・共済金 6,000円 | 計 22,000円 | 走行料金: 25min/1単位 3,000円 |
| RACING Club (4輪用) | 発給料 20000円・共済金 6,000円 | 計 32,000円 | 4,000円 |

2000十勝ロードレース選手権 暫定スケジュール

| | | GP125 | SP250/400 | NK | Minibike |
|-----|-------|-------|-----------|----|----------|
| 第1戦 | 5月14日 | ○ | ○ | ○ | 2H耐久 |
| 第2戦 | 6月18日 | ○ | ○ | ○ | スプリント |
| 第3戦 | 8月13日 | ○ | ○ | ○ | 2H耐久 |
| 第4戦 | 10月8日 | ○ | ○ | ○ | 4H耐久 |

※日程及びレース内容が変更になる場合があります。

ナンバー付一般車輛は①体験走行 ¥1,000/2周 ②スポーツ走行(上記)
この他に、2ヶ月に1回程度開催する1Dayイベント「バイク感謝Day」にて走行可能です。
●詳しくはお問い合わせください。



ニッサンレーシングスクールin十勝



ママチャリ12時間耐久レース

TOKACHI
INTERNATIONAL SPEEDWAY

十勝インターナショナルスピードウェイ

〒089-1573 北海道河西郡更別村字弘和477

GOTO サーキット
Tel.0155-52-3910 Fax.0155-53-3366

第8章

ロードレース 基本仕様

*ロードレース基本仕様は'99年版FIMロードレース技術規則をもとに、2000年からのFIMのおもな変更点をもり込んでMFJロードレース基本仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなったFIM規則の項目番号が表示してあります。

01.25 基本仕様

下記仕様はロードレースのすべての車両、およびすべての競技会に適用されるが、主催者が特別の指示を与えた場合は例外とする。ある種の競技へはさらに細かい仕様が必要になるが、これらはその競技会の特別規則（SR）に明記される。

25.01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用してもよい。

01.26 フレームの定義

フレームとは図（157頁、図D）で示す通り、エンジンが取り付けられる部分を中心にステアリング取り付け部分とリヤサスペンションの取り付け部を含む構造全体をいう。シートを取りつける為のサブフレームはフレーム本体に溶接されている場合はフレームと見なし、ボルトオンタイプ（脱着可能）のものはフレームとみなさない。

01.27 スタート装置

スタート装置は耐久レースに関してのみ義務づけられる。

01.29 オープントランスミッションガード

29.04 チェーンとリヤスプロケットの間に、身体の一部が誤って挟まれることのないように、リヤスプロケットガードを取り付けなくてはならない。

※ロードレース全日本選手権においては2000年より適用する。

その他の競技については2001年より適用する。

01.31 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たさなくてはならない。

- 31.01 エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$)
- 31.02 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出方法であってはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、オイルの飛散を防ぐ措置を施さなくてはならない。
- 31.03 エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

01.33 ハンドルバー

- 33.01.02 ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm。80ccを越えるマシンは最低450mmとする。
- 33.04 ハンドルバーの最低幅はグリップの外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。…… 156頁の図参照
- 33.05 ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 33.06 ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側への回転角度は、最低各 15° 以上なくてはならない。…… 157頁の図参照
- 33.07 ストリームライニングがある場合、ハンドルバーがどの位置にあってもフロントホイールがストリームライニングに接触してはならない。
- 33.08 ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっぱいにも切ってもハンドルバー(レバーを含む)と燃料タンクの間で最低30mmの間隔があるように、ストッパー(ステアリングダンパー以外のもの)を取りつけなくてはならない。
- 33.09 ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように、丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 33.11 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

01.35 コントロールレバー

- 35.01 すべてのハンドルバー・レバー類(クラッチ、ブレーキ等)は、原則として端部がボール状(このボールの直径は最低19mm)でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなってはならない(この平たくした部分の厚みは最低14mmとする)。レバー端部は、レバーと一体構造に固定されていなくてはならない。
- 35.03 各コントロールレバー(ハンドおよびフット・レバー)はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 35.04 もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

01.37 スロットルコントロール

- 37.01 スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

01.38 フュエルポンプ

- 38.01 電動フュエル・ポンプは、事故の際に自動的に作動するサーキット・カットアウト（回路開閉器）を介して配線されなくてはならない。
この機能が車両検査時に確認できるよう、電動フュエルポンプにはテスト機能がなくてはならない。

01.39 フットレスト

- 39.01 フットレストの先端には最低半径8mmの、中空でない球状の一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。
フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならない。
- 39.02 折りたたみ式でないスチール製フットレストの先端には、プラスチック、テフロンあるいはそれと同等の材質でできた先端（プラグ）が固定されなくてはならない（最低直径16mm）。

01.41 ブレーキ

- 41.01 すべてのモーターサイクルは最低2つの効果的なブレーキ（各ホイールにひとつ）がなくなくてはならず、これは独立してホイールと同心的に作動しなくてはならない。

01.43 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 43.01 マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 43.02 フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしていなくてはならない。また、下記角度の範囲内でなければならず、その部分はホイール自体がカバーされてもよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイール中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 43.03 リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。（157頁図D参照）
- 43.04 ストリームライニングがある場合、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの後側の垂直接線にまで達している場合には（許容誤差-50mm）、リヤ・マッドガードを装着する必要は無い。

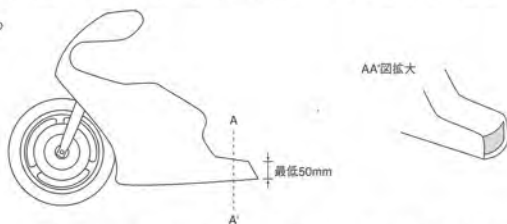
01.45 ストリームライニング（カウリング、ウインドスクリーン含む全てのボディワーク）

- 45.01 フロントホイールは（タイヤを除く）、フロントマッドガードに隠れる部分を除き、各サイドからはっきりと見えなくてはならない。
- 45.02 ストリームライニングのいかなる部分も、フロント・ホイール・アクスルから前方100mmを通る垂直線より前にあってはならない。ノーマルのマッドガードはストリームライニングとはみなされない。
- ※スポーツプロダクションクラスに限り、車両公認時の形状がこの項目に合致しない場合、種目別仕様である公認時の形状の維持が優先される。
- 45.03 ストリームライニングのいかなる部分も、リヤ・ホイール・アクスルを通る垂直線の後部

にあってはならない。リヤ・ホイールのリムは、この線の後部円周180°に渡ってはつきり見えなくてはならない。モーターサイクルのいかなる部分も、リヤ・ホイール外側の後端の垂直接線より後方にあってはならない。

※スポーツプロダクションクラスに限り、車両公認時の形状がこの項目に合致しない場合、種目別仕様である公認時の形状の維持が優先される。

- 45.04 エアfoil、またはスポイラーは、それがフェアリングまたはシートと一体構造になっている場合に限り取りつけることができる。これは、フェアリングの幅を越えてはならない。え、ハンドルバーの高さを越えてはならない。尖っているエッジは、少なくとも半径8mmの丸みを持たせなくてはならない。
- 45.05 ウィンドスクリーンの先端と、全てのストリームライニングの露出部分の先端は丸められていなくてはならない。
- 45.06 通常のライディング・ポジションにおいてライダーは後方の両側及び上から全体（腕の前部を除く）が視認されなくてはならない。ライダーの顔またはヘルメットとストリームライニング（ウィンドスクリーン含む）との間の最低スペースは100mmとする。この規則の適用を免れるために透明な材質を使用することは禁止される。
- 45.07 ライダーシートの後部の高さは最高150mmとする。この高さは、シートの固いベースの最下部から、ライダー後方のフェアリングの最上部までを測った場合のものである。
- 45.08 ハンドルバーの位置がどこにあっても、ストリームライニングとハンドルバー先端あるいはステアリング・ステム、およびそれに装着されている装備類との間隔は最低20mmなくてはならない。
- 45.09 ナンバープレートが固定されている前部の傾斜角度は垂直面から後部へ30°以上あってはならない。（157頁図D参照）
- 45.11 シートまたはその後方にある、いかなる部分（排気系を除く）の幅も450mm以上あってはならない。
- 45.12 燃料タンクのキャップは、燃料タンクの外観形状からはみ出さないように、また転倒の際に外れることがないように取り付けられなくてはならない。
※この規則は、2000年以降の市販車に対してのみ適用される。
- 45.13 全ての4ストローク車両については、エンジンの破損または故障時に、そのエンジンに使用されるエンジンオイルおよびエンジン・クーラント総量の最低半分を保持できる構造になっていなくてはならない。（国内のSPとストックバイクは推奨事項）
フェアリング下部（オイル受け）の端部は、一番低いところから最低50mmの高さであることが推奨される。



フェアリング下部の内側には、オイルを吸収する難燃性の素材が貼られてもよい。この規則を満足させるための最低限の外観変更が許可される。

上記変更以外に、スポーツプロダクションのフェアリングには、何も追加できない。

01.46 モーターサイクルの傾斜角とサスペンション

ロードレース（GPクラス）およびプロダクションレースにおけるモーターサイクルは、荷重がかからない状態において、タイヤ以外のいかなる部分も地面に触れることなく、垂直線から50°

の角度に傾斜することができなくてはならない。(156頁図BおよびDを参照)

01.47 ホイールリムとタイヤ

- 47.01 メーカーが出荷した一体構造ホイール（キャスト、モールド、リベット）または従来の着脱式リムに対して、スポーク、バルブまたは安全ボルト以外へはいかなる改造も禁止される。
ただし、タイヤがリムから外れることを防ぐために使用される、テンションスクリューは例外とする。
- 47.02 リムの最大幅は下記の通りとする。(スポーツプロダクションは限く)
ホイールリムの幅は、ETRTO（ヨーロッパタイヤリム技術機構）の定める方法によりフランジウォールの内側にて測定される。
- 47.03 リムの最低直径は400mmとする。

| クラス | 最大幅 |
|---------|---------|
| 125 | 3.5インチ |
| 250 | 5.5インチ |
| 500 | 6.25インチ |
| スーパーバイク | 6.25インチ |

01.55 ナンバープレート

- 55.03 ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 55.04 プレートは平面から50mm以上カーブ（突出）してはならない。また、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 55.05 1枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなければならない。他の2枚はモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなくてはならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしなくてはならない。
ナンバープレートの数字の間に穴を開けることができる。しかしどのような状況においても数字自体に穴を開けてはならない。穴の部分も規定の色に見えなくてはならない。
- 55.06 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディーマたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 55.07 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消しで書かれなければならない。
数字の最低寸法は下記のとおりとする。
- | | | | |
|--------|-------|----------|------|
| 数字の高さ | 140mm | 数字の幅 | 80mm |
| ストローク幅 | 25mm | 数字間のスペース | 15mm |
- 55.08 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 55.09 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 55.10 すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長によりレース参加の許可を得ることができない。
- 55.12 ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。(蛍光色は禁止)
- | | | |
|--------------|------------------------|----------------|
| GP125 黒地に白文字 | SP黒地に黄文字 | ストックバイク 白地に黒文字 |
| GP250 緑地に白文字 | SB白地に黒文字 | |
| GP500 黄地に黒文字 | 耐久黒地に白文字 (白文字は反射素材のもの) | |

01.56 フュエルタンク及びオイルタンク

- 56.01.1 フュエルタンクの最大容量は下記の通りとする。
 ・ロードレース 32ℓ ・耐久 24ℓ
 ・スーパーバイク 24ℓ
 ・その他スポーツプロダクションは各カテゴリーごとに設定する。
- 56.01.2 燃料はマシンにしっかりと固定された1つのタンク内に入れるものとする。シートタンクおよび補助タンクは禁止される。すべての競技において、給油の為に容易に脱着出来る取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- 56.01.3 タンクの容量を減少させる一時的充填物の使用は禁止される。
- 56.01.4 タンクに防爆材を完全に充填することが義務づけられる。
 国内SPクラス、STクラスで、車両公認時の燃料タンクに一切の改造、変更のない場合は、この条件を免除される。
- 56.02 オイルキャッチタンクとブリーザーシステム
 オイルブリーザーパイプが装着される場合、オイル放出は容易に手が届く場所に設けられたキャッチタンクに行く。このタンクは競技の前に空にしなくてはならない。
 オイル・キャッチタンクの最低サイズは、ギヤーボックス・ブリーザーの場合250ccとし、エンジン・ブリーザーの場合には500ccが勧められる。
 すべての4ストローク車両は、クローズド・ブリーザーシステムを備えていなければならない。オイルブリーザーパイプはエアボックス接続され、ボックス中に排出されなくてはならない。(156頁図A参照)
- 56.03 オイル・ドレインプラグおよび供給パイプ
 すべてのオイルドレインボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなくてはならない。
 オイルキャビティに進入する外部オイル・フィルターのスクリューやボルトは、安全にワイヤーロックされなければならない。
- 56.04 燃料タンク・ブリーザー・パイプ
 ノン・リターン・バルブを燃料タンク・ブリーザー・パイプに取り付けなくてはならない。これは、適切な材質でできた、最低容量250ccのキャッチ・タンクに放出されるようになっていなくてはならない。
- 56.05 燃料タンク・フィルター・キャップおよびオイル・フィルター・キャップ
 燃料タンク・フィルター・キャップおよびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で漏れないようになっていなくてはならない。さらにこれらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

01.63 燃料、燃料／オイルの混合液

すべての車両には、MFJの定める無鉛ガソリンが使用されなくてはならない。(AVガス、航空機用燃料の使用は禁止される)

仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項(147頁参照)。

*大会特別規則(全日本ロードレース特別規則等)によりガソリンの銘柄および供給方法が指定される場合、それに従わなくてはならない。

01.79 音量規制

- 79.01 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとする。
ただし高さが200mm以下である場合は45°上方の点で行う。
- 79.02 ノイズ・テストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルがないマシンは、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 79.03 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられ、車検後にサイレンサーを変更することが禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスベア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 79.04 ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかなくてはならない。測定は所定のrpmに達した時に行うものとする。
- 79.05 rpmは、エンジンのストロークに相応するピストンの平均速度に基づく次の式にて求められる。

$$\text{所定のエンジン回転数(rpm)} = \frac{30,000 \times \text{ピストンスピード(m/s)}}{\text{ピストンストローク(mm)}}$$

- 79.06 ロードレースに関して、音量測定を実施する平均ピストンスピードは13m / 秒（2ストロークエンジン）、および11m / 秒（4ストロークエンジン）とする。（156頁・図C参照）
全日本・エリア選手権ロードレースにおいては下記規則が適用される。
国内の各クラスにも下記固定回転数方式が適用される。
エンジン型式および排気量ごとに、エンジンストロークはほぼ同等と見なされるので、測定は下記固定回転数にて実施する。

スポーツプロダクション、プロダクションをベースとしたエンジン。

| | 1気筒 | 2気筒 | 3気筒 | 4気筒 |
|----------------------|----------|----------|----------|----------|
| 250cc (4・stroke) | 5,500RPM | 7,000RPM | | |
| 400cc (4・stroke) | 5,000RPM | 6,300RPM | 7,200RPM | 8,000RPM |
| 600cc (4・stroke) | 4,400RPM | 5,500RPM | 6,300RPM | 7,000RPM |
| 750cc (4・stroke) | 4,000RPM | 5,100RPM | 5,900RPM | 6,500RPM |
| over750cc (4・stroke) | 3,900RPM | 5,000RPM | 5,200RPM | 5,500RPM |

その他レース用エンジン、GPフォーミュラ。(国内SPおよびGPクラス)

| | 1気筒 | 2気筒 | 3気筒 | 4気筒 |
|------------------|----------|----------|-----|----------|
| 125cc (2・stroke) | 7,000RPM | | | |
| 250cc (2・stroke) | | 7,000RPM | | |
| 500cc (2・stroke) | | 5,500RPM | | 7,000RPM |

- 79.07 2気筒を越えるエンジンの音量計測は、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 79.08 規制値をオーバーしているマシンは、レース前車検において再度測定を受けることができる。
- 79.10 バンケルエンジンの場合の測定回転数は、6,000rpmとする。
- 79.11 現行の音量規制値
2ストローク・エンジンについてはピストンスピード13m/secで測って105dB/Aまで。4ストローク・エンジンについては11m/secで測って105dB/Aまでとする。レース終了後は3dB/Aの許容誤差が認められる。全日本・エリア選手権においては79.06の固定回転数を使用することもできる。
スーパーバイクの規制値は、102dB/A、国内のSPクラス、STクラスの規制値は99dB/A
- 79.12 周辺への音量は、モーターサイクルから半径5m以内において90dB/Aまでとする。
- 79.13 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。
- * 音量測定方法で、ここに記載されていない項目はFIM規則による。

1 国内の仕様

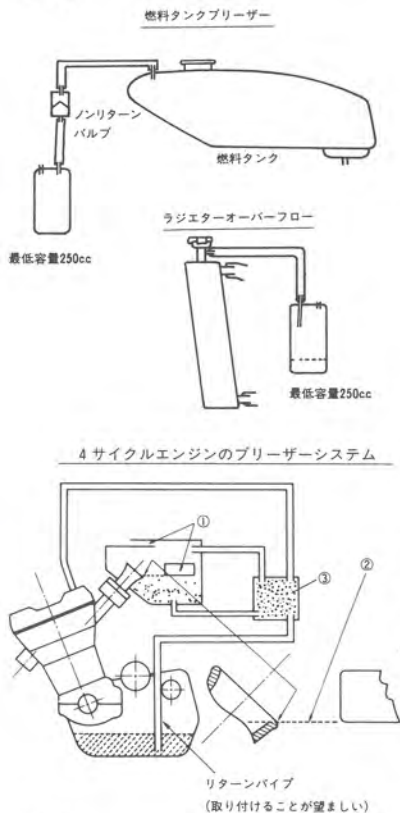
1) 冷却系のオーバーフロー

水冷式のすべての車両は冷却液オーバーフローパイプを取りつけた場合、最低容量250cc以上のキャッチタンクを取りつけること。

2) キルスイッチ

有効なキルスイッチまたはボタンが、ハンドルバーの容易に手の届く場所に設けられなくてはならない。

図A



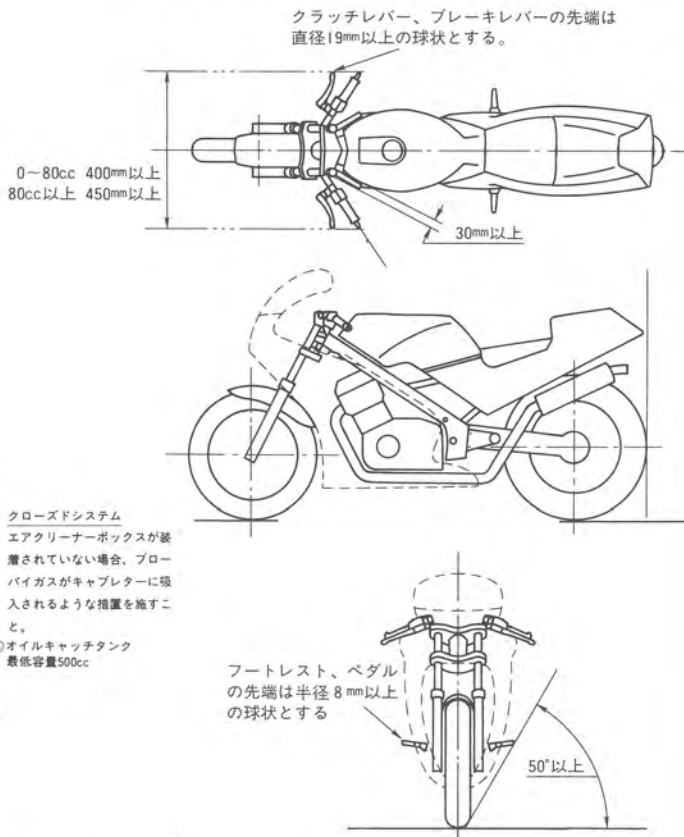
①+②

エア吸入口は、エアファンネルの一番低い箇所の水平線よりも上に位置すること。
吸入口がこれよりも下にある場合は吸入口に至る吸入通路の底部の少なくとも一部分が、水平線の上に位置すること。

①+③

ブリーザーシステム (エアクリーナーボックスおよびその他のオイルタンク) は、ドレンパイプが詰まった場合に、合計で最低1,000ccの排出液を確保できる容量を持つこと。

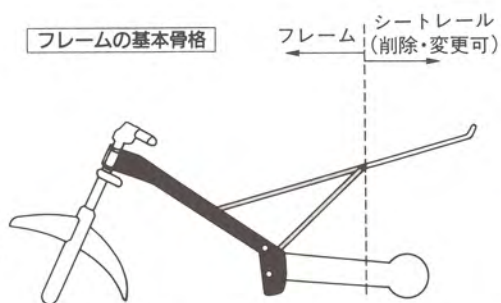
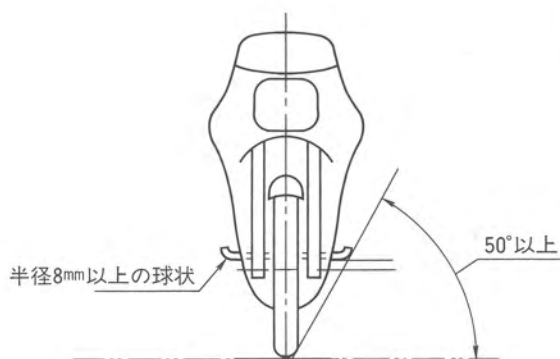
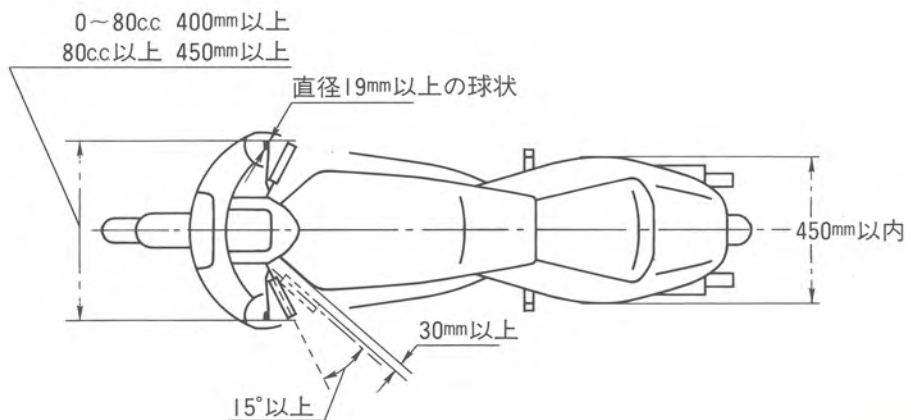
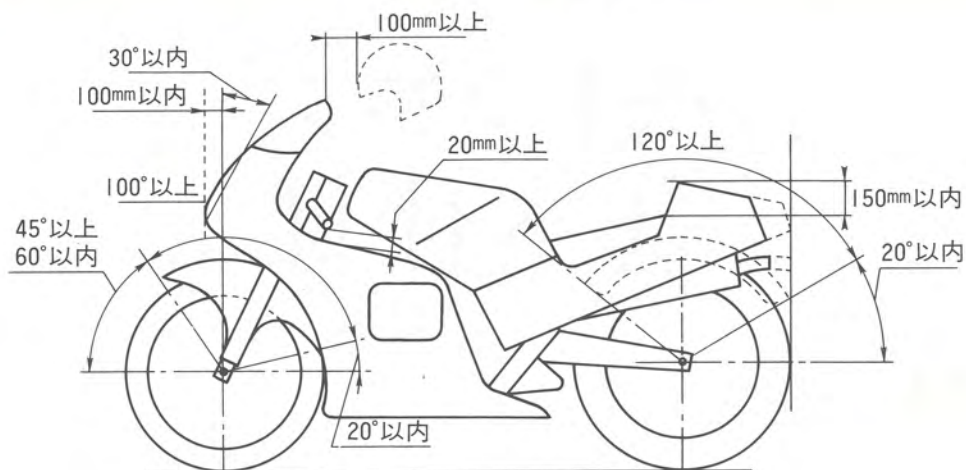
図B [スポーツプロダクション]



図C ピストンストロークに相応するエンジン回転数(2ストローク 13m/sec、4ストローク 11m/sec)

| ピストンストローク | 2ストローク | 4ストローク | ピストンストローク | 2ストローク | 4ストローク | ピストンストローク | 2ストローク | 4ストローク |
|-----------|--------|--------|-----------|--------|--------|-----------|--------|--------|
| 30 | 13,000 | 11,000 | 42 | 9,285 | 7,857 | 54 | 7,222 | 6,111 |
| 31 | 12,580 | 10,645 | 43 | 9,069 | 7,674 | 55 | 7,090 | 6,000 |
| 32 | 12,187 | 10,313 | 44 | 8,863 | 7,500 | 56 | 6,964 | 5,893 |
| 33 | 11,818 | 10,000 | 45 | 8,666 | 7,333 | 57 | 6,842 | 5,789 |
| 34 | 11,470 | 9,706 | 46 | 8,478 | 7,174 | 58 | 6,724 | 5,690 |
| 35 | 11,142 | 9,429 | 47 | 8,297 | 7,021 | 59 | 6,610 | 5,593 |
| 36 | 10,833 | 9,167 | 48 | 8,125 | 6,875 | 60 | 6,500 | 5,500 |
| 37 | 10,540 | 8,919 | 49 | 7,959 | 6,735 | 61 | 6,393 | 5,410 |
| 38 | 10,263 | 8,684 | 50 | 7,800 | 6,600 | 62 | 6,290 | 5,323 |
| 39 | 10,000 | 8,462 | 51 | 7,647 | 6,471 | 63 | 6,190 | 5,238 |
| 40 | 9,750 | 8,250 | 52 | 7,500 | 6,346 | 64 | 6,093 | 5,156 |
| 41 | 9,512 | 8,049 | 53 | 7,358 | 6,226 | 65 | 6,000 | 5,077 |

図D [GPフォーミュラ]



※シートサポートはボルトオンの場合はフレームとみなさない。

第9章

モトクロス 基本仕様

01.25 基本仕様

下記仕様はモトクロスのすべての車両、およびすべての競技会に適用されるが、主催者が特別の指示を与えた場合は例外とする。ある種の競技はさらに細かい仕様が必要になるが、これらはその競技会の特別規則（SR）に明記される。

25.01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用してもよい。

01.26 フレームの定義

フレームとは図（163頁）で示す通り、エンジンが取り付けられている部分を中心に、ステアリング取り付け部分とリヤサスペンションの取り付け部を含む構造全体をいう。シートを取り付けるためのサブフレームはフレーム本体に溶接されている場合はフレームと見なし、ボルトオンタイプ（脱着可能）のものはフレームと見なさない。

01.27 スタート装置

- 1) スタート装置は義務づけられる。

01.31 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たさなくてはならない。

- 31.01 エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。（許容誤差 $\pm 10^\circ$ ）
- 31.02 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出の仕方をしてはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、オイルの飛散を防ぐ措置を施さなくてはならない。
- 31.03 エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

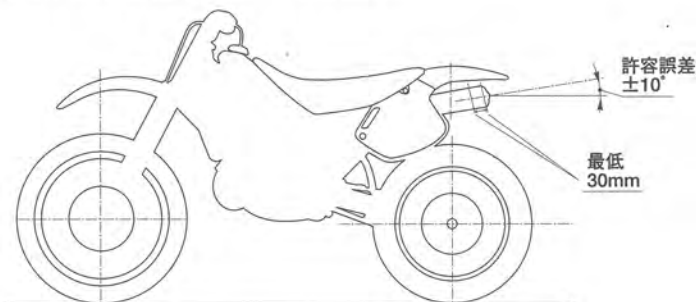
エキゾースト・パイプについて

事項31.01 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平且つ平行でなくてはならず、その場合の許容誤差は $\pm 10^\circ$ とする。またその先端は5mm以上サイレンサー本体より突出してはならない。全ての鋭利な部分は最低半径2mm以上で丸みを帯びさせていなければならない。

適用

- ・国際A級クラス 2001年1月1日より適用
- ・国際B級クラス以下2002年1月1日より適用



01.33 ハンドルバー

- 33.01 ハンドルバーの幅は、660mm未満でも850mmを越えてもならない。
- 33.02 ハンドルバーには、クロスバーの上に保護パッドを取り付けなくてはならない。クロスバーがない場合、ハンドルバーの中央にハンドルバークランプを広くカバーするパッドを取り付けなくてはならない。
- 33.05 ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 33.08 ハンドルをいっばいに切った時にハンドルバー（レバー類含む）とタンクの間に最低30mmのすき間を設けるためにハンドルストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を、取り付けなくてはならない。
- 33.09 ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように、慎重に丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 33.10 ハンド・プロテクターが使用される場合には、非粉碎材質でなくてはならない。
- 33.11 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

01.35 コントロールレバー

- 35.01 すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなってはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部はレバーと一体構造に固定されなくてはならない。
- 35.03 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。

- 35.04 もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、または変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

01.37 スロットルコントロール

- 37.01 スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
 37.03 モーターサイクルには有効なイグニッション・キルスイッチ、又はボタンがハンドルバーの右か左（ハンドルグリップを握って届く位置）に設けられなくてはならない。このスイッチは始動しているエンジンを停止できなくてはならない。

01.39 フットレスト

- 39.01 フットレストの先端には最低半径8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。(160頁図E参照)
 フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならない。
 39.02 フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。

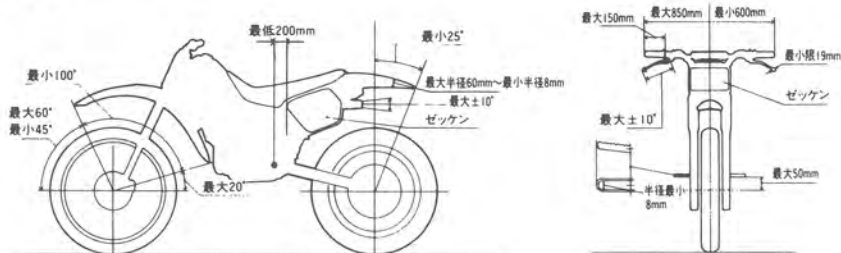
01.41 ブレーキ

- 41.01 すべてのモーターサイクルは、最低2つの効果的なブレーキ（各ホイールにひとつ）がなくなくてはならず、これは独立してホイールと同心的に作動しなくてはならない。

01.43 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 43.01 マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
 43.02 フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°にわたってカバーしていなくてはならない。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は20°を越えてはならない。(図E参照)
 43.04 リヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線から25°の角度で後方に引かれる線よりも後方まで及んでいなくてはならない。
 43.05 マッドガードの後端は丸められていなくてはならず、この丸め方は最低半径8mmで、かつ半径60mmを越えてはならない。
 43.07 キャストホイール、または溶接されたホイールが使用される場合には、頑丈なディスクでスポークを覆う形でプロテクションが施されなくてはならない。

[図E]



01.45 ストリームライニング

ストリームライニング（カウリング等空気整流効果のあるもの）の装着は禁止される。

01.47 ホイールリム、タイヤ

- 47.02 メーカー出荷時の一体構造ホイール（キャストホイール、モールドホイール、リベットホイール）、又はリムに対しては、スポーク、バルブ又は安全ボルト以外へはいかなる改造も禁止される。ただし、タイヤがリムから外れることを防ぐために使用されるビードストッパーは例外とする。

01.49 モトクロスタイヤ

- 49.01 使用されるタイヤの種類に制限はない。
49.02 スクープまたはパドル（横断面に連続したリップを持つ）タイヤ、あるいは高さが19.5mm以上のラグ（ブロックの高さ）を持つタイヤの使用は禁止される。
49.03 外観および外面的な寸法は制限されない。
49.04 タイヤ表面に後から滑り止めスパイク、特殊チェーン等の装置を取りつけることは禁止される。

01.55 ナンバープレート

- 55.03 ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 55.04 プレートは平面から50mm以上カーブ（突出）してはならない。またカバーされたり曲げたりされてはならない。
- 55.05 フロントナンバープレート
一枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなくてはならない。ナンバープレートには数字の間に穴を開けてもよいが、いかなる場合においても、数字自体に穴を開けてはならない。
- 55.06 サイドナンバープレート
サイド・ナンバープレートは、リヤホイール・スピンドルを通る水平線より上に設けられ、ナンバープレートの前端はライダーのフットレスト後方200mmのところを通る垂直線より後方に位置していなくてはならない。ナンバー・プレートは、はっきりと見えるように装着されなくてはならず、モーターサイクルの一部分や、シートに座ったライダー自身により隠れないようにしなくてはならない。
別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 55.07 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消しで書かれなければならない。数字の最低寸法は下記の通りとする。
- | | | | |
|-------|-------|----------|------|
| 数字の高さ | 140mm | ストローク幅 | 25mm |
| 数字の幅 | 80mm | 数字間のスペース | 15mm |
- 55.08 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 55.09 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。

- 55.10 すべてのナンバープレートの周囲には、最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長によりレース参加の許可を得ることができない。
- 55.12 ナンバープレートの色
 ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。
 ジュニア……赤地に白文字 国内B級……白地に黒文字
 国内A級……黄地に黒文字 国際B級……紺地に白文字
 国際A級 (125cc) ……白地に赤文字 国際A級 (250cc) ……赤地に白文字
 その他、ナンバープレートの地色および数字の色について、モーターサイクルのクラスや競技の形式などによって変わる場合があり、大会特別規則によって示される。

01.63 燃料、燃料／オイルの混合液

すべての車両にはMFJの定める無鉛ガソリンを使用しなくてはならない。(AVガス・航空機用燃料の使用は禁止される)

仕様の詳細はMFJ技術規則第7章、ガソリン・オイル・クーラントの項(147頁)参照。

※大会特別規則(全日本モトクロス特別規則等)により、ガソリンの銘柄および供給方法が指定される場合、それに従わなくてはならない。

01.79 音量規制

- 79.01 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとするが、少なくとも地面から20cm上方でなくてはならない。もしこれが不可能な場合、計測は45°上方で行ってもよい。
- 79.02 ノイズテストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルがないマシンは、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 79.03 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられ、車検後にサイレンサーを変更する事が禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスベア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 79.04 ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかなくてはならない。測定は、所定のrpmに達した時に行うものとする。
- 79.06 現在のモトクロス車両は排気量ごとに、エンジンストロークはほぼ同等と見なされるので、測定は下記の固定回転数で実施する。
- | | | | |
|-----------------|----------|-----------------|----------|
| 80ccまで | 8,000rpm | 250ccを越え500ccまで | 4,500rpm |
| 80ccを越え125ccまで | 7,000rpm | 500ccを越える | 4,000rpm |
| 125ccを越え250ccまで | 5,000rpm | | |
- ※4ストローク車両の回転数は別に定める(156頁図C参照)。
- 79.07 2気筒以上のエンジンの音量計測には、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 79.08 規制値をオーバーしているマシンは、レース前車検において再度測定を受けることができる。
- 79.11 現行の音量規制値
 最大98dB/A、13m/秒で測定する。(原則として事項79.06が適用される)
 ※4ストローク車両の規定値は別に定める(191頁参照)。
- 79.12 周辺の音量は、モーターサイクルから半径5m以内において90dB/Aまでとする。
- 79.15 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。

気温 0° 以下の場合許容誤差 + 2 dB/A が認められる。

79.16 レース後の最終検査においては、2 dB/A の許容誤差が認められる。

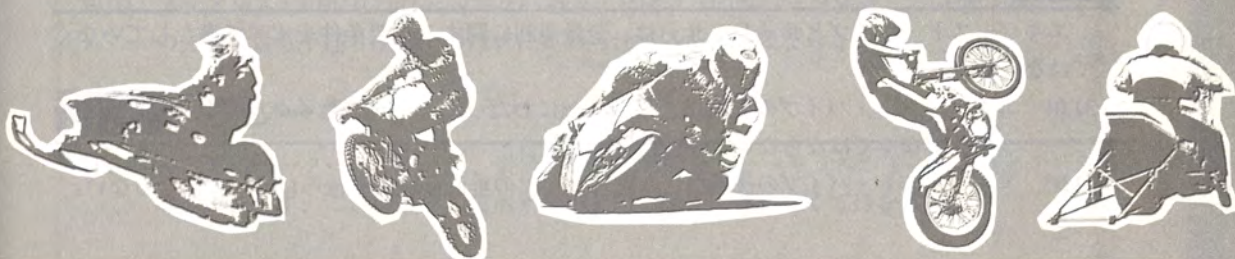
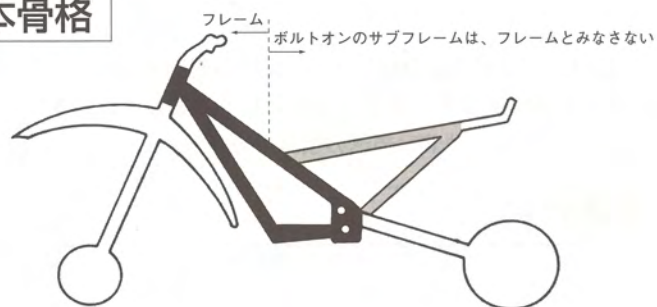
80.08 メーターの読み方は常に切捨てとする。(100.9dB/A = 100dB/A)

国内の仕様

下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。

2) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

フレームの基本骨格



第10章

トライアル 基本仕様

*トライアル基本仕様は'99年版FIMトライアル技術規則をもとに、2000年からのFIMのおもな変更点をもり込んでMFJトライアル基本仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなったFIM規則の項目番号が表示してあります。

01.25 基本仕様

下記の仕様は、指定されるグループのすべての車両、およびすべての競技会に適用されるが、FIMスポーツコードに特別の規定がある場合は例外とする。ある種の競技へはさらに細かい仕様が必要になるが、これらはその競技会の特別規則（SR）に明記される。

25.01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアームの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用されてもよい。もし代替えとして非鉄製のファスナーまたはスピンドルを使用する場合、状況に応じて寸法も増さなくてはならない。

01.26 フレームの定義

フレームとは図（168頁）で示す通り、エンジンが取り付けられる部分を中心にステアリング取り付け部分とリヤサスペンションの取り付け部を含む構造全体をいう。シートを取りつける為のサブフレームはフレーム本体に溶接されている場合はフレームと見なし、ボルトオンタイプ（脱着可能）のものはフレームとみなさない。

01.27 スタート装置

スタート装置は義務づけられる。

01.31 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たしてはならない。

31.01 エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。（許容誤差 $\pm 10^\circ$ ）

31.03 エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

01.33 ハンドルバー

- 33.01 ハンドルバーの幅は、600mm未満でも850mmを越えてもならない。
- 33.05 ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 33.08 ハンドルを左右いっばいに切った時ライダーの指が挟まないように、ハンドルとタンクの間に30mm以上のすきまを確保するように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取りつけなくてはならない。
- 33.09 ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分を作らないために、慎重に丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 33.10 ハンドル・プロテクターが使用される場合には、非粉碎材質でなくてはならず、手を入れるための開口部分が常に開いていなくてはならない。
- 33.11 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

01.35 コントロールレバー

- 35.01 すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなってはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部は、レバーと一体構造に固定されていなくてはならない。
- 35.03 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 35.04 もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

01.37 スロットルコントロール

- 37.01 スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
- 37.03 モーターサイクルには、有効なキルスイッチまたはボタンが、ハンドルバーの容易に手の届く場所に設けられなくてはならない。

01.39 フットレスト

- 39.01 フットレストの先端には最低半径8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。（166頁図F参照）
フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならない。
- 39.02 フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。

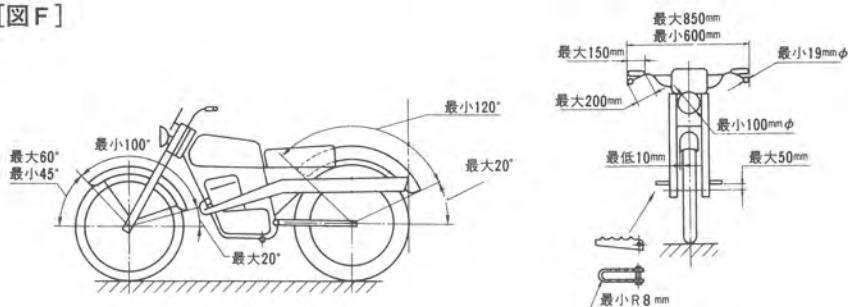
01.41 ブレーキ

- 41.01 すべてのモーターサイクルは、最低2つの効果的なブレーキ（各ホイールにひとつ）がなくなくてはならず、これは独立してホイールと同心的に作動しなくてはならない。

01.43 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 43.01 マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 43.02 フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低 100° にわたってカバーしていなくてはならない。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は 45° と 60° の間でなくてはならない。
- 43.03 リヤ・マッドガードは（インドアトライアルを除く）、ホイールの周囲を最低 120° にわたってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は 20° を越えてはならない。リヤマッドガードのこの角度（最大 20° ）は、ライダーがモーターサイクルに座った状態で計測される。
- 43.04 インドアトライアルまたはアリーナトライアルのような公道を使用しない競技会では、リヤ・マッドガードはリヤ・ホイールスピンドルを通る垂直線と、その垂直線に 25° の角度で後方に引かれる線よりも後方まで及んでいなくてはならない。

【図F】



01.45 ストリームライニング

ストリームライニングの装着は禁止されている。

01.47 ホイールリム、タイヤ

- 47.02 メーカー出荷時の一体構造ホイール（キャストホイール、モールドホイール、リベットホイール）、又はリムに対しては、スポーク、バルブ又は安全ベルト以外へはいかなる改造も禁止される。ただしタイヤがリムから外れることを防ぐために使用されるビードストッパーは例外とする。

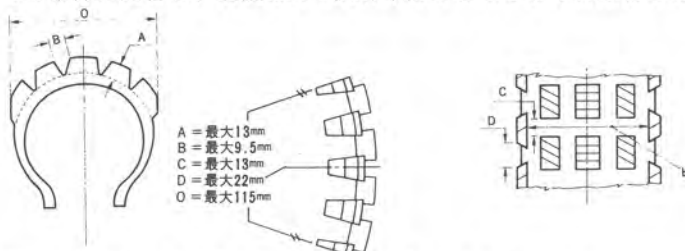
01.49 トライアルタイヤ

- 49.01 ホイールに正常に装着された状態でタイヤの全幅は、115mmを越えてはならない。
- 49.02 トレッドの深さ（A）はトレッド面から直角に測った場合、13mmを越えてはならない。同一円周のブロックはすべて同じ深さでなくてはならない。…… 167頁の図G参照
- 49.03 ブロック間のトレッドの幅は、タイヤ幅方向（B）で9.5mm、円周方向（C）で13mmを越えてはならない。
- 49.04 ショルダーブロック（D）間のトレッド幅は、22mmを越えてはならない。
- 49.05 トレッド横幅（E）は、タイヤウォールに直角に測った場合、ブロックで中断されていない限り、タイヤ全幅に及んでいなければならない。
- 49.06 すべてのトレッドブロック（ショルダーブロックを除く）は、両側辺が平行で、タイヤの軸に対し直角そして平行な長方形でなければならない。（タイヤは、図Gに適合し、逆回

転させても同じ外観でなければならない。)

- 49.10 通常の販売ルート、または小売店を通じて入手できる一般公道用に認可されたタイヤのみが使用を許可される。
- 49.10.1 タイヤは一般の購入者が入手できるマニファクチャラーの商品カタログ、またはタイヤ仕様リストに掲載されているものでなくてはならない。
- 49.10.2 これらのタイヤは、荷重、スピードコードに関してヨーロッパ・タイヤ・リム技術機構(ETRTO)の定める条件に適合し、最低45Mの使用等級のものでなければならない。

【図G】



01.56 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- 1) モーターサイクル及びその装置類は、特別規則 (SR) に記載されない限り、その車両が登録されている国の法的条件に適合してはならない。

01.63 燃料、燃料／オイルの混合液

すべての車両にはMFJの定める無鉛ガソリンを使用しなくてはならない。(AVガス・航空機用燃料の使用は禁止される)

仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項 (147頁) 参照。

※大会特別規則 (全日本トライアル特別規則等) により、ガソリンの銘柄および供給方法が指定される場合、それに従わなくてはならない。

01.65 装備とウェアー

練習中、競技中は布製か皮革製の保護ウェアと膝までの高さのブーツを着用しなくてはならない。グローブの着用は義務ではない。(世界選手権、国際競技会に適用)

01.79 音量規制

- 79.01 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとするが、少なくとも地面から20cm上方でなくてはならない。もしこれが不可能な場合、計測は45°上方で行ってもよい。
- 79.02 ノイズテストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルのないマシンについては、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 79.03 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられ、車検後にサイレンサーを変更する事は禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスペア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 79.04 ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかなくてはならない。測定は、所定のrpmに達したときに行うものとする。
- 79.06 現在のトライアル車両のエンジンストロークはほぼ同等と見なされるので、測定は5000rpmの固定回転数で実施する。
- 79.08 規制値をオーバーしているマシンは、再度測定を受けることができる。

- 79.11 現行の音量規制値
最大94dB/A、11m/秒で測定する。(原則として事項79.06が適用される)
- 79.12 周辺への音量は、モーターサイクルから半径5m以内において80dB/Aまでとする。
- 79.15 温度による測定への影響のため、音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。
- 79.16 競技後の音量測定
競技後に音量測定が行なわれる場合、誤差+1dB/Aが認められる。

下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。(日本で開催される国際格式競技会を除く)

1 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線から25°の角度で後方に引かれる線よりも後方まで及んでいなくてはならない。

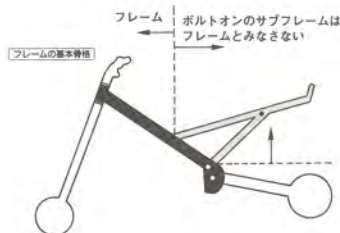
2 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質でできていなくてはならない。最低寸法は175mm×150mmとする。
- 2) ナンバープレートは1枚を車両の前面に見やすいよう前向きに取り付けなくてはならない。
- 3) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線。「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 4) 数字および地色に蛍光色は一切認められない。
- 5) 判読しづらい文字等は車検長に依りレース参加の許可を得ることができない。
- 6) 国際A級及び国際B級部門についてはプレート下部にライダーの名前を記入するものとする。
- 7) 全日本選手権の国際A級・国際B級に関する特別規則
数字は英国式とし、観客とオフィシャルが明確に識別できるようにしなくてはならない。(デザインされた書体の使用を認める)
- 8) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。

| | |
|--------------|---------------------|
| ジュニア……黒地に白赤字 | 国内B級……白地に黒文字 |
| 国内A級……黄地に黒文字 | 国際B級……緑地に白文字 |
| 国際A級……赤地に白文字 | 国際A級スーパークラス……赤地に黄文字 |

3 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- 1) 灯火器のレンズの処理または取りはずし、保安部品(バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類)の取りはずしが義務づけられる。



第11章

全日本・エリア選手権 ロードレース 技術仕様

以下のクラスは全日本・エリア選手権ロードレース技術仕様により開催される。

全日本・エリア選手権：GPフォーミュラクラス

全日本・エリア選手権：スーパーバイククラス

地方選手権は別に定める国内の仕様にて開催される。

GPフォーミュラの技術仕様は以下の種目別仕様、スーパーバイクは種目別仕様とMFJ技術規則第8章ロードレース基本仕様に合致していることとする。種目別仕様とロードレース基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は種目別仕様を優先する。

規則の追加、改訂はMFJライディングにて告示される。

*全日本・エリア選手権ロードレース技術仕様は、'97年版FIMグランプリ技術規則、'97年版FIMロードレース技術規則をもとに、'98年からの車両規則のおもな規則変更点をもり込んでMFJ技術仕様として編集しています。原文との比較がしやすいように、文頭にはもととなった規則の項目番号が表示してあります。

GPフォーミュラの技術仕様 (全日本選手権、エリア選手権へ適用)

2.1 序 論

- 2.1.1 モーターサイクルとは、一本の軌跡を残す二輪車両で、内燃エンジンによって推進され、ひとりのライダーによってコントロールされるものである。
- 2.1.2 下記のMFJロードレースGPフォーミュラ規則に適合することを条件に、コンストラクターはデザイン、材質、およびモーターサイクルの全体的構造において自由に革新性を追求することができる。
- 2.1.3 テレメトリー
走行中のモーターサイクルから、またはモーターサイクルへの情報交換はおこなってはならない。オフィシャルのタイム計測装置は義務付けられる。

2.2 クラス

2.2.1 エンジン容積に基づいて下記のクラスに分類される

| クラス | エンジン排気量 | 最多気筒数 |
|-------|-----------------|-------|
| 125cc | 80ccを越え125ccまで | 単気筒 |
| 250cc | 175ccを越え250ccまで | 2気筒 |
| 500cc | 350ccを越え500ccまで | 4気筒 |

2.3 エンジン

- 2.3.1 エンジンは2ストロークまたは4ストロークの原理で作動するもののみとする。
- 2.3.2 エンジンは自然吸気であってはならない。
- 2.3.3 エンジンの排気量はシリンダーの行程容積によって定義される。すなわち、シリンダー・ボア面積×ストロークである。
- 2.3.4 排気量に許容誤差は認められない。
- 2.3.5 エンジン排気量は外気温のもとで測定されなくてはならない。

2.4 ギヤ

- 2.4.1 ギヤの最大段数は6速とする。

2.5 車重

- 2.5.1 下記が許可される最低車重である：

| | | | |
|-------|----------|-------|----|
| 125cc | …………… | 70kg | |
| 250cc | 単気筒…………… | 100kg | *1 |
| | 2気筒…………… | 100kg | *2 |
| 500cc | 単気筒…………… | 101kg | |
| | 2気筒…………… | 101kg | |
| | 3気筒…………… | 116kg | |
| | 4気筒…………… | 131kg | |

*世界選手権においては*1=85kg、*2=95kgが適用される。

- 2.5.2 最低車重を達成するためにバラストの追加が許可される。
- 2.5.3 車重は最初の車検でチェックされる。しかし、最終的な車重検査は、プラクティス・セッション終了後、あるいはレース終了後に実施される。
モーターサイクルの車重は、モーターサイクルが出場する状態、すなわちオイル、水、及び他の液体を含み（燃料は除く）、他のすべての追加の装備（例えばオフィシャルのタイム計測装置、カメラ装備等）を装着した状態で計測される。
- 2.5.4 燃料の残量といった可変的な要素を除くために、モーターサイクルは燃料タンクなしの状態ですなわち重量を計測され、その際全クラスについて2kgの許容誤差が認められる。

2.6 燃料タンク

- 2.6.1 燃料キャップはリーク・プルーフ（漏れ防止が施されているもの）で、ポジティブ・クロージングデバイス（確実にしめる装置）を装備していなくてはならない。
- 2.6.2 燃料タンク・ブリーザー・パイプにはノン・リターン・バルブが装着されていなくてはならない。
ブリーザーパイプは、最低容量250ccの適切な容器に排出しなくてはならない。
- 2.6.3 燃料タンクには火災防止材質（防爆材）又はフェュエルブラダー（燃料セル袋）が充填されていなくてはならない。

2.7 安全および構造基準

注意：図1, 2, 3 (173頁)も参照のこと

- 2.7.1 スロットルツイスト・グリップ

- 2.7.1.1 スロットルツイスト・グリップは、開放時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
- 2.7.2 ステアリング
- 2.7.2.1 ハンドルバーの幅は最低450mmとし、先端はソリッド（中空でない）またはゴムで覆われたものとする。
ハンドルバーの幅とは、ハンドルバー・グリップまたはスロットル・ツイストグリップの外側と外側の間隔で測定されたものとする。
- 2.7.2.2 中心線から両側に、最低15°のステアリング回転角度がなくてはならない。
- 2.7.2.3 ハンドル・ロックした状態でハンドルバーとタンクの間には最低30mmの間隔があるように、ストッパーを設置しなくてはならない。
- 2.7.3 ブレーキ
- 2.7.3.1 モーターサイクルには各ホイールに最低1個の、独立して操作されるブレーキが装備されなくてはならない。
- 2.7.4 エキゾースト
- 2.7.4.1 エキゾーストの排出口は、リヤ・タイヤの後端から垂直に引かれた線の後方に突出してはならない。
- 2.7.4.2 パイプ最後端の30mmは水平で、モーターサイクルの中心線と平行でなくてはならない。許容誤差は、 $+/-10^\circ$ とする。
- 2.7.5 フットレスト
- 2.7.5.1 フットレストの先端は丸型で、中空でなく球状で、その半径は最低8mmでなくてはならない。
- 2.7.6 ハンドルバー・レバー
- 2.7.6.1 レバーの長さは、ピボットポイントから測定して200mm以上あってはならない。
- 2.7.6.2 レバーは原則として、端部がボール状でなくてはならない。
- 2.7.7 ストリームライニング（カウリング・ウインドスクリーンを含む全てのボディワーク）
- 2.7.7.1 ウインドスクリーンエッジ、またはその他のすべてのストリームライニングの露出した部分のエッジは丸められていなければならない。
- 2.7.7.2 ストリームライニングの最大幅は600mmを超えてはならない。
シートまたはその後方にあるすべての物の幅は、450mmを越えてはならない。（エキゾースト・パイプは例外とする。）
- 2.7.7.3 ストリームライニングは、フロント・ホイール・スピンドルから前へ100mmのところ（マッドガードが装着される場合は例外とする）に垂直に引かれた線とリヤ・タイヤのエッジから垂直に引かれた線を超えてはならない。
- 2.7.7.4 横から見た場合、下記を判別することができなくてはならない：
- 最低180°にわたるリヤ・ホイール・リム
 - マッドガードまたはフォークに覆われた部分を除くフロント・ホイール・リム全体
 - ノーマル・ポジションに座ったライダー。上腕を除く。
- 注意：上記の規則の裏をかくために、透明の材質を使用することは禁止される。
- 2.7.7.5 モーターサイクルのいかなる部分も、リヤ・タイヤの後端から垂直に引かれた線より後方に突出してはならない。
- 2.7.7.6 シートのベースとシートの一番高い地点との差は最大150mmとする。
- 2.7.7.7 マッドガードは義務づけられない。装着された場合、フロント・マッドガードは下記まで伸びてはならない：
- フロント・ホイール・スピンドルを通る水平の線から上と前に45°に引かれた線

の前

b) フロントホイール・スピンドルからリヤまで水平に引かれた線の下

- 2.7.7.8 ウイングは、それがフェアリングあるいはシート的一部分で、フェアリングとシートの幅、ハンドルバーの高さを超えない場合には装置を許可される。

尖ったエッジは丸くされなくてはならない。動くエアロダイナミック・デバイスは禁止される。

2.7.8 クリアランス

- 2.7.8.1 荷重のかからない状態のモーターサイクルは、タイヤ以外が路面に接地しない状態で、垂直線から50°の角度で傾斜が可能でなくてはならない。

- 2.7.8.2 モーターサイクル・サスペンションがどのようなポジションにあり、リヤ・ホイール・アジャストメントがどのようなポジションにあっても、タイヤの円周に沿って最低15mmのクリアランスがなくてはならない。

2.7.9 ブリーザー・パイプ

- 2.7.9.1 エンジンまたはギヤボックスからのブリーザー・パイプは、最低容量250ccの適切な容器に排出しなくてはならない。個々のブリーザー・パイプごとに別個の容器が装備されなくてはならない。

2.7.10 チタニウム及び軽合金

フレーム、フロント・フォーク、ハンドル・バー、スイングアーム・スピンドルホイール・スピンドルの構造にチタニウムを使用することは禁止される。

ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。

2.7.11 チェーンガード (リヤスプロケットガード)

リヤホイールのファイナルドライブスプロケットと、ロワードライブチェーンの間に挟まれないように、ガードが取り付けられなくてはならない。

2.8 タイヤとリム

- 2.8.1 レーシング・タイヤが使用されなくてはならない。

- 2.8.2 最大リム幅は下記の通りとする

| | フロント | リヤ |
|-------|--------|---------|
| 125cc | 2.5インチ | 3.5 インチ |
| 250cc | 4.0インチ | 5.5 インチ |
| 500cc | 4.0インチ | 6.25インチ |

2.9 ナンバーとバックグラウンド(下地)

- ① 全日本選手権に適用されている規則

- 2.9.1 モーターサイクルのフロントと両サイドにレーシング・ナンバーが装着され、観客とオフィシャルが明白に識別できるようにしなければならない。

- 2.9.2 ナンバーは、図4 (173頁)に明記されている寸法に適合しなくてはならない。

- 2.9.3 ナンバーは黒か白とし、バックグラウンドの色の上に書かれた際に判別しやすいようにする。

- 2.9.4 バックグラウンドは最低限、下記の面積が単色でなくてはならない。バックグラウンドに蛍光色は禁止される。

幅 275mm 高さ 200mm

- 2.9.5 ナンバープレートのバックグラウンドは垂直から30°以上傾斜してはならない。

- 2.9.6 ナンバープレートのバックグラウンドの湾曲による突出は、最低幅と最低高において60mm以上超えてはならない。
- 2.9.7 ナンバーの周囲には最低25mmのクリアー・エリア（余白）が設けられなくてはならない。
- 2.9.8 ナンバーの明瞭度に関して論議が持ち上がった場合、車検長の決定が最終的なものとする。

- ② エリア選手権に適用される規則（国際ライセンス所持者は、上項①が適用される）
 エリア選手権においてはロードレース基本仕様—01.55ナンバープレート（153頁）の規則が適用される。（ナンバープレートの地色、及び数字の色等が規制されている）

2.10 燃料、オイル及びクーラント

国内におけるロードレース競技会（世界選手権を除く）において、燃料は下記の仕様に制限されている。

- ① 公認ロードレースには、MFJの定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。
 ガソリンの仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項（147頁）参照
 - ② 大会特別規則（全日本ロードレース選手権特別規則等）によってガソリンの供給方法を指定した場合、これに従わなくてはならない。
- 注意：'97年1月1日より、ロードレース2ストロークエンジンに対しても、MFJの定める無鉛ガソリンに制限されている。

図1

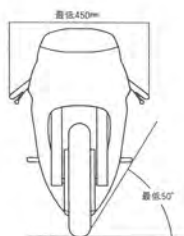


図2

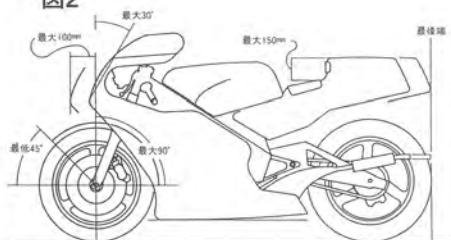


図4

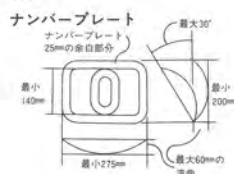
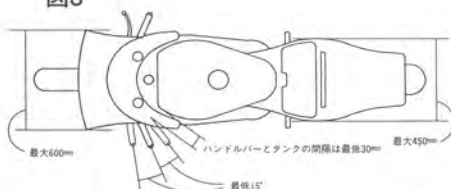


図3



全日本選手権、エリア選手権の仕様

下記の項目は、国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よってFIM仕様と異なる場合、下記の解釈が優先される（日本で開催される世界選手権を除く）。

2.11 音量規制

FIM方式で測定し105dB/Aとする。詳細はロードレース基本仕様（155頁：音量規制）参照。

2.12 キャブレター

キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

| クラス | 最大限サイズ |
|-----|------------|
| 250 | 直径39mm相当以下 |
| 125 | 直径39mm相当以下 |

スーパーバイク規則 (全日本選手権・エリア選手権へ適用)

この規則は、'98年11月25日現在のFIMスーパーバイク規則原案を翻訳したものです。

予告 スーパーバイクは、FIM規則変更により2001年から新規則が導入されます。プライベートーには、新規則導入後も現行規則で参加できる、保護措置 (2年間) が適用されます。

01.59 分野別仕様—スーパーバイク

スーパーバイク・モーターサイクルにはFIMの公認が必要とされる。モーターサイクルは、すべての要素に関してロードレース技術規則に明記されている「ロードレースの必要条件」を満たしていなくてはならない。

スーパーバイク・モーターサイクルの前後および側面からの外観形状 (別記された場合を除いて) は、原則として車両公認時 (メーカー出荷時) のものと合致していなくてはならない。

59.01 スーパーバイク・クラス

1997年度以降公認された車両は、排気量は公認されたものから変更できない。クラスの最大排気量に到達するためにボア・サイズを拡大することは許可されない。1996年以前に公認されたマシンに関しては、クラスの最大排気量に到達するためボア・サイズを拡大することが許可される。スーパーバイク：

| 排気量 | ストローク | 最多気筒数 |
|--------------|--------|-------|
| 601cc~750cc | 4ストローク | 4気筒 |
| 601cc~900cc | 4ストローク | 3気筒 |
| 751cc~1000cc | 4ストローク | 2気筒 |

59.01.1 最低重量

スーパーバイク：最低重量は気筒数に関わらず162kg

フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム・スピンドルおよびホイール・スピンドルの構造にチタニウムを使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関して、軽合金の使用も禁止される。

燃料タンクなしの状態、車両重量を検査する場合、最低重量より4kgの差し引きが認められる。

レース終了後の最終車検では、水冷車両の場合、車重検査の前にラジエターに水を加えることができる。

レース終了後の車重検査では、車両の車重に1%の許容範囲が許可される。

ラジエターに水を加えることを除いて、レース後のモーターサイクルはレースを終えたままの状態、規定車重に適合していなくてはならない。すべての車両車重は、燃料なしの状態とする。

59.01.2 ナンバープレートの色

スーパーバイクのナンバープレートの色は、下地が白で数字が黒とする。

PAL色番号：黒=9005、白=9010 (153頁事項01.55を参照)。

ナンバーの明瞭度に関して議論が持ち上がった場合、車検長 (またはテクニカルスチ

ユワード) の決定を最終的なものとする。

59.01.3 キャブレションインストルメント (キャブレター、インジェクター等)

キャブレター、またはインジェクションシステムのインテークサイズに制限はしない。オートバイ製造メーカーは公認された車両のキャブレションまたはエアークンタークコントロールとは別に、レース専用として一機種に一個、下記基準に従い特別公認を受けることが出来る。

1. 年間50,000台以上のモーターサイクルを製造するメーカーの場合、世界中に存在するディストリビューターを通じ最低100セットのキャブレターまたはインジェクター・インストルメントを供給しなければならない。
2. 年間50,000台以下のモーターサイクルの製造メーカーの場合、最低50セットを供給しなければならない。
3. 各メーカーは最低数量の製造証明を提出しなければならない。
4. キャブレターまたはインジェクターボディの材質は公認車両のものと同じでなければならない。
5. キャブレター、またはインジェクションの部品はスペアパーツとして入手できるものとし、製造メーカーのレーシング・パーツリストに記載されていなくてはならない。
6. 販売価格は、各メーカーの生産国での希望小売り価格の2倍以上になってはならない。(価格は公認申請用紙に明記される)
7. これらのキャブレターに関しては、ジェット交換以外の変更は禁止される。
8. これらの部品は公認発効後最低3年間は入手できなければならない。
キャブレターの公認は、モーターサイクルの公認と同じ期間に関して有効とする。
9. 全てのモーターサイクル製造メーカーは、これらの部品のサンプルセットを1セット比較のためFIMに提出する。

59.02 燃料

すべてのスーパーバイクエンジンは、最大鉛含有量0.013g/l (無鉛) と最大MON値89の通常の無鉛ガソリンで作動するものとする (完全な仕様に関しては147頁第7章を参照のこと)。

59.03 マシンの仕様

以下に明記されないすべてのアイテムは、公認車両として製造メーカーが製作した状態のままでなくてはならない。

59.03.1 メインフレームボディ

メインフレームは公認車両として製造メーカーが製作した状態のままでなくてはならない (149頁事項01.26を参照)。

メインフレームには、ガゼット (補強板) またはチューブを追加するという変更のみ許可される。ガゼット (補強板) やチューブを取り除くことはできない。

すべてのモーターサイクルには、メインフレームボディに車両識別番号が記されなくてはならない (シャシー・ナンバー)。

リヤのサブフレームは、交換または改修してもよいが、材質は公認を受けたものと同じでなくてはならない。ペイントデザインに制限はない。

59.03.2 フロントフォーク

フロントフォークは全体的に、または部分的に交換することができるが、公認車両に

装着されたものと同じタイプとする（リーディング、テレスコピック、倒立等）。
上と下のフォーククランプ（三又、フォーク・ブリッジ）は交換してもよいし、モディファイしてもよい。

ステアリングダンパーを追加する、あるいはアフターマーケット・ダンパーと交換してもよい。

テアリングダンパーは、ステアリングロック制御デバイス（ステアリングストッパー）としての役割を果たしてはならない。

59.03.3 リヤフォーク（スイングアーム）

リヤフォークは車両公認時に装着されているものから変更されてもよいし、交換されてもよい。カーボンファイバー、またはカーボンコンポジット材質は、車両公認時に装着されている場合を除いて許可されない。

59.03.4 リヤサスペンションユニット

リヤサスペンションユニットは変更されてもよいし、位置を移動してもよいが、同じシステムが採用されなくてはならない（すなわちデュアル、またはモノ）。

リンケージは、公認車両に装着されているものから改造・変更されてもよいし、別のものに変更されてもよい。

59.03.5 ホイール

ホイールとその関連部品は、車両公認時に装着されているものから改造されてもよいし、別の物に交換されてもよい。カーボンファイバー、またはカーボンコンポジットホイールは、製造メーカーが公認車両にこのタイプのホイールを装着している場合を除いて許可されない。

ベアリング、シール、およびアクスルは車両公認時に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

直径16インチ未満のホイールリムは許可されない。

フロントホイールリムの最大幅：4.00インチ

リヤホイールリムの最大幅：6.25インチ

59.03.6 ブレーキ

フロントマスターシリンダーは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

リヤマスターシリンダーは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

フロントキャリパーは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

リヤキャリパーは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

ブレーキパッド、またはブレーキシューは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

フロントまたはリヤ油圧ブレーキラインは変更されてもよい。ただしフロントブレーキラインの、左右のキャリパーへの分岐点は、ロアフォークブリッジよりも上に位置しなくてはならない。

ブレーキディスクは、モーターサイクルの車両公認時に装備されているものから変更または交換することができる。鉄素材のみがブレーキディスクに採用できる。ブレーキキャリパーへの特殊合金素材（例：アルミニウムベリリウム等）の使用は認められない。

- 59.03.7 タイヤ
タイヤは、公認車両に装備されているものから別のものに交換されてもよい。
タイヤウォーマーの使用が許可される。
- 59.03.8 フットレスト/フットコントロール
フットレスト/フットコントロールの位置は移動してもよい。
フットレスト/フットコントロールはリヤ・アクスルの前に設けなくてはならない。
フットレストはリジットにマウントされたものか、あるいは通常の位置に戻すデバイス(装置)を持ったホールディングタイプ(折りたたみ式)のものでなくてはならない。
フットレストの先端は、最低半径8mmの固いボール状(中空でない玉)でなくてはならない。
ホールディングタイプ(折りたたみ式)ではないスチール製フットレストの先端には、プラスチック、テフロン、あるいはそれと同等の材質でできた先端(プラグ)が固定されなくてはならない(最低半径8mm)。
- 59.03.9 ハンドルバーとハンドコントロール
ハンドルバー、ハンドコントロール、およびケーブルは公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。
ハンドルバーには、エンジン・ストップ・スイッチ(キルスイッチ)を設けなくてはならない。
- 59.03.10 フェアリング(カウリング、ウインドスクリーン含む全てのボディワーク)
- フェアリング、マッドガードおよびストリームライニングは、原則としてメーカー出荷時の形状で車両公認時の形状に合致しなくてはならない。
 - ウインドスクリーンは別のものに交換されてもよく形状も変更されてよい。
 - フェアリングとエアボックスの間を結ぶエアダクトは車両公認時に装着されているものから改造されても交換されてもよい。
 - フェアリング下部は、エンジン破損または故障時に、そのエンジンに使用されるエンジン・オイルおよびエンジン・クーラント総量の最低半分(最低5ℓ)を保持できる構造でなくてはならない。フェアリング下部(オイル受け)の端部は、フェアリングの最下端から最低50mm以上、上になければならない。「最低50mm」に関しては99年から全日本/エリアも義務付けとなった。
 - フェアリング下部には、直径25mmの孔を最高二つまで設けてもよい。この孔はドライ・コンディションの時には閉じられなくてはならず、競技監督がウェット・レース・コンディションだと宣言した時のみ開かれなくてはならない。
 - ホイール交換用のエレベーター(スタンド)を採用するため、およびフレームやエンジンにプラスチック製プロテクティブ・コーンを装着するために、フェアリングへの最低限の変更が許可される。
 - オイルクーラーに導入するエアーの量を増大するために、フェアリングにドリルで孔を開けることが許可される。直径10mm以上の大きな孔はメタルガーゼ、または目の細かいメッシュで覆わなくてはならない。メッシュは周囲の材質にマッチするようにペイントされなくてはならない。
 - フロントマッドガードは、原則としてメーカー出荷時の形状で、車両公認時の形状に合致していなくてはならない。
 - 冷却効率を上げるために、フロントマッドガードにドリルで孔を開けることが許可される。直径10mm以上の大きな孔はメタルガーゼ、または目の細かいメッシュで覆わなくてはならない。メッシュは周囲の材質にマッチするようにペイントされなくてはならない。

- j) リヤマッドガードは追加してもよいし、取り外してもよい。
- k) フロントマッドガード、リヤマッドガード、およびフェアリングの材質は、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。
露出しているエッジ部分はすべて丸められなくてはならない
151頁事項01.45—ストリームライニング（カウリング）を参照。

59.03.11 燃料タンク

側面からオリジナルの外観形状が車両公認時のものに合致していれば、公認時のタンクを改造して最大容量を達成することが許可される。

タンクの各側の間にクロスオーバーラインを設けることが許可される（最大内径10mm）。

燃料タンクには防爆材（すなわちexplosafeなど）が完全に充填されなくてはならない。タンクプリーザーパイプのついた燃料タンクには、適切な材質でできており、最低容量250ccのキャッチタンクに放出するノンリターン（戻らない）バルブが装備されなくてはならない。

燃料タンクフィルターキャップは、公認車両に装着されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

燃料キャップは、閉じられている状態では漏れない構造になっていなくてはならない。さらに、どのような場合にも事故で開かないように保たれていなくてはならない。

プラクティスで使用されたものと同じサイズの燃料タンクがイベントの期間中ずっと使用されなくてはならない。

燃料タンク構造の材質は、公認車両に使用されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

カーボンファイバー、アラミドファイバー又はファイバーグラス素材は燃料タンク構造の材質に認められない。

59.03.12 シート及びシートカウル

シートは、認証モーターサイクルに装備されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

シート周辺のリヤボディワークの上部分をシングルシートに改造することができる。この場合シートカウルは、リヤゼッケンプレートと一体の構成になっていなくてはならない。前後および両側面からの外観形状は、原則として車両公認時のものと合致しなくてはならない。

シートカウル、またはリヤカウルは、正常な数字が表示できなくてはならない。

冷却効率を上げるためにシートカウル、またはリヤカウルにドリルで孔を開けることが許可される。10mm以上の大きな孔はメタルガーゼ、または目の細かいメッシュで覆わなくてはならない。メッシュは周囲の材質にマッチするようにペイントされなくてはならない。

露出しているエッジ部分はすべて丸められなくてはならない。

シートの構造の材質は、公認車両に使用されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

151頁事項01.45—ストリームライニング（カウリング）を参照。

59.03.13 ラジエター／オイルクーラー

オリジナルのラジエター、またはオイルクーラーは、公認車両に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

ラジエター、またはオイルクーラーを追加してもよい。

オイルクーラーはリヤマッドガードの上、またはそれ以上高い位置に設けられてはな

らない。

マシンの前、後ろ、および側面からの外観形状はラジエーターまたはオイルクーラーを追加したあとでも、原則として車両公認時のものと合致してはならない。

59.03.14 エアーボックス

エアーボックスは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい（レース用スペシャルデザインが許可される）。

エアーフィルターエレメントは取り外してもよい。

エアーボックスはインダクションベルマウス（エアファンネル）とすべてのエンジンブリーザー・チューブの周囲を完全に密閉すること。エアーはベルマウス・リップ（エアファンネルの縁）の一番低い位置より上からのみ吸気できるようにされなくてはならない（156頁図A参照）。キャブレションインストルメントは、完全にエアーボックスの中に収めることもできる。

エアーボックスドレインは密閉されなくてはならない。

すべてのスーパーバイクモーターサイクルはクローズド・ブリーザー・システムが義務づけられる。オイルブリーザー・ラインはエアーボックスに連結され、ここに放出されなくてはならない。

ブリーザー・システム（エアーボックス+ブリーザーオイルコレクターボックス）は、ドレインパイプが詰まった時に、排出液を最低1000cc保持できるものとする。

59.03.15 キャブレター

キャブレションインストルメントは公認車両に装備されたものとは異なる特別公認レーシングタイプに交換することができる。175頁事項59.01.3を参照

キャブレションインストルメントの数は公認時のままとする。

キャブレションインストルメントの研磨および軽量化は許可されない。

バタフライの交換、またはモディファイは禁止される。

キャブレタージェット、ニードル、およびスロットルバルブは別のものに交換されてもよい。

ベルマウス（エアファンネル）は、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.16 フュエルインジェクションシステム

スロットルボディは、車両公認時に装備されたものとは異なる特別公認レーシング・タイプに交換することができる。175頁事項59.01.3を参照

キャブレションインストルメントの数は公認時のままでなくてはならない。

キャブレションインストルメントの研磨および軽量化は許可されない。

フュエルインジェクターは車両公認時に装着されたものとは異なる特別公認レーシングタイプに交換することができる。

バタフライの交換、またはモディファイは禁止される。

フュエルインジェクション・マネージメント・コンピューター・チップ（EPROM）を交換することはできる。

フュエルポンプとプレッシャー・レギュレーターはモディファイされてもよいし、改造、変更されてもよい。

59.03.17 燃料供給

フュエルラインは別なものに交換することができる。

フュエルベント・ラインは別なものに交換することができる。

フュエルフィルターを追加することができる。

フュエルコックは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、

別なものに交換されてもよい。

59.03.18 エンジン

公認時のエンジンデザインコンセプトを変更することはできない。

クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッド、およびギヤボックスハウジングの材質とキャスティングは公認時のものを用いる。クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドおよびギヤボックスハウジングの材質は溶接によってのみ追加され、機械加工でのみ削減できる。

カムドライブの方法は公認車両と同じでなくてはならないが、通常の販売ルートを通じてコンプリートキットが入手できる場合は例外とする。相当数のコンプリートキットが販売され、レーシングスペアパーツブックに記載されていなくてはならない。

バルブリテンションの方法は公認車両と同じでなくてはならない。(公認車両に装着されている場合を除いて、エアーバルブ・リテンション装置は許可されない)。

エンジン内部の動くパーツ、ギヤボックスパーツ、およびクラッチパーツは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。材質の変更も許可される(改造、変更が許可されていない特定の部分に含まれる部品を除く)。

キャブレションインストルメントを除くエンジンパーツの研磨と軽量化は許可される(改造、変更が許可されていない特定の部分に含まれる部品を除く)。

59.03.19 シリンダーヘッド

シリンダーヘッドは公認時のままでなくてはならない。改造は許可される。

シリンダーヘッドは公認時の材質とキャスティングが使用されなくてはならない。シリンダーヘッドの素材は溶接による追加および、機械加工による切削のみ許可される。バルブ、ポート(インテークおよびエキゾースト)の数を含む吸排気システムは、公認時のままでなくてはならない。

通常、個人的な調整と考えられるガスフロー、シリンダーヘッド(燃烧室を含む)の修理のような、シリンダーヘッドのポーティング、研磨は許可される。

圧縮比は自由とする。

燃烧室はモディファイしてもよい。

バルブは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

バルブシートは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

バルブガイドは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

バルブスプリングは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

バルブリテーナーは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.20 カムシャフト

カムシャフトは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.21 カムスプロケット、またはカムギア

カムスプロケット、またはカムギアは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

- 59.03.22 クランクシャフト
クランクシャフトは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。
クランクシャフトのストロークは公認時のままでなくてはならない。
研磨または軽量化が許可される。
クランクシャフト、ロッド、およびピストンのバランス取りが許可される。
- 59.03.23 オイルポンプおよびオイルライン
オイルポンプ及びオイルラインは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。
正圧のかかるオイル・ラインは、もし交換されるならば金属強化構造のもの又は、ネジ式のコネクターを持つものを使用しなくてはならない。
- 59.03.24 コンロッド
コンロッド（コネクティングロッド）は、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。カーボンコンポジット、またはカーボンファイバー材質は許可されない。
研磨または軽量化が許可される。
コンロッドのバランス取りが許可される。
- 59.03.25 ピストン
ピストンは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。
ピストンのバランス取りが許可される。
研磨または軽量化が許可される。
- 59.03.26 ピストンリング
ピストンリングは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。
- 59.03.27 ピストンピンとクリップ
ピストンピンとクリップは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。
- 59.03.28 シリンダー
シリンダーは公認時の材質とキャスティングが使用されなくてはならない。シリンダーの素材は溶接による追加、機械加工による切削のみ許可される。シリンダーはスリーブリングまたはライニングによって修理できるが、材質タイプ、表面加工、およびボアは公認時のままでなくてはならない。
1997年度の公認から、排気量は公認時のサイズのままでなくてはならない。クラスの最大排気量に到達するためにボアサイズを拡大することは許可されない。1997年以前に認証されたマシンに関しては、クラスの最大排気量に到達するためボア・サイズを拡大することが許可される。
- 59.03.29 クランクケース／ギヤボックスハウジング
クランクケースとギヤボックスハウジングには公認時の材質とキャスティングが使用されなくてはならない。クランクケースとギヤボックス・ハウジングの素材は溶接による追加、機械加工による切削のみ許可される。
- 59.03.30 トランスミッション／ギヤボックス
すべてのトランスミッション／ギヤボックスレシオは自由とする。
プライマリーギヤレシオは自由とする。

ギヤの最大数は6速に制限される。

クイックシフトシステムのようなものをギヤボックス、またはセレクター機構に追加することが許可される。

カウンターシャフトスプロケット、リヤホイールスプロケット、チェーンピッチとチェーンサイズは変更できる。

59.03.31 クラッチ

クラッチスプリングは変更できる。

フリクションディスクとドライブディスクは変更できる。

クラッチタイプと作動方法は、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別のものに交換されてもよい。

59.03.32 イグニッション/エンジンコントロールシステム

イグニッション/エンジンコントロールシステムは、モディファイされてもよいし、交換されてもよい。

スパークプラグとプラグワイヤーは別なものに交換することができる。

59.03.33 ジェネレーター

ジェネレーター、電気式、手動式の始動装置（キックレバー、キックペダル、スタータークランクギヤ、スターターシャフト等）は、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

59.03.34 エキゾーストシステム

エキゾーストパイプとサイレンサーは、車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

※1997年1月1日から、スーパーバイクのノイズ・リミットは102dB/A。

59.03.35 下記のアイテムは車両公認時に装備されているものから改造、変更されてもよいし、別なものに交換されてもよい。

どの種類の潤滑油、ブレーキフルード、サスペンションフルードを用いてもよい。

どの種類のスパークプラグ、およびプラグキャップを用いてもよい。

どのインナーチューブ（装着される場合）またはインフレーションバルブを用いてもよい。

ホイールのバランスウェイトは外されてもよいし、交換されても、追加されてもよい。

どの種類、あるいはどのブランドのベアリング（ボール、ローラー、テーパー、プレイン等）を用いてもよい。

ファスナー（ナット、ボルト、スクリュー類）

エレクトロニックデバイス、電気ケーブル、コネクター、バッテリー、およびスイッチ

外部の表面加工、およびデカール

59.03.36 下記のアイテムは取り外すことができる

ライトとリフレクター

計器類と計器用ブラケットおよび関連ケーブル

ホーン

ナンバープレートブラケット

ツールボックス

タコメーター

スピードメーター（およびホイールスパーサー）

ラジエーターファンとワイヤー

パッセンジャー用フットレスト
パッセンジャー用グラブレール
チェーンガード

59.04 下記のアイテムは変更されなくてはならない

モーターサイクルには、始動しているエンジンおよび、その他のすべての電気部品を停止することのできる効果的なイグニッションキルスイッチ、またはボタンが、ハンドルバーの右あるいは左に設けられていなくてはならない（グリップを握った状態で手の届く距離になくてはならない）。

スロットルコントロールは手で握っていない時には自動的に閉じるものでなくてはならない。

電動フュエルポンプは、レースでの事故の際に自動的に作動する回路遮断システムを介していなくてはならない。

電動フュエルポンプの設計には、車検の時にテストできるように回路遮断のテスト機能が設けられていなくてはならない

セーフティバー、センタースタンド、およびサイドスタンドは取り外されなくてはならない（固定されたブラケットは、そのままであればならない）。

すべてのドレーンプラグはワイヤーロックされなくてはならない。外部オイルフィルタースクリューおよびオイルフィルターボルトでオイルキャピティ（オイルパン）に進入するものは、すべて安全にワイヤーロックされなくてはならない。

ブリーザーパイプ、またはオーバーフローパイプが装備される場合、排出はそのパイプの排気口からなされなくてはならない。公認時のクローズドシステムは維持されなくてはならず、大気へ排出することは禁止される。

オイルブリーザーパイプが装備される場合、排出は簡単に手の届く位置に設けられたキャッチタンクにされなくてはならない。

キャッチタンクは、レース前に空にされなくてはならない。

オイルクーラーは、リヤ・マッドガードの上、またはそれ以上高い位置に設けられてはならない。

キャッチタンクの最低サイズは、ギヤボックスブリーザーパイプの場合250cc、エンジンブリーザーパイプの場合500ccとする。

すべての4ストロークモーターサイクルには、クローズドブリーザーシステムが採用されなくてはならない。オイルブリーザーラインはエアボックスに連結され、これに排出されなくてはならない。

ヘッドライト、リヤライト、およびウインカーは取り外さなくてはならない。これらを外したあとの穴は、適切な材質で覆わなくてはならない

59.05 追加の装備

車両公認時にはない、追加の装備を設けることができる（すなわちデータ収集器具、コンピューター、記録機器等）。しかしながら、事項01.18（テレメトリー）は守られなくてはならない。

第12章

FIM技術仕様

(モトクロス・トライアル)

モトクロス

国際A級部門は下記に示すFIM技術仕様にて開催される。よって下記に示す規則とMFJ基本仕様第9章モトクロス基本仕様に合致してはならない。FIM技術仕様とMFJ基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は、FIM技術仕様を優先する。

FIM規則01章

モトクロス技術仕様

01 クラス区分

| クラス | 排気量範囲 | 最大限気筒数 |
|-----|-------------|--------|
| 125 | 100を越え125以下 | 1 |
| 250 | 175を越え250以下 | — |

02 出場車両

- 1) 出場の車両に制限はない。
- 2) 車両はMFJ技術規則第9章モトクロス基本仕様に示される、すべての条件に適合していなければならない。

05 重量

車両の最低重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

| クラス | 最低重量 |
|-----|------|
| 80 | 61kg |
| 125 | 88kg |
| 250 | 98kg |

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 1) もしプライマリーチェーンが露出している場合、安全措置としてチェーンガードを装着しなければならない。チェーンガードはいかなる場合においてもライダーがトランスミッションパーツに誤って触れることがないようにガードを取りつけていなければならない。カウンターシャフトスプロケットにもガードが取り付けられていなければならない。

トライアル

国際A級・国際B級部門は下記に示すFIM技術仕様にて開催されるが、下記に示す規則とMFJ技術規則第10章トライアル基本仕様に適合していることとする。FIM規則とMFJ規則が相違する場合は、FIM技術規則を優先する。

FIM規則01章

トライアル技術仕様

01 クラス区分

国際A級

国際B級

* 車両の排気量によるクラス区分は設定されない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

カウンターシャフト・スプロケットには安全ガードが取り付けられていなければならない。



第13章

SP クラスの 仕様

(スーパープロダクション)

01 クラス区分

| クラス | 排気量範囲 | 2ストローク | 4ストローク | 最大限気筒数 | 最大限変速段数 |
|------|-------------|--------|--------|--------|---------|
| 400 | 250を越え400以下 | × | ○ | 4 | 6 |
| 250 | 125を越え250以下 | ○ | × | 2 | 6 |
| 250F | 125を越え250以下 | × | ○ | 4 | 6 |
| 125 | 80を越え125以下 | ○ | ○ | 1 | 6 |
| 80 | 50を越え80以下 | ○ | ○ | 1 | 6 |
| 50 | 50以下 | ○ | ○ | 1 | 6 |

02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両でMFJが公認したもの、又はSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様(第8章)に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のホイールリムの最大幅は下記のとおりとする。

| クラス | 最大幅フロント | 最大幅リヤ |
|-------|---------|--------|
| 400以下 | 3.5インチ | 4.5インチ |

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更又は取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・铸造及び形状
- 5) クラッチの構造 *ただし04.22) 参照
- 6) エンジン内部の部品の材質
- 7) 4ストローク車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比
- 8) 2ストローク車のシリンダー、ピストンによるポートタイミング、排気デバイス、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気システムのシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数
- 11) クランクケースカバー類の材質・铸造および形状

- 12) シリンダー（2サイクル）、シリンダーヘッド（4サイクル）のポートの形状、寸法
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー（リード単体含む）
- 16) (1) キャブレター *ただし04.16) (4)及び08.3) (1)参照
(2) マニホールドタイプのフュエルインジェクションは公認車両に装備されているものに限って認められる。
- 17) フュエルタンク *ただし04.17) 参照
- 22) プライマリーギヤ *ただし04.22) 参照
- 23) ミッション *ただし04.23) 参照
- 27) 4ストローク車のエアクリーナーボックス *ただし04.27) 参照
- 42) リヤホイール
- 43) リヤブレーキ関係 *ただし04.43) 参照
- 44) フロントホイール
- 45) フロントブレーキ関係 *ただし04.45) 参照
- 50) フレームボディ *ただし04.50) 参照
- 51) フロントフォーク *ただし04.51) 参照
- 52) (1) リヤフォーク *ただし04.52) 参照
(2) リヤサスペンション、サスペンションのシステム *ただし04.52) 参照
- 53) ステアリングシステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ
- 54) ストリームライニング（カウリング・ウインドスクリーンを含む全てボディワーク。以下略す。）およびマッドガード（フェンダー）の外観形状（原則として取り外すことも認められない）。ストリームライニングには、いかなるものも追加されてはならない。*ただし04.54) 参照

公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様

04

（第8章）には適合していることを条件とする

（03条で規制された項目の、部分的な規則緩和も含みます）

- 12) 2ストロークエンジンにおいて、デトネーション現象からシリンダーを保護する目的の上面加工及び異金属のリング圧入（リングの断面は5mm×5mm程度）およびシリンダーヘッドへの異金属の挿入。ただし、この加工によりシリンダー・シリンダーヘッドの寸法、形状が変更されてはならない。（※シリンダーヘッドは寸法、形状の確認をする目的で登録制となっている。MFJ登録部品のみ使用できる）
- 16) (1) キャブレターのセッティング（取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲）
(2) エアファンネルの取り付け又は寸法の変更（キャブ本体は除く）
(3) リストリクターの取り付け
リストリクターは5mmの区間に渡って最小断面積を確保するように処置されていなければならない。リストリクターの取り付け位置はキャブレターの混合気の通路内であれば自由とする。
(4) 公認キャブレターの使用（マグネシウム等高価素材のものは公認されない）
- 17) (1) フュエルタンクの給油口は改造変更出来るが位置は変えられない。
(2) フュエルパイプ、フュエルコックの変更
- 18) エキゾーストパイプ、マフラーの変更（但し音量規定に適合していること）

- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 23) ミッションギヤのレシオ (但し公認部品に限られる)
- 27) (1) 2ストローク車両のエアクリーナーボックスの改造または取りはずしは許可される。
 (2) 4ストローク車両のエアクリーナーボックスの改造は、下記条件の基に認められる。
 いずれの場合もクローズドシステム(ブローパイガスを直接大気へ放出しない)を維持していること。
 - ① 公認キャブ取り付けのための改造 (キャブ取り付け部分のみ)
 - ② 口径φ100mm相当 (8,000mm²誤差10%) を最大とするエア吸入口の拡大
 - ③ ボックス内部の切削、取りはずし
 - ④ 公認エアクリーナーボックスへの交換 (改造は認められない)
- (3) ブローパイガスをエアクリーナーボックス内に導入する配管のための加工
- (4) エア吸入口の位置
 - ① エアファンネルの一番低い箇所 (156頁の図A参照) の水平線よりも上に位置すること。
 - ② 吸入口がエアファンネルの一番低い箇所の水平線よりも下にある場合は、吸入口に至る吸入通路の底部の少なくとも一部分が、上記水平線の上に位置することを条件とする。
- (5) プリーザーシステム
 プリーザーシステム(エアクリーナーボックスおよびその他のオイルキャッチタンク)は、ドレンパイプが詰まった場合に、合計で最低1,000ccの排出液を確保できる容量を持つこと。
- 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 48) タイヤは変更出来るがMFJ公認SP用タイヤに限られる。ウエット時はMFJ公認SP用レーシングレインタイヤの使用が認められる。
- 50) (1) フレームボディーの不要なステー類のカット (但しフレームボディーの強度、剛性に全く影響を与えないこと)
 (2) 車両公認時に装着されたステップは、突起物を取り外し車検長の許可を受ければ、その使用が認められる。
- 51) (1) フロントサスペンションのスプリングの変更
 (2) フロントフォークの剛性アップの為のスタビライザーの取り付け
- 52) (1) リヤサスペンションのスプリングの変更
 (2) スタンドブラケットの取り付け、および取り付けのための加工
 (3) リヤスプロケットガードの取り付け、および取り付けのための加工
- 53) ハンドルバーの変更
- 54) (1) カウリングの材質 (但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く)
 (2) ラジエター、オイルクーラー等にエアを取り入れるためのドリルによる穴開けは許可される。(直径10mm以下に限る)
 (3) 雨天時、寒冷時の追加カバー類は、以下の条件で許可される。
 - ① ライダーのナックル部分をカバーするもので、必要最小限のものである。
 - ② ストリームライニング (カウリング) と別構造で、取り外すことができる。
 - ③ ハンドルバーの位置がどこにあっても、カバーとの間に最低20mmの間隔がある。
- (4) ストリームライニング下部は、エンジン破損時にエンジンに使用されるエンジンオイルおよびエンジンクーラント総量の最低半分を保持できる構造とすることが望ましい。
- 55) (1) シートカウルの形状・材質 (但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く)の変更。

(2) マッドガード（フェンダー）は、タイヤのサイズ変更に合わせて位置を変えることが許可される。

- 58) 公認ロードレースではMFJの定める無鉛ガソリンが使用されなくてはならない。
1997年1月1日以降はMFJの定める無鉛に制限され、AVガス、航空機用燃料等は使用できなくなっている。

仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項（147頁）参照。
※大会特別規則により、ガソリンの銘柄および供給方法が指定された場合、これに従わなくてはならない。

- 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること（メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等）をいう。

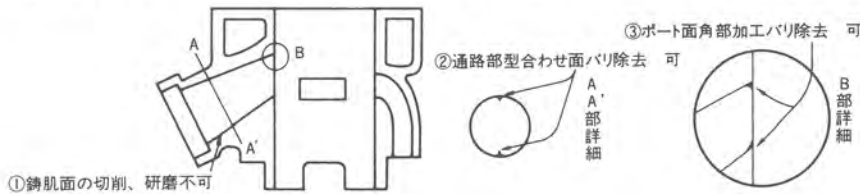
仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう（コンロッドみがき、ピストンみがき、シリンダーヘッドの燃焼室みがき等）2サイクル、4サイクルともにポートについては、バリ取り、カーボン除去に限り認められる。

シリンダーポート、シリンダーヘッドポートにおけるバリとは以下のものを指す。

- ① 型合わせバリ ② シリンダー加工バリ（図参照）

「ポート内のザラつき」は鋳ハダと解釈し、切削、研磨は認められない。

- 60) (1) 不要なステー類（シートレールの一部含む）のカット。
(2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加。



05 重量

SPクラスの最低重量は下記のとおりとする（半乾燥重量）。

| クラス | 最低重量 | クラス | 最低重量 |
|-----|-------|------|-------|
| 400 | 145kg | 250F | 130kg |
| 250 | 115kg | 125 | 95kg |

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 16) (1) キャブレターのサイズ（気筒あたりの最大径）

| クラス | 最大限サイズ | クラス | 最大限サイズ |
|-----|------------|------|------------|
| 400 | 直径32mm相当以下 | 250F | 直径31mm相当以下 |
| 250 | 直径32mm相当以下 | 125 | 直径32mm相当以下 |

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。マニホールドタイプのフュエルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストラクターによって口径を調整しなければならない。

- 17) (1) フュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きのオーバーフロー

- パイプとキャッチタンク（250cc以上）の取り付け。
- (2) 電動式フューエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフューエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け（250cc）。
- 27) (1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け（容量は4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上）。
- (2) 4ストローク車両のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること（156頁図A参照）。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け（ハンドルを握って操作可能な位置に取りつけなければならない）。
- 36) 灯火器のレンズの処置また取り外し。
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類）の取り外し。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部部品のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更に当たって特殊な材料の使用（チタニウム合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料）（カーボンサイレンサーは完全禁止）。
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 48) タイヤへの追加工。
- 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用。
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。（ガソリン・オイル・クーラントの項147頁、ロードレース規則50頁⑫ - 11参照）

08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。
*最低台数は第6章第2条完成車公認（146頁）参照
- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付けで公認発効。発売日が会議日以降の場合は発売日から2ヶ月後の同日付けで公認発効する。
- 3) 車両は以下の条件に適合している事
- (1) キャブレターのサイズ（気筒あたりの最大径）

| クラス | 最大限サイズ | クラス | 最大限サイズ |
|-----|------------|------|------------|
| 400 | 直径32mm相当以下 | 250F | 直径31mm相当以下 |
| 250 | 直径32mm相当以下 | 125 | 直径32mm相当以下 |

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、パタフライシャフト、バルブ、スロットバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。マニホールドタイプのフューエルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストラクターによって口径を調整しなければならない。
- (3) ホイールリム最大幅

| クラス | 最大幅フロント | 最大幅リヤ |
|-------|---------|--------|
| 400以下 | 3.5インチ | 4.5インチ |

(4) 01条のクラス区分に適合していること（排気量内にあること）。

4) 専用コンプリートマシンはそのベース車両が公認車両であることを条件とする。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一のモデル内にあつては、一切の追加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種 of 打刻型式に基づき判断される。)

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

('92年度末を区切りとして、この前後にまたがった組合わせは禁止される)



第14章

耐久レースの追加仕様

(国内の各クラス)

01 クラス区分

一般生産車両をベースとしたSPクラスで行われる。スーパーバイクはFIM規則とする。

02 出場車両

- 1) 一般生産型車両でMFJが公認し、参加しようとする各クラスの仕様に適合していること。
- 2) ロードレースの基本仕様に合致していること。
- 3) 耐久用の仕様を満たしていること。

05 重量

それぞれの定められたスプリントレース用の最低重量に3kgを加えることとする。

灯火類の装備を義務づけられる耐久レースでは、定められたスプリント用の最低重量に5kgを加えられる。

11 耐久仕様

- 1) 車両には確実に作動するスタート装置が装備されていなくてはならない。
- 17) (1) フュエルタンクは給油口を改造することは認められるが、位置は変えられない。
(2) 給油口は最大直径62.5mmとし、2ヶ所取り付けが許可される。
(3) 最大容量を増やすための燃料タンクの改造は許されるが、サイドからの外観形状は変えられない。また、タンクの材質は車両公認時のものから変更できない。
(4) フュエルフィルターキャップをクイックフィルタイプに変更することが許可される。
SP400 18ℓ以下
SP250 18ℓ以下
SP250F 15ℓ以下
(5) 燃料は、マシンにしっかりと固定されたひとつのタンク内に入れられるものとする。シートタンク、および補助タンクは禁止される。すべての競技において給油のために簡単に脱着できる取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- 31) (1) レースが夜間にかかる場合は公認された発電・充電装置を備えてあること。これらはレース期間中及びレース後の車検において正常に作動するものであること。
(2) 灯火器はヘッドライト、ストップランプは正常に作動すること。またエキストラのライトを追加することは認められる。
- 42) ホイールの交換を容易にするための改造は、各々クラスの改造範囲でなければならない。

- 43) ブレーキ廻りのメンテナンス性向上のための改造は、各々のクラスの改造範囲内で行われなければならない。
- 49) ジャッキアップのための装置は一部をマシンに取りつけてもよいが、ストリームライニングから外側にあってはならず、レース期間中確実に固定されていること。これらはマシンの重量に含まれるものとする。



第15章

国内ロードレース GP クラスの仕様

(地方選手権)

車両規則は選手権ごとに下表のように適用される。特に国内ライセンスでは地方選手権とエリア選手権の両方に出場できるので、仕様の違いに注意すること。

選手権ごとの車両規則の適用

| 選手権 | ライセンス区分 | 適用される車両規則 | 参照頁 |
|--------|--------------------------------|------------------------------|-----------|
| 地方選手権 | 国内ライセンス (NAT) | 国内ロードレースGPクラスの仕様 (第15章) | 194頁~197頁 |
| エリア選手権 | 国内ライセンス (NAT) 国際ライセンス (INT) | FIM規則01章GPフォーミュラの技術仕様 | 169頁~183頁 |
| 全日本選手権 | 国際ライセンス (INT) | スーパーバイク規則 (全日本選手権・エリア選手権へ適用) | |

01 クラス区分

| クラス | 排気量範囲 | 最大限気筒数 | 最大限変速段数 |
|-----|-------------|--------|---------|
| 50 | ~50以下 | 1 | 6 |
| 80 | 50を越え 80以下 | 1 | 6 |
| 125 | 100を越え125以下 | 1 | 6 |
| 250 | 175を越え250以下 | 2 | 6 |

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様 (第8章) に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のリム幅 (最大限リム幅) は下記のとおりとする。

| クラス | 最大幅 |
|-----|--------|
| 50 | 3.5インチ |
| 80 | 3.5インチ |
| 125 | 3.5インチ |
| 250 | 5.5インチ |

- 4) 車両のキャブサイズは下記のとおりとする。

| クラス | 最大限サイズ |
|-----|------------|
| 250 | 直径39mm相当以下 |
| 125 | 直径39mm相当以下 |

- (1) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

マニホールドタイプのフェュエルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストラクターによって口径を調整しなければならない。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部分の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) (1) クランクケース *ただし04.4) 参照
(2) 市販レーサーのシリンダー、シリンダーヘッド *ただし10条参照
- 10) バルブ数、ポート数、キャブ数
- 16) キャブレター *ただし04.16) 及び10条参照
- 29) 特殊な高価な材質の使用 (チタニウム合金)
- 50) (1) 市販レーサーのフレームボディ
(2) 一般市販車のフレームボディ *ただし04.50) 参照
- 51) 市販レーサーのフロントフォーク *ただし04.51) 及び10条参照
- 52) 市販レーサーのリアフォーク及びサスペンションとリンク *ただし04.52) 及び10条参照

04 公認車両に対して下記事項の変更出来るが、ロードレース基本仕様(第8章)に適合していることを条件とする(03条で規制された項目の、部分的な規制緩和も含む)

- 4) クランクケースの切削による加工
- 12) (1) シリンダーの切削によるポートタイミングとポートエリアの変更。
(2) シリンダーヘッドの切削による圧縮化、燃焼室の形状変更。
(3) 2ストロークエンジンにおいて、デトネーション現象からシリンダーを保護する目的の上面加工及び異金属のリング圧入(断面は5mm×5mm程度)。ただし、この加工によりシリンダーの寸法、形状が変更されてはならない。
- 16) キャブレターのセッティング(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)。
- 50) (1) フレームボディの補強(ただし一般生産車両に限り認められ、市販レーサーにはできない)
(2) 不要なステー類の取りはずし。ただしフレームボディの強度、剛性に全く影響を与えないこと(ただし一般生産型車両に限り認められ、市販レーサーにはできない)
- 51) フロントサスペンションのスプリングの変更。
- 52) (1) リヤフォークの補強とリヤサスペンションのスプリングの変更。
(2) スタンドブラケットの取り付け、および取り付け目的の加工。
(3) リヤスプロケットガードの取り付け、および取り付けのための加工。
- 58) 公認ロードレースにはMFJの定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。
1997年1月1日以降はMFJの定める無鉛に制限され、AVガス、航空機用燃料等は使用できなくなっている。
仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項(147頁)参照。
※大会特別規則により、ガソリンの供給方法が指定される場合がある。
- 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の

国内ロードレースGPクラスの仕様

公差内で意図的に選定すること（メタル合わせ、タベッククリアランス、点火時期等）

仕上げとは各部品の基準粗度を向上させる作業をいう（ポートみがき、コンロッドみがき、燃焼室みがき等）

- 60) フレームボディとリヤフォークを除き、軽量化の為の改造はできるが、最低重量以上であること。

05 重量

- 1) GPクラスの最低重量は下記のとおりとする（半乾燥重量）。

| クラス | 最低重量 |
|-----|-------|
| 50 | 70kg |
| 80 | 70kg |
| 125 | 70kg |
| 250 | 100kg |

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。

分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

ダミーウエイトによる調整は認められない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造変更が義務付けられる

- 16) (1) キャブレターのサイズ（気筒あたりの最大径）

| クラス | 最大限サイズ |
|-----|------------|
| 250 | 直径39mm相当以下 |
| 125 | 直径39mm相当以下 |

- 17) (1) フュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク（250cc以上）の取り付け。
(2) 電動式フルポンプを装備している場合は転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエーターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け（250cc以上）。
- 27) (1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け（4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザーは250cc以上）。
(2) 4サイクル車両のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け（ハンドルを握って操作可能な位置に）。
- 36) 灯火器のレンズの処理または取り外し。
- 38) 保安部品の取りはずし。
- 56) すべてのオイルドレンボルト及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用（チタニウム合金）
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。（ガソリン・オイル・クーラントの項147頁、ロードレース規則50頁12-11参照）

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または競技専用車両（市販レーサー）として定められた台数以上を出荷し発売日が明確に

3) 車両は以下の条件に適合していること。

(1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

| クラス | 最大限サイズ |
|-----|------------|
| 250 | 直径39mm相当以下 |
| 125 | 直径39mm相当以下 |

(2) 最大限リム幅

| クラス | 最大限 |
|-----|--------|
| 50 | 3.5インチ |
| 80 | 3.5インチ |
| 125 | 3.5インチ |
| 250 | 5.5インチ |

(3) 01条のクラス区分内にあること

09 音量規定

1) FIM方式で測定し105dB/A以下のこと。

2 サイクルは13m/s、4 サイクルは11m/sのピストンスピードとする。

レース終了後は3 dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一のモデル内にあっては一切の追加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互の交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種種の打刻型式に基づき判断される)

2) 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば流用することが出来る。

- (1) ミッションアッセンブリーまたは単品
- (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
- (3) リヤサスペンションユニットおよびリンク関係
- (4) リヤフォーク
- (5) キャブレター
- (6) シリンダー
- (7) シリンダーヘッド

3) 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。

- (1) フロントフォークアッセンブリーまたは部品
- (2) リヤサスペンションユニット、アッセンブリーまたは部品
- (3) リヤフォーク
- (4) キャブレター
- (5) シリンダー
- (6) シリンダーヘッド

注) 部品公認申請条件を満たしていること。

第16章

国内モトクロスの仕様

(国際B級、国内A級、国内B級)

市販レーサーを基本に参加者のコストを抑制、安全性の保持、更に公平性を維持しながらハイレベルなレースを指向し全ての参加者が充足感を得られるレースとすることを基本理念とする。

01 クラス区分

| クラス | エンジン排気量 | | 最多気筒数 | 最多変速段数 |
|-----|-----------|-----------|-------|--------|
| | 2ストローク | 4ストローク | | |
| 80 | ~80cc | — | 1 | 6 |
| 125 | ~125cc | ~250cc | 1 | 6 |
| 250 | 150~250cc | 251~550cc | 1 | 6 |

02 出場車両

国内A級、国内B級

車両は一般市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。

国際B級

車両は市販レーサー、またはオフロード専用車としMFJが公認したもの。

国内A級、国内B級及び国際B級共通項目

車両は国内競技規則及びモトクロス基本仕様（第9章）に示されているすべての条件に適合していること。

03 車重

1) 各クラスの最低車両重量は半乾燥重量で下記のとおり

| | |
|----------|------|
| 80ccクラス | 61kg |
| 125ccクラス | 88kg |
| 250ccクラス | 98kg |

半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。

ダミーウエイトによる車重の調整は認められない。

レース後の計測においては1%の許容誤差が認められる。

04 音量

- 1) 音量の測定はFIM方式で測定する。
測定手順についてはモトクロス基本仕様01.79を参照。
- 2) 2ストローク車は下記エンジン回転数で測定し音量は98dB/A以下でなければならない。

| | |
|-----------------|----------|
| 80ccまで | 8,000rpm |
| 80ccを越え125ccまで | 7,000rpm |
| 125ccを越え250ccまで | 5,000rpm |
| 250ccを越える | 3,000rpm |

- 3) 4ストローク車の音量は94dB/A以下としエンジン回転数は各車のピストンストロークに相当する数値で測定する。

エンジン回転数は平均ピストンスピード11m/秒によって決める。

※全日本選手権に出場する車両（国際A・B級）の音量は98dB/A以下とする。

（全日本開催期間内に限る）

細則 5 全日本モトクロス選手権大会特別規則⑪出場車両（101頁）参照。

05 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一モデル内にあたっては、一切の追加加工無しで単品、またはアッセンブリーで組み付け可能な部品については相互に互換が認められる。
- 2) 下記の部品は同一メーカー同士かつ公認車両であれば流用することが認められる。
 - ①ミッションアッセンブリーまたは単品
 - ②フロントフォークアッセンブリーまたは単品
 - ③リヤサスペンションユニットまたはリンク関係
 - ④リヤフォークアッセンブリーまたは単品
 - ⑤キャブレター
 - ⑥シリンダーコンプリート
 - ⑦シリンダーヘッドコンプリート

06 公認部品

公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。

- 1) ミッションギヤセットまたは単品
- 2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
- 3) リヤサスペンションユニットアッセンブリー
- 4) リヤフォークコンプリート
- 5) キャブレター
- 6) シリンダーコンプリート
- 7) シリンダーヘッドコンプリート
- 8) カムシャフト
- 9) バルブ

注) 部品公認申請条件を満たしていること。

07 燃料

- 1) 燃料はMFJが定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。
詳細は技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項（147頁）を参照。

- 2) 大会特別規則（全日本モトクロス特別規則等）により、ガソリンの銘柄及び供給方法が指定される場合、それに従わなくてはならない。

08 マシン仕様

以下に明記されていない全てのアイテムについては、MFJが公認車両として公認した状態の仕様でなければならない。

1) フレームボディー・リヤサブフレーム

フレームは公認車両として製造メーカーが製作した状態のものでなくてはならない。（以下公認車両の状態でなくてはならない、という）

フレームには製造メーカーの車両識別番号（シャーシ・ナンバー）が刻印されていること。フレームボディーへの追加、削除は一切認めない。

但しサイドスタンドブラケットの削除及びエンジンガードプレートを追加するためのフレームへの改造は認められる。（詳細は項目22）を参照）

ボルトオンタイプのリヤ・サブフレームは同一車両メーカーで且つ公認車両同士であれば相互流用することが出来る。

塗装方法に制限はないが、フレーム、サブフレームへの研磨は許可されない。

2) フロントフォーク

フロントフォークは公認車両の状態でなければならない。但し同一車両メーカーで且つ公認車両同士であればボルトオンタイプに限り相互流用することが出来る。

フォックスプリングは変更してもよい、またスプリングの長さを調整するためのカラーを追加してもよい。

フォーククランプに対するフロントフォークの高さと位置は変更することができる。

3) リヤフォーク（スイングアーム）

リヤフォークは公認車両の状態でなければならない。

チェーンガイド（スリッパを含む）は変更または補強してもよい。

4) リヤサスペンションユニット

リヤサスペンションユニットは公認車両の状態のままでなければならない。

リヤサスペンションのスプリングは変更してもよい。

リヤサスペンションリンケージは公認車両の状態でなければならない。

但し同一車両メーカーで、且つ公認車両同士であればボルトオンタイプに限り相互流用することができる。

5) ホイール／タイヤ

ホイール／タイヤホイールは一般市販型ホイールと交換してもよい、但しホイールの構造及びサイズは公認車両と同じものでなければならない。

タイヤサイズは規制しない。

スプロケット（エンジンスプロケット及びリヤスプロケット）は変更してもよい。

ドライブチェーンはサイズを含め自由とする。但し変更する場合はサイズ及び強度がスタンダードと同等かそれ以上のものでなければならない。

その他詳細についてはモトクロス基本仕様（第9章）を参照。

6) ブレーキ

ブレーキディスクは変更してもよい。（雨天用、ドライ用）

油圧ブレーキラインは変更してもよい。

ブレーキパッドは変更してもよい。

ブレーキディスクカバーは取り付けても、取り外してもよい。

ブレーキレバー及びブレーキペダルは変更してもよい。

その他モトクロス基本仕様を順守する。

7) フットレスト

フットレストは改造して位置を変更してもよい、但しフットレストブラケットの位置は公認車両の状態でなければならない。

フットレストは溶接により補強してもよい。

その他詳細はモトクロス基本仕様を参照。

8) ハンドルバー／ハンドコントロール

ハンドルバー及びハンドルグリップは変更してもよい。

ハンドルバーとハンドコントロールの位置は変更してもよい。

ケーブル（クラッチ、スロットル）は変更してもよい。

クラッチレバーは変更してもよい。

その他詳細についてはモトクロス基本仕様01.33、01.35及び01.37を参照。

9) マッドガード（フェンダー）／サイドカバー（ゼッケンプレートを含む）

マッドガード及びサイドカバーは変更してもよい、但しカーボンファイバーの使用は禁止する。

変更するマッドガード及びサイドカバーの外観形状は基本的に公認車両の状態と同等でなければならない。

その他詳細についてはモトクロス基本仕様01.43を参照。

10) フュエルタンク

フュエルタンクは公認車両のものでなければならない。

フュエルコック及びフュエルラインは変更してもよい。

フュエルベントラインは変更してもよい。

11) シート

シートはライダーに合わせて変更してもよい、また形状も変更しても良い。

12) ラジエーター

ラジエーターは公認車両の状態のものでなければならない。

13) エアーボックス

エアーボックスは公認車両の状態のものでなければならない。

エアーフィルター・エレメントは変更してもよい。

雨天時の防水防泥対策は許可される。

14) キャブレター

キャブレターは公認車両のものを使用しなければならない。

キャブレターのセッティングは取り外し可能なセッティングパーツ（ジェット、ニードル、スロットルバルブ、バルブスプリング等）により使用状況に適したセッティングに変更することが出来る。

15) シリンダーヘッド

シリンダーヘッドは公認車両のものでなければならない。

シリンダーヘッドに材質を追加したり機械加工で取り除いたり、改造してはならない、但し各ポートまたは燃焼室のカーボン除去程度のポーリッシングは認められる。

シリンダーヘッドガスケットは一般市販のものと変更してもよい、ガスケットの厚さも変更してもよい、ガスケットの変更による圧縮比の変更は認められる。

4ストローク車両のバルブはMFJの公認部品との変更は認められる。但し材質は公認車両のものと同じ材質でなければならない。

- 4ストローク車両のバルブスプリングは変更してもよい、但し材質は公認車両のものと同じ材質でなければならない。
- 16) カムシャフト/カムスプロケット (4ストローク車)
カムシャフトはMFJの公認部品との変更は認められる。
カムスプロケットは公認車両のままでなければならない、但しボルトオンタイプのものでタイミングを変更出来るものは、その範囲内でタイミングの変更は許可される。
カムチェーン及びカムチェーンテンショナーの変更はしてもよい。
- 17) クランクシャフト
クランクシャフトは公認車両の状態のものでなければならない。
- 18) コンロッド
コンロッドは公認車両の状態のものでなければならない。
- 19) ピストン
ピストンは公認車両のものでなければならない。
但し4ストローク車の場合はMFJの公認部品との変更は認められる。
- 20) ピストンリング
ピストンリングは公認車両の状態のものでなければならない。
但し4ストローク車の場合はMFJの公認部品との変更は認められる。
- 21) シリンダー
シリンダーは公認車両のままでなければならない。
但し各ポートのバリ取りやカーボン除去程度のポーリッシング (過度な表面磨きによる寸法の変更は認められない) は認められる。
2ストローク車のリードバルブAssyは変更または交換しても良い。
シリンダーヘッドとの合わせ面 (上面) の歪み是正のための表面仕上げは許可される。(歪みの目安は0.05mmを限度とする)
- 22) クランクケースと他のエンジンカバー (ゼネレーターカバー・クラッチカバー)
クランクケースは公認車両の状態でなければならない。
クランクケース/ギヤボックス/クラッチカバー/ゼネレーターカバーを保護する目的で追加としてガードプレートを取りつけることができる。
ガードプレートを追加するためのフレームへの改造は許可される。
ガードプレートの材質にはステンレススチール/アルミニウムプレート/カーボン・ケブラー・コンポジット等を使用することができる。
- 23) トランスミッション/ギヤボックス
トランスミッション/ギヤボックスは公認車両のままでなければならない。
但しMFJ公認部品との変更は認められる。
カウンタースプロケットの変更は許可される。
チェンジレバー (ペダル) は変更してもよい。
キックレバーは変更してもよい。
- 24) クラッチ
クラッチは公認車両の状態のままでなければならない。
但し下記部品は変更することができる。
フリクション・プレート
クラッチ・プレート
クラッチスプリング
4ストローク車のクラッチ・バスケット (アウター)、及びプライマリードライブギヤは

MFJの公認部品と変更することが出来る。

25) イグニッション/エンジンコントロールシステム

イグニッション/エンジンコントロールシステムは公認車両の状態のものでなければならない。

ワイヤーハーネスの変更は許可されない。但し一般公道用車両のワイヤーハーネスは変更しても良い。

スパークプラグは変更してもよい。

ローター（マグネット）によるイナークシャフトの変更はしてもよい。

26) エキゾーストシステム

エキゾーストパイプ及びサイレンサーは変更してもよい。

但し音量規定に適合していること。

その他詳細についてはモトクロス基本仕様01.31を参照。

09 各部の仕上げ調整

各部の仕上げ調整とは、公認車両時の基本仕様を変更することなく各製造メーカーがマニュアルで指示している仕上げ調整をいう。

10 公認車両から変更、交換できるもの

- 1) 潤滑油、ブレーキオイル、サスペンションオイル。
- 2) ガasketとガasketの材質。
- 3) カバー、ケース等のボルト、ナット。
- 4) ペイントの色、デカール。

11 追加の装備

下記装置は基本的に使用禁止される。

- 1) テレメトリー
- 2) その他データ収集装置

第16章 1 補則 国際B級特別規則

01 マシン仕様

1) エアーボックス

エアーボックスは変更、改造してもよい、エアーボックスの材質は自由とする。

2) シリンダーヘッド

シリンダーヘッドは公認車両の状態のものとし、下記改造が許可される。

- ①シリンダーヘッドの各ポート及び燃焼室に関しては通常のチューニングして施されるポーティングまたはポーリッシングは許可される
- ②シリンダーヘッドガスケット面の表面加工は許可される。
- ③圧縮比は変更してもよい（但し2ストローク車の一次圧縮比は変更出来ない）

3) シリンダー

シリンダーは公認車両の状態のものとし、下記改造が許可される。

- ①2ストローク車における通常のチューニングとして施される各ポートのポーティングま

はポーリッシングは許可される。

また、ポーティングによるポートタイミングの変更も許可される。

② シリンダーベース面の表面加工は許可される。

その他の仕様は国内モトクロス仕様に準ずる。

4) エキゾーストシステム

① エキゾーストパイプ及びサイレンサーは変更しても良い。

② チタニウム製の材質を使用しても良い。

第16章 2 補則 ジュニア部門の仕様

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則書及びモトクロス基本仕様（第9章）に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対し、下記04以外の改造、変更は認められない

04 公認車両に対し、下記事項の変更ができるが、モトクロス基本仕様（第9章）に適合していることを条件とする

- 16) キャブレターのセッティングパーツ（ジェット類）
- 18) エキゾーストパイプ、チャンバー、マフラー（音量規制値内のこと）
- 24) チェンジペダル。
- 26) 分離給油関係の取りはずし、または変更。（但し方式の変更は不可）
- 34) ポジション変更目的のコントロールワイヤーの変更
- 40) ドライブチェーン
- 41) ファイナルレシオ
- 46) ブレーキペダル
- 48) タイヤの変更
- 50) ステップ類
- 51) フロントフォークスプリング
- 52) リヤサスペンションスプリング
- 53) ハンドル及びその付属品
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。（メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等）

仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。（ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、燃焼室みがき等）

その他、フロントフォークオイル、ミッションオイル等オイル類は変更できる。

※50cc部門は、大会特別規則による。

第17章

国内トライアルの 仕様

(国内A級、国内B級、ジュニア)

01 クラス区分

排気量によるクラス区分は特に設定しない。

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びトライアル基本仕様（第10章）に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鑄造及び形状
- 10) 吸排気系のバルブ数、ポート数、キャブ数
- 42) リヤホイールスピンドルの材質の変更
- 44) フロントホイールスピンドルの材質の変更

04 公認車両に対して下記事項の変更が出来るが、トライアル基本仕様（第10章）に適合していることを条件とする

- 18) エキゾースト系（ただし音量規定に適合していること。）
- 48) タイヤは変更できるが、MFJ公認トライアルタイヤに限られる。タイヤにはチェーン、スパイクを装備する等、改造を加えてはならない。
- 50) フレームボディの改造
- 58) すべての車両はMFJの定める無鉛ガソリンを使用しなければならない。（AVガス、航空機用燃料等は使用できない）
仕様の詳細はMFJ技術規則第7章ガソリン・オイル・クーラントの項（147頁）参照。
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。
調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。（メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等）
仕上げとは、各部品の基準付法内で表面粗度を向上させる作業をいう。（ポートみがき、

コンロッドみがき、ピストンみがき、シリンダーヘッドの燃焼室みがき等)

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 23) カウンターシャフトスプロケットには、指を挟まないようなカバーをつけること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け。
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類）の取りはずし。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へは、ゆるみ、脱落等によるオイル漏れをおこさないような処置を施すこと。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用。（チタニウム合金）

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は市販レーサー、又は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確となっていること。

| | 国産者 | 輸入車 |
|---------|------|-----|
| 一般生産型車両 | 500台 | 25台 |
| 市販レーサー | 100台 | 5台 |

※詳細はMFJ技術規則第6章公認制度（146頁）参照。

09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し、94dB/A以下のこと。エンジンスピードは5000rpmとする。競技終了後は1dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一モデル内にあつては、一切の追加工なしで単品、またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。

第18章

ロードレース ジュニアクラスの仕様

(国内、フレッシュマン、ジュニア)

01 クラス区分

| カテゴリー | クラス | 排気量範囲 | 最大限気筒数 | 最大限変速段数 |
|---------------------|-----|-----------|--------|---------|
| SP (スーパープロダクション) | 50 | ~50以下 | 1 | 6 |
| | 80 | 50を越え80以下 | 1 | 6 |
| GP | 50 | ~50以下 | 1 | 6 |
| | 80 | 50を越え80以下 | 1 | 6 |

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。または一般生産型車両をベースとしたSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びロードレース基本仕様（第8章）に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) ホイールリム直径が16インチ以上で、80cc以下の二輪車。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、取りはずしをいう)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー（スリーブ及びライナーを含む）、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質、鑄造および形状
- 5) クラッチの構造
- 6) エンジン内部の部品の材質及び寸法形状
- 7) 4ストロークエンジンのバルブの径、バルブのリフト量、バルブタイミング及び圧縮比
- 8) 2ストロークエンジンのシリンダー、ピストンによるポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気システムのシステム、バルブの数、ポートの数、キャブレターの数
- 11) クランクケースカバー類の材質、鑄造、及び形状
- 12) 2ストロークのシリンダー、4ストロークのシリンダーヘッドのポートの寸法、形状
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストンの材質、寸法、形状
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリーの材質、形状、寸法

- 16) キャブレター *ただし04.16) 及び08.3) (1)参照
- 17) フュエルタンク
- 22) プライマリーギヤのレシオ、及び寸法形状 *ただし04.22) 参照
- 23) ミッションギヤのレシオ、及び寸法形状
- 42) リヤホイール
- 43) リヤブレーキ関係 *ただし04.43) 参照
- 44) フロントホイール
- 45) フロントブレーキ関係 *ただし04.45) 参照
- 48) タイヤ *ただし08.3) (4)参照
- 50) フレームボディ *ただし04.50) 参照
- 51) フロントフォーク *ただし04.51) 参照
- 52) リヤフォーク、リヤクッション、リヤクッションリンケージ
- 53) ステアリングステム、トップ、ボトムブリッジ *ただし04.53) 参照
- 54) ストリームライニングの形状 *ただし04.54) 参照

公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様

04 (第8章) には適合していることを条件とする

(03条で規制された項目の、部分的な規則緩和も含まます)

- 16) キャブレターのセッティング、(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲) エアーファンネルの取り付け、または寸法の変更。(キャブ本体を除く)
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 25) スタート装置の取り外し
- 27) エアクリーナーボックスの改造
- 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 51) フロントサスペンションセッティングのためのオイル交換、セット荷重調整
- 53) ステアリングダンパーの取り付け
- 54) カウリングの材質 (但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 55) シートカウルの形状、材質 (但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 59) すべての部品についての調整・仕上げは自由である。
- 60) 不要なステー類のカットは可 (但し軽量化目的の材料は除く)

05 重量

| クラス | 最低限重量 | |
|-----|-------|------|
| SP | 50 | 77kg |
| | 80 | 79kg |
| GP | 50 | 77kg |
| | 80 | 79kg |

最低限重量は半乾燥重量とする。
半乾燥重量とは走行可能状態からガソリンを抜いた値とする。
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合 改造変更が義務づけられる

- 16). (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

| クラス | 最大限サイズ |
|------------|------------|
| 50 (SP、GP) | 直径18mm相当以下 |
| 80 (SP、GP) | 直径28mm相当以下 |

- (2) 規制を越えるキャブレター装着車は公認キャブで、かつ規制以下のキャブレターに交換すること。
- 17) 電動式フュエルポンプを装着している車両は、転倒時に自動的に停止する装置を備えていること。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc以上)
- 27) (1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け (4ストローク車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザー250cc以上)
- (2) 4ストローク車のキャッチタンクからのブローパイガスはエンジンに再吸入させること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置にとりつけなくてはならない。)
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し。
- 38) 保安部品の取りはずし (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類。)
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更にあたって特殊な材料の使用 (チタン合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料)
(カーボンサイレンサーも完全禁止)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしての使用。
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。(ガソリン・オイル・クーラントの項147頁参照)

08 MFJへの公認手続、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または市販レーサーとして定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

| | 国産車 | 輸入車 |
|---------|------|-----|
| 一般生産型車両 | 500台 | 25台 |
| 市販レーサー | 25台 | 10台 |

* SPコンプリート車は、ベースとなる車両が公認を取得していること。台数の制限はない。

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付きで公認発効する。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付きで公認発効とする。但し市販レーサー、SPコンプリート車は各々1ヵ月後とする。
- 3) 申請する車両は以下の仕様に適合していることを条件とする。

- (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

| クラス | 最大限サイズ |
|------------|------------|
| 50 (SP、GP) | 直径18mm相当以下 |
| 80 (SP、GP) | 直径28mm相当以下 |

注) キャブレターのサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

- (2) ホイールリムのサイズ

ロードレースジュニアの仕様

直径は16インチ以上であること。

| クラス | 最大幅フロント | 最大幅フロント |
|------------|---------|---------|
| 50 (SP、GP) | 2.15インチ | 2.75インチ |
| 80 (SP、GP) | 2.15インチ | 2.75インチ |

- (3) タイヤはメーカーのラインで装着されている50/80ccクラスの一般公道用タイヤで、上記リムサイズに適合しているもの。
- (4) 01条のクラス区分内にあること。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。

レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあるは一切の追加加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められるが、'93年1月1日以降の公認車両同士に限られる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機構の打刻型式に基づき判断される。)



ドラッグレースの 仕様

ドラッグレースの基本仕様

01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金のナットとボルトの使用は許可される。

03 エギゾースト・パイプ

エギゾースト・パイプはリヤホイールの後ろに伸びてはならない。またライダー、燃料タンク、およびタイヤから離れて放出されるようにする。フレキシブル・パイプは許可されない。

04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm。80ccを越えるマシンは最低450mmとする。500ccを越えるマシンは最低560mmとする。
- 2) ハンドルバーの最低幅はグリップ外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。
- 3) ハンドルバーの先端が露出される場合は固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 4) ハンドルバーは、標準仕様の位置でなければならない。溶接された鋼鉄またはクロモリ鋼鉄延長ハンドルバーは認める。但し、標準ハンドルバーの位置より100mm以上越えてはならない。
- 5) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側に対する回転角度は最低各15°以上なくてはならない。
- 6) ストリームライニングがある場合、ハンドルバーの位置がどこにあっても、フロント・ホイールがストリームライニングに接触してはならない。
- 7) ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっぱい切ってもハンドルバー（レバーを含む）と燃料タンクの間、最低30mmの間隔があるように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取りつけなくてはならない。
- 8) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように丸みをつけて製作しなくてはならない。

- 9) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部が丸くなっていなければならない。
- 2) ピボット点からレバーの端（ボール状の先端）まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロールレバー（ハンドルおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーがフットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がったり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。
- 2) オートマチック・クラッチを用いるモーターサイクルには、バーンアウトの後でアシスタントがマシンをスターティングラインに押して戻る際に、スロットルが開くのを防ぐための安全装置が装着されていなければならない（ツイストグリップ・スリーブとハンドルバーにピンを介入し、目立った飾りふさを装着すれば十分）。

07 フットレスト

- 1) フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には半径最低8mmの、一体構造のプロテクションが設けられている事が望ましい。
- 2) もしフットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を半径最低8mm以上の球形に丸められていることが望ましい。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも100mm以上、上に設けられていなくてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線よりも380mm以上前になくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作が行いやすい位置にシなくてはならない。

08 ホイール

モーターサイクルにはフロントにモーターサイクル用に製造されたホイールを装備していなければならない。リヤ・ホイールリムの幅はリヤ・タイヤの接地面よりも50mm以上狭くなければならない。

09 タイヤおよびチューブ

タイヤはスリック・タイプまたはトレッドの深さが最低2mmのものとする。トップスピードが200km/hを越えるモーターサイクルの場合、フロント・タイヤは最低“V”レートあるいはロードレース・タイプとする。リヤ・タイヤのチューブは天然ゴム製のレーシングタイプとする。

10 ブレーキ

- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつ、ホイールと同心的に独立して作動する有効なブレーキが装備されていなくてはならない。

- 2) ディスクブレーキの最低直径は175mm、ドラムブレーキの最低直径は、150mmとする。500cc以上のモーターサイクルはフロント及びリヤにディスクブレーキを装備していなければならない。フロントシングルディスクは、最低254mm (10インチ) × 5mm、フロントダブルディスクは最低203mm (8インチ) × 5mm。フロントシングルディスクの場合、リヤディスクは、最低254mm (10インチ) × 5mm。フロントダブルディスクの場合、リヤディスクは、最低216mm (8 1/2インチ) × 5mm。ラインロックの使用を認める。

11 フロントフォーク

フロントフォークは油圧タイプとする。フォーク・チューブはトップ・フォーク・クラウンより30mm以上突出してはならない。最低ストロークは、50mmとする。フォークがボトムした状態で、ホイール以外のいかなる部分も路面に接地してはならない。

トップ・フォーク・チューブの最低直径は：

350ccを越え750cc以下 28mm

750ccを越え 32mm

12 最低地上高

ライダーがポジションにつき、正当な空気圧 (リヤタイヤ4 PSI (0.3気圧)) で、フォークが完全に圧縮された状態での最低地上高は50mmとする。垂直位置からモーターサイクルを左右に12° づつ傾けることが可能でなければならない。これはホイール以外のいかなる部分も路面に接地しない状態で達成されなければならない。

13 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 2) フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100° に渡ってカバーしていなくてはならない。この部分において、下記の角度を守っていればホイール自体がカバーされてもよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45° と60° の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20° を越えてはならない。
- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120° に渡ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は120° を越えてはならない。
- 4) ストリームライニングがある場合には、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの外側の垂直接線にまで達している場合には (許容誤差-50mm)、リヤ・マッドガードを装着する必要は無い。

14 ストリームライニング

- 1) ストリームライニングは、ライダーがストリームライニングのパーツを取り外さないでマシンに乗り降り出来るようにできていなければならない。また、ライダーがモーターサイクルを操作するのを妨げてはならない。

15 シート

シートはライダーに安全なライディング・ポジションを提供するように作られ、危険なほど不快適であってはならない。最低シート高は500mm（ライダーが乗車してリヤタイヤ0.3気圧において）。

16 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質でできていなければならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 2) 水平面から50mm以上カーブしていないプレートは、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 3) ナンバープレートはモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなくてはならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしなくてはならない。ウイリーバーが付いている車両はウイリーバーに付けることが望ましい。
- 4) 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディーまたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 5) 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に地の色同様につや消しで書かなければならない。

数字の最低寸法は下記のとおりとする。

| | |
|----------|-------|
| 数字の高さ | 140mm |
| 数字の幅 | 80mm |
| ストローク幅 | 25mm |
| 数字間のスペース | 15mm |

- 6) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線
- 7) 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 8) すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長によりレース参加の許可を得ることができない。
- 9) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。

| | | |
|-------|-----------------|--------|
| PB | (プロストックバイク) | 黄地に黒文字 |
| SB-EX | (ストックバイクエキスパート) | 白地に黒文字 |
| SB | (ストックバイク) | 白地に黒文字 |

※その他の種目は主催者の定める大会特別規則による。

17 ウイリーバー

ウイリーバーの装着が強く勧められる。ウイリーバーの長さは、フロントアクスルセンターからウイリーバーアクスルセンターまで最大3,300mm以内である事。金属製のウイリーバー車輪は禁止する。

18 プロテクティブ・カバー

すべてのオープン・トランスミッションにはカバーが設けられ、回転するパーツとの接触が保護される。機械式駆動のコンプレッサーには“ポップ・オフ・バルブ” インテーク・マニフォールドへのゴム製コネクション、または爆発を防ぐための他のデバイスが設けられていなければならない。

19 フュエルタンク及びオイルタンク

- 1) 燃料タンクはフレームに安全に固定されていなければならない。
- 2) すべてのオイルドレンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなくてはならない。オイル通路に進入する外部オイル・フィルター及びオイル圧力ラインのスクリューやボルトには、安全にワイヤーロックされなければならない。
- 3) 燃料およびオイル・フィルター・キャップ
燃料およびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で濡れないようになっていなくてはならない。さらにこれらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

20 燃料システム

すべてのモーターサイクルには、機械的な燃料シャット・オフ・バルブが装着されていなければならない。ポンプによって駆動されるフュエル・インジェクション・システムにはエアロクイップまたは同様のハイプレッシャー・チューブがもうけられていなければならない。イグニッションによって停止できないエンジンの場合、すぐに作動する燃料シャット・オフ・バルブがもうけられていなければならない。これはライダーが両手でハンドルを握った状態で操作できなければならない。また、これは、ライダーがモーターサイクルを離れた際にエンジンへの燃料の供給を止めるような構造（どの方向においても作動するように）になっていなければならない。シャット・オフ・バルブはエンジンスタート時に延長された状態で1m以内の長さのコードによって、常にライダーに連結されなくてはならない。

21 キャブレターとフュエル・インジェクション

キャブレターとフュエル・インジェクター・インレットは、バックファイヤーが生じた際に、ライダーが怪我をしないような位置に置かれるか、覆われていなければならない。フュエル・インジェクションには、デュアル・ケーブルのポジティブ・リターン・スロットル（または2本のリターン・スプリング）が必要とされる。

22 キル・スイッチ

モーターサイクルには、ライダーがモーターサイクルのコントロールを失った時に、エンジンへのすべての電源をカットする電気式接触が装備されていなければならない。これはエンジン始動時には常にライダーにコネクトされていなければならない。

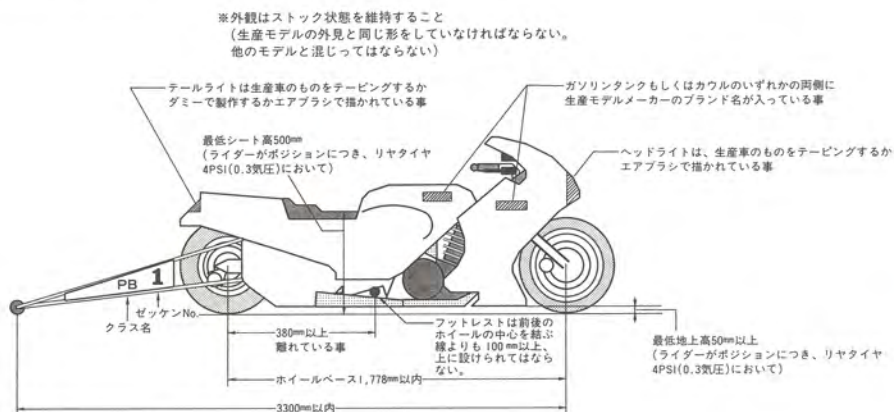
23 オイル・キャッチ・タンク

- 1) オイル・ブリーザー・パイプが装着されている場合、排出口はキャッチ・タンクに放出するようになっていなければならない。（下記の物も安全なようにワイヤー・ロックされてい

- なければならない。リヤ・スプロケット、フロント・アクスル、リヤ・アクスル、ブレーキ・キャリパーのピン、ブレーキ・ディスク、フットブレーキのマスターシリンダー。)
- 2) オイルキャッチタンクはアクシデント発生時でも容易に破損したり脱落せず、かつ高温に耐えられる材質であること。
- 3) キャッチタンクに溜まったオイルはエンジンにもどるリターンパイプを取り付けることが望ましい。……ロードレース基本仕様の図A (156頁参照)。

24 チェーン

チェーンはマスターリンクのないクローズド・タイプとする。またはマスターリンクがある場合には安全にワイヤーロックされなくてはならない。

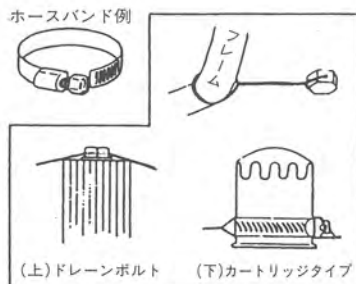


ワイヤーロック

- 1) 必ず行う部分
- ① オイルドレーンボルト
 - ② 外部オイルフィルター
 - ③ 圧カライン系
 - ④ ホイールスピンドルエンド

2) 推奨される部分

上記以外の回転部分を固定するボルト類



PB (プロストックバイク) クラスの 車両規制 (A級)

01 クラス区分

定義：このクラスはストック (生産モデル) の外観で自然吸気によりガソリンを燃焼するモーターサイクル用のクラスである。

| クラス | ベースエンジン | 最大限排気量 | 最大限気筒数 | 最大限変速数 |
|-------------------|----------|--------------------------|--------|--------|
| プロストック バイク(PB) | ハーレーVツイン | 2,294.18cc (140立方インチ) | 2 | 6 |
| | 2バルブエンジン | 1,507.60cc (92立方インチ) | 6 | 6 |
| | 4バルブエンジン | 1,294.57cc (79立方インチ) | 6 | 6 |

03 車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数

04 下記部品は各項の制限内で改造出来る（ドラッグレースの基本仕様に合致すること）

- 42) (2) リヤホイールは交換出来るが下記制限内とする。
最低直径 15インチ 最大直径 18インチ
- 44) (1) フロントホイールは交換出来るが下記制限内とする。
最低直径 16インチ 最大直径 19インチ
- 50) (1) フレームボディ
修正・変更は認められる。但しキャスター角は最大で40°、シート高は最低50cm（ライダーがポジションにつきリヤタイヤ4 PSI（0.3気圧）において。）ホイールベースは70インチ（1778mm）以内
- 51) (1) フロントサスペンション
フロントサスペンションユニットは交換出来る。ただしサスペンションストロークは最低35mm（O.E.M.タイプ）。アフターマーケット製の場合、最低直径34mm。サスペンションストロークは38mm。フロントフォークの延長は4インチ（約10cm）以内。
- 52) (1) リヤサスペンション
リヤサスペンションの改造・変更（リジット化含む）は認められる。
- 54) カウリング
 - (1) オートバイ用として生産されていなければならない。生産モデルの外見と同じ形をしていなければならない。他のモデルと混じってはならない。
 - (2) パーツの変更は認められるが生産時の形状を維持しなければならない。カウルの両側にブランド名が入っていること。
 - (3) カウルの下部はエキゾーストパイプのクリアランスのために修正及び取り除いてもよい。
 - (4) カウルの外側にエアインテークホースの取り付けは認められない。
 - (5) ヘッドライト、テールライトはエアブラシ等で描かれていること。
- 55) シート・シートカウル
改造変更出来るがライダーが後ろに滑るのを防ぐステップがついていることが望ましい。

05 重量

重量

PBクラスの最低重量は下記とする。

ライダーが全装備で乗車した状態で、249.47kg（550ポンド）。

06 車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 17) 電動式フュエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 27) (1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け（4サイクル車は500cc以上、2サイクル車は250cc以上）
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 40) チェーンガード
リヤアクスルを越えてチェーンの上部をカバーすること。チェーンガードは鋼鉄製または厚さ3.2mm以上のアルミ製のものに限る。固定は3カ所以上とする。
- 53) ステアリング・ダンパーの取り付け
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。
- 61) ウイリーバーの取り付け
フロントアクセルセンターからウイリーバーアクセルセンターまでは最大3,300mm以内である事。金属製のウイリーバー車輪は禁止する。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 23) シフトは手動またはエアシフターとし、コンピュータによるシフトチェンジは禁止する。
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) 燃料はガソリンとし、アルコール等の燃料は禁止する。燃料及び添加剤等のいかなる手段でも亜酸化窒素、一酸化二窒素の使用は一切認めない。輸入レーシングガソリンの使用は事前に申告し許可を得た場合以外は使用を認めない。
- 59) 情報収集以外の目的でのコンピューターの使用。
- 60) キック、電気スターター以外のエンジン始動（押しがけ等）。

第20章

ミニバイクの 仕様

01 クラス区分

| クラス | 排気量範囲 | 2ストローク | 4ストローク | 最大限気筒数 | 最大限変速段数 |
|----------------------|---------------|--------|--------|--------|---------|
| N5 (スクーター50cc一部改造) | 50cc以下 | ○ | ○ | 1 | 6 |
| S5 (スポーツバイク50cc一部改造) | 50cc以下 | ○ | ○ | 1 | 6 |
| S8 (スポーツバイク80cc一部改造) | 50ccを越え80cc以下 | ○ | ○ | 1 | 6 |

02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両で、MFJが公認したもの。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更または取り外しをいう)

- 1) エンジンの型式。
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク。
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鋳造及び形状。
- 5) クラッチの構造(但しディスクの材質とスプリングは除く)―04.22参照。
- 6) エンジン内部の部品の材質。
- 7) 4ストローク車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比。
- 8) 2ストローク車のシリンダーピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比。
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き。
- 10) 吸入、排気システムのシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数。
- 11) クランクケースカバー類の材質・鋳造および、形状。
- 12) シリンダー、シリンダーヘッド。
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン。
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー。
- 16) キャブレター(メインジェットのみ変更可)。
- 17) フュエルタンク。
- 22) プライマリーギヤ。
- 23) ミッション。

- 27) ブリーザーシステム。
- 42) リヤホイール。
- 43) リヤブレーキ関係。
- 44) フロントホイール。
- 45) フロントブレーキ関係。
- 50) フレームボディ。
- 51) フロントフォーク。
- 52) (1) リヤフォーク。
(2) リヤサスペンション。
- 53) ステアリングシステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ。
- 54) ストリームライニング。

04 公認車両に対して下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第8章)に適合していることを条件とする

- 16) (1) キャブレターのメインジェットの変更は可。
(2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加ができる。
- 30) イグニッションコイル、点火ユニット、リミッターの改造・変更は可。
- 31) プラグの変更は可。
- 36) スピードメーターの取りはずしは可。
- 40) チェーンの変更は可。
- 41) スプロケットの変更は可。
- 48) タイヤ
一般市販され通常ルートで購入出来るもののみ交換は可。ただし、スリックタイヤ(インターメディアエイト含む)および摩耗限度を越えたタイヤの使用は禁止。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合 改造変更が義務づけられる

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け(ハンドルを握って操作可能な位置に)
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 38) 保安部品(スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類)の取り外し
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更に当たって特殊な材料の使用(チタニウム合金、カーボン強化繊維等の高価な材料)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) ガソリンは通常のスタンドで購入できるか各サーキットのスタンドで購入できるMFJの定める無鉛ガスに限る。

08 MFJへの公認手続・条件

1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

| | | 国産車 | 輸入車 |
|---------|---------|------|-----|
| 一般生産型車両 | 250cc以下 | 500台 | 25台 |

2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付けで公認発効。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付けで公認発効する。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあつては一切の追加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。
('93年1月1日以降の公認車両同士に限られる)

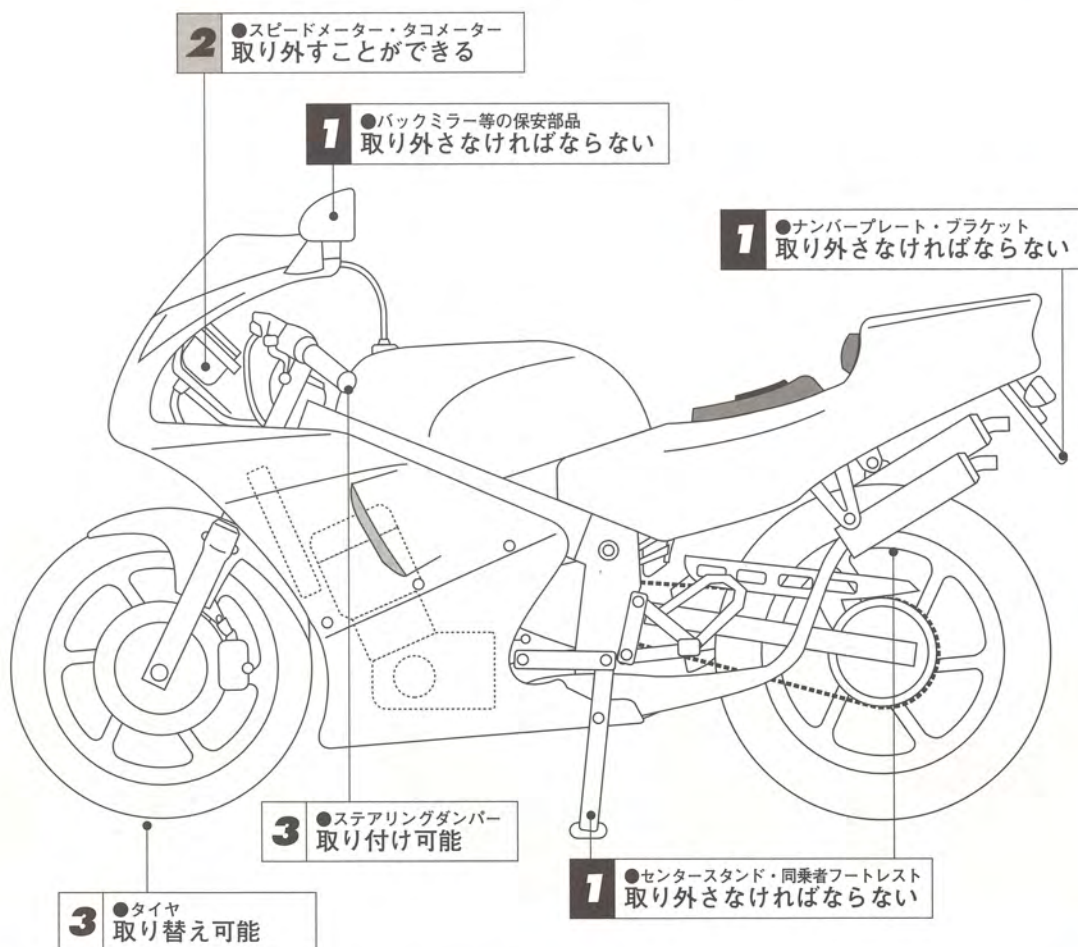


第21章

ストックバイククラス の仕様

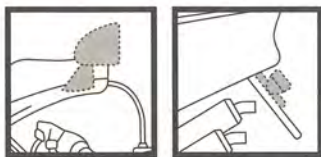
(ST250・ST400)

マシンにはほとんど手を加えず、気軽に低コストで参加できるクラスとして、1998シーズンから新設されたのがストックバイククラス。新設当初から全国各サーキットで開催され、好評を得ているこのクラスだが、改造範囲が狭いだけにマシン作りもそれまでと勝手が違うようだ。ここでは、ストックバイクの仕様についてわかりやすい説明を行なうと同時に詳細規定、判例も収録した。ストックバイクの仕様についてのポイントは、ここに「書いてないことはしないこと」だ。ストックバイクで手軽にレースを楽しんではいかが？

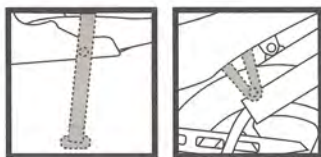


オイルドレンボルトは必ずワイヤーロックすること!!

7 取り外さなければならない部品



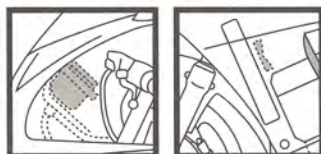
- ・ライト/ウィンカー/リフレクター
 - ・バックミラー
 - ・ナンバープレートとブラケット
- ※但し、ナンバープレートとブラケットが一体型のものは、ブラケットを取り外すことができない。



- ・セーフティバー/センタースタンド/サイドスタンド
- ・同乗者用フットレスト/グラブレール
- ・その他車検時に安全上取り外しを指示された部品

★詳しくはP224～P230の仕様規定を良く読むこと。

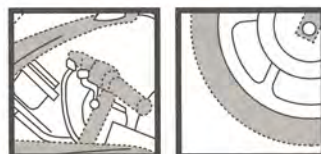
2 取り外すことができる部品



- ・計器類と計器用ブラケットおよび関連ケーブル
- ・ホーン
- ・タコメーター
- ・スピードメーター
- ・ラジエーターファンと配線
- ・2サイクル分離給油用のオイルポンプとオイルタンクの取り外しと、取り外し後のカバー類の取り付け

★詳しくはP224～P230の仕様規定を良く読むこと。

3 取付・取替等で特に気を付ける項目



- ・ステアリングダンパーの取り付けは、取り付けるための加工を含めて可能。
- ・タイヤは一般公道用の銘柄指定タイヤのみ使用可能で、レーシングスリック、レーシングレインタイヤは天候に関わらず使用不可。違反した場合は失格となる。
- ・タイヤは1998～1999年までと2000年～2001年までで銘柄指定タイヤが変更されるので要注意。
- ・スクリーン、カウリング、シートカウルは安価なアフターマーケットのものに交換できるが、外観が同じものに限られる。
- ・フロントサスペンションおよびリアサスペンションのスプリング変更、車高調整を目的としたフロントフォークの上下取り付け位置の調整、サスペンションフルードの変更は可能。サスペンションについて、これら以外は一切改造も変更もできない。

★詳しくはP224～P230の仕様規定を良く読むこと。

ストックバイククラスの仕様

ストックバイク規則は公道用一般車両をベースに最小限の改造とコストで性能を参加しやすいレベルに抑えることを基本理念とする。

用語の定義：改造＝もとの部品を使って切削・追加・研磨を行う行為

変更＝もとの部品から他の部品に置き換える行為

1 出場車両

- 1) ストックバイククラスに出場する車両は一般生産型モーターサイクルでMFJの公認車両でなければならない。
- 2) 公認車両のリストは巻末に記載する。

2 排気量区分

50ccクラス ～50cc 125ccクラス 81cc～125cc 400ccクラス 251cc～400cc
80ccクラス 51cc～80cc 250ccクラス 126cc～250cc

3 燃料／オイル

- 1) 使用する燃料はMFJが規定する無鉛ガソリンで、当該サーキットから購入できるものを使用しなければならない。
- 2) オイルは一般に市販されているものから選択しなければならない。
- 3) 上記以外の起爆剤・添加剤は使用してはならない。

4 仕様

- 1) レースのために行わなければならない変更
 - (1) 取り外さなければならない部品
 - ① ライト／ウインカー／リフレクター
 - ② バックミラー
 - ③ ナンバープレートとブラケット
 - ④ セーフティーバー／センタースタンド／サイドスタンド
 - ⑤ 同乗者用フットレスト／グラブレール
 - ⑥ その他車検時に安全上取り外しを指示された部品
 - (2) 車両公認時の状態で下記の各項目に適合していない時は、改造・変更が義務付けられる。特にガソリン／オイル等をコースに撒き散らすことは事故原因になるのでその為の対策を主眼とする。
 - ① アクセルは手で握っていないときは、自動的に閉じるようになっていること。
 - ② キルスイッチをハンドルを握ったまま操作できる位置に取り付けること。
 - ③ 電動式フューエルポンプがついている車両は、転倒した時にポンプが自動的に停止するための回路遮断システムを備えていなければならない。
 - ④ 4ストローク車両はクローズドブリーザーシステムになっていなければならない。すなわち、オイルブリーザーラインはエアクリーナーボックスに連結され、これに排出する構造となっていること。エアクリーナーボックスの下部に排出穴があいている場合は、オイルを受けられるように塞がなければならない。(230頁図を参照)
 - ⑤ オイルブリーザーパイプが装着されている車両には、オイルキャッチタンクを取り付けなければならない。

最低の容量：2ストローク：250cc 4ストローク：500cc

- ⑥ オイルドレーンボルト及び供給パイプ
 エンジンのオイルドレーンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の位置に固定しなければならない。
 オイルパンに進入する外部オイルフィルターのスクリューやボルトは安全にワイヤーロックされていなければならない。(230頁図参照)
- ⑦ 燃料タンクブリーザーパイプがついている車両は、ノンリターンバルブを燃料タンクブリーザーパイプに取り付けなくてはならない。これは、適切な材質でできた最低容量250ccのキャッチタンクに放出されるようになっていなくてはならない。
- ⑧ 燃料タンクフィルターキャップ及びオイルフィルターキャップは閉じた状態で漏れないようになっていなくてはならない。さらに、これらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。
- ⑨ ラジエターオーバーフローパイプがついている車両は、最低重量250cc以上のキャッチタンクを取り付けなければならない。
- (3) ナンバープレートの取り付け
- ① ナンバープレートは、フロントと両サイドの3枚を取り付けなければならない。
- ② ナンバープレートの地色は白で、文字は黒色。
- ③ プレート・文字サイズは図(230頁)を参照のこと。
- 2) レースの為にチューニングが許可される部分
 記載されている事以外は一切改造・変更はできない。
- (1) フレーム
- ① 追加が認められるパーツの取り付けを目的としたステーの追加。
- ② リヤサブフレームにボルトオンされたアクセサリーの取り外し。
- ③ ステアリングダンパーの取り付けおよび取り付け目的のためのフレーム加工
- (2) リヤフォーク(リヤスイングアーム)
- ① スタンドブラケットの取り付け、および取り付け目的の加工。
- ② リヤスプロケットガードの取り付け、および取り付け目的の加工。
- (3) サスペンション
- ① フロントサスペンションのスプリングの変更。
- ② 車高調整を目的としたフロントフォークの上下の取り付け位置の調整。
- ③ リヤサスペンションのスプリングの変更。
- ④ サスペンションフルードの変更。
- (4) ブレーキ
- ① 前後ブレーキパッドとホースの変更。
- ② ブレーキフルードの変更。
- (5) タイヤ・ホイール
- ① スピードメーター駆動部の取り外しとスペーサーへの交換。
- ② タイヤ
- a. タイヤは変更できるが、一般公道用のタイヤに限られる。レース用のスリックタイヤ/レーシングレインは天候に関わらず使用できない。
- b. タイヤは入門者クラスとして公平を期すため、排気量クラスごとに銘柄と種類を限定する。当該銘柄で使用できるタイヤは下記に限定される。

| 年度 | クラス | メーカー | パターン |
|------------|-------|-------|-----------------------|
| 2000~2001年 | ST250 | 井上ゴム | PROTECH Sp10 または RX01 |
| | ST400 | ミシュラン | MACADAM90X |

- c. タイヤの追加工（再グルーピング等）は禁止される。
 - d. 磨耗限度を超えたタイヤは使用できない（残溝はインジケーターによる）。
 - e. 1レースのタイヤの使用本数は、前後とも1本づつとする。
 - f. タイヤウォーマーの使用は禁止する。
 - g. 上位入賞車両は再車検にて詳細検査を行い、登録タイヤと異っていた場合は失格とする。
 - h. 原則的には出荷時のタイヤサイズが望ましい。
- (6) フートレスト・チェンジレバー・ブレーキペダル
- フートレストは改造・変更されてもよいが、下記条件を満たさなければならない。ただし車両公認時から改造・変更しない場合は突起物を取り外し、車検長の許可を得た場合は下記仕様を満たさなくても使用できる。
- ① フートレスト／フートコントロールの位置は移動してもよいが、ブラケットは元の取り付け位置に固定しなければならない。
 - ② フートレストの先端は、最低半径8mmの中空でない一体構造の球状になっていなければならない。
 - ③ 折りたたみ式の場合は、自動的に戻るようになっていなければならない。
 - ④ スチール製フートレストで折りたたみ式でない場合、その先端にはプラスチック、テフロンあるいはそれと同等の材質でできた先端（プラグ）が固定されていなくてはならない。（最低半径8mm）
- (7) ハンドルバー・レバー類
- ① ハンドルバー、ブレーキ／クラッチレバー及びブレーキ／クラッチケーブル／スロットルケーブルの変更。ステアリングパイプ（ハンドルバー）取り付け方式、タイプは車両公認時のものから変更できないが、取り付け位置調整、角度調整は認められる。
 - ② ハンドルバーの末端が露出している場合は、固形物質を詰めるかゴムでカバーされていなければならない。
 - ③ ハンドルバーの最低幅は80ccまでは400mm、81cc以上は450mm。
 - ④ ブレーキ／クラッチレバーの先端はボール状でなくてはならない（最低直径19mm）。このボールを平たくすることができるが、端部は丸くなっていなければならない（最低の厚み14mm）。
- (8) カウリング
- ① カウリングとウインドスクリーンはアフターマーケットのものに変更することができる。ただし、外観はノーマルと同じでなければならない。
 - a. スクリーンエッジは丸く加工する。
 - b. カーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材のものは使用できない。
 - ② 取り付けブラケットの改造・変更。
 - ③ 露出しているエッジは、全て丸められていなければならない。
 - ④ 大会期間中に破損した場合の補修と取り外し。
- (9) シート
- オプションのシングルシートまたはアフターマーケットのものに変更できる。ただし、外観はノーマルと同じでなければならず、カーボン／ケブラー強化繊維等の高価素材のものは使用できない。
- (10) シリンダー
- ① 4ストロークのシリンダーヘッドポートのバリ取りとカーボン除去。バリとは鋳型の合わせ面に生ずる「型合わせバリ」を指す。（図参照）

※ポート内のザラ付きは鋳ハダと解釈し、切削、研磨は認められない。

② 2ストロークのシリンダーヘッドとポートのカーボン除去。

(11) クラッチ

・クラッチスプリングの変更。

(12) キャブレター

・ジェットとニードルの変更。

(13) 燃料供給

① フューエルラインの変更。

② フューエルベントラインの変更。

③ フューエルフィルターを追加・変更。

(14) ワイヤハーネス

・不要なワイヤハーネスのカット。

(15) スプロケット/チェーン

・カウンターシャフトスプロケット、リヤホイールスプロケット、チェーンの変更。ただし、チェーンは公認時のサイズとする。

(16) エンジンレプリミッター/スピードリミッター

・エンジンレプリミッター/スピードリミッターの変更。

(17) 点火時期/スパークプラグ

・スパークプラグ、プラグキャップの変更。ハイテンションコードの変更。

・点火時期の調整。

(18) ボルト・ナット類

① ボルト・ナット類の変更。ただし、同じ材質でなければならない。

② ボルト・ナット類はセーフティーワイヤーをつける為に孔を開けてもよい。しかし、軽量化する改造は認められない。

③ カウルボルト・ナット類はクイックタイプに変更できる。

(19) 取り外すことができる部品

① 計器類と計器用ブラケット及び関連ケーブル。

② ホーン

③ ツールボックス

④ タコメーター

⑤ スピードメーター

⑥ ラジエターファンと配線

⑦ 2サイクル分離給油用のオイルポンプとオイルタンクの取り外しと、取り外し後のカバー類の取り付け。

⑧ リヤフェンダーと結合していない場合のチェーンガード。

⑨ リヤサブフレームにボルトオンされたアクセサリ。

⑩ エアクリーターエレメント

⑪ 別体(ボルトオン)のライセンスプレート

⑫ スターターキックアーム

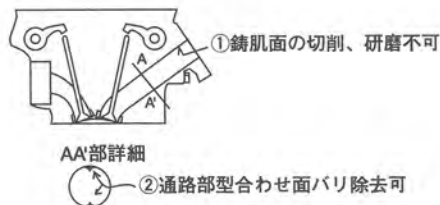
(20) ノーマルマフラーに対する曲げによる接地対策は許可される(切り取り、追加は許可されない)。また、取り付けのためのブラケットの変更も許可される。

3) その他の制限

(1) チタン合金部品の使用は禁止される。

(2) 買い取り制度

型合わせバリ



ストックバイククラスの仕様

1大会にて6位以内に入賞した車両は、購入希望者がいた場合下記価格にて販売しなければならない。売買によって発生する税金は、この金額に含まれない。

80ccクラス以下 50万円 250ccクラス 100万円

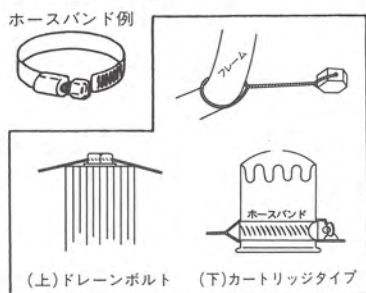
125ccクラス 70万円 400ccクラス 100万円

- ① 購入希望者は6位以内に入賞した車両が車両保管されている時間内に限り、購入申請することができる。
- ② 購入申請は主催者指定の用紙に必要事項を記入し主催者に提出すること。
- ③ 購入希望者が複数の場合、主催者により抽選が行われ、決定される。
- ④ 購入者が決定した時点で、購入者は購入申請日に以下のものをそろえて主催者へ提出しなければならない。
 - ・ 購入申請用紙 ・ 購入者の運転免許証のコピー
 - ・ 購入申請保証金50,000円（購入申請保証金は購入代金の一部とされる）。
- ⑤ 購入者が決定した時点より、主催者は車両を売買契約日まで保管しなければならない。
- ⑥ 売買契約日は、購入申請日から起算して10日以内の間に設定されなければならない。売主・購入者、そして主催者3者合意のもと、売買契約日を決定する。
- ⑦ ⑥にて決定された売買契約日に購入代金（現金）と、車両の受け渡しが行われる。
- ⑧ 売買契約日に売主・購入者双方とも、身分証明のコピーを主催者に提出しなければならない。
- ⑨ 売買契約は売主・購入者双方と主催者の立ち会いのもと行われる。
- ⑩ ⑥にて決定された売買契約日に購入者が購入代金を支払うことができない場合は、この売買契約は無効となり購入申請保証金50,000円は返却されない。また、この場合に発生する経費（運搬費等）は購入希望者が負担する。
- ⑪ 主催者が購入申請を行うことができる。
- ⑫ 売買された車両が、売主のエントラントから出場登録された場合、主催者はこれを拒否する事ができる。

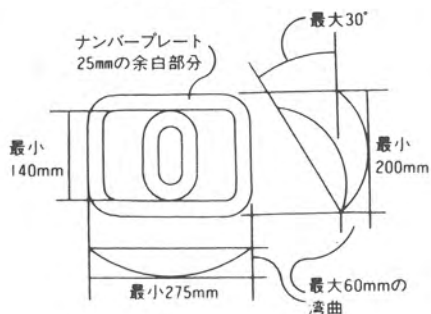
よくある質問と答え：

- ① ステアリングダンパーの取り付けは認められますか。
A：認められます。ステアリングダンパー取り付け目的の加工も認められます。
- ② インテークマニホールドに取り付けられたインテークチャンバーの取り外しは可能ですか。
A：取り外しできません。
- ③ ステアリングパイプ（ハンドルバー）の角度変更は認められますか。
A：取り付け方式、タイプは公認時から変更できません（左記に変更のない範囲で取り付け位置、角度調整は可能）。
- ④ エアクリーナーエレメントの取り外しは認められますか。
A：認められます。
- ⑥ ACGローターの軽量化は行ってよいですか。
A：認められません。
- ⑦ ACGステータコイルの取り外しは認められますか。
A：認められません。
- ⑧ リミッターカットに伴うメインハーネスの交換は認められますか。
A：リミッターカットを目的としたメインハーネス、イグナイターハーネス、CDIユニット、カードの交換は認められます。
- ⑩ リヤマッドガードの取り外し、カットは認められますか。
A：別体（ボルトオン）のライセンスプレートのみ取り外しできます。
- ⑪ 水温計取り付けのためにラジエターに加工してもよいですか。
A：ラジエターへの加工は認められません。
- ⑫ ラジエターホースを変更してもよいですか。
A：スタンダード品に限り認められます。
- ⑬ 指定タイヤのなかで、サイズ変更は認められますか。
A：原則的には、出荷時のサイズが望ましいです。
- ⑭ オートシフターの取り付けは認められますか。
A：認められません。
- ⑮ キックアームの取り外し、およびスターターギヤの取り外しは認められますか。
A：キックアームの取り外しは認められますが、ギヤの取り外しは認められません。
- ⑯ マフラスターの取り外し、変更は認められますか。
A：スターの取り外し、変更ともに認められます。
- ⑰ ウインドスクリーンの変更は認められますか。
A：同一形状であれば認められます。

ワイヤーロック



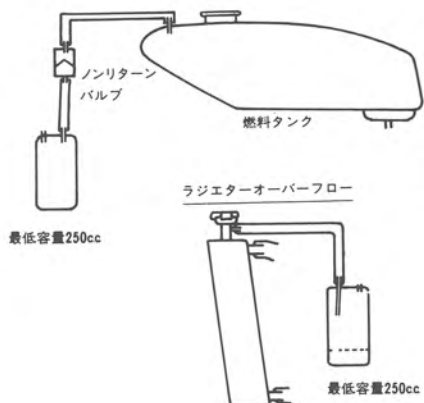
ナンバープレート



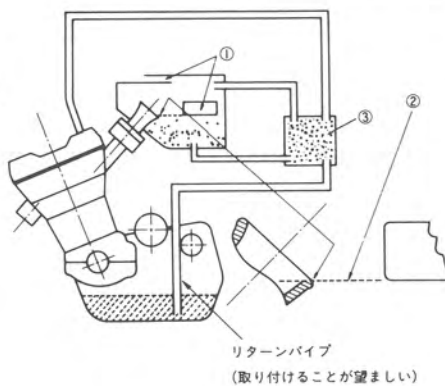
キャッチタンク

図 A

燃料タンクブリーザー



4サイクルエンジンのブリーザーシステム



クローズドシステム
エアクリナーボックスが装
着されていない場合、ブロー
パイプガスがキャブレターに吸
入されるような措置を施すこ
と。
オイルキャッチタンク
最低容量500cc

細則10

MFJライセンス 昇格・降格に関する 規則

1 目的

本規則は、(財)日本モーターサイクルスポーツ協会（以下MFJという）が発給、管理する競技ライセンスの昇格・降格に関して規定し、モーターサイクル競技の公正を図ることを目的とする。

2 2000年度の昇格対象期間

2000年度の昇格対象期間は2000年1月1日から、2000年10月31日までとし、昇格した後、有効となるのは2001年1月1日からとする。11月1日より12月31日までに開催された競技の結果は、特別昇格の審査対象となる。

3 昇格、降格の種類と手続き

1) 自動昇格とは

昇格対象期間内に規定の自動昇格の得点または順位を得た場合、ライセンスは上位区分に昇格する。自動昇格対象者にはその年の11月末日までにMFJより昇格が通知される。

自動昇格の権利を得て、翌年ライセンスを更新しなかった場合は、自動昇格の権利はなくなる。'99年以前に自動昇格通知を受け取っている場合でも、この規定が適用される。

2) 申請昇格とは

昇格対象期間内に規定の申請昇格の資格、得点、または順位を得た場合、申請すれば上位ライセンス区分に昇格する。明確な基準が定められている申請昇格については、その対象者にはその年の11月末日までにMFJより通知される。（ロードレースのジュニア→フレッシュマン、フレッシュマン→国内、及びドラッグレースのB級→A級の場合を除く）

申請昇格の権利を得て、翌年ライセンスを更新しなかった場合は、申請昇格の権利はなくなる。

3) 特別昇格とは

10 特別昇格およびその手続き（236頁）参照。

4) 自動降格、特別降格とは

ライセンスの欠格期間による自動降格、本人の申請により審査される特別降格がある（236頁参照）。

5) 再昇格規定

ライセンスを降格した者が上位入賞した場合、ライセンスは再度昇格する（236頁参照）。

4 自動昇格に必要な得点（ポイント）

1) 自動昇格に必要な得点（以下ポイントという）は公認競技会の格式別に完走者に対しその

成績に応じて下記のように与えられる。(ドラッグレースは別途定める)

- 2) ジュニア部門の公認競技会におけるポイントは競技会の格式にかかわらず下記②その他の公認競技会のポイントとする。(トライアルは別途定める)

①全日本選手権・エリア選手権および地方選手権競技会(台数…予選出走台数)

| 順位 | 台数 | 25以上 | 22-24 | 20-21 | 18-19 | 16-17 | 14-15 | 12-13 | 10-11 | 8-9 | 6-7 | 5 | 0-4 |
|-----|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|----|-----|
| 1位 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 不成立 |
| 2位 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | 17 | |
| 3位 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | | |
| 4位 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | | | |
| 5位 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | | | | |
| 6位 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | | | | | | |
| 7位 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | | | | | | | |
| 8位 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | | | | | | | | |
| 9位 | 7 | 7 | 7 | 7 | | | | | | | | | |
| 10位 | 6 | 6 | 6 | | | | | | | | | | |
| 11位 | 5 | 5 | | | | | | | | | | | |
| 12位 | 4 | 4 | | | | | | | | | | | |
| 13位 | 3 | | | | | | | | | | | | |
| 14位 | 2 | | | | | | | | | | | | |
| 15位 | 1 | | | | | | | | | | | | |

注：全日本ロードレース選手権は、別途「全日本選手権大会特別規則」(68頁参照)に定める。

②その他の公認競技会

| 予選出走台数 | | | | | | | |
|--------|------|-------|-----|-----|----|-----|-----|
| 順位 | 12以上 | 10-11 | 8-9 | 6-7 | 5 | 0-4 | |
| 1位 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 不成立 |
| 2位 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | |
| 3位 | 8 | 8 | 8 | 8 | | | |
| 4位 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | | |
| 5位 | 6 | 6 | 6 | 6 | | | |
| 6位 | 5 | 5 | 5 | | | | |
| 7位 | 4 | 4 | | | | | |
| 8位 | 3 | 3 | | | | | |
| 9位 | 2 | | | | | | |
| 10位 | 1 | | | | | | |

注：出走台数は、そのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数とする。ただし、公式予選がある場合は、予選のスタートラインに並んだ総台数とする。

5 ロードレースライセンスの昇格

1) ジュニア→フレッシュマン・国内

自動昇格

- (1) 当該年度に16歳になる者は、誕生日前でも自動的にフレッシュマンとなる。
- (2) 昇格した後も16歳に達するまでは参加できるクラスは下記を上限とする。

GP125、SP250F (この解除を希望する場合は、親権者の承諾書を添えてMFJ中央スポーツ委員会に申請し許可を得ること)

申請昇格

- (1) ジュニアライセンスにてGP50・GP80クラスに参加し、優秀な成績をおさめ昇格を希望する者は、参加している競技会の主催者の推薦を得て申請しなければならない。MFJ中央スポーツ委員会が認められた場合にフレッシュマンまたは国内ライセンスに昇格できる。年度の途中でも申請できるが、申請料5,000円(ライセンス料金含む)を必要とする。

2) フレッシュマン→国内

申請昇格

下記条件のいずれかを満たし申請することにより、国内ライセンスが随時取得できる。年度の途中でも申請できるが、ライセンス追加料金3,000円を必要とする。

- (1) 公認サーキットでの3時間走行証明印を得る(複数のサーキットで走行時間の合計は不可)。
 - ※走行証明の有効期間は発行より1年間。
- (2) 承認ロードレース競技会にて6位以内の成績を修めること。(過去2年以内)
- (3) 承認ロードレース競技会にて過去2回以上参加した実績を有する。(過去2年以内)
- (4) 国内ライセンス講習会を受けること。

※講習会終了証の有効期限は受講日より6ヶ月。

3) 国内→国際

1 地方選手権

自動昇格

毎年1月～10月に開催された各地方選手権のGP125/250で、以下のポイントで自動昇格する(昇格の拒否はできない)。

| | |
|----------------------------|-------|
| 北海道 (HSP選手権、十勝選手権の合計) | 60点以上 |
| SUGO選手権 | 60点以上 |
| 仙台選手権 | 60点以上 |
| エビス選手権 | 50点以上 |
| 関東選手権 (筑波・富士・もてぎ) | 50点以上 |
| 筑波選手権 | 50点以上 |
| 富士選手権 | 50点以上 |
| 間瀬選手権 | 50点以上 |
| 那須選手権 | 60点以上 |
| もてぎ選手権 | 50点以上 |
| 鈴鹿選手権 | 50点以上 |
| 近畿選手権 (猪名川・セントラル) | 60点以上 |
| 西日本選手権 (CP MINÉ) | 50点以上 |
| TI選手権 | 50点以上 |
| 四国選手権 (阿讃) | 60点以上 |
| 九州選手権 (HSR九州・SPA直入・オートポリス) | 60点以上 |

申請昇格

SP250/400にて上記の自動昇格ポイントを得た場合は、申請により国際ライセンスに昇格する。ただし昇格を希望する場合、昇格手続きが完了するまで競技へ出場できない。

※申請期限：2001年2月末日消印有効

2 エリア選手権

- (1) エリア選手権のGP125/250/スーパーバイクでポイントを30点以上獲得した者は自動昇格する (SPクラスで30点以上の者は申請により昇格できる)。
- (2) エリア選手権に国内ライセンスにて出場し優勝した場合は、申請により国際ライセンスに昇格する。この権利はその年度内 (12月31日まで) を申請期限とする。その年度内であれば、優勝直後に昇格しなくてもよい。

6 モトクロスライセンスの昇格

1) ジュニア→国内B級

(1) 自動昇格

当該年度に16歳になる者は誕生日前でも自動的に国内B級となる。

(2) 申請昇格 (申請期日：12月31日消印有効)

公認競技会 (10月31日まで) において各地方で下記に示す得点以上を獲得し、昇格申請を提出した者。(複数の地方ブロックにまたがる得点の合計はしない。)

注：得点は [④自動昇格に必要な得点] (231頁) による。

| 地方 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 得点 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |

(3) 特別審査

その他、上記の基準と同等の技量を持つ者とモトクロス委員会にて承認推薦され、かつMFJ中央スポーツ委員会が承認した者。(年度途中でも申請でき、申請料は5000円ライセンス料含む)

2) 国内B級→国内A級

(1) 自動昇格

公認競技会(10月31日まで)において各地方で下記のポイントを得た者(複数の地方ブロックにまたがるポイントの合計はしない。)

| 地方 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 得点 | 40 | 40 | 40 | 50 | 30 | 50 | 50 | 40 |

3) 国内A級→国際B級

(1) 自動昇格

公認競技会(10月31日まで)において各地方で下記のポイントを得た者(複数の地方ブロックにまたがるポイントの合計はしない。80ccクラスは昇格の対象としない)

| 地方 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 得点 | 85 | 85 | 50 | 80 | 50 | 70 | 80 | 60 |

4) 国際B級→国際A級

(1) 自動昇格

全日本選手権ランキングで各クラス1位～6位にランクされた者。

(2) 申請昇格

地方ブロックの地方選手権にてシリーズチャンピオン(250cc、125cc)となり本人が希望し、かつ当該ブロックの許可を得た者。(申請期日:12月31日消印有効)

5) オフロード全国大会(HARP)選抜クラスの昇格

(1) 申請昇格(申請期日:12月31日消印有効)

a. 選抜クラス総合優勝者の2階級昇格者

ジュニア→国内A級/国内B級→国際B級/国内A級→国際A級

b. 選抜クラスで得たポイントは各地方ブロックの昇格ポイントに加算できる。

(6) 地方選手権におけるボーナスポイントについて

各地方選手権シリーズにおいて、年1戦のみボーナスポイント3点が加えられる。

※ボーナスポイント対象大会については、各地方選手権カレンダーを参照すること。

7 トライアルライセンスの昇格

1) ジュニア→国内A級

自動昇格

ジュニア部門は国内B級部門との混走が認められ、昇格の基準は国内B級と同格に扱われる。(当該年度に16歳になる者は誕生日前でも自動的に国内B級となる)

2) 国内B級→国内A級

自動昇格

公認競技会(10月31日まで)において各地方で下記のポイントを得た者(複数の地方ブロックにまたがるポイントの合計はしない。)

| 地方 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 得点 | 45 | 50 | 45 | 50 | 50 | 45 | 60 | 50 |

注)得点は細則10[④自動昇格に必要な得点](231頁)による(地方選手権、その他の公認競技会による年間のポイントを昇格の基準とする)。

3) 国内A級→国際B級

自動昇格

各地方ブロックごとの地方選手権（10月31日まで）において、下記の人数でポイント上位の成績を得た者。ただし、同点者のある場合は、この人数を超えることができる。

| | | | | | | | | |
|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 地方 | 北海道 | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 |
| 人数 | 2 | 5 | 12 | 5 | 6 | 6 | 3 | 5 |

4) 国際B級→国際A級

自動昇格

- (1) 全日本選手権ランキングで、1位から8位にランクされた者。ただし、同点者のある場合はこの人数を超えることができる。

申請昇格

- (1) 各地方ブロックの地方選手権にてシリーズチャンピオンとなり、本人が希望し、かつ当該ブロックの許可を得た者。（申請期限：12月31日消印有効）
- (2) その他

トライアルグランドチャンピオン大会（11/12坂内バイクランド）グランドチャンピオンクラス（J/NB/NA混走）の上位10位（参加25台以上の場合）までの入賞者は、IBクラスへの昇格申請ができる。

全日本選手権 国際A級⇔国際A級スーパークラス

1 申請昇格

全日本選手権国際A級ランキングで、1位から3位にランクされた者は、申請によりスーパークラスへ昇格できる。（申請期限：12月31日消印有効）

2 自動降格

全日本選手権国際A級スーパークラスランキングで11位以下の者およびポイントを獲得できなかった者は、翌年国際A級に自動降格となる。この場合、再昇格規定は適用されない。

8 ドラッグレースライセンスの昇格

B級部門→A級部門

自動昇格

地方選手権、ストックバイククラスにおいて、50ポイント以上を得た者。

申請昇格（主催者に手続きをすることが必要）

- (1) 悪天候などで開催数が少なかった場合、自動昇格に必要なポイントに満たない場合でも、申請昇格の対象となる。
- (2) ドラッグレース委員会が認めた者。

9 自動降格の基準

- 1) ライセンスの更新がなされなかった場合は、その欠格期間（ライセンスを取得しなかった期間）によって次表のとおりライセンス等級が自動降格される。

●自動降格基準表 ※2000年度ライセンスを取得した場合

| 種目 | モトクロス・トライアル | | | | ロードレース | スノーモビル |
|----------------|-------------|------|------|------|--------|--------|
| 最終 ライセンス取得年 | 国内B級 | 国内A級 | 国際B級 | 国際A級 | 国際 | A級 |
| '98年(欠格1年) | 国内B級 | 国内A級 | 国際B級 | 国際A級 | 国際 | A級 |
| '97年(欠格2年) | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ |
| '96年(欠格3年) | ◇ | 国内B級 | 国内A級 | ◇ | ◇ | ◇ |
| '95年(欠格4年) | ◇ | ◇ | 国内B級 | 国際B級 | 国内 | B級 |
| '94年(欠格5年) | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ | ◇ |
| '93年以前 | ◇ | ◇ | ◇ | 国内A級 | ◇ | ◇ |

※ロードレースライセンス（国際及び国内）の継続手続において、10年以上の欠格期間がある場合はMFJ公認サーキットの走行証明印を提示することが必要。

※ロードレースフレッシュマン（国内含む）ライセンスの継続手続において、10年以上の欠格期間がある場合は、MFJ公認サーキットのサーキットライセンス（当該年度有効のもの）を提示することが必要。

10 特別昇格およびその手続

- 1) 昇格基準と同等とみなされる成績を得た（当該年の11月1日以降の公認競技会の成績も考慮される）者で、昇格を希望する者は、特別昇格の申請ができる。
- 2) 申請は、前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到着することを要し、それ以外の申請は受理されない。
- 3) 申請は所定の申請書に必要事項を記入し、所属するMFJ地方支部の承認を得て、MFJ事務局に申請するものとする。
なお、所定の申請書は、MFJ事務局に用意されており、請求に応じて送付される。
- 4) 申請にあたっては、申請書に申請料3,000円を添えて、所属MFJ地方支部（18頁参照）に提出すること。
- 5) 特別昇格についての最終決定はMFJ中央スポーツ委員会の審査結果による。

11 特別降格およびその手続

- 1) MFJ競技ライセンス資格の降格を希望する者は次の手続きによって申請し、MFJ中央スポーツ委員会の審査によって認められた場合は、降格することができる。
- 2) 前項の申請は、特別降格をしようとする前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到着することを要する。申請者の用紙は、MFJ事務局に準備され、それに必要事項を記入し申請料3,000円を添えて、MFJ地方支部の承認を得、MFJ事務局に申請する。
- 3) 降格承認後は降格が決められた日より、その年度の終了する日まで、再昇格基準が適用される。
- 4) 申請にあたっては、申請書に申請料3,000円を添えて、所属MFJ地方支部（18頁参照）へ提出すること。
- 5) 特別降格についての最終的な決定は、MFJ中央スポーツ委員会の審査結果による。
※特別降格申請は、原則的にそのライセンス区分にて、得点を得られないまま1年以上経過した者のみを対象とする。

12 再昇格基準

ライセンスの降格があった者が、次の基準に適合することとなった場合は、原則として次の競技会からライセンス等級がひとつずつ再昇格する。自動降格により2段階以上降格した場合、その年度内であればひとつずつ2段階の昇格も認められる。基準に適合した者は、昇格されたライセンスと引き換えに旧ライセンスを、MFJ事務局に返納しなければならない。（但し、この規則は特別降格申請が認められた年度および自動降格が適用された年度のみ適用する。この規則は、欠格期間が10年以上ある場合は適用されない。）

1) ロードレース

- (1) 地方選手権以上のシリーズ大会において、原則として優勝した者。
- (2) 公式記録によるラップタイム等により、MFJ中央スポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

2) モトクロス

- (1) 国際B級部門から国内A級部門に降格した場合は、MFJ中央スポーツ委員会にて審議し、承認された者。
- (2) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において優勝した者。
- (3) MFJ中央スポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

3) トライアル

- (1) 国際B級部門に降格した場合、全日本選手権シリーズにおいて優勝した者。
- (2) 国内A級部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて優勝した者。
- (3) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において優勝した者。
- (4) その他MFJ中央スポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

附則

本規則は、2000年1月1日から施行する。

全日本選手権ランキング決定基準

1) 全日本選手権ランキング順位決定方法

全日本選手権ランキングの順位づけは次の方法により決定される。

- (1) 全日本選手権シリーズ大会で得たすべての得点を合計し、総合得点の多い者から順位を決定する。ただし、獲得点数が40点未満の場合はチャンピオンとせず、ランキング2位とする。
- (2) 上記1)で同点となった場合、上位順位獲得回数の多い者が上位となる。
例：同点の者どうしで1位を獲得した回数で比較し、多い者が上位。これでも同位の場合、2位を獲得した回数を比較する。以下、下位まで同様に比較する。
- (3) 上記2)で決定できない場合、最終戦上位の者を上位とする。
- (4) 上記3)で決定できない場合、前年度のランキング上位の者を上位とする。
- (5) 上記4)で決定できない場合、MFJ中央スポーツ委員会において最終決定する。

全日本選手権ランキング認定表彰式典

全日本選手権ランキング決定基準に基づき決定された、下記の全日本選手権各クラス上位1位～3位の者は、その榮譽をたたえ、2000年MFJ全日本選手権ランキング認定表彰式にて表彰される。受賞者は必ず出席しなければならない。

| ロードレース | モトクロス | トライアル | ドラッグレース | スノーモビル |
|-----------|---------|-------------|----------------|-----------|
| 国際GP125 | 国際A級125 | 国際A級スーパークラス | A級プロストックバイククラス | A級スーパークラス |
| 国際GP250 | 国際A級250 | 国際A級 | | A級 S1 |
| 国際スーパーバイク | 国際B級125 | 国際B級 | | A級 S2 |
| 国際S-NK | 国際B級250 | | | A級 S3 |
| | | | | A級 S4 |

MFJ公認クラブ等の 名称に関する規定

この規定は、財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下「MFJ」という）に登録するクラブ及び団体（以下「クラブ等」という）の名称の取り扱いに関して規定する。

第1条 クラブ等の登録

クラブ等が、MFJに登録する場合は、5名以上のライセンス（Lライセンスを含む）所持者がいなければならない。クラブ等が、公認競技会の主催者となる場合の条件は、別に定める。

第2条 クラブ等の名称の使用

クラブ等の名称は、MFJの承認を受けたものでなければ使用してはならない。
承認の申請は、MFJに対して行なわなければならない。

第3条 使用してはならない名称

次の各項に掲げる名称については承認されない。

1. 国際モーターサイクリズム連盟（FIM）及びFIM加盟の各国モーターサイクル協会の名称及びその略称。
2. MFJに既に登録されているクラブ等の名称及びその略称、ただし、当該クラブ等の同系列であり、地名等を付し、かつ、名称に関する権利保有者の名称使用についての同意書を得た場合はこの限りでない。
3. 著名な商品名、会社名及びこれに類似する名称。ただし、当該関係会社（二輪車メーカーを除く）と同系列等直接又は間接に関係があり、かつ名称使用の同意書がある場合はこの限りでない。
4. 連盟（Federation）、協会（Association）、組合（Union）など、および同義語など。
5. 日本、国際、アジア、極東、ナショナル、ロイヤル、インペリアル、太平洋などの誇大にわたる名称及びこれとの同意義語。

第4条 その他承認されない名称

新規登録の場合、第2条の各項に該当する以外の名称であっても、公序良俗に反するか、または社会通念上奇異に感じられる名称並びに実質と内容が伴わない名称については、MFJ中央スポーツ委員会において審査し、却下しまたは変更を求めることがある。

更新登録の場合において、その名実が相反することとなった場合は、改称を求めることがある。

第5条 使用の文字

クラブ等の名称は、漢字、片仮名、平仮名および数字のいずれかを用いた組合せによって表示されなければならない。略称は、ローマ字で示すこととする。ただし地名を付記するものはこの限りではない。

第6条 名称の由来

クラブ等が新規に登録する際、必要により当該クラブ等に対しその名称の由来について、説明書の添付を求めることがある。

第7条 名称の変更

MFJに既に登録されたクラブ等の名称変更の申請がなされたときは、これを審査し、この規程の趣旨に反しないと認めた場合は、これを承認することとする。

第8条 附 則

本規定は、2000年1月1日から施行する。本規定施行の際、既に承認されているクラブ等の名称は、この規定の趣旨に反しない限りはなお従前の例による。

MFJ共済会制度

(平成12年1月1日～12月31日までの競技会)

| 種 目 | 共済会掛金 (1名1大会) | 共済会見舞金支払額 | | 請求のために必要な書類 |
|--|------------------|---------------------------------------|--|---|
| | | 最高限度額 (死亡、後遺症100%) | 共済会見舞金支払額 | |
| ロードレース (81cc以上) | 3,000円 | 共済会見舞金 2,000万円 (共済会が契約した傷害保険含む) | 共済会見舞金 A 通院実日数(ギブス等の固定期間および通勤、通学、就業が不可能として診断された日数含む)×1,000円 B 入院実日数×2,000円 C 診断書作成補助金 5,000円 | ○共済会見舞金請求書 (様式9) ○完治したときの医師の診断書 (様式10) 死亡、後遺症の場合は、上記、様式9のほかに傷害保険請求用紙(三井海上)等の各種書類が必要となります。 |
| ロードレース (80cc以下) | 1,500円 | | | |
| ドラッグレース | 1,500円 | | | |
| ダートトラックレース | 500円 | | | |
| モトクロス (市販車、レーサー125cc以上) | 1,500円 | | | |
| ミニモトクロス (80cc以下) | 500円 | | | |
| トライアル | 300円 | | | |
| ミニバイクレース | 500円 | | | |
| エンデュロ | 1,000円 | | | |
| ジムカーナ | 500円 | | | |
| スノーモビル | 500円 | | | |
| ツーリング・ラリー | 500円 | | | |
| バイクトレッキング | 500円 | | | |
| ロードレースライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む) | 1,000円 | | | |
| モトクロスライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む) | 500円 | | | |
| トライアルライセンス講習会 (ライセンス保持者のテクニカルスクール含む) | 300円 | | | |
| スノーモビルライセンス講習会 | 500円 | | | |
| ミニバイク講習会 | 500円 | | | |
| ロードレース競技役員講習会 | 200円 | | | |
| モトクロス競技役員講習会 | 200円 | | | |
| トライアル競技役員講習会 | 200円 | | | |
| ピットクルー | 年間500円 | | | |

☆見舞金の支払われる期間は、受傷日から最高180日間以内の入院および通院の実日数となります。

★見舞金の請求期限は、受傷日より一年以内です。一年以上経過しますとその請求権は無効となります。

☆見舞金の支払われる適用範囲は、公認または承認された当該競技会の公式日程期間(主催者が申請した大会期間)で、かつ競技監督の統轄下において行われた競技中、または公式練習中に発生した事故とする(※サーキットが行う特別スポーツ走行時の事故は、見舞金の請求は出来ません)。

☆同一大会で二種目以上出場する場合は、掛金の高い種目が適用されます。

☆共済会は治療費の支払いはありません。

☆死亡、後遺症見舞金を受ける場合は、入院見舞金および診断書作成補助金は受けられません。

☆死亡見舞金の請求者は、法定相続人に限られます。

☆競技役員、講師の共済会見舞金は別に定めるMFJ競技役員傷害保険によります。

共済会見舞金請求の手続きは…

1. まず主催者に連絡

負傷したその日に主催者に連絡してください。万一その日に連絡できない場合は、負傷日より2日後までにご連絡ください。なお、連絡がない場合は、見舞金が支払われませんのでご注意ください。

2. 大会主催者から共済会見舞金請求書(様式9)と診断書書式(様式10)をもらう

ケガをした大会の主催者またはMFJに、共済会見舞金請求書(様式9)と共済会指定の診断書(様式10)を請求してください。

3. 請求先は共済会事務局

請求書中に必要な事項を記入し、治療先の医師に診断書の記入を依頼してください。書類は一括して負傷者本人(代理人でもよい)が共済会事務局長宛(MFJ内)に請求してください。見舞金は書類に不備のない場合に限り、2ヶ月以内に指定口座に振り込まれます。

MFJ公認車両

★は公認が継続された車両、商品を表す

(’99年12月10日現在)

■本田技研工業(株) 〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1 ☎03-3423-1111

●一般市販車 (オンロードタイプ)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|------------------------------|--------|--------|-----|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| ★ NSR250R (初回公認 ’91年) | MC21 | MC16E | 249 | 54.0×54.5 | 96. 1.23 | ○ | | | | |
| ★ CBR400RR (初回公認 ’87年) | NC23 | NC23E | 399 | 55.0×42.0 | 96. 6.25 | ○ | | | | |
| ★ VFR750R (初回公認 ’87年12月9日) | RC30 | RC07E | 748 | 70.0×48.6 | 98. 1.27 | | ○ | | | |
| ★ VFR400R (初回公認 ’89年1月20日) | NC30 | NC13E | 399 | 55.0×42.0 | 98. 1.27 | ○ | | | | |
| ★ NSR250RSP (初回公認 ’88年5月13日) | MC18 | MC16E | 249 | 54.0×54.5 | 98. 1.27 | ○ | | | | |
| CB400 SuperFour | NC39 | NC23E | 399 | 55.0×42.0 | 99. 4.23 | ○ | | | | |
| CBR600F | PC35 | PC35 | 599 | 67.0×42.5 | 99. 6.27 | ○ | | | | |

●一般市販車 (オフロードタイプ)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|-----------------------------|--------|--------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| ★ XLR200R (初回公認 ’93年10月24日) | MD29 | MD29E | 196 | 63.5×62.2 | 98. 1.27 | | | | | |
| ★ XLR125R (初回公認 ’93年10月24日) | JD16 | JD09E | 124 | 56.5×49.5 | 98. 1.27 | | | | | |
| XR400R | NE03 | NE03E | 397.2 | 85.0×70.0 | 99. 3.24 | | | | ○ | |

●スポーツ専用市販車 (モトクロス)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|----------------------------|--------|--------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| CR125R | JE01 | JE01E | 124.8 | 54.0×54.5 | 96. 8.23 | | | | ○ | |
| CR250R | ME03 | ME03E | 249.3 | 66.4×72.0 | 96.10.24 | | | | ○ | |
| CR250R | ME03 | ME03E | 249.3 | 66.4×72.0 | 97. 7.23 | | | | ○ | |
| CR125R | JE01 | JE01E | 124.8 | 54.0×54.5 | 97. 9.24 | | | | ○ | |
| ★ CR250R (初回公認 ’93年 9月24日) | ME03 | ME03E | 249.3 | 66.4×72.0 | 98. 1.27 | | | | ○ | |
| ★ CR125R (初回公認 ’93年 9月24日) | JE01 | JE01E | 124.8 | 54.0×54.5 | 98. 1.27 | | | | ○ | |
| ★ CR80R (初回公認 ’93年 9月24日) | HE04 | HE04E | 79.4 | 46.0×47.8 | 98. 1.27 | | | | ○ | |
| CR250R | ME03 | ME03E | 249.3 | 66.4×72.0 | 98. 7.29 | | | | ○ | |
| CR125R | JE01 | JE01E | 124.8 | 54.0×54.5 | 98. 8.18 | | | | ○ | |
| CR80R2 | HE04 | HE04E | 79.4 | 46.0×47.8 | 98. 7.29 | | | | ○ | |
| CR80R | HE04 | HE04E | 79.4 | 46.0×47.8 | 98. 7.29 | | | | ○ | |
| CR80R | HE04 | HE04E | 79.4 | 46.0×47.8 | 99. 8. 6 | | | | ○ | |
| CR80R2 | HE04 | HE04E | 79.4 | 46.0×47.8 | 99. 8. 6 | | | | ○ | |
| CR125R | JE01 | JE01E | 124.8 | 54.0×54.5 | 99. 9.26 | | | | ○ | |
| CR250R | ME03 | ME03E | 249.3 | 66.4×72.0 | 99. 9.26 | | | | ○ | |

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|-----------------------------|--------|--------|-----|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| ★ TLM220R (初回公認 ’88年 5月13日) | MD23 | MD23E | 216 | 69.0×58.0 | 98. 1.27 | | | | | ○ |
| ★ TLM200R (初回公認 ’87年 5月 6日) | MD15 | MD15E | 193 | 67.0×55.0 | 98. 1.27 | | | | | ○ |

■(株)ホンダレーシング 〒351-0024 埼玉県朝霞市泉水3-15-1 ☎048-461-8804

●スポーツ専用市販車 (ロードレーサー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|------------------------------|---------|---------|-----|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| ★ 91RS125R (初回公認 ’90年) | RS125RF | RS125RE | 124 | 54.0×54.5 | 96. 1.23 | | | | ○ | |
| ★ 92RS250R (初回公認 ’91年) | RS250RF | RS250RE | 249 | 54.0×54.5 | 96. 1.23 | | | | ○ | |
| 97RS125R | JR01 | JR01E | 124 | 54.0×54.5 | 96.11. 1 | | | | ○ | |
| 97RS250R | MR01 | MR01E | 249 | 54.0×54.5 | 96.12. 1 | | | | ○ | |
| ★ 92RS125R (初回公認 ’91年) | RS125RF | RS125RE | 124 | 54.0×54.5 | 97. 1.28 | | | | ○ | |
| ★ 93RS250R (初回公認 ’92年) | RS250RF | RS250RE | 249 | 54.0×54.5 | 97. 1.28 | | | | ○ | |
| 98RS125R | JR01 | JR01E | 124 | 54.0×54.5 | 97.10.29 | | | | ○ | |
| 98RS250R | MR01 | MR01E | 249 | 54.0×54.5 | 97.11. 1 | | | | ○ | |
| ★ 94RS125R (初回公認 ’93年12月 1日) | RS125RF | RS125RE | 124 | 54.0×54.5 | 98. 1.27 | | | | ○ | |
| ★ 93RS125R (初回公認 ’93年 1月 1日) | RS125RF | RS125RE | 124 | 54.0×54.5 | 98. 1.27 | | | | ○ | |
| 99RS250R | MR01 | MR01E | 249 | 54.0×54.5 | 98.12. 2 | | | | ○ | |
| ★ 95RS250R (初回公認 ’94年12月) | MR01 | MR01E | 249 | 54.0×54.5 | 99. 2.24 | | | | ○ | |
| ★ 95RS125R (初回公認 ’94年11月) | JR01 | JR01E | 124 | 54.0×54.5 | 99. 2.24 | | | | ○ | |
| ★ 94RS250R (初回公認 ’94年 1月) | RS250RF | RS250RE | 249 | 54.0×54.5 | 99. 2.24 | | | | ○ | |
| ’00RS125R | JR01 | JR01E | 124 | 54.0×54.5 | 99.11.24 | | | | ○ | |

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|-------------------------------|----------|---------|-------|-----------|---------|----|----|----|----|----|
| ★ 92TLM260R (初回公認 '91年) | TLM260RF | | 256.2 | 75.0×58.0 | 96.1.23 | | | | | ○ |
| 97RTL250R | RTL250RF | NN3E | 249 | 72.2×61.0 | 97.3.1 | | | | | ○ |
| 98RTL250R | RTL250RF | NN3E | 249 | 72.2×61.0 | 97.12.1 | | | | | ○ |
| ★ 87TLM240R (初回公認 '86年10月13日) | TLM240F | | 236 | 72.0×58.0 | 98.1.27 | | | | | ○ |
| ★ 86TLM240R (初回公認 '85年11月28日) | TLM240F | | 236 | 72.0×58.0 | 98.1.27 | | | | | ○ |
| ★ 87RTL250S (初回公認 '86年10月30日) | RTL250SF | RTL250E | 249 | 70.0×64.9 | 98.1.27 | | | | | ○ |
| ★ 86RTL250S (初回公認 '86年1月30日) | RTL250SF | | 249 | 70.0×64.9 | 98.1.27 | | | | | ○ |
| ★ 85RTL250S (初回公認 '84年12月11日) | RTL250SF | | 249 | 70.0×64.9 | 98.1.27 | | | | | ○ |
| 99RTL250R | RTL250RF | NN3E | 249 | 72.2×61.0 | 99.1.26 | | | | | ○ |
| ★ 94TLR260 (初回公認 '94年1月) | TLR250F | TLRE | 261 | 71.0×66.0 | 99.2.24 | | | | | ○ |
| ★ 93TLM260R (初回公認 '92年11月) | TLM260RF | NN1 | 256.2 | 75.0×58.0 | 99.2.24 | | | | | ○ |
| ★ 89RTL250S (初回公認 '88年12月) | RTL250SF | | 249 | 70.0×64.9 | 99.2.24 | | | | | ○ |
| ★ 89TLM250R (初回公認 '88年11月) | TLM250F | | 249 | 74.0×58.0 | 99.2.24 | | | | | ○ |
| ★ 88RTL250S (初回公認 '88年1月) | RTL250SF | | 249 | 70.0×64.9 | 99.2.24 | | | | | ○ |
| ★ 88TLM250R (初回公認 '88年1月) | TLM250F | | 249 | 74.0×58.0 | 99.2.24 | | | | | ○ |

■ヤマハ発動機(株) 〒438-8501 静岡県磐田市新員2500 ☎0538-37-4111

●一般市販車 (オンロードタイプ)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|------------------------------|--------|--------|------|-----------|---------|----|----|----|----|----|
| ★ TZR250SP (初回公認 '91年) | 3XV | 3XV | 249 | 56.0×50.7 | 96.1.1 | ○ | | | | |
| XJR400 R II | 4HM | 4HM | 399 | 55.0×42.0 | 96.3.23 | ○ | | | | |
| ★ TZR250R (初回公認 '89年) | 3MA | 3MA | 249 | 56.0×50.7 | 96.4.23 | ○ | | | | |
| ★ TZR250SP (初回公認 '90年) | 3MA | 3MA | 249 | 56.0×50.7 | 96.4.23 | ○ | | | | |
| ★ TZR250 (初回公認 '90年) | 3MA | 3MA | 249 | 56.0×50.7 | 96.4.23 | ○ | | | | |
| XJR400R | 4HM | 4HM | 399 | 55.0×42.0 | 96.5.1 | ○ | | | | |
| XJR1200 | 4KG | 4CC | 1188 | 77.0×63.8 | 96.5.10 | ○ | | | | |
| XJR1200R | 4KG | 4CC | 1188 | 77.0×63.8 | 96.5.10 | ○ | | | | |
| XJR400 | 4HM | 4HM | 399 | 55.0×42.0 | 96.5.26 | ○ | | | | |
| SRV250 | 4DN | 4DN | 248 | 49.0×66.0 | 96.6.1 | ○ | | | | |
| DT50LC | 17W | 5R2 | 49 | 40.0×39.7 | 96.6.20 | | | | | |
| SR400 | 1JR | 2H6 | 399 | 87.0×67.2 | 96.12.1 | ○ | | | | |
| SR500 | 1JN | 2J2 | 499 | 87.0×84.0 | 96.12.1 | ○ | | | | |
| FZ400 | 4YR | 4YR | 399 | 56.0×40.5 | 97.5.20 | | | | | |
| ★ TZR250RS (初回公認 '92年) | 3XV | 3XV | 249 | 56.0×50.7 | 97.2.25 | ○ | | | | |
| ★ TZR250RS (初回公認 '93年) | 3XV | 3XV | 249 | 56.0×50.7 | 98.1.1 | ○ | | | | |
| ★ TZR250RSP (初回公認 '93年) | 3XV | 3XV | 249 | 56.0×50.7 | 98.1.1 | ○ | | | | |
| ★ FZR400RRSP (初回公認 '93年) | 3TJ | 1WG | 399 | 56.0×40.5 | 98.1.1 | ○ | | | | |
| ★ YZF750SP (初回公認 '93年5月5日) | 4JD | 4JD | 749 | 72.0×46.0 | 98.1.1 | | ○ | | | |
| ★ XJR400 (初回公認 '93年5月27日) | 4HM | 4HM | 399 | 55.0×42.0 | 98.1.1 | ○ | | | | |
| ★ SR500 (初回公認 '93年4月25日) | 1JN | 2JZ | 499 | 87.0×84.0 | 98.1.1 | ○ | | | | |
| ★ SR400 (初回公認 '93年4月25日) | 1JR | 2H6 | 399 | 87.0×67.2 | 98.1.1 | ○ | | | | |
| ★ SRV250S (初回公認 '93年7月22日) | 4DN | 4DN | 248 | 49.0×66.0 | 98.1.1 | ○ | | | | |
| ★ SRV250 (初回公認 '93年6月27日) | 4DN | 4DN | 248 | 49.0×66.0 | 98.1.1 | ○ | | | | |
| ★ SRV250 (初回公認 '93年7月22日) | 4DN | 4DN | 248 | 49.0×66.0 | 98.1.1 | ○ | | | | |
| ★ TZR50R (初回公認 '93年5月10日) | 4EU | 4EU | 49 | 40.0×39.7 | 98.1.1 | ○ | | | | |
| ★ TZR250R (初回公認 '93年4月25日) | 3XV | 3XV | 249 | 56.0×50.7 | 98.1.1 | ○ | | | | |
| XJR1300 | PR01J | P501E | 1250 | 79.0×63.8 | 98.5.5 | | | | | |
| TDM850 | RN03J | N401E | 849 | 89.5×67.5 | 98.9.10 | | ○ | | | |
| ★ TZR125 (2UT) (初回公認 '88年2月) | 2UT | 2RM | 124 | 56.4×50.0 | 99.1.1 | | | | | |
| ★ TZR125 (2RM) (初回公認 '87年3月) | 2RM | 2RM | 124 | 56.4×50.0 | 99.1.1 | | | | | |
| ★ XJR400S (初回公認 '94年6月) | 4HM | 4HM | 399 | 55.0×42.0 | 99.1.1 | ○ | | | | |
| ★ TZM50R (初回公認 '94年2月) | 4KJ | 4EU | 49 | 40.0×39.7 | 99.1.1 | ○ | | | | |
| ★ XJR1200 (初回公認 '94年2月) | 4KG | 4CC | 1188 | 77.0×63.8 | 99.1.1 | | | | | |

●一般市販車 (オフロード)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|-----------------------------|--------|--------|-----|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| TT250Raid | 4WA | 4GY | 249 | 73.0×59.6 | 96.5.1 | | | | | |
| XT225WE | 4JG | 1KH | 223 | 70.0×58.0 | 97.6.10 | | | | | |
| ST225 | 5BT | 5BT | 223 | 70.0×58.0 | 97.7.10 | | | | | |
| ★ TT250R (初回公認 '93年5月24日) | 4GY | 4GY | 249 | 73.0×59.6 | 98.1.1 | | | | | |
| XT225W (初回公認 '93年8月11日) | 4JG | 1KH | 223 | 70.0×58.0 | 98.1.1 | | | | | |
| XT225 (初回公認 '92年7月16日) | 1KH | 1KH | 223 | 70.0×58.0 | 97.12.24 | | | | | |
| ★ TT250R Raid (初回公認 '94年3月) | 4GY | 4GY | 249 | 73.0×59.6 | 99.1.1 | | | | | |

●スポーツ専用市販車（ロードレーサー）

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|--------------------------|--------|--------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| ★ TZ250 (初回公認'91年) | 4DP | 4DP | 249 | 56.0×50.7 | 96. 1. 1 | | | ○ | | |
| ★ TZ250 (初回公認'90年) | 3YL | 3YL | 249 | 56.0×50.7 | 96. 1.23 | | | ○ | | |
| ★ TZ250 (初回公認'90年) | 3YL | 3YL | 249 | 56.0×50.7 | 96. 6.25 | | | ○ | | |
| ★ TZ250 (初回公認'88年) | 3LC | 3LC | 249 | 56.0×50.7 | 96. 6.25 | | | ○ | | |
| ★ TZ250 (初回公認'87年) | 3AK | 3AK | 249 | 56.0×50.7 | 96. 6.25 | | | ○ | | |
| TZ125 | 4JT | 4JT | 124.8 | 56.0×50.7 | 96.11. 1 | | | ○ | | |
| TZ250 | 4TW | 4TW | 249.6 | 56.0×50.7 | 96.12. 1 | | | ○ | | |
| ★ TZ250 (初回公認'92年) | 4DP | 4DP | 249 | 56.0×50.7 | 97. 2.25 | | | ○ | | |
| TZ125 | CE02C | E102E | 124.8 | 54.0×54.5 | 97.10. 1 | | | ○ | | |
| TZ250 | CG03C | 4TW | 249.6 | 56.0×50.7 | 97.11. 1 | | | ○ | | |
| ★ TZ250 (初回公認'93年12月15日) | 4DP | 4DP | 249 | 56.0×50.7 | 98. 1. 1 | | | ○ | | |
| ★ TZ125 (初回公認'93年11月9日) | 4JT | 4JT | 124 | 56.0×50.7 | 98. 1. 1 | | | ○ | | |
| TZ125 | CE04C | E106E | 124.8 | 54.0×54.5 | 98.10. 2 | | | ○ | | |
| TZ250 | CG06C | 4TW | 249.6 | 56.0×50.7 | 98.11. 6 | | | ○ | | |
| ★ TZ125 (初回公認'94年10月) | 4JT | 4JT | 124 | 56.0×50.7 | 99. 1. 1 | | | ○ | | |
| TZ125・4JT | CE06C | E110E | 124 | 54.0×54.5 | 99.11. 6 | | | ○ | | |
| TZ250・5KE | CG09C | G201E | 249 | 54.0×54.5 | 99.11.26 | | | ○ | | |

●スポーツ専用市販車（モトクロスカー）

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|---------------------------|--------|--------|------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| ★ WR250Z (初回公認'91年) | 4DC | 4DC | 249 | 68.0×68.8 | 96. 1. 1 | | | ○ | | |
| ★ YZ250 (初回公認'91年) | 4DA | 4DA | 249 | 68.0×68.8 | 96. 1. 1 | | | ○ | | |
| ★ YZ125 (初回公認'91年) | 4DB | 4DB | 124 | 56.0×50.7 | 96. 1. 1 | | | ○ | | |
| YZ125 | 4XM | 4XM | 124 | 54.0×54.5 | 96. 8.20 | | | ○ | | |
| YZ80 | 4GT | 4GT | 79.4 | 46.0×47.8 | 96. 8.20 | | | ○ | | |
| YZ80LW | 4LB | 4LB | 79.4 | 46.0×47.8 | 96. 8.20 | | | ○ | | |
| YZ250 | 4XL | 4XL | 249 | 68.0×68.8 | 96. 9. 1 | | | ○ | | |
| WR250Z | 4XK | 4XK | 249 | 68.0×68.8 | 96.10. 1 | | | ○ | | |
| ★ YZ250 (初回公認'92年) | 4EW | 4EW | 249 | 68.0×68.8 | 97. 2.25 | | | ○ | | |
| ★ YZ125 (初回公認'92年) | 4EX | 4EX | 124 | 56.0×50.7 | 97. 2.25 | | | ○ | | |
| ★ YZ80 (初回公認'92年) | 4GT | 4GT | 79 | 46.0×47.8 | 97. 2.25 | | | ○ | | |
| YZ80 | CB01C | 4GT | 79.4 | 46.0×47.8 | 97. 8.10 | | | ○ | | |
| YZ80LW | CB02C | 4LB | 79.4 | 46.0×47.8 | 97. 8.10 | | | ○ | | |
| YZ125 | CE01C | E101E | 124 | 54.0×54.5 | 97. 8.10 | | | ○ | | |
| YZ250 | CG01C | G101E | 249 | 68.0×68.8 | 97. 8.10 | | | ○ | | |
| WR250Z | CG02C | G102E | 249 | 68.0×68.8 | 97. 9.20 | | | ○ | | |
| ★ YZ250 (初回公認'93年9月7日) | 4JX | 4JX | 249 | 68.0×68.8 | 98. 1. 1 | | | ○ | | |
| ★ YZ125 (初回公認'93年11月4日) | 4JY | 4JY | 124 | 54.0×54.5 | 98. 1. 1 | | | ○ | | |
| ★ YZ80LW (初回公認'93年10月10日) | 4LB | 4LB | 79.4 | 46.0×47.8 | 98. 1. 1 | | | ○ | | |
| ★ WR250Z (初回公認'93年11月13日) | 4JW | 4JW | 249 | 68.0×68.8 | 98. 1. 1 | | | ○ | | |
| YZ250 | CG05C | G103E | 249 | 66.4×72.0 | 98. 8. 1 | | | ○ | | |
| YZ125 | CE03E | E105E | 124 | 54.0×54.5 | 98. 8. 1 | | | ○ | | |
| WR400F・5BF | CH02W | H304E | 399 | 92.0×60.1 | 98.11.25 | | | ○ | | |
| WR400F・5GS | CH04W | H309E | 399 | 92.0×60.1 | 98. 1.17 | | | ○ | | |
| YZ400F・5BE | CH01C | H303E | 399 | 92.0×60.1 | 98.11.25 | | | ○ | | |
| YZ400F・5GR | CH03C | H308E | 399 | 92.0×60.1 | 98.12.11 | | | ○ | | |
| ★ YZ250 (初回公認'94年8月) | 4MX | 4MX | 249 | 68.0×68.8 | 99. 1. 1 | | | ○ | | |
| ★ YZ125 (初回公認'94年7月) | 4PE | 4PE | 124 | 54.0×54.5 | 99. 1. 1 | | | ○ | | |
| ★ YZ80LW (初回公認'94年7月) | 4LB | 4LB | 79.4 | 46.0×47.8 | 99. 1. 1 | | | ○ | | |
| ★ WR250Z (初回公認'94年9月) | 4JW | 4JW | 249 | 68.0×68.8 | 99. 1. 1 | | | ○ | | |
| YZ80・4GT | CB01C | 4GT | 79.4 | 46.0×47.8 | 99. 9. 2 | | | ○ | | |
| YZ80LW・4LB | CB02C | 4LB | 79.4 | 46.0×47.8 | 99. 9. 2 | | | ○ | | |
| YZ125・5HD | CE05C | E019E | 124 | 54.0×54.5 | 99. 9. 2 | | | ○ | | |
| YZ250・5HC | CG08C | G105E | 249 | 66.4×72.0 | 99. 9. 2 | | | ○ | | |
| YZ426F 5JG | CJ01C | J306E | 426 | 95.0×60.1 | 99.11.24 | | | ○ | | |
| WR400F 5GS | CH04W | H309E | 399 | 92.0×60.1 | 99.11.24 | | | ○ | | |

●スポーツ専用市販車（トライアラー）

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|---------------------|--------|--------|-----|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| TY250Z | 4GG | 4GG | 249 | 74.0×58.0 | 96. 1.26 | | | | | ○ |
| TY250Z | 4GG | 4GG | 249 | 74.0×58.0 | 97. 1. 1 | | | | | ○ |
| ★ TY250Z (初回公認'93年) | 4GG | 4GG | 249 | 74.0×58.0 | 98. 1. 1 | | | | | ○ |

■スズキ株 〒432-8611 静岡県浜松市高塚町300 ☎053-440-2376

●一般市販車（オンロードタイプ）

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|---------------------|--------|--------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| GSX-R750 | GR7DA | R726 | 749 | 72.0×46.0 | 96. 2.28 | | ○ | | | |
| RGV-Γ250SP | VJ23A | J209 | 249.6 | 54.0×54.5 | 96. 4.29 | | ○ | | | |
| ★ RG125Γ (初回公認'92年) | NF13A | F116 | 124 | 56.0×50.6 | 97. 2.25 | | ○ | | | |
| DJEBEL250 | SJ45A | J425 | 249 | 73.0×59.6 | 98. 8.23 | | | | | |

●スポーツ専用市販車 (モトクロッサー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|-------------------------|--------|--------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| ★ RMX250 (初回公認 '89年) | PJ11A | J111 | 249.6 | 67.0×70.8 | 96. 3.26 | | | | ○ | |
| ★ RM250N (初回公認 '91年) | RJ15A | J110 | 249.6 | 67.0×70.8 | 96. 3.26 | | | | ○ | |
| ★ RM125N (初回公認 '91年) | RF14A | F114 | 124.8 | 54.0×54.5 | 96. 3.26 | | | | ○ | |
| RM125V | RF15A | F114 | 124.8 | 54.0×54.5 | 96. 9.27 | | | | ○ | |
| RM250V | RJ17A | J115 | 249.3 | 66.4×72.0 | 96.10. 2 | | | | ○ | |
| RM80LW | RC12B | C114 | 79.5 | 46.5×46.8 | 97. 7.23 | | | | ○ | |
| RM125W | RF15A | F114 | 124.8 | 54.0×54.5 | 97. 8.29 | | | | ○ | |
| RM250W | RJ17A | J115 | 249.3 | 66.4×72.0 | 97. 9.30 | | | | ○ | |
| RM250X | RJ17A | J115 | 249.3 | 66.4×72.0 | 98. 9. 1 | | | | ○ | |
| RM125X | RF15A | F114 | 124.8 | 54.0×54.5 | 98. 8. 1 | | | | ○ | |
| RM80LX | RC12B | C114 | 79.5 | 46.5×46.8 | 98. 7.11 | | | | ○ | |
| RM125R (初回公認 '93年 8月) | RF14A | F114 | 124.8 | 54.0×54.5 | 99. 4.27 | | | | ○ | |
| ★ RM250R (初回公認 '93年 8月) | RJ16A | J114 | 249.6 | 67.0×70.8 | 99. 4.27 | | | | ○ | |
| ★ RM125Y | RF15A | F114 | 124.8 | 54.0×54.5 | 99. 7. 2 | | | | ○ | |
| RM250Y | RJ17A | J115 | 249.3 | 66.4×72.0 | 99. 8. 2 | | | | ○ | |

■川崎重工業(株) 〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078-921-1317

●一般市販車 (オンロードタイプ)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|----------------------------|--------|---------|-----|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| VULCAN Classic | VN400A | VN400AE | 399 | 62.0×66.2 | 96. 2.26 | ○ | | | | |
| ZEPHYR x | ZR400C | ZX400AE | 399 | 55.0×42.0 | 96. 5.26 | ○ | | | | |
| ZEPHYR x | ZR400C | ZX400AE | 399 | 55.0×42.0 | 97. 6.22 | ○ | | | | |
| ZXR-II | ZR400E | ZX400KE | 399 | 57.5×38.5 | 98. 7.26 | ○ | | | | |
| ZRX | ZR400E | ZX400KE | 399 | 57.5×38.5 | 98. 7.26 | ○ | | | | |
| D-TRACKER | LX250E | LX250DE | 249 | 72.0×61.2 | 98. 7.26 | ○ | | | | |
| ★ ZXR250 (初回公認 '93年 4月 1日) | ZX250C | ZX250CE | 249 | 49.0×33.1 | 98. 6.23 | ○ | | | | |
| ★ ZRX (初回公認 '94年 1月) | ZR400E | ZX400KE | 399 | 57.5×38.5 | 99. 1. 1 | ○ | | | | |
| ★ KR-1S (初回公認 '89年 3月) | KR250C | KR250BE | 249 | 56.0×50.6 | 99. 2.24 | ○ | | | | |
| ★ KR-1R (初回公認 '89年 3月) | KR250C | KR250BE | 249 | 56.0×50.6 | 99. 2.24 | ○ | | | | |
| ★ ZXR400R (初回公認 '89年 2月) | ZX400H | ZX400GE | 398 | 57.0×39.0 | 99. 2.24 | ○ | | | | |
| ★ ZXR400 (初回公認 '89年 2月) | ZX400H | ZX400GE | 398 | 57.0×39.0 | 99. 2.24 | ○ | | | | |
| ★ ZX-4 (初回公認 '88年 1月) | ZX400G | ZX400GE | 398 | 57.0×39.0 | 99. 2.24 | ○ | | | | |
| ★ KR-1 (初回公認 '88年 1月) | KR250B | KR250BE | 249 | 56.0×50.6 | 99. 2.24 | ○ | | | | |

●一般市販車 (オフロードタイプ)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|--------------|--------|---------|-----|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| Super SHERPA | KL250G | KL250GE | 249 | 72.0×61.2 | 97. 4.25 | | | | | |
| KLX250 | LX250E | LX250DE | 249 | 72.0×61.2 | 98. 7.26 | | | | | |

●スポーツ専用市販車 (モトクロッサー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|---------|--------|---------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| KLX300R | LX300A | LX300AE | 292.4 | 78.0×61.2 | 96. 5.23 | | | | ○ | |
| KX250 | KX250K | KX250KE | 249 | 66.4×72.0 | 96. 8.25 | | | | ○ | |
| KX125 | KX125K | KX125KE | 124 | 54.0×54.5 | 96. 8.25 | | | | ○ | |
| KX80 | KX080S | KX080SE | 79 | 47.0×45.8 | 96. 8.25 | | | | ○ | |
| KX80-II | KX080V | KX080SE | 79 | 47.0×45.8 | 96. 8.25 | | | | ○ | |
| KX60 | KX060B | KX060BE | 60 | 43.0×41.6 | 96. 8.25 | | | | ○ | |
| KX60 | KX060B | KX060BE | 60 | 43.0×41.6 | 97. 7.23 | | | | ○ | |
| KX80 | KX080X | KX080XE | 79 | 47.0×45.8 | 97. 7.23 | | | | ○ | |
| KX80-II | KX080Z | KX080XE | 79 | 47.0×45.8 | 97. 7.23 | | | | ○ | |
| KX125 | KX125K | KX125KE | 124 | 54.0×54.5 | 97. 7.23 | | | | ○ | |
| KX250 | KX250K | KX250KE | 249 | 66.4×72.0 | 97. 7.23 | | | | ○ | |
| KX250 | KX250L | KX250LE | 249 | 66.4×72.0 | 98. 7.29 | | | | ○ | |
| KX125 | KX125L | KX125LE | 124 | 54.0×54.5 | 98. 7.29 | | | | ○ | |
| KX80-II | KX080Z | KX080XE | 79 | 47.0×45.8 | 98. 7.29 | | | | ○ | |
| KX80 | KX080X | KX080XE | 79 | 47.0×45.8 | 98. 7.29 | | | | ○ | |
| KX60 | KX060B | KX060BE | 60 | 43.0×41.6 | 98. 7.29 | | | | ○ | |
| KX125 | KX125L | KX125LE | 124 | 54.0×54.5 | 99. 7.16 | | | | ○ | |
| KX250 | KX250L | KX250LE | 249 | 66.4×72.0 | 99. 7.16 | | | | ○ | |
| KX65 | KX065A | KX065AE | 64 | 44.5×41.6 | 99. 9.16 | | | | ○ | |

■(株)カスノモーターサイクル 〒612-8474 京都府京都市伏見区下鳥羽円面田町95 ☎075-622-0225

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|-------------------|--------|--------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| FANTICセクション250 97 | FM403 | FM403 | 249.9 | 74.0×58.0 | 97. 2.25 | | | | | ○ |

■(有)モリワキエンジニアリング 〒513-0816 三重県鈴鹿市南玉垣町6477-1 ☎0593-82-4500

●スポーツ専用市販車 (ロードレーサー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|------------------------------|--------|--------|------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| 96MORIWAKI MH80R | MH80RF | HE04 | 79.4 | 46.0×47.8 | 96. 1.26 | | | | ○ | |
| ★ MORIWAKI MH80R (初回公認 '91年) | MH80RF | HE04 | 79.4 | 46.0×47.8 | 97. 3.26 | | | | ○ | |

■(株)レイズ 〒577-0016 大阪府東大阪市長田西5-80 ☎06-6746-1010

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|----------------|---------|----------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| BETA TECHNO250 | BETA B6 | BETA6605 | 247.5 | 72.5×60.0 | 96. 3.27 | | | | | ○ |
| BETA TECHNO250 | BETA B6 | BETA6605 | 247.5 | 72.5×60.0 | 97. 2.28 | | | | | ○ |
| BETA TECHNO250 | BETA B6 | BETA6605 | 247.5 | 72.5×60.0 | 97.12.24 | | | | | ○ |

■(株)亜路政 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂2-7-1 ☎03-3419-6053

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|------------------------|--------|--------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| GAS-GAS CONTACT JTR25 | VTRGG | | 237.9 | 71.0×60.0 | 96. 2.23 | | | | | ○ |
| GAS-GAS CONTACT JTX200 | VTRGG | GG20F | 162.8 | 64.0×50.6 | 97. 3.26 | | | | | ○ |
| GAS-GAS CONTACT JTX250 | VTRGG | GG25F | 237.9 | 71.0×60.0 | 97. 3.26 | | | | | ○ |
| GAS-GAS CONTACT TX250 | VTRGG | GG25 | 237.9 | 71.0×60.0 | 98. 2.25 | | | | | ○ |
| GAS-GAS CONTACT TX200 | VTRGG | GG16 | 162.8 | 64.0×50.6 | 98. 2.25 | | | | | ○ |
| GAS-GAS TRIAL250-99 | VTR | GG25 | 249 | 72.5×60.0 | 99. 3.24 | | | | | ○ |

■(有)アルプスヴァン 〒407-0263 山梨県韮崎市穴山町7804 ☎0551-30-0135

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|---------------|-----------|--------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| SCORPAEASY | SC296 | 420 | 248.9 | 68.8×67.0 | 96. 3.27 | | | | | ○ |
| スcolarバイザートップ | SC29 | 425 | 248.9 | 68.8×67.0 | 97. 2.26 | | | | | ○ |
| スcolarバイザー | SCR249 | 425 | 248.9 | 68.8×67.0 | 98. 5.27 | | | | | ○ |
| スcolarバイザー | VMUSCR249 | 485 | 248.9 | 68.8×67.0 | 99. 3.24 | | | | | ○ |

■(株)サイクルワールド 〒651-2132 兵庫県神戸市西区森友4-13 ☎078-928-6644

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|--------------------|-------------|--------|-----|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| MONTESA COTA 315RV | VTDMT03AOVE | NN3E | 249 | 72.2×61.0 | 97. 5.28 | | | | | ○ |

■(株)ボスコ・モト 〒562-0012 大阪府箕面市白鳥2丁目22番25号 ☎0727-25-3311

●一般市販車 (オンロードタイプ)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|-------------|--------|----------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| アブリリア RS125 | GS | ROTAX123 | 124.8 | 54.0×54.5 | 98. 1.25 | ○ | | | | |

■(有)月木レーシング 〒597-0102 大阪府貝塚市木積2406-1 ☎0724-47-1150

●スポーツ専用市販車 (ロードレーサー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|---------|----------|----------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| KR150NK | KR150J-A | KR150JEA | 148.7 | 59.0×54.4 | 98. 1.28 | ○ | | | | |

■(株)プレスコレーション 〒105-0014 東京都港区芝1-4-7ニチガビル ☎03-5419-8231

●一般市販車 (オンロードタイプ)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|------------|--------|--------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| ヤマハTZR125R | 4HW | 4HW | 124.8 | 56.0×50.7 | 98. 8.23 | ○ | | | | |

■(有)カシック 〒721-0942 福山市引野町1099-1 ☎0849-40-3866

●スポーツ専用市販車 (トライアラー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|--------|--------|--------|-----|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| BULTAC | ST | VNBS | 249 | 72.8×60.0 | 99. 7.28 | | | | | ○ |

■ホンダワールド(株) 〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎0593-78-1455

●スポーツ専用市販車 (ロードレーサー)

| 車名 | フレーム打刻 | エンジン打刻 | 排気量 | ボア×ストローク | 公認年月日 | SP | SB | GP | MX | TR |
|-------|--------|------------------|-------|-----------|----------|----|----|----|----|----|
| AC28M | AC28M | MR01E または打刻なし | 249.6 | 54.0×54.5 | 99. 9.29 | | | ○ | | |

MFJ公認部品

('99年12月10日現在)

●(株)オートリメッサ 〒431-0201 静岡県浜松市篠原町21339 ☎053-448-9851

| 部品名 | 型式 | 適用車種 | 公認発効日 | SP | GP | MX | TR |
|-----------|-------|-------------|----------|----|----|----|----|
| トランスミッション | B9240 | RGB-Γ 250SP | '96.4.28 | ○ | | | |

●(株)カワサキモーターズジャパン 〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078-921-2642

| 部品名 | 型式 | 適用車種 | 公認発効日 | SP | GP | MX | TR |
|------------------------|--------------|-----------------------|----------|----|----|----|----|
| ダクト | J914073-1694 | ZXR400、ZXR400、サンザス | '96.12.1 | ○ | | | |
| ★エアボックスキット (初回公認 '93年) | | ZXR400/ZR400D/ZXR400R | '99.1.1 | ○ | | | |

●(有)バムレーシング 〒110-0016 東京都台東区台東4-13-23 ☎03-3831-4265

| 部品名 | 型式 | 適用車種 | 公認発効日 | SP | GP | MX | TR |
|-------------------------------------|------------------|-----------------|----------|----|----|----|----|
| ★2-4サイクルE/G用キャブレター-ASSY (初回公認 '90年) | PWK39SS | RS250R/RS125R | '96.2.27 | | ○ | | |
| ★2-4サイクルE/G用キャブレター-ASSY (初回公認 '90年) | PWK38SS | RS250R/RS125R | '96.2.27 | | ○ | | |
| PWM38キャブレター | 1000-S56-A000 | RS125R、TZ125 | '96.4.26 | | ○ | | |
| 38キャブレター | 1000-55-000 | RS125R、TZ125 | '96.4.26 | | ○ | | |
| ★CBR400RR用キャブレター (初回公認 '92年) | FLAT CR 4連 小型32φ | NC29 (CBR400RR) | '97.6.24 | ○ | | | |

●(株)ホンダレーシング 〒351-0024 埼玉県朝霞市泉水3-15-1 ☎048-461-9511

| 部品名 | 型式 | 適用車種 | 公認発効日 | SP | GP | MX | TR |
|---------------------------|-----|-----------------------------------|----------|----|----|----|----|
| ★400トランスミッション (初回公認 '90年) | NL1 | VFR400R (NC30)、VFR400R/RVS (NC35) | '96.1.23 | ○ | | | |
| ★400トランスミッション (初回公認 '92年) | NKB | CBR400RR | '97.1.1 | ○ | | | |
| ★250トランスミッション (初回公認 '91年) | NKD | NSR250R | '97.1.1 | ○ | | | |
| エアクリナーアッパーカバー | NKA | VFR400R/RVF (NC35) | '99.2.24 | ○ | | | |
| エアクリナーボックスセット | NKB | CBR400RR | '99.2.24 | ○ | | | |
| カムシャフト | NKK | XR400R | '99.4.23 | | | ○ | |

●(株)カスノモーターサイクル 〒612-8474 京都府京都市伏見区下鳥羽面田町95 ☎075-622-0225

| 部品名 | 型式 | 適用車種 | 公認発効日 | SP | GP | MX | TR |
|---------------------|----|-------------------------------|----------|----|----|----|----|
| マルゾッキマグナム45フロントフォーク | | YZ125/250、CR125/250、KX125/250 | '96.3.29 | | | ○ | |

●(株)亜路欧 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂2-7-1 ☎03-3419-6053

| 部品名 | 型式 | 適用車種 | 公認発効日 | SP | GP | MX | TR |
|--------|-----|----------------------|---------|----|----|----|----|
| 270KIT | VTR | GASGAS CONTACT JTR25 | 96.4.26 | | | | ○ |

●(有)ライダーズサロン横浜 〒239-0833 神奈川県横須賀市ハイランド2-14-5 ☎0468-49-5145

| 部品名 | 型式 | 適用車種 | 公認発効日 | SP | GP | MX | TR |
|-------------|----|-------|----------|----|----|----|----|
| フロントフォーク405 | | GP125 | '96.5.23 | | ○ | | |
| リアダンパーCOMP | | GP125 | '96.5.23 | | ○ | | |

●(株)ケーヒン 〒211-8580 神奈川県川崎市中原区市ノ坪386 ☎044-411-6381

| 部品名 | 型式 | 適用車種 | 公認発効日 | SP | GP | MX | TR |
|---------------------|--------------|--|----------|----|----|----|----|
| キャブレター | PWK35/32 | RZ250/350、GRΓ 125/250 アプリリアRS125を追加 | '97.3.28 | ○ | | | |
| 4サイクルE/Gキャブレター-ASSY | FLAT-CR (小型) | CBR400R/RR/CB1、 CBR250F/R/CBR250RR/JADE FZR400/R/RR/RR SP、FZR250 /R/FZ250/ZEAL、GSX-R400/R、 GSX-R250/R、ZXR400/R/ZX-4/ ZZR400、 ZXR250/R/ZZR250R/BALIUS | '99.3.23 | ○ | | | |

●プロジェクトサイエンス 〒433-8112 静岡県浜松市初生町269-1 ☎053-430-0695

| 部品名 | 型式 | 適用車種 | 公認発効日 | SP | GP | MX | TR |
|-------------|-----|-------|---------|----|----|----|----|
| フロントフォークキット | 47B | CR250 | '97.2.1 | | | ○ | |

●(有)城北ホンダオート 〒161-0031 東京都新宿区西落合3-26-6 ☎03-3952-4004

| 部品名 | 型式 | 適用車種 | 公認発効日 | SP | GP | MX | TR |
|----------------|------------------|------------|-----------|----|----|----|----|
| Jha CR125シリンダー | JHA001CR~JHA00CR | CR125 (99) | '99.12.23 | | | ○ | |

SPクラス用登録部品

(99年12月10日現在)

●ドッグファイトレーシング 〒270-2221 千葉県松戸市紙敷1370-1 ☎047-392-7234

| 部品名 | 打刻 | 適用車種 | 登録年月日 |
|---------------------|-------------------------------------|---|----------|
| シリンダーヘッド・プロテクションリング | DFR-Y000~ DFR-H000~ DFR-S000~ | 93・94TZR250R・SP 95~TZR250SPR 90~NSR250R・SE・SP ~98RG125Γ (NF13A) | '98.10.1 |

●ケーアンドティー 〒513-0823 三重県鈴鹿市道伯1923 ☎0593-70-4735

| 部品名 | 打刻 | 適用車種 | |
|------------------|--|--|--|
| シリンダーヘッド (リング加工) | KNH001~ KNL001~ KZ001~ KR001~ | NSR250 (KV3H) NSR250 (KV3L) TZR250 96~RGV250Γ | |

MFJ公認車両〔スノーモビル〕

| 部門 | クラス | SJクラス | S4クラス | S3クラス | S2クラス | S1クラス | A級スーパークラス |
|--|--------------------|---|---|--|--|-------------------------------------|-----------|
| 排気量 | 水冷エンジン | — | ~125ccまで | 126cc~350ccまで | 351cc~500ccまで | オープン | オープン |
| | 空冷エンジン | ~125ccまで | 126cc~350ccまで | 351cc~500ccまで | 501cc~750ccまで | オープン | オープン |
| モ デ ィ フ ァ イ ス ポ ー ツ | SV80 (E) SV125E | CS350 (E) S340 S250 ET250 ET300 ET340 GPX338 EC340 TXL340 S300T S350DX INDY SPORTS INDY LITE INDY340 | PZ480 PZ480ED PZ480E PZ480LT (Special) S440 SS440 GPX433 INDY-TRAIL CUTLASS-SS TXL-INDY VT480E FORMURA-SL INDY Super Sports MXZ500F-SP PZ480SE PZ500 Z440 PZ500LT ARCTIC CAT Z440 | S540 EC540 XL540 INDY500 (SP) INDY400 PROWER440 EX570SX EX570LT VX500 (E-LT) INDY XCR440 FORMURA-Z INDY 500EFI Formula SLS INDY 440XC VX500XTC INDY440XCR MXZ500 INDY 500XC SP VX500SX MXZ ZR500LE ZR440 SNO-PRO SX500R INDY 500XC SP 45th Anniversary SRX700LT SRX700S SRX600S ARCTIC CAT ZR 500LE MXZ500 | EX570 (E) EX570SP INDY650 (RXL) FORMULA-MACHI EL-TIGER WILD-CAT WILD-CAT700 FORMULA-PLUS VX750 INDY XLT ARCTIC CAT INDY STORM INDY XLT SPECIAL SKI-DOO MACH Z VX600 (E-LT·XT) VX800 (E-LT) INDY XCR600 (SP) MXZ583 Formula III INDY Ultra SPX SE INDY Ultra SP INDY 600XC MXZ 670 MXZ600 MXZ670H.O. ZRT 600 VX700SX VX700LT VX600XTC VX600SX VX600LT VX600DX SRX700LT SRX700S SRX600S INDY700XC ZR600 MACH Z INDY700XC (SP) ZR700 SX700R SX600R MXZ700 他クラス車両 | S1 S2 S3 S4 SJ の公認車両 | |

その他の部門車両区分はフレッシュマンレース、レディース・ジュニア、OBレースのクラス区分は主催者により定める。

※最新の公認リストはMFJライディング誌にてご確認下さい。

付
録

MFJ公認ヘルメット

取得規格/T用=ツーリング用, M用=モトクロス用, TR用=トライアル用,
R用=ロードレース用, R特選=ロードレース特選
形状/J=ジェットタイプ, F=フルフェイスタイプ

●(株) ショウエイ

〒110-0005東京都台東区上野5-8-5 cp10ビル ☎03-5688-5195

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|--------------|----------------------|----|-----------|
| JET-X | SNELL JIS-C-R特選 | F | '89.1.11 |
| RSV | SNELL JIS-C-R特選 | F | '89.1.11 |
| VZ | JIS-C-M用 | F | '89.6.13 |
| VZ-II | JIS-C-M用 | F | '89.6.13 |
| VX-4R | JIS-C-M用 | F | '89.11.7 |
| FX-1 | JIS-C-R用 | J | '90.5.8 |
| RHV | JIS-C-R用 | F | '90.9.4 |
| FX-TOURING | JIS-C-M用 | J | '90.4.10 |
| X-8 | JIS-C-R特選 | F | '93.1.27 |
| TSV | JIS-C-R特選 | F | '93.1.27 |
| VF-X | JIS-C-M用 | F | '93.1.27 |
| X-8 SP | JIS-C-R特選 | F | '93.2.24 |
| FX-AFREET | JIS-C-M用 | F | '93.2.24 |
| NEW SR-X7 | JIS-C-TR, T用 | J | '93.2.24 |
| TR-2P | JIS-B-TR用 | J | '93.2.24 |
| FX-J | JIS-C-M用 | F | '93.2.24 |
| BL-J | JIS-B-TR, T用 | J | '93.2.24 |
| ES-J | JIS-B-T用 | F | '93.2.24 |
| X-FOUR Light | JIS-C-R用 | F | '93.4.28 |
| NRV | SNELL M90 JIS-C種 | F | '93.11.23 |
| X-8V | SNELL JIS-C-R特選 | F | '94.12.1 |
| VF-X2 | SNELL JIS-C-M用 | F | '94.12.1 |
| KH-S (NRV) | SNELL, JIS-CRR特選 | F | '95.1.25 |
| KM-SA (FX-1) | JIS-C-MX用 | F | '95.1.25 |
| FX-HORNET | JIS-C-MX用 | F | '95.3.1 |
| RFD | JIS-C-R用 | F | '95.6.10 |
| ZRV | SNELL, JIS-C種・R特選 | F | '96.1.24 |
| X-8J | JIS-C-R用 | F | '96.1.24 |
| FX-R | JIS-C-M用 | F | '96.1.24 |
| VYRCE | JIS-C-R用 | F | '96.4.24 |
| X-8SP | SNELL, JIS-C種・R特選 | F | '96.7.24 |
| SR-FREEDOM | JIS-C-TR, T用 | J | '96.7.24 |
| RDV | JIS-C-R用 | F | '96.10.23 |
| Z-CRUZ | JIS-C-R用 | F | '97.1.29 |
| WYVERN | JIS-C-R用 | F | '97.2.26 |
| Buell2 | JIS-C-R用 | F | '97.3.26 |
| RHEOS XS-1 | JIS-C種・M用 | F | '97.1.29 |
| RHEOS RS-1 | SNELL, JIS-C種・R特選 | F | '97.1.29 |
| X-8R | SNELL M95-JIS-C種 R特選 | F | '98.1.28 |
| HORNET-V | JIS-C種 M用 | F | '98.1.28 |
| X-8SPⅢ | SNELL M95-JIS-C-R特選 | F | '99.1.27 |
| VFX-R | SNELL M95-JIS-C-M用 | F | '99.3.24 |
| Super VYRCE | JIS-C-R用 | F | '99.7.28 |
| TR-3 | JIS-B-TR用 | J | '99.10.27 |

●(株)アライヘルメット

〒330-0841埼玉県大宮市東町2-12 ☎048-641-3825

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|------------------------|---------------------|----|-----------|
| F-V | SNELL JIS-C-R特選 | F | '89.6.13 |
| GIGA | SNELL JIS-C-R特選 | F | '89.6.13 |
| ASTRO-R | SNELL JIS-C-R特選 | F | '89.6.13 |
| MX-2 | JIS-C-M用 | J | '89.6.13 |
| RAPIDE-VIIIIR | JIS-C-R用, SNELL M85 | F | '90.5.8 |
| RAPIDE-μ | JIS-C-R用, SNELL M85 | F | '90.5.8 |
| MX-Enduro | JIS-C-M用, SNELL M85 | J | '90.5.8 |
| AT-S | JIS-B-TR用 | F | '90.5.8 |
| Super cLc RX-7RR | JIS-C-R特用 | F | '93.1.27 |
| OW | JIS-C-R, M用 | F | '93.2.24 |
| VX | JIS-C種 M用 | F | '94.11.30 |
| NT-XNT-GALAXY.Windy-12 | JIS-C種 R用 | F | '96.4.24 |
| OMNI-R | SNELL, JIS-C種・R特選 | F | '96.4.24 |

●テイ・エステック (株)

〒351-0012埼玉県朝霞市栄町3-7-27 ☎048-462-1121

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|-----------------------|-------------------|----|-----------|
| AMI (L-06) | JIS-B-TR, T用 | F | '87.10.7 |
| AMI (L-07) | JIS-B-TR, T用 | F | '87.10.7 |
| AMI (L-08) | JIS-B-TR, T用 | F | '87.10.7 |
| RHEOS (R-21) | JIS-C-R用 | F | '87.10.7 |
| RHEOS (R-92) | JIS-C-R用 | F | '87.10.7 |
| RHEOS (R-93) | JIS-C-R用 | F | '87.10.7 |
| RHEOS (R-94) | JIS-C-R用 | F | '87.10.7 |
| RHEOS (R-95) | JIS-C-R用 | F | '87.10.7 |
| RHEOS (R-96) | JIS-C-R用 | F | '87.10.7 |
| RHEOS (R-97) | JIS-C-R用 | F | '87.10.7 |
| SEED (J-23) | JIS-B-TR, T用 | J | '87.10.7 |
| Ami | JIS-B-TR, T用 | J | '88.1.18 |
| SEED-R22 | JIS-C-R用 | F | '88.1.18 |
| SEED-R23 | JIS-C-R用 | F | '88.1.18 |
| RHEOS R98 | JIS-C-R用 | F | '88.1.18 |
| RHEOS R99 | JIS-C-R用 | F | '88.1.18 |
| RHEOS R92LED | JIS-C-R用 | F | '88.7.5 |
| RHEOS RR101 | SNELL JIS-C-R特選 | F | '88.12.12 |
| RHEOS RR102 | SNELL JIS-C-R特選 | F | '88.12.12 |
| RHEOS RR103 | SNELL JIS-C-R特選 | F | '88.12.12 |
| RHEOS RR104 | SNELL JIS-C-R特選 | F | '88.12.12 |
| RHEOS RR301 | SNELL JIS-C-R特選 | F | '88.12.12 |
| RHEOS RR302 | SNELL JIS-C-R特選 | F | '88.12.12 |
| RHEOS PA101 | JIS-C-R用 | F | '89.2.14 |
| RHEOS PA102 | JIS-C-R用 | F | '89.2.14 |
| RHEOS PA103 | JIS-C-R用 | F | '89.2.14 |
| RHEOS (RC) | JIS-C-R用 | F | '91.2.20 |
| Rheos (RD) | JIS-C-R用 | F | '92.3.11 |
| Rheos (JB) | JIS-C-M・T用 | J | '92.4.17 |
| HONDA Rheos (RC) | SNELL R特選 | F | '92.5.13 |
| Rheos RC | JIS-C-R用 | F | '93.6.20 |
| ami L10 | JIS-C-TR, T用 | J | '93.7.28 |
| ami J10 | JIS-C-TR, T用 | J | '93.7.28 |
| RHEOS | | J | '93.1.7 |
| RHEOS (RE2) | JIS-C種 | F | '94.4.27 |
| RHEOS HRC RE-2 | JIS-C-R用 | F | '95.3.1 |
| RHEOS FANG Junior | JIS-C種・M用 | J | '96.1.24 |
| RHEOS RE-3 | JIS-C種・R用 | F | '96.7.24 |
| RHEOS JE6 | JIS-C種・M用 | J | '96.8.28 |
| RHEOS RE3 | SNELL, JIS-C種・R用 | F | '96.10.23 |
| RHEOS HRC YASHA (RJ2) | JIS-C種・R用 | F | '97.7.23 |
| RHEOS HRC YASHA (RJ1) | SNELL, JIS-C種・R特選 | F | '97.6.25 |
| RHEOS YASHA (RJ21) | JIS-C種 R用 | F | '98.6.24 |
| RHEOS YASHA (RJ11) | SNELL M95 R特選 | F | '98.6.24 |
| RHEOS YASHA (RJ11R) | JIS-C種 R用 | F | '98.7.29 |
| RHEOS RE23 | JIS-C R用 | F | '99.2.24 |

●(株)コミネオートセンター

〒111-0056東京都台東区小島2-20-11 ☎03-3862-9811

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|-------------|----------------|----|----------|
| KF-RV | JIS-C-R用 | F | '86.3.26 |
| KF-RC | JIS-C-R用 | F | '86.9.9 |
| ANSWER | SNELL JIS-C-M用 | F | '86.9.9 |
| NARVA NC-2 | JIS-C-R特選 | F | '88.10.5 |
| NARVA CROSS | JIS-C-M用 | J | '90.1.9 |
| Spazzio | JIS-C-R用 | F | '90.4.3 |
| JT | JIS-C-M用 | J | '90.4.3 |
| Answer | SNELL-MX用 | F | '95.8.23 |

●(株)エフイーティ

〒157-0071東京都世田谷区千歳台4-30-11 ☎03-5490-2562

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|----------------|----------|----|----------|
| NOLAN N35 AIR | JIS-C-R用 | F | '88.5.6 |
| NOLAN N35 AIR | JIS-C-R用 | F | '88.5.13 |
| AXO SPORT X-49 | JIS-C-M用 | F | '89.6.13 |
| AXO SPORT RX-1 | JIS-C-M用 | J | '91.8.20 |
| AXO SPORT RX-2 | JIS-C-M用 | F | '92.9.25 |

●大日本インキ化学工業(株)

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|-------------------|----------|----|----------|
| DIC (TY-1) | JIS-C・R用 | F | '86.4.30 |
| DIC (DF-1) | JIS-C・R用 | F | '86.1.9 |
| DIC (DF-2) | JIS-C・R用 | F | '87.3.31 |
| DIC (GP'87) | JIS-C・R用 | F | '87.7.7 |
| DIC (K) | JIS-C・R用 | F | '87.9.4 |
| DIC (AR) | JIS-C・R用 | F | '87.9.4 |
| DIC (ZIO) | JIS-C・R用 | F | '87.11.4 |
| SUZUKI (ONE) S50C | | F | '81.1.18 |

●興和精機(株)

〒105-0014東京都港区芝1-13-17 ☎03-3453-6011

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|------------------|-------------|----|-----------|
| GRIFFIN (G100TD) | JIS-B・TR、T用 | J | '86.10.23 |
| GRIFFIN (GS-520) | JIS-B・T用 | F | '86.10.23 |
| GRIFFIN (GX-707) | JIS-B・T用 | F | '86.10.23 |
| GRIFFIN (GS530) | JIS-B・T用 | F | '86.11.23 |
| GRIFFIN (GX707) | JIS-C・M用 | F | '87.3.4 |
| GRIFFIN (GS530) | JIS-C・R用 | F | '87.3.4 |

●(株)光輪モータース

〒110-0015東京都台東区東上野4-26-4 ☎03-3841-3411

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|--------------|----------|----|----------|
| AGV (KR2000) | JIS-C・R用 | F | '86.1.30 |
| AGV QUASAR | JIS-C・R用 | F | '95.3.1 |
| SUOMY GW | JIS-C・R用 | F | '99.9.29 |

●ワールド通商(株)

〒113-0033東京都文京区本郷1-24-1 本郷MFビル3F ☎03-3818-5451

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|------------------|----------|----|----------|
| ホルシェ・デザイン (CP-4) | JIS-C・R用 | F | '86.2.25 |
| KIWI (K-16) | JIS-C・R用 | F | '86.7.2 |
| KIWI (K-20) | JIS-C・R用 | F | '88.1.6 |

●(株)モトワールド

〒110-0016東京都台東区台東3-31-4

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|-----------------|------|----|---------|
| ANSWER A-TECH-5 | | F | '88.8.4 |

●(株)谷尾商会

〒530-0037大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06-6358-0651

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|-----------|----------|----|----------|
| NAVA 3A/C | JIS-C・R用 | F | '86.4.28 |
| NAVA-8 | JIS-C・R用 | F | '87.7.7 |

●(株)ヤナセ

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|-------------------|----------|----|----------|
| FJ (FJ-01) | JIS-C・R用 | F | '86.5.28 |
| FJ (FJ-02) | JIS-C・R用 | F | '86.4.28 |
| F-J (FJ-II・インテグラ) | JIS-C・R用 | F | '87.7.7 |

●クノー工業(株)

〒141-0031東京都品川区西五反田6-11-6 ☎03-3492-5641

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|--------------------|----------|----|-----------|
| EF-2 | JIS-C・M用 | J | '86.8.5 |
| DELTA | JIS-C・M用 | J | '86.8.5 |
| AIGLE | JIS-C・M用 | J | '86.8.5 |
| LYNX | JIS-C・M用 | J | '86.8.5 |
| SETA (045) | JIS-C・R用 | F | '87.3.4 |
| Rom RS-1 (SETA045) | JIS-C・R用 | F | '99.10.27 |

●ユニコ(株)

〒106-0032東京都港区六本木7-3-17 ☎03-3478-2707

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|------------|----------|----|-----------|
| VS-2 | JIS-C・R用 | F | '86.3.26 |
| NEF (VS-2) | JIS-C・R用 | F | '86.12.15 |
| NEF-RO2 | JIS-C・R用 | F | '88.6.10 |

●(株)立花

〒133-0044東京都江戸川区本一色3-16-20 ☎03-3653-6277

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|----------------|-----------|----|----------|
| カスタム ES-2 (A型) | JIS-A・T用 | J | '92.4.8 |
| カスタム (A型) | JIS-A・T用 | J | '92.3.11 |
| ライジン (A型) | JIS-A・TR用 | J | '93.2.24 |
| ライジン (レザートップ) | JIS-A・TR用 | J | '93.2.24 |

●ヤマハ大船渡製造(株)

〒022-0002岩手県大船渡市大船渡町字欠の方向1-1 ☎0192-27-4101

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|-------------------|-----------|----|-----------|
| GEORAMA-TS | JIS-C・R用 | F | '86.1.30 |
| GEORAMA-RS | JIS-C・R用 | F | '86.2.24 |
| FE-X | JIS-C・R用 | F | '86.2.24 |
| OE | JIS-C・M用 | F | '86.2.24 |
| GEORAMA-GFV | | F | '86.3.15 |
| GEORAMA-GFV-R | JIS-C・R用 | F | '89.9.5 |
| GFS | JIS-C・R用 | F | '89.10.11 |
| YFR | JIS-C・R用 | F | '90.5.8 |
| YFV | JIS-C・R用 | F | '90.5.8 |
| INPURE (YOA) | JIS-C・R用 | F | '90.5.8 |
| YFV (HJ1) | SNELL・R特選 | F | '91.7.3 |
| GFV (YON) | JIS-C・R用 | F | '92.6.3 |
| YJ-X (YON) | JIS-C・M用 | J | '92.7.8 |
| STAIR | JIS-C・R特選 | F | '93.6.23 |
| GIBSON | JIS-C・R用 | F | '92.2.5 |
| YSF (YOH) | JIS-C種 R用 | F | '94.7.27 |
| YSF (RODEM) (YOH) | SNELL・R特選 | F | '95.1.25 |

●(株)ジャパンプロダクト

〒133-0041東京都江戸川区上一色416-1 ☎03-3655-9055

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|------------|----------|----|---------|
| R120N R2-1 | JIS-C・R用 | F | '86.7.2 |

●(株)RSタイチ

〒574-0013大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720-74-3268

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|------------|----------|----|---------|
| JT (ALS-1) | JIS-C・M用 | J | '87.9.4 |
| JT (ALS-2) | JIS-C・M用 | F | '87.9.4 |

●旺文社パシフィック(株)

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|------|----------|-----|----------|
| NAVA | JIS-C・T用 | セミJ | '86.7.26 |

●(株)大都

〒110-0014東京都台東区北上野1-7-1 ☎03-3843-6426

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|--------------|----------------|----|----------|
| BELL (MAG-4) | SNELL JIS-C・M用 | J | '86.9.30 |

●(株)丸万茂又

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|-----|----------|----|---------|
| MAC | JIS-C・R用 | F | '87.8.5 |

●(株)ドルフィン・インターナショナル

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|------------|-----------------|----|---------|
| BELL MOTO5 | SNELL JIS-C・R特選 | F | '89.5.9 |

●日栄プラスチック(株)

〒362-0806埼玉県北足立郡伊奈町大字小室字志久4429 ☎048-723-0611

| 名 称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|---------------|------------|----|-----------|
| DIC (DFX) | SNELL・R特選 | F | '91.2.15 |
| Gibson (YX) | JIS-C・M用 | F | '91.2.5 |
| DIC (RT35・06) | JIS-C・R用 | F | '92.7.8 |
| DIC-VR | JIS-C・R用 | F | '89.12.12 |
| SYDEEN | SNELL C・R用 | F | '89.3.7 |
| DIC-Inc State | JIS C・M用 | J | '89.5.9 |
| DIC-zio-SX | JIS C・R用 | F | '89.7.20 |
| DIC ZR | JIS C・R用 | F | '89.11.7 |

●オージーケー販売(株)

〒577-0037大阪府東大阪市御厨西ノ町2丁目1番3号 ☎06-6783-5906

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|--------------|------------------|----|----------|
| RS-1 | JIS-C・R用 | F | '91.6.6 |
| RS-1R | JIS-C・R用 | F | '92.9.25 |
| EX-R/S-93G | JIS-C・R用 | F | '93.6.23 |
| S-94G | JIS-C・R用 | F | '95.4.20 |
| RX-R | JIS-C・R用 | F | '95.4.20 |
| RX-V | SNELL、JIS-C種・R特選 | F | '97.2.26 |
| RG-V | SNELL、JIS-C種・R特選 | F | '97.2.26 |
| S-95G | SNELL、JIS-C種・R特選 | F | '97.2.26 |
| Regles S-98G | JIS-C種 R用 | F | '98.1.28 |

●ヤマハ発動機(株)

〒438-8501静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4111

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|------|----------|----|----------|
| YZ07 | JIS C・R用 | F | '93.6.23 |

●(株)イエローコーン

〒106-0045東京都港区麻布十番1-9-8麻布根本ビル4F ☎03-5573-4947

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|-------------------|--------|----|----------|
| SIMPSON (BANDITS) | JIS C種 | F | '94.1.26 |

●エッチージェイシージャパン(株)

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|--------|------------|----|----------|
| FG-X3 | JIS-C・MX用 | F | '95.4.26 |
| FG-10K | JIS-C・RR特選 | F | '95.4.26 |

●フランコ商事(株)

〒540-0005大阪府大阪市中央区上町1-14-13 TAPSビル4F ☎06-6761-6505

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|--------------------|----------|----|----------|
| SHARK (XRC-CARBON) | JIS-C・R用 | F | '95.8.23 |
| SHARK RS2 | JIS-C R用 | F | '98.4.28 |

●山本光学(株)

〒577-0056大阪府東大阪市長堂3-25-8 ☎06-6783-1109

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|--------|-----------|----|----------|
| YAMAHA | JIS-B・TR用 | F | '95.1.25 |

●岡田商事(株)

〒105-0012東京都港区芝大門1-3-7 ☎03-5473-0371

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|------------------|------------------|----|----------|
| BELL (MOTO6) | JIS C種 | F | '94.5.10 |
| BELL (RACE STAR) | JIS C種 | F | '94.6.29 |
| FG-TECH | SNELL、JIS-C種・R特選 | F | '96.6.26 |
| CL-X | SNELL、JIS-C種・M用 | F | '96.6.26 |
| FG-X3 | SNELL、JIS-C種・M用 | F | '96.6.26 |
| CL-10 | SNELL、JIS-C種・R特選 | F | '96.6.26 |
| FG-Light | JIS-C種・R用 | F | '96.7.24 |

●(株)洪進クラウン

大韓民国京畿道龍仁市二東面西里54-2

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|----------------|-----------------|----|----------|
| FG-TECH | SNELL、JIS-C種・M用 | F | '96.6.26 |
| CL-X | SNELL、JIS-C種・M用 | F | '96.6.26 |
| FG-X3 | SNELL、JIS-C種・M用 | F | '96.6.26 |
| CL-10 | SNELL、JIS-C種・M用 | F | '96.6.26 |
| FG-Light super | JIS-C種・R用 | F | '96.7.24 |

●(株)ダックスコーポレーション

〒566-0073大阪府摂津市島飼和道2-8-5 ☎0726-53-0299

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|-------------------|------------------|----|-----------|
| BieFFe BR16 | SNELL、JIS-C種・R特選 | F | '97.11.26 |
| BieFFe (BR19) | SNELL M95 R特選 | F | '98.6.24 |
| BieFFe Cross Tech | SNELL M95 MX特選 | F | '98.7.29 |

●(有)井原商会

〒301-0823茨城県電ヶ崎市砂町2738-1 ☎0297-62-0149

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|--------------|---------------|----|----------|
| O'NEAL SL708 | SNELL M95 M特選 | F | '99.2.24 |

●モトプラザ・アップル(株)

〒984-0042宮城県仙台市若林区大和町1-5-15 ☎022-283-1651

| 名称 | 取得規格 | 形状 | 公認年月日 |
|-----------|--------------|----|----------|
| FOX FLITE | SNELL M90 M用 | F | '99.8.25 |

公認レーシンググーツ

●(株)カドヤ

〒111-0035東京都台東区西浅草3-29-21 ☎03-3843-2000

| 名称 | 型式 | 公認年月日 |
|----------------|--------------------|-----------|
| ON THE RACE G2 | RP,PX,MM,RD,PT | '90.10.23 |
| NEW CONCEPTER | MDシリーズ (MD1,2は柔) | '90.10.23 |
| KADOYA | OR-SR | '90.10.23 |
| ON THE RACE G2 | RP-FS 0020 | '91.4.10 |
| ON THE RACE G2 | G2-RP (G2/RP-125) | '92.3.11 |
| ON THE RACE G2 | G2-RP (G2/RP-0708) | '92.3.11 |
| KADOYA | OR | '95.6.28 |
| K'S LEATHER | CLASH KING | '95.6.28 |

●(株)クシタニ

〒430-0853静岡県浜松市三島町231 ☎053-441-2251

| 名称 | 型式 | 公認年月日 |
|-----------|--------------------------|-----------|
| KUSHITANI | KR KRN | '90.10.23 |
| KUSHITANI | KI | '90.10.23 |
| KUSHITANI | K | '91.1.18 |
| KUSHITANI | KV | '91.1.18 |
| KUSHITANI | オーダーメイド | '91.2.8 |
| KUSHITANI | KI-101,102,103 | '91.4.10 |
| KUSHITANI | KX-1 | '91.11.5 |
| KUSHITANI | KX-1 | '91.11.5 |
| KUSHITANI | KI-X (KI-107X) | '92.11.1 |
| KUSHITANI | KI-XM (KI-106) | '92.11.1 |
| KUSHITANI | KI-X | '93.3.24 |
| KUSHITANI | KI-X (KI-109,KI-111) | '94.1.10 |
| KUSHITANI | KI-X (KI-112,KI-113) | '94.11.23 |
| KUSHITANI | K-DR (K-161,K-162,K-163) | '95.12.26 |
| KUSHITANI | KI-XW (KI-114XX) | '95.12.26 |
| KUSHITANI | KI-XW (KI-115XX) | '95.12.26 |
| KUSHITANI | KI-XW (KI-160XX) | '95.12.26 |
| KUSHITANI | KI-XG (KI-118XX) | '95.12.26 |
| KUSHITANI | KI-XV (KI-150XX) | '96.9.25 |
| KUSHITANI | KI-XV (KI-116XX) | '96.9.25 |
| KUSHITANI | KI-XV (KI-117XX) | '96.11.27 |
| KUSHITANI | KI-XR (KI-119XX) | '98.1.28 |
| KUSHITANI | KI-XG (KI-121XX) | '98.1.28 |
| KUSHITANI | KI-XD (KI-122) | '98.1.28 |
| KUSHITANI | K-X (0001XX) | '99.2.24 |
| KUSHITANI | K-X (0002XX) | '99.2.24 |
| KUSHITANI | K-X (0003XX) | '99.2.24 |
| KUSHITANI | K-X (0005XX) | '99.2.24 |

●(株)ルック

〒125-0061東京都葛飾区亀有4-3-7 ☎03-3604-7800

| 名称 | 型式 | 公認年月日 |
|--------|----------|-----------|
| SR | SR01~03 | '90.10.23 |
| RS | RS I~V | '90.10.23 |
| SS | SS I~III | '90.10.23 |
| Look | (オーダー) | '90.10.23 |
| ラファール3 | オーダーメイド | '91.4.20 |
| GPシリーズ | | '92.11.28 |
| SPシリーズ | SP | '93.11.24 |

●(株)アールエスタイチ

〒574-0013大阪府大東市中埴内3-1-25 ☎0720-74-3268

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-----------------|--|-----------|
| Nixeレーシングレザースーツ | NXL | '90.9.29 |
| NIXEレーシングレザースーツ | NXL005,006,007,008,009 | '91.9.8 |
| NIXEレーシングレザースーツ | NXL,NXL (オーダー) | '91.1.18 |
| NIXEレーシングレザースーツ | NXL (NXL001) | '92.10.7 |
| NIXEレーシングレザースーツ | NXL (NXL012,015) | '92.10.7 |
| NIXEレーシングレザースーツ | NXL (NXL011) | '92.10.14 |
| NIXE NXL | NXL016 | '94.1.26 |
| NIXE NXL | NXL017-018 | '94.1.26 |
| NIXEレーシングレザースーツ | NXL | '94.12.28 |
| NIXE NXL | NXL030 | '95.12.26 |
| NIXE NXL | NXL031 | '95.12.26 |
| NIXE NXL | NXL032 | '95.12.26 |
| NIXE NXL | NXL035 | '96.11.27 |
| NIXEレーシングレザースーツ | NXL038 | '97.1.29 |
| NIXEレーシングレザースーツ | NXL037 (条件付公認) | '97.1.29 |
| NIXEレーシングスーツ | NXL040, NXL041 | '97.12.24 |
| NIXEレーシングスーツ | NXL042, NXL043, NXL044, NXL045, NXL046, NXL047 | '98.9.30 |
| NO FEARレーシングスーツ | NFL-500 | '99.10.27 |
| NIXEレーシングスーツ | NXL-049, NXL-051 | '99.10.27 |
| NIXEレーシングスーツ | NXL-048, NXL-050 | '99.10.27 |

●(株)アズ・スポーツ

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|----------------|-------------------|-----------|
| Justys | J-001R~J-023R | '90.10.23 |
| Justys-J-PRO-R | JPR-001R~JPR-004R | '90.10.23 |
| A's Racing | AS001SO~AS007SO | '90.10.23 |

●(株)大都

〒110-0014東京都台東区北上野1-7-1 ☎03-3843-6426

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|----------|----------------|-----------|
| THE BIKE | RCシリーズ | '90.10.23 |
| D'S | DRS-3007,3008 | '91.5.8 |
| THE BIKE | オーダーメイド | '91.5.8 |
| THE BIKE | FR-10,11,12,13 | '91.6.5 |
| THE BIKE | FR-3,5,6,7,8,9 | '91.2.6 |
| THE BIKE | GP-3,GP-5 | '91.2.6 |
| THE BIKE | RC-355,RS-NB | '93.8.25 |

●(株)光輪モーターズ

〒110-0015東京都台東区東上野4-26-4 ☎03-3841-3411

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|---------|-------------------|-----------|
| PLICANA | グループC (PT-MS) | '90.10.23 |
| PLICANA | グループA (PT-RXIGP) | '91.2.6 |
| PLICANA | グループB (PT-NIGP) | '91.2.6 |
| PLICANA | グループH (PT-ATILS) | '91.2.6 |
| PLICANA | PT-ZEAI | '91.11.5 |
| PLICANA | グループAPT-DELTA MAX | '95.12.26 |
| PLICANA | グループC PT IS1 | '95.12.26 |
| PLICANA | グループCPTラッキーストライク | '95.12.26 |
| PLICANA | グループAPT-DELTA MAX | '95.12.26 |
| PLICANA | グループC PT IS1 | '95.12.26 |
| PLICANA | グループCPTラッキーストライク | '95.12.26 |

●(有)セクレテール

〒152-0002東京都目黒区目黒本町6-21-15 ☎03-3714-0533

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------|-----------------------|-----------|
| セクレテール | RF,RC,RS,TR,MFR | '90.10.23 |
| セクレテール | (オーダー) | '90.10.23 |
| セクレテール | MFR-912 | '92.3.11 |
| セクレテール | RS-26,27 | '92.3.11 |
| セクレテール | RS-28,29,30,REP, | '92.11.28 |
| セクレテール | RF,RS,REP | '93.5.26 |
| セクレテール | RF33,RS43,RF944,RF945 | '94.10.25 |

●(株)デグナー

〒607-8463京都府京都市山科区上山山講田町57-1 ☎075-501-7137

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|------|--------|-----------|
| デグナー | R-1 | '90.10.23 |
| デグナー | R-2 | '90.10.23 |
| デグナー | R-6 | '90.10.23 |
| デグナー | フルオーダー | '98.7.29 |

●(株)ナカタケ

〒721-0964広島県福山市港町2-16-22 ☎0849-23-2423

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|------|---------------|-----------|
| ナカタケ | NS-ゴーズアップシリーズ | '90.10.23 |
| ナカタケ | NS-R | '91.11.5 |

●(株)邑輝総研

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------|------------|-----------|
| Boldor | レーシングワンピース | '90.10.23 |

●(有)ライブラ

〒491-0934愛知県一宮市大和町荻安賀字角出62 ☎0586-44-6451

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|----------------|---------|-----------|
| ライブラレーシングスーツ | LRS-01 | '90.10.23 |
| COSMIC (Libra) | オーダーメイド | '92.1.9 |

●東京ベルト(株)

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------|--------|-----------|
| TO BEL | TBシリーズ | '90.10.23 |

●(有)エムシーコレクション

〒270-2231千葉県松戸市稗台37 ☎0473-64-6555

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|------------------|----------------|-----------|
| フォーヘッド(FOR HEAD) | (オーダーメイド) | '90.11.17 |
| フォーヘッド(FOR HEAD) | FH-001,002,009 | '90.11.17 |

●(株)レインボー

〒110-0014東京都台東区北上野1-5-5 ☎03-3843-5606

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-------|----------------|-----------|
| レインボー | (オーダーメイドレーシング) | '90.11.17 |

●(有)アールシーエム

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------|---------------------|----------|
| Toril | オーダーメイド | '91.5.8 |
| ファルコン | オーダーメイド | '91.5.8 |
| HAL | オーダーメイド | '91.5.8 |
| FALCON | FS | '91.3.12 |
| Toril | TX,TXR | '91.3.12 |
| HAL | 01A,02A,03A,05A,06A | '91.5.8 |
| ブラスト | オーダーメイド | '91.11.5 |

●(株)アイアンドエイ

〒660-0823兵庫県尼崎市大物町1-1-15 ☎06-6401-1011

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------|---------|---------|
| B-LINE | オーダーメイド | '91.5.8 |

●(株)アダチ

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|----------------------------|---------|----------|
| JRP | オーダーメイド | '91.2.6 |
| MOTO FLASH | オーダーメイド | '91.2.6 |
| RSA | オーダーメイド | '91.2.6 |
| MOTOR KING MICHIKO KOSHINO | オーダーメイド | '92.3.11 |

●(株)アチーブ

〒340-0025埼玉県草加市谷塚上町738-1 ☎0489-24-7519

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|----------------|---------|---------|
| レーシングスーツYONEZO | オーダーメイド | '91.1.8 |

●(有)エフワン

〒114-0003東京都北区豊島4-14-2 ☎03-3912-5149

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-------|---------------------------|---------|
| エフワン | FR-2A,6B,G3A,Z1,Z2,カスタムG6 | '91.5.8 |
| F-ONE | FR-G2B | '91.2.6 |

付 録

●ジュベットレザーハウス

〒435-0017静岡県浜松市薬師町148 ☎053-421-7722

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-------|---------|----------|
| JUBET | オーダーメイド | '91.4.10 |

●(株)キジマ

〒123-0841東京都足立区西新井4-16-3 ☎03-3897-2167

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-------------|-------------|----------|
| KISS | オーダーメイド | '91.4.10 |
| KISS RACING | プロトワン-プロトツー | '91.2.6 |

●(株)ギャロップ

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|---------------|------------------------|-----------|
| FORZA | FO-404,405,406 | '91.2.6 |
| FORZA | オーダーメイド | '91.2.6 |
| R-SPORTS | R-SPORTS02,401,402,403 | '91.5.8 |
| FORZA | FO-407 | '91.10.16 |
| STREET SLIDER | SSシリーズSS-03 | '92.9.5 |
| TRX | X-Sシリーズ | '93.1.27 |
| FORZA | FOシリーズ | '93.2.24 |
| ワンズワン | GOシリーズ | '93.5.26 |
| STREET SLIDER | SSシリーズ | '93.5.26 |
| モトブラザGT | GTシリーズ | '93.11.23 |
| FORZA FOシリーズ | FO-411 | '94.4.27 |
| FORZA FOシリーズ | FO-412 | '94.9.15 |
| FORZA FOシリーズ | FO-413 | '94.10.31 |
| FORZA FOシリーズ | FO-414 | '96.11.27 |
| FORZA FOシリーズ | FO-415 | '97.1.29 |
| FORZA FOシリーズ | FO-416 | '97.1.29 |

●(株)フォルザ・インターナショナル

〒105-0003東京都港区新橋2-19-1 ☎03-3433-0405

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-------|--------|-----------|
| FORZA | FO-414 | '98.12.23 |
| FORZA | FO-415 | '98.12.23 |
| FORZA | FO-416 | '98.12.23 |
| FORZA | FO-417 | '98.12.23 |
| FORZA | FO-418 | '99.4.28 |
| FORZA | FO-419 | '99.4.28 |

●(株)ホンダショップアルトモトスポーツグラッド

〒537-0012大阪市東成区大今里3-15-25 ☎06-6971-6381

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|----------|-----|----------|
| KIKUTANI | AK | '93.2.24 |

●(有)後藤商店

〒208-0011東京都武蔵村山市学園3-18-1 ☎042-565-6663

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|---------------------|-------------|----------|
| GOTO MD-Performance | MD-I-VIII | '91.1.8 |
| GOTO | オーダーメイド | '91.1.8 |
| GOTO MD-Performance | MD-Y9,10,11 | '91.4.28 |

●ツナギのクウタ

〒300-3505茨城県結城郡八千代町佐野16 ☎0296-49-0626

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-----|--------|----------|
| クウタ | (オーダー) | '90.9.29 |

●(株)コミネオートセンター

〒111-0056東京都台東区小島2-20-11 ☎03-3862-9811

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|---------------|-------------------|-----------|
| Spazio レーシング | A.S-11 | '91.2.6 |
| KOMINE Spazio | オーダーメイド | '91.2.6 |
| Spazio | S-14R | '91.5.8 |
| Spazio | S-B,S-8,S-10,S-14 | '91.6.5 |
| Spazio | S-15 | '92.1.9 |
| Spazio | S-16 | '92.11.28 |
| Spazio | ツナギ | '98.9.30 |
| Spazio | セバレート | '98.9.30 |
| Spazio | S-17S | '99.10.27 |

●ジニアス

〒579-8043大阪府東大阪市客坊町5-3 ☎0729-87-0165

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|------|-------|---------|
| ジニアス | SIR-G | '91.2.6 |

●ステージレザー

〒341-0037埼玉県三郷市高州2-387-3 ☎048-955-5146

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-----------|------------|----------|
| PRO STAGE | レーシングワンピース | '91.1.18 |

●ダイネーゼジャパンインク

〒560-0036大阪府豊中市蛍池西町2-13-7第2ビル1F 106-6854-9921

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------------------|------------------------------------|-----------|
| ダイネーゼ | T.MONZA,T.MISANO,T.SILVERSTONE | '91.8.7 |
| ダイネーゼ | T.GRAPHICA,T.FRECCIA,T.CHILLI,TEAM | '91.8.7 |
| ダイネーゼ | T.STROM,T.FCH,T.EDDIESS,T.SFUMATA | '92.5.13 |
| ダイネーゼ | T.K.S | '93.4.28 |
| ダイネーゼ T-SAFETY PRO | T-SAFETY PRO | '94.6.29 |
| ダイネーゼ | T-SCOTT RUSSEL REPLICA | '95.12.26 |
| ダイネーゼ | T-BELZEBU | '95.12.26 |
| ダイネーゼ | T-CAPIROSSI REPLICA | '95.12.26 |
| ダイネーゼ | T-FOGARTY REPLICA | '96.3.27 |
| ダイネーゼ | T-BIAGGI REPLICA | '96.3.27 |
| ダイネーゼ | DAINESE T-RD1 | '96.4.24 |
| DAINESE | T.TECHNO | '99.2.24 |

●(株)谷尾商会

〒530-0037大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06-6358-0651

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|------|---------|----------|
| ラビーン | RVX-1-5 | '91.1.18 |

●南海部品(株)

〒530-0002大阪府大阪市北区曾根崎新地2-6-28 ☎06-6344-1581

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------------------------|------------------|-----------|
| ナンカイ | SDシリーズ | '91.2.6 |
| SRシリーズ | SRシリーズ | '91.2.8 |
| ナンカイ | オーダーメイド | '91.6.5 |
| ナンカイ | NR-011R平レプリカスーツ | '91.6.5 |
| ナンカイ | NR-50プロレーシングスーツ | '91.6.5 |
| ナンカイ | NRシリーズ | '91.1.8 |
| ナンカイ | SR-16 | '92.5.13 |
| ナンカイ | SR-17 | '92.5.13 |
| ナンカイ | NR-51 | '92.5.13 |
| ナンカイ | SD-8 | '92.11.1 |
| ナンカイ | NR-52 | '92.11.1 |
| ナンカイ | NR-51,SR-16,17 | '93.3.24 |
| SRシリーズ | SR-18 | '93.11.24 |
| 94年ドゥーハンレプリカニューモデル | NR-06R,NR-013R1 | '93.4.27 |
| SDシリーズ | SD-SPECIAL | '94.4.27 |
| 94D-ビティーマルボロレーシングレプリカ | NR-015R1 | '94.4.27 |
| 94原田哲也レーシングレプリカ | NR-018R1 | '94.7.27 |
| 94A-パロスラックストライクレーシングレプリカ | NR-014R1 | '94.7.27 |
| 94辻村猛レーシングレプリカ | NR-016R1 | '94.7.27 |
| 94井形とも子レーシングレプリカ | NR-017R1 | '94.7.27 |
| ナンカイ | NR-53プロレーシングスーツ | '95.3.1 |
| ナンカイ | NR-54プロレーシングスーツ | '95.3.1 |
| ナンカイ | SD-12レーシングスーツ | '95.3.1 |
| ナンカイ | SD-13レーシングスーツ | '95.3.1 |
| ナンカイ | プロレーシングレプリカスーツ | '95.10.25 |
| ナンカイ | NR-558前セミレプリカスーツ | '96.9.25 |
| ナンカイ廉価版レーシングスーツ | SR-20 | '96.11.27 |
| ナンカイ廉価版レーシングスーツ | SR-21 | '97.1.29 |
| ナンカイプロレーシング | NR-56 | '97.1.29 |
| NANKAIプロレーシングスーツ | NR-57, NR-58 | '98.2.25 |
| NANKAIレーシングスーツ | SD-100 | '98.8.26 |
| NANKAIレーシングスーツ | SD-101 | '98.8.26 |
| NANKAIプロレーシングスーツ | NR-59 | '99.4.28 |
| NANKAIプロレーシングスーツ | NR-06R10 | '99.7.28 |

●(有)ハイブ

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-----|---------|----------|
| ハイブ | オーダーメイド | '91.3.12 |

●バギー(株)

〒636-0203奈良県磯城郡川西町梅戸226 ☎0745-43-0177

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-------------|---------|----------|
| バギー,バルベットBR | オーダーメイド | '91.4.10 |
| バギー,バルベットBR | A,AP,AR | '91.1.18 |
| PERUHEAD | AP | '98.1.28 |

●(有)ビッグスター

〒110-0014東京都台東区北上野1-5-5 ☎03-3487-1480

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------|---------|----------|
| ビッグスター | オーダーメイド | '91.4.10 |

●ファクトリースズキ

〒193-0833東京都八王子市めじろ台4-3-13 ☎0426-65-8180

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-----------|---------|---------|
| PRIDE ONE | オーダーメイド | '91.9.4 |

●(有)フジタレザー

〒502-0814岐阜県岐阜市福光西2-10-15 ☎0582-33-5620

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------|--------------------|-----------|
| フジタレザー | オーダーメイド | '91.6.5 |
| フジタレザー | レザーモーターサイクルワンピースーツ | '95.12.26 |

●ユニバース

〒183-0056東京都府中市寿町1-1-10 ☎0423-60-6311

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|---------|--------------------|----------|
| STUFF U | SU1003,5,6,7 STAGE | '91.3.12 |
| STUFF U | オーダーメイド | '91.3.12 |
| PROSPEC | RC・-001,RC・-002 | '91.6.5 |

●ブレンレザー

〒430-0846静岡県浜松市白羽町2410 ☎053-441-6471

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------|---------|----------|
| ブレンレザー | オーダーメイド | '91.3.12 |

●モータースポーツミスターヒロ

〒580-0012大阪府松原市立部2-499-1 ☎0723-36-1550

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|---------|---------|---------|
| Mr.hiro | オーダーメイド | '91.9.4 |

●アレス

〒340-0002埼玉県草加市青柳町7-11-22 ☎0489-31-4319

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-----|---------|---------|
| アレス | オーダーメイド | '91.2.6 |

●ヤマハ発動機(株)

〒438-8501静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4420

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-----------------|--------------------|-----------|
| YAMAHA YL-Aシリーズ | YL-340,336,337,338 | '91.2.6 |
| Takai R | TR TRL | '90.10.23 |
| PRO SHOP TAKAI | オーダーメイド | |
| Takai R | TR TRL | '91.5.8 |

●ライディングコスチュームT&T

〒651-2111兵庫県神戸市西区池上4-13-8 ☎078-974-8682

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-----|-----|----------|
| T&T | TS | '91.1.18 |

●レーシングプロショップO.S.F.C

〒959-0432新潟県西蒲原郡西川町新栄町296 ☎0256-88-7441

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------------------|---------|---------|
| レーシングプロショップO.S.F.C | O.S.F.C | '91.2.6 |

●(有)ワンステップライダー

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-----|-------|-----------|
| OSR | YR-07 | '90.11.17 |

●パパス

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------|---------|---------|
| Papa's | オーダーメイド | '92.1.9 |

●(有)福富洋商会(シュアー)

〒300-1151茨城県稲敷郡阿見町大字荒川沖1924-1 ☎0298-42-8161

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|------------|---------|---------|
| SURE(シュアー) | オーダーメイド | '92.1.9 |

●BCピロータ

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------|---------|---------|
| BCピロータ | オーダーメイド | '92.1.9 |

●(株)プランツ

〒111-0043東京都台東区駒形1-10-9村上ビル3F ☎03-3847-2891

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|----------------|-------------|---------|
| ハロスギア レーシングスーツ | OP-1オーダーメイド | '92.1.9 |

●レザーハウスA&M

〒277-0812千葉県柏市花野井1925-6 ☎0471-33-1664

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-----------|------|-------|
| レザースーツA&M | オーダー | |

●美津濃(株)

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------|---------|----------|
| MIZUNO | オーダーメイド | '92.3.11 |

●WORK BOX KASAI

〒985-0831宮城県多賀城市笠神2-2-1 ☎022-366-6879

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|---------|---------|----------|
| [bulit] | オーダーメイド | '92.3.11 |

●ツカサプランニング

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-------------|--------------|----------|
| HELIO TROPE | HELIO RACING | '92.3.11 |

●(有)レーシングショップアイティーエ

〒981-1241宮城県名取市高館熊野堂宇余方上12-12 ☎022-386-3705

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-------------|---------|----------|
| ITAレーシングスーツ | ITAオーダー | '92.3.11 |

●アトリエ・ワン

〒485-0024愛知県小牧市南外山長田64-1 ☎0568-71-3040

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------------|---------|----------|
| A-ONE RACING | オーダーメイド | '92.7.8 |
| アトリエ・ワン | AS101 | '99.2.24 |

●レースサービスAxtas

〒182-0036東京都調布市飛田給1-34-16 ☎0424-84-9115

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|-------|--------|----------|
| Axtas | AYシリーズ | '94.2.23 |

●(株)ホンダアクセス

〒352-8589埼玉県新座市野火止8-18-4 ☎048-477-9143

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|---------------|---|----------|
| Super Bold'os | デイトナ、イモラ、ホッケンハイム、キャラミ、ラグナセカ、アッセン、イースタンクリーク、スズカ、ヘレス、シルバーストーン、94オカダ | '94.9.28 |
| Super Bold'os | CLASSIC MODEL | '99.2.24 |
| Super Bold'os | MOTEGI MODEL | '99.2.24 |
| Super Bold'os | DREAM MODEL | '99.2.24 |
| Super Bold'os | WING MODEL | '99.2.24 |
| Super Bold'os | HRC MODEL | '99.2.24 |
| Super Bold'os | HARU AOKI MODEL | '99.2.24 |
| Super Bold'os | BOMBER MODEL | '99.2.24 |

●(株)アール・エス・エー・レザー

〒481-0001愛知県西春日井郡師勝町六ツ師女夫越110 ☎0568-25-7830

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|--------------|--------|----------|
| RSA Leathers | フルオーダー | '95.8.23 |
| ドーナークラブ | フルオーダー | '96.9.25 |

●(有)エス・ケー・ワイ

〒161-0033東京都新宿区下落合3-4-3コテージ二宮1B ☎03-3565-3685

| 名 称 | 型 式 | 公認年月日 |
|----------------|------------------------------|----------|
| GREEDY | GR-401, 402 | '99.3.24 |
| GREEDY | GR-401S, 402S | '99.3.24 |
| SPEED OF SOUND | SOS-1, SOS-2 SOS-3, SOS-4 | '99.4.28 |

MFJ公認タイヤ

●井上ゴム工業(株)

〒503-2417岐阜県揖斐郡池田町本郷680番地 ☎0585-45-2809

| タイヤ名 | サイズ | 公認年月日 |
|-------------------------------|--|----------|
| TRIAL WINNER | 4.00R18, TR-7 | '86.3.26 |
| TRIAL WINNER TR-9 | 4.00R18 | '86.7.8 |
| PRO-TECH NS-50F | 2.75-174PR, 2.75-184PR, 80/100R16, 80/90R16 | |
| NS-50R | 2.75-174PR, 3.00-174PR, 90/90R18, 90/90R17 | |
| PRO-TECH NS-10F | 90/90R18, 100/80R17, 100/90R16, 110/70R17, 110/80R17, 110/80R18, 120/70R17, 120/80R16 | |
| NS-10R | 110/80R18, 120/80R17, 120/80R18, 130/70R17, 130/90R16, 140/60R18, 140/70R18, 160/60R18 | |
| SPATOLA SPO 1F RADIAL | 110/70R17 54H, 120/60R17 55H, 150/60R17 66H, 160/60R17 69H | '92.7.1 |
| TRIAL WINNER TRO11F TUBE TYPE | 2.75/21 | '92.10.1 |
| TRIAL WINNER TRO11F TUBELESS | 4.00R18 | '92.10.1 |

●日本ミシュランタイヤ(株)

〒102-8176東京都千代田区富士見1-6-1富士見ビル ☎03-5210-2731

| タイヤ名 | サイズ | 公認年月日 | |
|---------------------------------|---|--|-----------|
| MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL | 4.00R18 TL | '87.7.8 | |
| ラジアルA59X | 130/60R16, 120/80R16, 130/60R17 (59H, 59Z), 110/70R17, 120/70R17 (58, 58Z) | | |
| ラジアルM59X | 160/60R16, 160/80R16, 180/55R17, 160/60R17 (69H, 69Z), 160/60R18, 150/70R70 | | |
| ハイスポートラジアルTX11 | 120/80R16, 130/60R17, 120/70R17, 100/80R17, 110/80R17, 120/60R17 (55H, 55Z), 110/70R17, 110/80R18 | | |
| ハイスポートラジアルTX23 | 160/80R16, 180/55R17, 150/60R17, 160/60R17 (69H, 69Z), 130/70R17, 150/70R17 | | |
| P2301 | 12/60R17 | | |
| P3104 | 15/61R17, 18/67R17 | | |
| P1201 | 12/60R17 | | |
| P3103 | 15/61R17, 18/67R17 | | |
| MICHELIN TRIAL COMPETITION | 2.75/21TT | '91.11.1 | |
| MICHELIN TRIAL COMPETITION | 2.75/21TL | '91.11.1 | |
| MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL | 4.00R18TL | '91.11.1 | |
| A59X | 120/60R17 55Z | '92.4.3 | |
| MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL | 4.00R18TL | '92.5.1 | |
| ハイスポートラジアルTX11B-TX23 | 110/70ZR17, 120/70ZR17, 120/60ZR17, 190/50ZR17, 180/55ZR18 | '94.7.28 | |
| ハイスポートラジアルTX15 | 130/70ZR16, 110/70ZR17, 120/60ZR17 | '95.5.25 | |
| ハイスポートラジアルTX25 | 150/60ZR17, 160/60ZR17 | '95.5.25 | |
| ハイスポートラジアルTX15RACE | 110/70ZR17, 120/70ZR17, 120/60ZR17 | '95.9.22 | |
| ハイスポートラジアルTX25RACE | 150/60ZR17, 160/60ZR17, 180/55ZR17 | '95.9.22 | |
| P3106使用可能リム3.00~3.50 | 12/60-17 | '96.6.25 | |
| P3107使用可能リム3.00~3.50 | 12/60-17 | '96.6.25 | |
| P4105使用可能リム4.50~5.50 | 16/62-17 | '96.6.25 | |
| P4107使用可能リム4.50~5.50 | 16/62-17 | '96.7.25 | |
| ハイスポートラジアルTX25RACE2 | 使用可能リム4.00~4.50 使用可能リム4.25~5.00 使用可能リム4.25~5.50 使用可能リム5.50~6.00 | 150/60ZR17 160/60ZR17 170/60ZR17 180/55ZR17 | '97.2.28 |
| P1107 | 使用可能リム2.50 | 9/58-17 | '97.1.24 |
| ハイスポートラジアルTX15RACE3 | 使用可能リム3.00~3.50 使用可能リム3.50~3.75 使用可能リム3.50~3.75 | 110/70ZR17 120/60ZR17 120/70ZR17 | '97.7.24 |
| ハイスポートラジアルTX25RACE3 | 使用可能リム4.00~4.50 使用可能リム4.25~5.00 使用可能リム4.25~5.00 | 150/60ZR17 160/60ZR17 170/60ZR17 | '97.8.1 |
| TX15RACE3 SOFT | 使用可能リム3.00~3.50 使用可能リム3.50~3.75 使用可能リム3.50~3.75 | 110/70ZR17 120/60ZR17 120/70ZR17 | '98.7.23 |
| TX25RACE3 SOFT | 使用可能リム4.00~4.50 使用可能リム4.25~5.00 使用可能リム4.25~5.50 | 150/60ZR17 160/60ZR17 170/60ZR17 | '98.7.23 |
| P1107 | 使用可能リム4.50~5.50 | 16/63-17 | '98.11.27 |
| PILOT | 使用可能リム3.00~3.50 | 110/70ZR17 | |
| RACE | ◇ 3.50~3.75 | 120/60ZR17 | |
| | ◇ 3.50~3.75 | 120/70ZR17 | |
| | ◇ 4.00~4.50 | 150/60ZR17 | |
| | ◇ 4.25~5.00 | 160/60ZR17 | |
| | ◇ 4.25~5.00 | 170/60ZR17 | |
| ◇ 5.50~6.00 | 180/55ZR17 | | |
| PILOT | ◇ 3.00~3.50 | 110/70ZR17 | '99.7.1 |
| RACE | ◇ 3.50~3.75 | 120/60ZR17 | |
| | ◇ 3.50~3.75 | 120/70ZR17 | |
| | ◇ 4.00~4.50 | 150/60ZR17 | |
| | ◇ 4.25~5.00 | 160/60ZR17 | |
| SOFT | ◇ 4.25~5.00 | 170/60ZR17 | |
| | ◇ 4.25~5.00 | 180/55ZR17 | |
| | ◇ 5.50~6.00 | | |
| P1108 | 使用可能リム4.50~5.50 | 16/63-17 | '99.8.27 |

●P&A (株)

〒106-0044東京都港区東麻布1-10-11阿部ビル5F ☎03-5575-2320

| タイヤ名 | サイズ | 公認年月日 |
|------------------------|---|-----------|
| ビレートライアルタイヤ・MT73ガトラリアル | 2.75 - 21 MT73 | '90. 9. 7 |
| MP7スポーツレーシング | 110/70ZR17,120/60ZR17, 120/70ZR17,150/60ZR17, 160/60ZR17,180/55ZR17, 140/60ZR18,170/60ZR18 | '91. 7. 4 |
| MT75レーシング | 100/80T16,100/80T17, 130/70T17,140/70T17, 130/70T18 | '91. 7. 4 |

●(株)日本ダンロップ

〒651-0071兵庫県神戸市中央区筒井町2-1-1 ☎078-265-5622

| タイヤ名 | サイズ | 公認年月日 |
|------------------|---|------------|
| K320 | 2.75 - 21 4PR | '86.11.23 |
| K320 | 4.00R18 4PR | '86.11.23 |
| TT500F GP | 80/90R16,90/90R16, 100/90R16,90/80R17, 100/18R17 (52H,57H,54H) | |
| TT50GP | 90/90R17,120/80R17, 140/80R17,130/70R17, 140/70R17,100/90R18, 130/70R18 | |
| RIDEEN GPR - 30E | 110/70R17,120/70R17, 120/60R17,100/60R17, 150/60R17,160/60R17, 170/60R17,140/60R18, 150/60R18, | |
| MR677 | 3.25/4.75R17,4.00/6.00R18, 2.50/3.00R18,2.75/3.75R18, 3.25/5.75R17,3.25/5.75R18, 2.65/3.25R17,2.85/4.00R17, 3.80/6.00R17,3.60/6.70R18 | |
| RIDEEN GPR - 60F | 110/70R1754H,120/60R1755H | '91. 5. 9 |
| RIDEEN GPR - 60 | 150/60R1766H,160/60R1769H 140/60R1864H,150/60R1867H | '91. 5. 9 |
| TT700F GP | 100/80 - 1752H,110/70 - 1754H 100/90 - 1654H | '91. 5. 9 |
| TT700 GP | 130/70 - 1762H,140/70 - 1766H 120/80 - 1761H,130/70 - 1863H 130/90 - 1667H | '91. 5. 9 |
| TT700F GP | 90/90 - 18,110/80 - 17 | '92. 3. 4 |
| TT700 GP | 110/80 - 18,110/90 - 18, 120/80 - 18,140/70 - 18, 150/70 - 17 | '92. 3. 4 |
| K375F | 100/80 - 17 | '92. 2. 4 |
| K375FG | 100/80 - 17 | '92. 2. 4 |
| K375 | 120/80 - 17 | '92. 2. 4 |
| K420GPチューブレス | 4.00R18 4PR | '92. 4. 1 |
| K420GPチューブレス | 4.00R18 4PR | '92. 4. 1 |
| TT500F GP | 100/80 - 17 52S | '92. 6. 20 |
| TT500GP | 120/80 - 17 61S | '92. 6. 20 |
| K420チューブタイプ | 2.75 - 21 (45K) | '92.11. 6 |
| K420チューブレスタイプ | 2.75 - 21 (45K) | '92.11. 6 |
| K420GPチューブタイプ | 2.75 - 21 (45K) | '92.12. 3 |
| K420GPチューブレス | 2.75 - 21 (45K) | '92.12. 3 |
| K420GPチューブタイプ | 4.00R18 (64M) | '92.12.15 |
| K420GPチューブレス | 4.00R18 (64M) | '92.12.15 |
| GPR50F | 110/70R17 54H 120/60R17 54H 120/70R17 58H | '93. 2. 20 |
| GPR50 | 140/60R17 63H 140/60R18 64H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H | '93. 2. 20 |
| MR777 | 150/60R17 | '93. 3. 23 |
| MR977 | 90/75R17,115/65R17, 120/70R17,160/60R17, | '94. 3. 22 |
| D801Fチューブタイプ | 2.75 - 21,4P.R (45M) | '94. 5. 1 |
| D801Fチューブレスタイプ | 2.75 - 21,4P.R (45M) | '94. 5. 1 |
| D801チューブタイプ | 4.00R18,4P.R (64M) | '94. 5. 1 |

| | | | |
|---------------------|--|--|--|
| D801チューブレスタイプ | | 4.00R18,4P.R (64M) | '94. 5. 1 |
| MR977 | | 110/70R17 | '94. 7. 28 |
| Rideen GPR - 50F SP | | 110/70R17 54H,120/60R17 55H 120/70R17 58H | '95. 2. 15 |
| Rideen GPR - 50 SP | | 140/60R17 63H,140/60R18 64H 150/60R17 66H,150/60R18 67H 160/60R17 69H | '95. 2. 15 |
| TT900F GP | | 80/90/16 43P,90/80/17 46S,100/80/17 52S,100/90/16 54H,100/80/17 52H,100/80/17 57H,110/70/17 54H | '95. 2. 15 |
| TT900GP | | 90/90/17 49P,100/80/17 52S,120/80/17 61S,120/80/17 61H,120/80/18 62H,130/70/17 62H,140/70/17 66H,150/70/17 69H,150/70/18 70H | '95. 2. 15 |
| KR244 | 使用可能リム 4.50~5.50 | 3.25/5.90R17 | '95.11.28 |
| TT100GP | | 110/90/17 60H 120/80/17 61H 3.00/18 47S 3.50/18 56H 4.00/13 64H 90/90/18 51H 110/90/18 61H 100/90/19 57H | '96.12.26 |
| Rideen GPR70F | 使用可能リム2.75~3.50 使用可能リム3.00~3.50 使用可能リム3.00~3.50 | 110/70R17 54H 120/60R17 55H 120/70R17 58H | '97. 2. 10 |
| Rideen GPR70 | 使用可能リム3.50~4.50 使用可能リム3.50~4.50 使用可能リム3.50~4.50 使用可能リム4.00~4.50 使用可能リム4.00~4.50 使用可能リム4.50~5.00 | 140/60R17 63H 140/70R17 66H 140/60R18 64H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H | '97. 2. 10 |
| SPORTMAX D207F GP | 使用可能リム3.50~4.00 使用可能リム3.00~3.50 | 130/70ZR16 120/70ZR17 | '97. 8. 10 '97. 5. 25 |
| SPORTMAX D207 GP | 使用可能リム4.50~5.50 使用可能リム5.50~6.00 使用可能リム5.50~6.00 | 170/60ZR17 180/55ZR17 190/50ZR17 | '97. 5. 25 |
| MR977 | 使用可能リム2.50 使用可能リム3.00~3.50 使用可能リム3.00 使用可能リム3.50~3.75 | 90/75R17 115/65R17 110/70R17 120/70R17 | '97. 7. 24 |
| KR244 | 使用可能リム4.50~5.50 | 3.25/5.90R17 | '97. 7. 24 |
| Rideen GPR70 | 使用可能リム4.00~4.50 使用可能リム4.50~5.00 | 150/60R17 66H 160/60R17 69H | '97. 7. 24 |
| KR122 | 使用可能リム2.50 使用可能リム2.75~3.50 | 90/65R17 120/60R17 | '98. 6. 26 '98. 6. 26 |
| KR122 | 使用可能リム2.50 使用可能リム2.75~3.50 | 90/65R17 120/60R17 | '98. 7. 23 '98. 7. 23 |
| KR244 | 使用可能リム4.50~5.50 使用可能リム4.50~5.50 使用可能リム4.50~5.50 | 165/50R17 3.25/5.90R17 165/50R17 | '98. 7. 23 '98. 9. 25 '98. 9. 25 |

●(株)ブリヂストン

〒104-8340東京都中央区京橋1-10-1 ☎03-3563-6819

| タイヤ名 | サイズ | 公認年月日 |
|-------------------|---|-------|
| BATTLAX BT - 72FS | 110/80R17,110/70R17, 120/60R17,120/70R17 | |
| BATTLAX BT - 72RS | 140/70R17,140/60R17, 150/60R17,160/60R17, 120/80R18,140/60R18, 150/60R18,170/60R17 | |
| BATTLAX BT - 09SS | 90/90 - 16,90/80 - 17 | |
| BATTLAX BT - 70FS | 110/70 - 17,120/60 - 17, 120/70 - 17,130/60 - 17, 140/60 - 17,140/60 - 18, 150/60 - 17,150/60 - 18, 160/60 - 17,170/60 - 17 | |
| ME72 | 85/59SR18,85/57SR17, 110/59R17,95/60R18, 140/63R18,120/59SR17, 150/60R17 | |

| | | |
|--|---|--|
| ME76 | 105/575R17,150/635R18,15 5/620R17 | |
| BATTLAX BT - 50F | 120/70ZR17,130/60ZR17 | '91.6.7 |
| BATTLAX BT - 50R | 170/60ZR17,180/55ZR17, 160/60ZR18 | '91.6.7 |
| ME77 | 90/575R17 | '91.6.1 |
| ME78 | 105/585R17 | '91.6.1 |
| BATTLAX BT - 09SS SOFT | 90/90 - 16,90/80 - 17,100/ 80 - 17 | '92.4.20 |
| BATTLAX BT - 10SS SOFT | 120/80 - 17,100/90 - 18 | '92.4.20 |
| BATTLAX BT - 80S F RADIAL | 110/70R17,120/70R17,120/ 60R17 | '92.3.20 |
| BATTLAX BT - 80S R RADIAL | 150/60R17,160/60R17, 150/60R18 | '92.3.20 |
| BATTLAX BT - 50 | 120/70ZR17 | '92.4.20 |
| ME77 | 90/570R17 | '92.6.10 |
| ME77 | 105/585R17 | '92.6.10 |
| ME77 | 160/625R17 | '92.6.20 |
| ME77 | 150/635R18 | '92.6.20 |
| ME77 | 155/620R17 | '93.7.1 |
| BATTLAX BT - 39F SS | 90/80 - 17,100/80 - 17,80/90 - 16 | |
| BATTLAX BT - 39R SS | 100/90 - 18,120/80 - 17,100/80 - 17 | |
| BATTLAX BT - 80S F RADIAL | 110/70R17,120/60R17,120/70R17 | |
| BATTLAX BT - 80S R RADIAL | 150/60R17,160/60R17,150/60R18 | |
| ME01Z | 120/600R17 | '94.2.10 |
| BATTLAX BT - 80F - RADIAL | 110/70R17 54H,120/60R17 55H,120/70R17 58H | '94.7.20 |
| BATTLAX BT - 80R - RADIAL | 150/60R17 66H,160/60R17 69H | '94.5.20 |
| BATTLAX BT - 90F - RADIAL | 110/70 R17 54H 120/60 R17 55H 120/70 R17 58H | '95.1.20 |
| BATTLAX BT - 90R - RADIAL | 150/60 R17 66H 160/60 R17 69H 140/60 R18 64H 150/60 R18 67H | '95.1.20 |
| BATTLAX BT - 90F RADIAL | 110/70R17 54H,120/60R17 55H 120/70R17 58H | '95.1.20 |
| BATTLAX BT - 90R RADIAL | 150/60R17 66H,160/60R17 69H 140/60R18 64H,150/60R18 67H | '95.1.20 |
| ME01F | 90/580R17 | '95.3.15 |
| RACING BATTLAX RADIAL WET ME01Z | 110/590R17 | '95.5.1 |
| BATTLAX BT - 90F RADIAL | 110/70R17 54H,120/70R17 58H | '95.7.19 |
| ME77Z 使用可能リム2.75~3.50 | 110/585R17 | '95.11.28 |
| ME76 使用可能リム3.00~3.75 | 120/595R17 | '95.11.28 |
| ME04Z 使用可能リム4.50~5.50 | 160/620R17 | '95.11.28 |
| RACING BATTLAX WET E04Z 使用可能リム2.75~3.50 | 115/590R17 | '96.4.20 |
| RACING BATTLAX WET E01使用可能リム2.15~2.50 E04Z使用可能リム2.75~3.50 ME01Z使用可能リム3.50~3.75 ME04Z使用可能リム4.50~5.50 | 90/560R17 115/590R17 120/600R17 160/620R17 | '97.4.25 |
| BATTLAX BT- 96F RADIAL 使用可能リム2.75~3.50 使用可能リム3.00~3.50 | 110/70R17 54H 120/60R17 55H, 120/70R17 58H | '98.4.1 |
| BATTLAX BT - 96 R RADIAL 使用可能リム3.50~4.50 使用可能リム4.00~4.50 使用可能リム4.50~5.00 使用可能リム3.50~4.50 | 140/70R17 66H 150/60R17 66H, 150/60R18 67H 160/60R17 69H 140/60R18 64H | '98.7.1 '98.4.1 '98.4.1 '98.4.1 |
| BATTLAX BT - 96 RADIAL HARD 使用可能リム2.75~3.50 使用可能リム3.00~3.50 使用可能リム4.00~4.50 使用可能リム4.50~5.00 | 110/70R17 54H 120/70R17 58H 150/60R17 66H 160/60R17 69H | '98.6.26 |
| RACING BATTLAX WET E02 使用可能リム4.50~5.50 | 165/620 R17 | '99.5.1 |

●横浜ゴム(株)

| タイヤ名 | サイズ | 公認年月日 |
|--------------------------------|---|----------|
| F - 003A2 | 80/90R16,90/90R16, 90/80R17,90/90R17, 100/90R18, | |
| F - 610 | 80/595R18,85/570R17, 90/600R18,100/580R17, 110/600R17,120/605R17, 135/640R18,150/600R17, 150/630R18,180/630R17, 180/655R18 | |
| F - 003 | 110/70R17,120/60R17, 140/60R17,150/60R17, 160/60R17,140/60R18, 150/60R18,120/70R17, 170/60R17,170/60R18 | |
| F - 006 | 110/70R17,120/60R17, 140/60R17,150/60R17, 160/60R17,140/60R18, 150/60R18,120/70R17, 170/60R17,170/60R18 | |
| GETTAR F007RR | 110/70F1754H,120/60F1755H | '91.6.10 |
| GETTAR F007RR | 140/60R1763H,150/60R1867H | '91.7.1 |
| GETTAR F007RR | 150/60F1766H,160/60F1769H | '91.6.10 |
| GETTAR F007RR | 110/70R17 54H | '92.4.3 |
| GETTAR F007RR | 120/60R17 55H | '92.4.3 |
| GETTAR F007RR | 140/60R17 63H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H | '92.4.3 |
| GETTAR F007RR | 110/70R17 54H 120/60R17 55H | '92.7.15 |
| GETTAR F007RR | 140/60R17 63H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H | '92.7.15 |
| GETTAR F610 GETTAR R610 | 110/600R17,120/605R17, 150/600R17,105/580R17, | '93.6.15 |
| GETTAR F007RR GETTAR R007RR | 100/80 - 17 52S 120/80 - 17 61S | '93.6.10 |
| GETTAR R610 | 150/600R17,150/630R18, | '94.2.25 |
| GETTAR R007A SPRINT | 110/70R17 54H,120/60R17 55H 150/60R17 66H,160/60R17 69H 140/60R17 63H,150/60R18 67H | '94.7.20 |

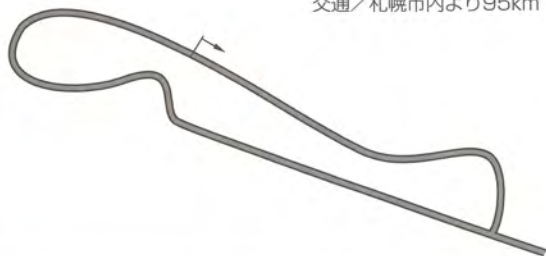
北海道：HSP(北海道スピードパーク)
 ：十勝インターナショナルスピードウェイ
 宮城県：スポーツランドSUGO
 ：仙台ハイランドレースウェイ
 福島県：エビスサーキット
 ：エビスサーキット西コース
 新潟県：日本海間瀬サーキット
 栃木県：那須モータースポーツランド
 ：ツインリンクもてぎ
 ：ツインリンクもてぎ北ショートコース
 茨城県：筑波サーキット

静岡県：富士スピードウェイ(FISCO)
 三重県：鈴鹿サーキット
 ：鈴鹿サーキット南コース
 兵庫県：猪名川サーキット
 ：セントラルサーキット
 岡山県：TIサーキット英田
 山口県：セントラルパークMINÉサーキット
 徳島県：阿讃サーキット
 大分県：スポーツ&セーフティライディングフィールド・SPA直入
 ：オートポリスインターナショナルレーシングコース
 熊本県：HSR九州(ホンダセーフティ&ライディングプラザ九州)

▶HSP(北海道スピードパーク)

〒044-0085 北海道虻田郡倶知安町字峠下155
 ☎0136 (23) 3880

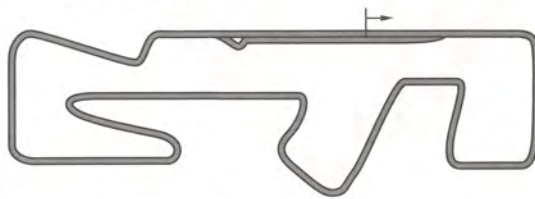
全長距離/1,389.44m
 最大直線長/365m
 ビット数/15個
 走行路幅/9~12m
 交通/札幌市内より95km



▶十勝インターナショナルスピードウェイ

〒089-1573 北海道河西郡更別村字弘和477番地
 ☎0155 (52) 3910

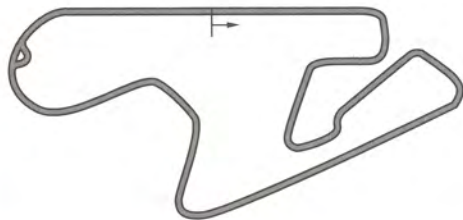
全長距離/グランプリコース・5,091.45m
 クラブマンコース・3,405.87m
 最大直線長/1,010m
 ビット数/36個
 走行路幅/13.5~15m
 交通/帯広空港から15km
 帯広駅から40km



▶スポーツランドSUGO

〒989-1394 宮城県柴田郡村田町管生6-1
 ☎0224 (83) 3127

全長距離/3,737.5m
 最大直線長/704.5m
 ビット数/45個
 走行路幅/10~12.5m
 交通/東北自動車道・村田ICより約10km



▶仙台ハイランドレースウェイ

〒989-3434 宮城県仙台市青葉区新川早坂12
 ☎022 (395) 2120



全長距離/4,063.00m
 最大直線長/584.34m
 ビット数/35個
 走行路幅/12~15m
 交通/東北自動車道
 仙台宮城ICより約20km

▶エビスサーキット

〒964-0088 福島県二本松市沢松倉1
 ☎0243 (24) 2972

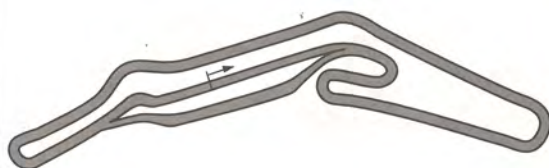
全長距離/2,061m
 最大直線長/420m
 ビット数/20個
 走行路幅/10~12m
 交通/東北自動車道・二本松ICより約10km



▶エビスサーキット西コース

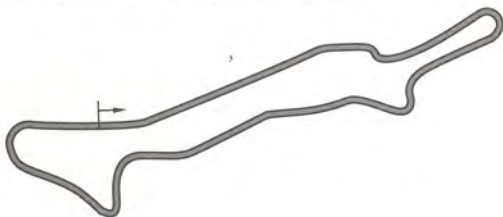
〒964-0088 福島県二本松市沢松倉1
 ☎0243 (24) 2972

全長距離/2,103m
 最大直線長/275.72m
 ビット数/60個
 走行路幅/10~15m
 交通/東北自動車道・二本松ICより約10km



▶日本海間瀬サーキット

〒953-0105 新潟県西蒲原郡岩室村間瀬610
 ☎0256 (85) 2201
 全長距離/2,000m
 最大直線長/500m
 ビット数/25個
 走行路幅/8~12m
 交通/関越自動車道・巻潟東I.Cより約20km



▶那須モータースポーツランド

〒325-0011 栃木県黒磯市寺子字坂の上677
 ☎0287 (63) 7300

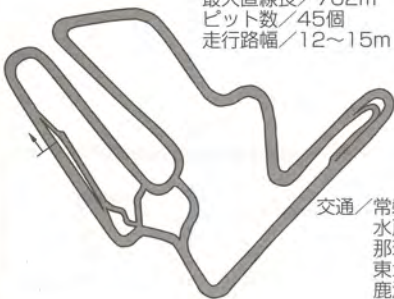


全長距離/1,146m
 最大直線長/281m
 ビット数/12個
 走行路幅/7.5~12m
 交通/東北自動車道・那須I.Cより約10km

▶ツインリンクもてぎ

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1
 ☎0285 (64) 0001

全長距離/4,801.379m (フルコース)
 最大直線長/762m
 ビット数/45個
 走行路幅/12~15m



交通/常磐自動車道・
 水戸I.Cより40分
 那珂I.Cより40分
 東北自動車道・
 鹿沼I.Cより90分
 宇都宮I.Cより80分

▶ツインリンクもてぎ北ショートコース

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1
 ☎0285 (64) 0001

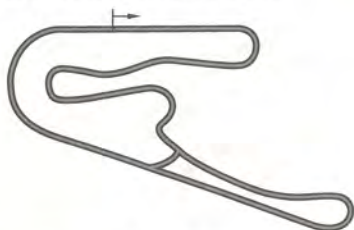
全長距離/1,020.084m
 最大直線長/153.748m
 ビット数/16個

走行路幅/8~10m
 交通/常磐自動車道・
 水戸I.Cより40分
 那珂I.Cより40分
 東北自動車道・
 鹿沼I.Cより90分
 宇都宮I.Cより80分



▶筑波サーキット

〒304-0824 茨城県結城郡千代川村岡字西原
 ☎0296 (44) 3146
 全長距離/2,070m
 最大直線長/437.75m
 ビット数/30個
 走行路幅/10~15m
 交通/常磐自動車道・谷和原I.Cより約25km

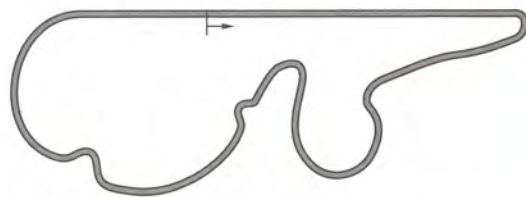


▶富士スピードウェイ (FISCO)

〒410-1308 静岡県駿東郡小山町大御神
 ☎0550 (78) 1234

全長距離/4,416m
 最大直線長/1,500m
 ビット数/45個

走行路幅/12~15m
 交通/東名自動車道・御殿場I.Cより約10km
 中央自動車道・東富士五湖道路 須走I.Cより約10km



▶鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992
 ☎0593 (78) 1111

全長距離/5,864.03m
 最大直線長/900m
 ビット数/48個
 走行路幅/10~14m
 交通/東名阪自動車道・鈴鹿I.Cより約13km



▶鈴鹿サーキット南コース

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992
 ☎0593 (78) 1111

全長距離/1,264m
 最大直線長/190m
 ビット数/20個
 走行路幅/10m
 交通/東名阪自動車道・
 鈴鹿I.Cより約13km



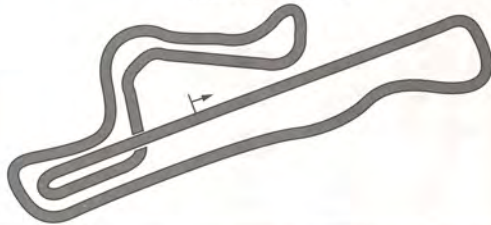
▶猪名川サーキット

〒666-0214 兵庫県川辺郡猪名川町清水字前谷72-1
☎0727 (69) 0193
全長距離/1,021m
最大直線長/131.7m
ピット数/30個
走行路幅/8~12m
交通/県道川西篠山線から約1.5km



▶セントラルサーキット

〒679-1132 兵庫県多可郡中町坂本字草山521-1
☎0795 (32) 3766
全長距離/2,858.774m
最大直線長/664.642m
ピット数/30個
走行路幅/12~15m
交通/中国自動車道・竜野社I.Cより約16km
加西I.Cより約14km



▶TIサーキット英田

〒701-2612 岡山県英田郡英田町竜宮1210
☎08687 (4) 3311
全長距離/3,703m
最大直線長/680m
ピット数/54個
走行路幅/12~15m
交通/中国自動車道・美作I.Cより約25km
山陽自動車道・備前I.Cより約25km
和気I.Cより約25km



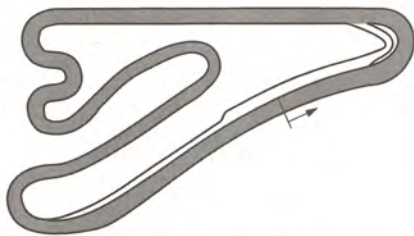
▶セントラルパークMINÉサーキット

〒759-2152 山口県美祿市西厚保町長尾
☎0837 (58) 0321
全長距離/3,238.98m
最大直線長/900m
ピット数/46個
走行路幅/10~15m
交通/中国自動車道・
美祿西I.Cより約5km



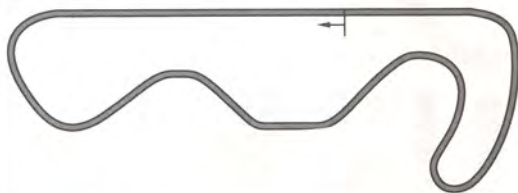
▶阿讃サーキット

〒771-2503 徳島県三好郡三好町大字東山字滝久保319
☎0883 (79) 3705
全長距離/1,004.31m
最大直線長/229.549m
ピット数/10個
走行路幅/9~12m
交通/徳島市内より約70km



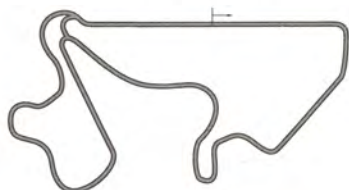
▶スポーツ&セーフティ ライディングフィールド・SPA直入

〒878-0403 大分県直入郡直入町大字上田北字浦原510-15
☎0974 (75) 3191
全長距離/1,430m
最大直線長/420m
ピット数/24個
走行路幅/10~11m
交通/大分市内より約40km



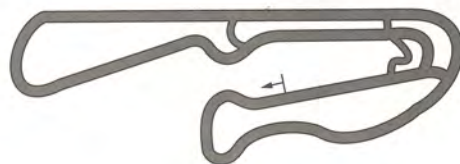
▶オートポリスインターナショナルレーシングコース

〒877-0312 大分県日田郡上津江村大字上野田1110-12
☎0973 (55) 1111
全長距離/4,674m
最大直線長/902m
ピット数/46個
走行路幅/12~15m
交通/九州自動車道・菊水I.Cより約45km
大分自動車道・日田I.Cより約45km



▶HSR九州 (ホンダセーフティ&ライディングプラザ九州)

〒869-1231 熊本県菊池郡大津町大字平川1500
☎096 (293) 1370
全長距離/2,991m
最大直線長/700m
ピット数/30個
走行路幅/9~15m
交通/九州縦貫道路・熊本I.Cより約15km



歴代チャンピオンリスト

ROAD RACE

TRIAL

SNOWMOBILE

DRAG RACE

MOTOCROSS

STADIUM TRIAL

ROAD RACE

●ロードレース部門（'67~'99年）

| 年 | 部 門 | ク ラ ス | 氏 名 |
|-----|--------|---------|-----|
| '67 | ジュニア | 50cc | 柴田中 |
| | | 90cc | 正之隆 |
| | | 125cc | 安男 |
| '67 | セニア | 250cc | 伊藤滋 |
| | | 250cc | 野田 |
| | | 251cc以上 | 大宮 |
| '68 | アマチュア | 90cc | 角谷 |
| | | 125cc | 鈴木 |
| | | 251cc以上 | 大脇 |
| '68 | ジュニア | 90cc | 酒井 |
| | | 125cc | 井 |
| | | 251cc以上 | 茂 |
| '68 | セニア | 90cc | 神谷 |
| | | 125cc | 馬場 |
| | | 251cc以上 | 和 |
| '69 | アマチュア | 90cc | 野田 |
| | | 125cc | 藤 |
| | | 251cc以上 | 中 |
| '69 | ジュニア | 90cc | 角谷 |
| | | 125cc | 高 |
| | | 251cc以上 | 尾 |
| '69 | セニア | 90cc | 小田 |
| | | 125cc | 隅 |
| | | 251cc以上 | 隅 |
| '70 | ノービス | 90cc | 岩道 |
| | | 125cc | 柴 |
| | | 251cc以上 | 小 |
| '70 | ジュニア | 90cc | 江崎 |
| | | 125cc | 山 |
| | | 251cc以上 | 野 |
| '70 | セニア | 90cc | 近藤 |
| | | 125cc | 小 |
| | | 251cc以上 | 大 |
| '71 | ノービス | 90cc | 平井 |
| | | 125cc | 上 |
| | | 251cc以上 | 大 |
| '71 | ジュニア | 90cc | 渡辺 |
| | | 125cc | 青 |
| | | 251cc以上 | 内 |
| '71 | エキスパート | 90cc | 江崎 |
| | | 125cc | 遠 |
| | | 251cc以上 | 尾 |
| '71 | セニア | 90cc | 金谷 |
| | | 125cc | 本 |
| | | 251cc以上 | 大 |
| '72 | ノービス | 90cc | 菅原 |
| | | 125cc | 上 |
| | | 251cc以上 | 野 |
| '72 | ジュニア | 90cc | 毛利 |
| | | 125cc | 大 |
| | | 251cc以上 | 本 |
| '72 | エキスパート | 125cc | 渡辺 |
| | | 250cc | 阿 |
| | | 251cc以上 | 部 |
| '72 | セニア | 125cc | 小田 |
| | | 250cc | 小 |
| | | 251cc以上 | 田 |

●ROAD RACE

| 年 | 部 門 | ク ラ ス | 氏 名 |
|-----|--------|-------|-----|
| '73 | ノービス | 90cc | 杉野 |
| | | 125cc | 順 |
| | | 250cc | 三 |
| '73 | ジュニア | 90cc | 新田 |
| | | 125cc | 茂 |
| | | 350cc | 公 |
| '73 | エキスパート | 125cc | 毛 |
| | | 125cc | 利 |
| | | 750cc | 片 |
| '73 | セニア | 125cc | 角 |
| | | 125cc | 谷 |
| | | 750cc | 根 |
| '74 | ノービス | 90cc | 岡 |
| | | 125cc | 藤 |
| | | 250cc | 酒 |
| '74 | ジュニア | 90cc | 合 |
| | | 125cc | 津 |
| | | 350cc | 石 |
| '74 | エキスパート | 125cc | 岩 |
| | | 125cc | 道 |
| | | 750cc | 本 |
| '74 | セニア | 125cc | 青 |
| | | 125cc | 木 |
| | | 750cc | 高 |
| '75 | アマチュア | 90cc | 片 |
| | | 125cc | 橋 |
| | | 250cc | 金 |
| '75 | ジュニア | 125cc | 山 |
| | | 125cc | 梨 |
| | | 750cc | 大 |
| '75 | エキスパート | 125cc | 相 |
| | | 125cc | 沢 |
| | | 750cc | 井 |
| '75 | セニア | 125cc | 江 |
| | | 125cc | 崎 |
| | | 750cc | 浅 |
| '76 | ノービス | 90cc | 牧 |
| | | 125cc | 野 |
| | | 250cc | 川 |
| '76 | ジュニア | 125cc | 東 |
| | | 250cc | 金 |
| | | 350cc | 水 |
| '76 | エキスパート | 125cc | 飯 |
| | | 125cc | 田 |
| | | 250cc | 毛 |
| '76 | セニア | 350cc | 利 |
| | | 350cc | 佐 |
| | | 750cc | 藤 |
| '77 | ノービス | 90cc | 鈴 |
| | | 125cc | 木 |
| | | 250cc | 藤 |
| '77 | ジュニア | 125cc | 川 |
| | | 250cc | 上 |
| | | 350cc | 山 |
| '77 | エキスパート | 125cc | 飯 |
| | | 125cc | 田 |
| | | 750cc | 毛 |
| '78 | ノービス | 90cc | 平 |
| | | 125cc | 野 |
| | | 250cc | 上 |
| '78 | ジュニア | 125cc | 伊 |
| | | 250cc | 藤 |
| | | 350cc | 本 |
| '78 | エキスパート | 125cc | 上 |
| | | 250cc | 田 |
| | | 750cc | 石 |
| '79 | ノービス | 125cc | 富 |
| | | 250cc | 田 |
| | | 250cc | 藤 |
| '79 | ジュニア | 125cc | 吉 |
| | | 250cc | 村 |
| | | 350cc | 阿 |
| '79 | 国際A級 | 125cc | 青 |
| | | 350cc | 藤 |
| | | 750cc | 木 |

●ROAD RACE

| 年 | 部 門 | ク ラ ス | 氏 名 |
|-----|---------|---|---|
| '80 | ノ ー ビ ス | 125cc 250cc | 五百部 徳雄 窪田 正二 |
| | ジュニア | 125cc 250cc 350cc | 山本 陽一 垣内 清孝 田中 光男 |
| | 国際 A 級 | 125cc 350cc 750cc | 一ノ瀬 憲明 平 忠彦 鈴木 修 |
| '81 | ノ ー ビ ス | 125cc 250cc | 荒木 利春 中山 博文 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc 350cc | 竹村 浩生 七尾 夫 新井 亮一 |
| | 国際 A 級 | 125cc 350cc 500cc | 一ノ瀬 憲明 藤本 泰恵 木下 司 |
| '82 | ノ ー ビ ス | 125cc 250cc | 篠田 雅樹 三浦 昇 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 荒木 利春 小林 大 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc 500cc | 一ノ瀬 憲明 福田 勇勝 水谷 勝 |
| '83 | ノ ー ビ ス | フォーミュラ3 125cc 250cc | 宮城 光一 吉田 健 宮城 光 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 篠田 雅樹 坂口 彰 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc 500cc | 栗谷 二郎 斉藤 光雄 藤平 忠彦 |
| '84 | ノ ー ビ ス | フォーミュラ3 125cc 250cc | 斉藤 兼一 山田 浩史 塩森 俊修 |
| | 国際 B 級 | フォーミュラ1 フォーミュラ3 125cc 250cc | 宮城 光一 清水 雅広 水田 圭二 |
| | 国際 A 級 | フォーミュラ1 フォーミュラ3 125cc 250cc 500cc | 八代 俊二 江崎 正郎 栗谷 大志 小林 忠彦 |
| '85 | 国際 B 級 | フォーミュラ1 フォーミュラ3 125cc 250cc | 梶田 利明 太田 浩一 上井 博修 塩森 俊修 |
| | 国際 A 級 | フォーミュラ1 フォーミュラ3 125cc 250cc 500cc | 辻本 聡一 山本 陽一 畝本 久大 小林 忠彦 |
| '86 | ジュニア | フォーミュラ3 125cc 250cc | 町井 邦生 藤沢 哲也 町井 邦生 |
| | 国際 A 級 | フォーミュラ1 フォーミュラ3 125cc 250cc 500cc | 山本 陽一 辻本 健二 吉田 信司 片山 惠司 |
| '87 | ジュニア | フォーミュラ3 125cc 250cc | 新垣 敏一 佐藤 聡一郎 嶋村 健太 |
| | 国際 A 級 | フォーミュラ3 フォーミュラ1 125cc 250cc 500cc | 田口 益充 大島 行弥 畝本 久 清水 雅広 藤原 儀彦 |
| | ジュニア | フォーミュラ3 125cc 250cc | 白井 直樹 原田 哲也 永井 康友 |
| '88 | 国際 A 級 | フォーミュラ3 フォーミュラ1 125cc 250cc 500cc | 塩森 俊修 宮崎 祥司 廣瀬 幸彦 本間 利彦 藤原 儀彦 |

●ROAD RACE

| 年 | 部 門 | ク ラ ス | 氏 名 |
|-----|--------|--|--|
| '89 | ジュニア | フォーミュラ3 125cc 250cc | 福島 聡 坂田 和人 新井 秀也 |
| | 国際 A 級 | フォーミュラ3 フォーミュラ1 125cc 250cc 500cc | ダグ・ボレン ダグ・ボレン 山崎 冬樹 岡田 忠彦 藤原 儀彦 |
| '90 | 国内 A 級 | SP750 フォーミュラ3 ※フォーミュラ3(2サイクル) ※フォーミュラ3(2サイクル) 125cc 250cc | 吉川 和多留 高橋 勝義 渡辺 正学 仲内 明 森兼 正 茨木 繁 |
| | 国際 A 級 | フォーミュラ3(4サイクル) ※フォーミュラ3(2サイクル) ※フォーミュラ3(2サイクル) フォーミュラ1 125cc 250cc 500cc | 鶴田 竜二 森北 行也 小林 敏一 岩橋 健一郎 坂田 和人 岡田 忠彦 伊藤 真一 |
| '91 | 国内 A 級 | フォーミュラ3 SP750 125cc 250cc | 松戸 直樹 阿部 徹郎 稲垣 幸則 宇川 徹 |
| | 国際 A 級 | スーパーカップ フォーミュラ3(2サイクル) フォーミュラ3 フォーミュラ1 125cc 250cc 500cc | 椎名 明 高橋 勝義 宮崎 祥司 小野 真忠 岡田 忠彦 ビーター・ゴダート |
| '92 | 国際 A 級 | 125cc 250cc 500cc フォーミュラ1 | 斉藤 明 原田 哲也 ダリル・ピーター 塚本 昭一 |
| '93 | 国際 A 級 | 125cc 250cc 500cc フォーミュラ1 | 加藤 義昌 宇川 徹 阿部 典一 北川 圭一 |
| '94 | 国際 A 級 | 125cc 250cc スーパーバイク | 宮坂 賢 宇川 徹 吉川 和多留 |
| '95 | 国際 | 125cc 250cc スーパーバイク | 宇井 陽一 沼田 憲保 青木 拓磨 |
| '96 | 国際 | 125cc 250cc スーパーバイク | 東 雅 沼田 憲保 青木 拓磨 |
| '97 | 国際 | 125cc 250cc スーパーバイク | 秋田 貴志 加藤 大治郎 芳賀 紀行 |
| '98 | 国際 | 125cc 250cc スーパーバイク | 仲城 英幸 中野 真一 伊藤 真一 |
| '99 | 国際 | 125cc 250cc スーパーバイク S-NK(X-フォーミュラ) | 仲城 英幸 松戸 直樹 吉川 和多留 鎌田 学 |

MOTOCROSS
●モトクロス部門 ('67~'99年)

| 年 | 部 門 | ク ラ ス | 氏 名 |
|-----|----------------|---|--|
| '67 | アマチュア | 50cc 90cc 125cc 250cc 251cc以上 | 黒川 隆 野野 憲 高橋 道雄 高橋 博 森下 隆一 |
| | ジュニア | 90cc 125cc 250cc | 山本 隆 吉村 太一 山本 隆一 |
| '68 | アマチュア | 50cc 90cc 125cc 250cc 251cc以上 | 堀 勇 堀 勇 堀 和男 山下 和男 |
| | ジュニア | 50cc 90cc 125cc 250cc 251cc以上 | 姓名 博昭 姓名 博昭 西 信之 ロバート・エモ |
| '69 | セニア | 90cc 125cc 250cc | 星野 一義 星野 隆 山本 義隆 |
| | アマチュア | 50cc 90cc 125cc 250cc | 田中 敏夫 多田 次夫 中里 一敏 岩尾 一敏 |
| '70 | ジュニア | 50cc 90cc 125cc 250cc | 堀 勇 從 孝 鈴木 秀明 鈴木 秀明 |
| | セニア | 90cc 125cc 250cc | 山本 隆 矢島 金次郎 鈴木 忠一 |
| '71 | ノービス | 50cc 90cc 125cc 250cc | 一色 薫 小野 切信 青木 雅和 |
| | ジュニア | 90cc 125cc 250cc | 鈴木 都良夫 木尾 一敏 岩尾 一敏 |
| '72 | セニア | 125cc 250cc | 吉村 太一 吉村 太一 |
| | ノービス | 90cc 125cc 250cc | 栗原 和年 原 和年 青藤 英夫 |
| '73 | ジュニア | 90cc 125cc 250cc | 中村 忠 杉浦 種保 沢 正治 |
| | エキスパート ジュニア | 125cc 250cc | 瀧尾 勝彦 瀧尾 勝彦 |
| '74 | セニア | 125cc 250cc | 矢島 金次郎 上野 広一 |
| | ノービス | 90cc 125cc 250cc | 藤 秀信 藤 秀信 |
| '75 | エキスパート ジュニア | 125cc 250cc | 小田 切信 池田 勝 |
| | ジュニア | 90cc 125cc 250cc | 唐沢 栄三郎 唐沢 栄三郎 唐沢 栄三郎 |
| '76 | セニア | 125cc 250cc | 鈴木 秀明 鈴木 都良夫 |
| | ノービス | 90cc 125cc 250cc | 菅家 惠 村上 光 菅家 則 |
| '77 | ジュニア | 90cc 125cc 250cc | 古田 哲郎 古田 哲郎 古田 哲郎 |
| | エキスパート ジュニア | 125cc 250cc | 岸川 清秀 藤 秀信 |
| '78 | セニア | 125cc 250cc | 鈴木 都良夫 鈴木 秀明 |

付 録

●MOTOCROSS

| 年 | 部 門 | ク ラ ス | 氏 名 |
|-----|----------------|------------------------|------------------------------|
| '74 | ジュニア | 90cc 125cc 250cc | 谷川 徹二 光安 鉄美 大賀 広美 |
| | エキスパート ジュニア | 125cc 250cc | 渡辺 明 渡辺 明 |
| | セニア | 125cc 250cc | 鈴木 秀明 鈴木 秀明 |
| '75 | ジュニア | 90cc 125cc 250cc | 北村 隆資 青山 金助 |
| | エキスパート ジュニア | 125cc 250cc | 東福寺 保雄 東福寺 保雄 |
| | セニア | 125cc 250cc | 杉尾 良文 増田 耕二 |
| '76 | ジュニア | 90cc 125cc 250cc | 月岡 尚人 岡 尚人 横山 隆夫 |
| | エキスパート ジュニア | 125cc 250cc | 光安 鉄美 青山 鉄金助 |
| | セニア | 125cc 250cc | 鈴木 都良夫 竹沢 正治 |
| '77 | ジュニア | 90cc 125cc 250cc | 渡辺 義己 小沢 正孝 福田 正敏 |
| | エキスパート ジュニア | 125cc 250cc | 佐藤 健二 大泉 浩一 |
| | セニア | 125cc 250cc | 瀬尾 勝彦 瀬尾 勝彦 |
| '78 | ジュニア | 90cc 125cc 250cc | 原本 松市 庄司 覚 ジェイク・ドレイコット |
| | エキスパート ジュニア | 125cc 250cc | 佐々木 隆 佐々木 隆 |
| | セニア | 125cc 250cc | 瀬尾 勝彦 光安 鉄美 |
| '79 | ジュニア | 90cc 125cc 250cc | 斉藤 武男 大久保 親 堀口 雅史 |
| | エキスパート ジュニア | 125cc 250cc | 秋元 春夫 原 衛 |
| | セニア | 125cc 250cc | 光安 鉄美 光安 鉄美 |
| '80 | ジュニア | 125cc 250cc | 小野 沢良一 小野 沢良一 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 谷川 龍太郎 庄司 覚 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 東福寺 保雄 杉尾 良文 |
| '81 | ジュニア | 125cc 250cc | 平山 勝一 茶谷 学 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 岡部 篤史 岡部 篤史 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 東福寺 保雄 福本 敏夫 |
| '82 | ジュニア | 125cc 250cc | ロン・キンダー 馬場 善人 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 小橋 勝年 小橋 勝年 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 大関 昌典 東福寺 保雄 |
| '83 | ジュニア | 125cc 250cc | 天田 淳 天田 淳 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 茶谷 学 茶谷 学 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 庄司 覚 杉尾 良文 |
| '84 | ジュニア | 125cc 250cc | 調所 伸一 小栗 伸幸 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 菅原 義広 鶴田 忍 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 東福寺 保雄 スティーブ・マーチン |

●MOTOCROSS

| 年 | 部 門 | ク ラ ス | 氏 名 |
|-----|--------|----------------|---------------------|
| '85 | ジュニア | 125cc 250cc | 長沼 朝之 花田 茂樹 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 田淵 武智 川崎 智之 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 岡部 篤史 スティーブ・マーチン |
| '86 | ジュニア | 125cc 250cc | 藤本 正勝 吉田 和泉 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 花田 茂樹 花田 茂樹 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 伊田井佐夫 東福寺 保雄 |
| '87 | ジュニア | 125cc 250cc | 岸田 隆夫 橋本 慎二 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 吉田 和泉 石橋 博也 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 岡部 篤史 東福寺 保雄 |
| '88 | ジュニア | 125cc 250cc | 大塚 元和 大塚 元和 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 大塚 忠和 大塚 忠和 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 岡部 篤史 東福寺 保雄 |
| '89 | ジュニア | 125cc 250cc | 黒古 尚利 黒古 尚利 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 芹沢 麻樹 榎本 正則 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 光安 鉄美 岡部 篤史 |
| '90 | ジュニア | 125cc 250cc | 萩島 忠雄 萩島 忠雄 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 元木 龍幸 村橋 健太郎 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 東福寺 保雄 東福寺 保雄 |
| '91 | ジュニア | 125cc 250cc | 半場 謙吾 城田 賢一 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 萩島 忠雄 宮内 隆行 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 佐々木 裕介 田沢 豊晃 |
| '92 | ジュニア | 125cc 250cc | 請川 意次 エディ・ウォレン |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 益留 信太郎 益留 信太郎 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 佐々木 裕介 ロン・ティチナー |
| '93 | ジュニア | 125cc 250cc | 倉林 啓一郎 成田 亮 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 小田切 剛 ロン・ティチナー |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 矢島 健一 溝口 哲也 |
| '94 | ジュニア | 125cc 250cc | 川島 雄一郎 ジェフ・マタセッチ |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 井上 眞一 井上 眞一 |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 川島 雄一郎 ジェフ・マタセッチ |
| '95 | ジュニア | 125cc 250cc | 増田 一将 増田 一将 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 高見 俊次 ジェフ・マタセッチ |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 平塚 雅樹 平塚 雅樹 |
| '96 | ジュニア | 125cc 250cc | 増田 一将 増田 一将 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 高見 俊次 ジェフ・マタセッチ |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 鈴木 健介 戸倉 徹哉 |
| '97 | ジュニア | 125cc 250cc | 増田 一将 増田 一将 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 高見 俊次 ジェフ・マタセッチ |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 平塚 雅樹 平塚 雅樹 |
| '98 | ジュニア | 125cc 250cc | 増田 一将 増田 一将 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 高見 俊次 ジェフ・マタセッチ |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 鈴木 健介 戸倉 徹哉 |
| '99 | ジュニア | 125cc 250cc | 増田 一将 増田 一将 |
| | 国際 B 級 | 125cc 250cc | 高見 俊次 ジェフ・マタセッチ |
| | 国際 A 級 | 125cc 250cc | 勝谷 武史 カイル・ルイス |

TRIAL

●トライアル部門 ('73~'99年)

| 年 | 部 門 | ク ラ ス |
|-----|-----------------------------------|-------------------------|
| '73 | 選抜 | 木村 治男 |
| '74 | ノービス ジュニア | 伊吹 健次 近藤 博志 |
| | ジュニア エキスパート | 蜂巢 秀男 加藤 文博 |
| '76 | ジュニア エキスパート | 町田 晴男 黒山 一郎 |
| '77 | ジュニア エキスパート | 山本 昌也 近藤 博志 |
| '78 | ジュニア エキスパート | 山田 民雄 近藤 博志 |
| '79 | ジュニア 国際 A 級 | 佐藤 雄一 近藤 博志 |
| '80 | ジュニア 国際 A 級 | 広木 一美 丸山 胤保 |
| '81 | ジュニア 国際 A 級 | 石原 正美 黒山 一郎 |
| '82 | 国際 B 級 国際 A 級 | 高田 雅孝 山本 昌也 |
| '83 | 国際 B 級 国際 A 級 | 和田 弘行 山本 昌也 |
| '84 | 国際 B 級 国際 A 級 | 米沢 満夫 山本 昌也 |
| '85 | 国際 B 級 国際 A 級 | 泉 裕朗 山本 昌也 |
| '86 | 国際 B 級 国際 A 級 | 小林 直樹 山本 昌也 |
| '87 | 国際 B 級 国際 A 級 | 小谷 徹志 伊藤 敦志 |
| '88 | 国際 B 級 国際 A 級 | 成田 匠 伊藤 敦志 |
| '89 | 国際 B 級 国際 A 級 | 宮道 昌浩 成田 匠 |
| '90 | 国際 B 級 国際 A 級 | 前野 繁 伊藤 敦志 |
| '91 | 国際 B 級 国際 A 級 | 本多 元治 中川 義博 |
| '92 | 国際 B 級 国際 A 級 | 小川 友幸 バスカル・クトゥリエ |
| '93 | 国際 B 級 国際 A 級 | 田中 善弘 バスカル・クトゥリエ |
| '94 | 国際 B 級 国際 A 級 | 寺澤 慎也 成田 匠 |
| '95 | 国際 B 級 国際 A 級 | 成田 亮 藤波 貴久 |
| '96 | 国際 B 級 国際 A 級 | 田中 太一 黒山 健一 |
| '97 | 国際 B 級 国際 A 級 国際 A 級スーパークラス | 渋谷 勳 東谷 健一 黒山 健一 |
| '98 | 国際 B 級 国際 A 級 国際 A 級スーパークラス | 北山 将司 野崎 史高 藤波 貴久 |
| '99 | 国際 B 級 国際 A 級 国際 A 級スーパークラス | 小森 文彦 白神 孝之 藤波 貴久 |

SNOW MOBILE

●スノーモビル部門 ('71~'99年)

| 年 | 部 門 | ク ラ ス |
|-----|-------------|--------|
| '71 | モディファイ300cc | 大月 信和 |
| | モディファイ400cc | 青木 雅和 |
| | モディファイ401cc | 大月 信和 |
| '72 | モディファイ300cc | 丹治 章 |
| | モディファイ400cc | 丹治 章 |
| | モディファイ401cc | 丹治 章 |
| '73 | モディファイ340cc | 伊藤 盛男 |
| | モディファイ440cc | 小田切 信雄 |
| '74 | モディファイ340cc | 伊藤 盛男 |
| | モディファイ440cc | 伊藤 盛男 |
| '75 | モディファイ340cc | 伊藤 盛男 |
| | モディファイ440cc | 伊藤 盛男 |
| '76 | モディファイ340cc | 春名 薫 |
| | モディファイ440cc | 春名 薫 |
| '77 | モディファイ340cc | 藤本 整司 |
| | モディファイ440cc | 高橋 和雄 |
| '78 | モディファイ340cc | 丹治 章 |
| | モディファイ440cc | 丹治 章 |
| '79 | モディファイ340cc | 高橋 和雄 |
| | モディファイ440cc | 古川 四郎 |
| '80 | モディファイ340cc | 高橋 和雄 |
| | モディファイ440cc | 高橋 和雄 |
| '81 | モディファイオープン | 領毛 信治 |
| | モディファイ540cc | 本田 勝義 |
| | モディファイ340cc | 佐々木 善之 |
| | モディファイ300cc | 南雲 静夫 |
| '82 | モディファイオープン | 高橋 和雄 |
| | モディファイ540cc | 高橋 和雄 |
| | モディファイ340cc | 佐野 啓八 |
| | モディファイ300cc | 古川 啓八 |
| '83 | モディファイオープン | 藤本 正勝 |
| | モディファイ540cc | 中山 忠志 |
| | モディファイ340cc | 中山 忠志 |
| | モディファイ300cc | 佐野 博 |
| '84 | モディファイオープン | 高橋 和雄 |
| | モディファイ540cc | 藤本 正勝 |
| | モディファイ340cc | 今野 孝博 |
| | モディファイ300cc | 佐野 博 |
| '85 | モディファイオープン | 高橋 和雄 |
| | モディファイ540cc | 江口 今野 |
| '86 | モディファイオープン | 熊谷 留夫 |
| | モディファイ540cc | 熊谷 留夫 |
| '87 | モディファイオープン | 松田 幸一 |
| | モディファイ540cc | 米田 幸一 |
| '88 | モディファイオープン | 遠藤 和也 |
| | モディファイ540cc | 江口 和也 |
| '89 | モディファイオープン | 熊谷 留夫 |
| | モディファイ540cc | 江口 和也 |
| '90 | モディファイA級S1 | 江口 亨二 |
| | モディファイA級S3 | 熊谷 留夫 |
| | モディファイA級S4 | 江口 亨二 |
| | モディファイB級S1 | 沼倉 照義 |
| '91 | モディファイA級S1 | 成田 正弘 |
| | モディファイA級S3 | 江口 大野 |
| | モディファイA級S4 | 江口 大野 |
| | モディファイB級S1 | 内野 令一 |
| '92 | モディファイA級S1 | 成田 正弘 |
| | モディファイA級S3 | 上葛 泰隆 |
| | モディファイA級S4 | 高橋 晴彦 |
| | モディファイB級S1 | 山内 康裕 |

SNOW MOBILE

| | | |
|-----|------------|-------|
| '93 | モディファイA級S1 | 上葛 泰隆 |
| | モディファイA級S3 | 三好 一晴 |
| | モディファイA級S4 | 高橋 浩彦 |
| '94 | モディファイB級S1 | 千葉 賢一 |
| | モディファイB級S3 | 千葉 賢一 |
| | モディファイB級S4 | 千葉 賢一 |
| '95 | モディファイA級S1 | 上葛 泰隆 |
| | モディファイA級S2 | 上葛 泰隆 |
| | モディファイA級S3 | 上葛 泰隆 |
| | モディファイA級S4 | 上葛 泰隆 |
| '96 | モディファイB級S1 | 関井 誠武 |
| | モディファイB級S2 | 大和 長和 |
| | モディファイB級S3 | 大和 長和 |
| | モディファイB級S4 | 大和 長和 |
| '97 | モディファイA級S1 | 戸沢 真司 |
| | モディファイA級S2 | 三好 一晴 |
| | モディファイA級S3 | 三好 一晴 |
| | モディファイA級S4 | 三好 一晴 |
| '98 | モディファイB級S1 | 松田 智典 |
| | モディファイB級S2 | 柏倉 伸賢 |
| | モディファイB級S3 | 熊谷 聡智 |
| | モディファイB級S4 | 熊谷 聡智 |
| '99 | モディファイA級S1 | 上葛 泰隆 |
| | モディファイA級S2 | 戸沢 真司 |
| | モディファイA級S3 | 山内 直也 |
| | モディファイA級S4 | 山内 直也 |
| '00 | モディファイB級S1 | 黒野 直也 |
| | モディファイB級S2 | 野内 直也 |
| | モディファイB級S3 | 野内 直也 |
| | モディファイB級S4 | 野内 直也 |
| '01 | モディファイA級S1 | 郷 敦司 |
| | モディファイA級S2 | 戸沢 真司 |
| | モディファイA級S3 | 山下 力 |
| | モディファイA級S4 | 山下 力 |
| '02 | モディファイB級S1 | 渋谷 博樹 |
| | モディファイB級S2 | 渋谷 博樹 |
| | モディファイB級S3 | 渋谷 博樹 |
| | モディファイB級S4 | 渋谷 博樹 |
| '03 | モディファイA級S1 | 戸沢 真司 |
| | モディファイA級S2 | 日野 裕尚 |
| | モディファイA級S3 | 日野 裕尚 |
| | モディファイA級S4 | 日野 裕尚 |
| '04 | モディファイB級S1 | 坂上 善彦 |
| | モディファイB級S2 | 上戸 貴典 |
| | モディファイB級S3 | 佐藤 哲直 |
| | モディファイB級S4 | 佐藤 哲直 |
| '05 | A級スーパークラス | 山下 力 |
| | モディファイA級S1 | 越前 清貴 |
| | モディファイA級S2 | 佐藤 俊一 |
| | モディファイA級S3 | 佐藤 俊一 |
| '06 | モディファイB級S1 | 柴田 敏也 |
| | モディファイB級S2 | 内村 敏也 |
| | モディファイB級S3 | 岡村 雅人 |
| | モディファイB級S4 | 加藤 憲一 |

DRAG RACE

●ドラッグレース部門 ('93~'99年)

| 年 | ク ラ ス | 氏 名 |
|-----|-----------|--------|
| '93 | プロストックバイク | 田中 文樹 |
| '94 | プロストックバイク | 田中 文樹 |
| '95 | プロストックバイク | 上中 靖司 |
| '96 | プロストックバイク | 生田目 俊之 |
| '97 | プロストックバイク | 川上 英二 |
| '98 | プロストックバイク | 中村 圭志 |
| '99 | プロストックバイク | 中村 圭志 |

SUPERCROSS

●スーパークロス部門 ('94~'97年)

| 年 | ク ラ ス | 氏 名 |
|-----|-------|-------|
| '94 | 125cc | 高見 俊次 |
| | 250cc | 榎本 正則 |
| '95 | 125cc | 辻本 幸二 |
| | 250cc | 小橋 雅也 |
| '96 | 125cc | 溝口 哲也 |
| | 250cc | 熱田 高輝 |
| '97 | 125cc | 加賀 真一 |
| | 250cc | 熱田 孝高 |

STADIUM TRIAL

●スタジアムトライアル部門 ('91~'93年)

| 年 | 部 門 | ク ラ ス |
|-----|------|------------|
| '91 | 国際A級 | 中川 義博 |
| '92 | 国際A級 | バスカル・クトゥリエ |
| '93 | 国際A級 | バスカル・クトゥリエ |

タイトルホルダーの証 MFJチャンピオンカード

MFJ [(財)日本モーターサイクルスポーツ協会]では、全日本選手権での最上級クラスでチャンピオンを獲得したライダーの功績をたたえ、チャンピオンを獲得したライダーに対し、MFJチャンピオンカードを発給しています。このチャンピオンカードを提示すると、全日本選手権等のイベント(特別イベント等除く)の入場がフリーパスとなり、過去の功績のあるライダーが気軽にサーキットに来れるものです。その中で建設的な意見を具申するなど、モーターサイクルスポーツ界に寄与してほしいと考えています。

ピットクルーに関する 指導要項

ピットクルーはライダーを補佐し、レースを円滑に進めるレースに欠かせない重要な役割を担っている。ライダーに代わって必要な情報を得たり、事務手続きをするなどのマネージャー的な役割や、レースの作戦を立てる監督的な役割、直接マシンの調整・修理をするメカニックまで、様々な立場の人がピットクルーライセンスを取得してレースに参加している。実際にレースにおいてピットクルーとして登録し作業する際には、下記のことには注意しなければならない。

1) ピットクルーの登録

- ① 基本的に下記の人数のピットクルーが登録可能である。

・ロードレース

地方選手権以下：2名以内

エリア選手権：4名以内

全日本選手権：6名以内

・モトクロス

地方選手権以下：2名以内

全日本選手権：2名以内

- ② ロードレースの場合、地方選手権においては最低1名のピットクルーを登録することが義務づけられる。これはライダーが負傷した場合、帰りの交通手段の確保や病院での手続き、家族への連絡が必ず必要となるためである。

2) ピットクルーの登録と変更・追加

ピットクルーはエントリー用紙のピットクルー登録欄に記入し、登録する。いったん登録したピットクルーは選手受付時に変更することは可能だが、申請人数より追加することはできない。変更の際は変更手数料1,000円が必要となる。

3) ピットクルーの服装

安全上長袖・長ズボンを着用すること。ロードレースのピットロードやスタート時にエンジン始動を手伝うときや足場の悪いモトクロスなどは半ズボンやサンダル履きは避け、品位ある服装にすること。

※全日本モトクロスに参加するピットクルーは細則5 出場申し込み(4) (99頁) 参照。

4) ピットクルーの立ち入り範囲

- ① ロードレース

ピット作業エリアとピットサインを出すプラットフォーム、スタート進行時にはコース上に入ることができる。

- ② モトクロス

各大会ごとにコースレイアウトによってサインエリアが定められ公式通知、ライダーズミーティング等で説明される。

5) ピットクルーの遵守事項

全てのピットクルーは、自らの参加する競技に関する規則を熟知していなければならない。また、安全に対する認識を持っていること。

① ロードレース

- ・ピットロードにおいては、ピットイン・ピットアウト車両に十分注意すること。
また、無資格のゲスト等がピットロードに出ないように注意する。
- ・火気に注意する。特に喫煙は指定の場所で行うこと。
- ・スタート進行時は、スタートが遅延しないよう作業すること。時間がきたら速やかにコース外に退去すること。
- ・メカニックは特にブレーキ系とオイル回りの安全対策を常にチェックすること。

② モトクロス

- ・指定されたサインエリアの区分から出てサインを出さないこと。
- ・指定のエリアを遵守すること。

6) ペナルティ

ピットクルーが犯した行為に対するペナルティは、そのピットクルーが登録されているライダーに対して与えられる。

7) レース運営への協力

ライダーが黒旗を掲示された場合は、ピット側に向けてもそれを掲示するので、ピットサインでもその状況を伝え早急に停止するように伝達する。

特にオイルを撒いて走行しているときや、部品が脱落しそうな場合は他のライダーに大きな危険を及ぼすので、各自緊急時のサインを取り決めておくこと。

8) 共済会

MFJピットクルーライセンス料には、年間の共済会掛金（保険料）が含まれている。この共済会見舞金制度は、当該ピットクルーが正式に登録され、参加する大会の公式期間中に発生した事故等に対し適用される。

Shinichi ITO
with
HONDA
RVF/RC45

Wataru YOSHIKAWA
with
YAMAHA
YZF-R7

Round 2 SUGO
Round 3 TSUKUBA

Round 9 TT
Round 10 MOTEGI

MFJ オフィシャル ビデオ

R²-1 MFJ ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

'99

SUPER BIKE

JAPAN

99 R²-1 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ SUPER BIKE / GP250 / GP125

シリーズ10戦のすべてが、ここに蘇る!

ご購入特典: 2000年全日本ロードレース観戦チケットをもれなくプレゼント!
※詳しくは、商品に封入されているハガキをご覧ください。

ビデオ発売日
1999.12.4 (Sat)
100min./color/stereo
¥3,980-
(税別)

Round 1 MINE

Round 4

Round 5

Round 7 SUZUKA

Round 8 TSUKUBA

Shinya TAKEISHI
with
KAWASAKI
ZX-7RR

Keiichi KITAGAWA
with
SUZUKI
GSX-R750

監修: 財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会
MFJ全日本プロモーション実行委員会
制作協力: クリエイティブオフィス ヤップ
制作著作: エキスプレス / C&E
発売・販売: エキスプレス

勝利の正装。

誰よりも速くゴールを目指し走り続けるために必要なもの。フォルザ。その着心地、機能性、クオリティは、妥協の許されないライダーにとって、まさに正装である。



FORZA

Racing Crew

RIDING CONCENTRATION



フォルザインターナショナル 〒105-0003 東京都港区西新橋2-19-1 菊地ビル2F
TEL/03-3433-0405 FAX/03-3433-0460 <http://majic-b.com/FORZAHOME.html>

ベストライダーの皆さまへ

ベストライダーに欠かせない

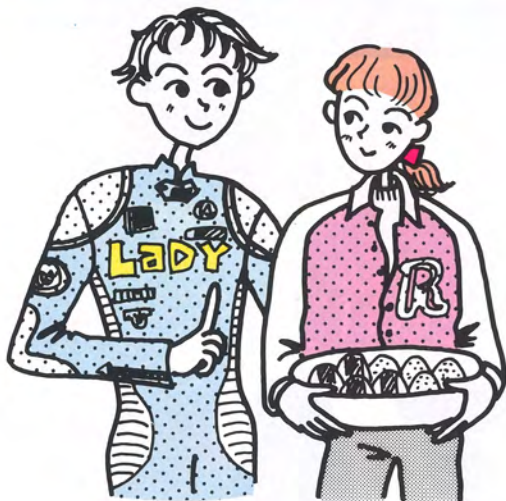
バイクの《自賠責保険》

★法律によって加入が義務づけられている保険です。

大きな安心、
おとどけします

自賠責保険を
つけずにバイクを
運転すると

- ◎6ヶ月以下の懲役または5万円以下の罰金
- ◎6点の減点
- ◎30日の免許停止処分



バイクの自賠責保険料

(平成9年5月1日改正)

| | 原付自転車 (125cc以下の2輪) | 軽二輪自動車 (125cc超 250cc以下) |
|----|-----------------------|----------------------------|
| 3年 | 11,250円 | 27,000円 |
| 2年 | 9,500円 | 20,300円 |
| 1年 | 7,700円 | 13,250円 |












損害保険代理店

ホンダ開発株式会社

本社 〒107-8556 東京都港区南青山2丁目1番1号(ホンダ青山ビル) ☎03-3423-2312

事業部

| | | | |
|-------|-----------|---------------------|---------------|
| 和光事業部 | 〒351-0114 | 埼玉県和光市本町9番1号 | ☎048-461-0843 |
| 狭山事業部 | 〒350-1331 | 埼玉県狭山市新狭山3丁目9番2号 | ☎0429-53-7351 |
| 浜松事業部 | 〒433-8114 | 静岡県浜松市葵東1丁目13番2号 | ☎053-436-2241 |
| 鈴鹿事業部 | 〒513-0827 | 三重県鈴鹿市大池3丁目13番20号 | ☎0593-79-5407 |
| 熊本事業部 | 〒869-1231 | 熊本県菊池郡大津町大字平川1500番地 | ☎096-293-6222 |
| 栃木事業部 | 〒321-3325 | 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台56番地2 | ☎028-677-3108 |

| | | | |
|---|--|--|---|
|  国旗 |  赤旗 |  黄旗 |  黒旗 |
|  白旗 | SIGNAL FLAGS |  フルコースコーション旗 |  青旗 |
|  緑旗 |  赤ストライプ付黄旗 |  チェッカー旗 |  オレンジボール |

サイズ60×80cm (赤のみ) 80×100cm

PLAYER'S NUMBER



生地 ターポリン
色 白・赤・緑・青・黄色

生地 メッシュ
色 白・赤・紺・青・黄色



生地 布
色 希望の色

ブルゾン



生地 ポリエステル (防水加工)
サイズ S・M・L・LL・3L
色 オレンジ・ピンク・緑・黄色

株式会社 中尾商事

〒164-0002 東京都中野区上高田1-1-43
TEL 03-3364-5621
FAX 03-3367-4437

Straight On

Magazine for Wonderful TRIAL Life

ストレート・オン

月に一度のストレート・オン
心を込めてあなたの自宅に
お届けします。



トライアルの専門誌ストレート・オン ご希望の月号から、随時定期購読受付中。書店では買えません。

一年間12冊 9,800円 (送料、税込) ご注文はFAX、もしくは電話で。

お申し込みいただいた月号から、毎月直接ご自宅にお届けします。お支払いは、専用の郵便払込用紙をお送りしますのでそれを使ってご送金下さい。

FAXでお申し込みの場合は住所、氏名、電話番号、生年月日、ご職業を明記して下記までお送り下さい。

また、e-mailでもお申し込み、お問い合わせを受け付けています。
mmiyata@mbox.kyoto-inet.or.jp もしくは m-doro@mbox.kyoto-inet.or.jp

ストレート・オンは次のお店でも購入いただけます。
トレックフィールド/宮城県仙台市 TEL022-252-5277
the COUNTRY HOUSE/千葉県印旛郡 TEL0476-98-0102
ライディングハウス/東京都立川市 TEL042-528-0455
(株) スーパーウィングまるやま/神奈川県中郡 TEL0463-34-0651
AST/神奈川県川崎市 TEL044-954-5512
BIG BOX/静岡県駿東郡 TEL0559-75-1317
スポーツプラザサイトウ/愛知県名古屋市中区 TEL052-795-2262
ミタニモータースポーツ鈴鹿店/三重県鈴鹿市 TEL0593-70-2689
ミタニモータースポーツ神戸店/兵庫県神戸市 TEL078-928-0258
ケニスクラブ/広島県福山市 TEL0849-27-5050
ホンダショップなかの屋/福岡県久留米市 TEL0942-45-6650

(有) 悠々社の商品ラインナップ

1999 Trial Des Nation VIDEO
デナシオンへの長い道
参加までの紆余曲折の末、多くの愛好者が参戦費用を募金するという形で応援し、日本チームが勝ち取った3位の座。日本を代表して闘った、藤波貴久、黒山健一、小川友幸、田中太一の、それぞれのデナシオンにける想いと、各国の代表者が語るデナシオンの意義。改めてトライアル4強国ニッポンを実感出来る。定価3,800円(税込)
※売上げの一部(一本につき300円)がMFJトライアルデナシオン応援基金に寄付されます。

スコティッシュ'99
90年以上開催され続けているトライアルの源流、スコティッシュ・シックスデイズ・トライアル。これまでは伝えられなかったS.S.D.T.の真実が実感できる自信作。
VHS55分 定価3,000円 (税込、送料全国一律一本390円)

小谷徹の、あなたもこれでマジシャンに!
最新テクニックの秘密はクラッチワークとサスペンションの利用にあり! このビデオを見ればすべて解る! あなたにもできる!

小谷徹の、あなたもこれでマジシャンに!
最新テクニックの秘密はクラッチワークとサスペンションの利用にあり! このビデオを見ればすべて解る! あなたにもできる!

小谷徹の、あなたもこれでマジシャンに!
最新テクニックの秘密はクラッチワークとサスペンションの利用にあり! このビデオを見ればすべて解る! あなたにもできる!

汗によるイヤなニオイがするヘルメットにスプレーするだけで、瞬時に、確実に消臭! 成分は植物から抽出した天然素材100%で無害。除菌タイプ、無色無臭。ポンプスプレータイプのヘルメット専用消臭剤

爽やかヘルメット
100ml入 1,300円 (税込1,365円、送料別)

他を圧倒する、モーターマガジン社2輪誌ラインアップ

NEWモデル&新製品 総合マガジン

オートバイ

毎月1日発売
定価570円

テイスティ・バイクマガジン

GOOGLE

毎月24日発売
定価500円

ライダー&バイカーご意見番!

Mr. Bike

毎月6日発売
定価300円

中古バイクバイヤーズ・ガイド

Buyer's Guide BG

毎月14日発売
定価330円

2輪パーツ売買マガジン

Parts Buyer's Guide BG

奇数月末発売
定価450円

ストリートカスタム&ファッションマガジン

BORN BIKER'S

奇数月22日発売
定価580円



HOT & COOL

独占情報
満載!!

発行元 **モーターマガジン社**

〒105-8611 東京都港区新橋5-33-10 ☎03-3434-3151(代表) URL: <http://www.motormagazine.co.jp/>



(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
推奨・協力作品



ダートを
タフに
駆け抜けろ!!

舞い上がる砂埃、泥、逆光線…、
リアル度満点の演出!!



多彩なパフォーマンスで、
ド派手なライディングを魅せる!!



2人対戦の熱いバトルで
さらにヒートアップ!!



モトクロス・ファン必携の
ゲームソフト!!

標準価格: ¥5,800 (税抜)

2000年1月6日(木)発売

アナログコントローラ (SCPH 1200) 対応
DUAL SHOCK 対応



ダートチャンプ
DIRT CHAMP
モトクロスNo.1

M MEDIA RINGS CORPORATION

株式会社メディアリング 〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-32 赤坂山勝ビル2F TEL.03-5474-1684 FAX.03-5474-1650

©FUNCOM 1999 ©1999 MEDIA RINGS CORPORATION

SLPS 02146

マークおよび "PlayStation" は株式会社ソニーコンピュータエンタテインメントの登録商標です。

●ホームページ: <http://www.tokyo-city.co.jp/game/>

●テレホン・サービス: TEL.03-5474-8634



日本特殊陶業

最強。



エンジン性能を最大限に引き出す ハイポテンシャルプラグ。

スムーズな始動性と、圧倒的な加速感をもたらす最上級品質。「VXプラグ」。それは、レースで培ったテクノロジーを惜しみなく投入して生まれました。極めて細いプラチナの中心電極と鋭く尖った外側電極で、優れた着火性を実現し、エンジンのポテンシャルを最大限に引き出す高性能を発揮します。また、より多くのドライバーやライダーにその卓越した性能を実感していただけるよう、市販車のほぼ全車に適合する製品を取りそろえています。ぜひ、お試しください。



ひとクラス上のプラグ。

NGK VX プラグ

※NGK は、F1をはじめ各種四輪・二輪レースのサポートをしています。URL <http://www.ngkntk.co.jp>



VALENTINO ROSSI / Aprilia RSV250
Aprilia Grand Prix Racing

The Champ Wins Again

GP250 and GP125 class WINNER of the 1999 Road Race World Championship rode on DUNLOP Tyres.



EMILIO ALZAMORA / HONDA RS125R
Via Digital Team

月刊 1999年3月号 通巻三六四号 二〇〇〇年3月10日発行 雑誌五十四年三月十日 第三種郵便物認可 発行所 財団法人 サイクルスポーツ協会 〒1040045 東京都中央区築地一十一-14 第九興和印刷センター 03(3)56650900